

# 病 院 年 報

第 2 9 号  
(令和 3 年度)

市 立 池 田 病 院

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号

## 理念・基本方針

### 《理念》

#### ■ 基本理念とシンボルマーク



創意に富み 思いやりのある  
信頼される 病院をめざして

シンボルマークは、「五月山」と「猪名川」をモチーフとして「飛翔」を描き、基本理念である「創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして」の、創意 Innovative Hospital、思いやり Kind Hospital、信頼 Dependable Hospital を表現しています。

飛翔の姿は、市立池田病院が地域の公的機関として、3つの理念である「創意」「思いやり」「信頼」による医療を通じて、地域とともに、暮らしやすく、豊かで、活力に満ちた“安全・安心な地域社会”に向けて飛躍する姿を描き、その貢献への決意を込めています。

### 《7つの基本方針》

使命を達成するために、次の基本方針を実行する。

実行にあたって職員は、「職員指針」、「臨床倫理原則」、「医療安全管理指針」、「個人情報保護方針」を徹底し、全職員の計画的・主体的・協働的な参画のもと品格高い病院づくりに努めています。

#### 1.地域社会

私たちは、公立病院の使命として、地域社会に応える計画的な病院事業を推進します。

#### 2.患者本位

私たちは、誠実で思いやりのある患者さまの立場にたった、医療を実践します。

#### 3.地域医療

私たちは、地域の医療水準の向上をめざし、広域的な医療連携・保健連携を推進します。

#### 4.医療の質

私たちは、地域の急性期病院として、安全で質の高い医療を提供します。

#### 5.チーム医療

私たちは、全ての職種が互いに信頼し協働して、チーム医療および組織横断的活動を推進します。

#### 6.医療人の育成

私たちは、働きがいのある病院づくりに努め、地域医療を支える優れた医療人を育成します。

#### 7.経営健全化

私たちは、たえず意識変革をもって病院事業を遂行し、安定した経営基盤の確立を目指します。

## はじめに

令和3年は、1年延期された東京オリンピック・パラリンピックの無観客開催で、金メダルは史上最多の27個を獲得、松山英樹選手のマスターズや笹生優花選手の全米女子オープンとゴルフメジャー大会での制覇、大谷翔平選手の二刀流で MVP 獲得など明るい話題もありましたが、新型コロナウイルス感染症の広がりや気を遣いながら、いかに社会生活を行うかを、日々思いながら過ごした1年でした。

令和2年1月に日本で最初の新型コロナウイルス感染例が確認され、終息することを期待したにもかかわらず、第3波(令和2年11月-令和3年2月)、第4波(令和3年4-5月)、第5波(令和3年7-9月)、第6波(令和4年1-3月)、第7波(令和4年7-9月)と繰り返す大きな波に対峙しながら、その対応に翻弄されました。

δ(デルタ)株による第4波は、多くの重症患者が発生し、残念ながら多くの方が亡くなりました。当院のコロナ病床も満床となり、人工呼吸管理患者(最大6人/日)の対応をせざるをえない状況でした。ワクチン接種が行われるようになり、重症患者は少なくなりましたが、感染力が強くなったο(オミクロン)株が中心となった第6波、第7波では、重症患者の割合は低下したものの、発症者数は非常に多くなりました。当院でも、感染病床の確保、医療スタッフの感染や濃厚接触者になったことによる休職、院内感染の発生、一般病床の縮小、一般診療の制限、救急受け入れ制限・停止を行わざるをえない事態が度々起こる状況でした。

新型コロナウイルス感染症による外来患者・入院患者数の回復は未だ見られず、新型コロナウイルス感染患者病床の確保などもあり、平成3年度の病床稼働率は77.2%となりました。(平均在院日数10.9日)

当院の話題として、令和4年2月に念願の手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、泌尿器科・婦人科・消化器外科にて、順調に手術症例を積み重ねることができております。当面、「ウイズコロナ」下での医療に苦慮しながら、公立病院としての役割を果たせるよう、可能な限り努めていきたいと思っております。今後とも引き続きよろしく願いいたします。

令和4年10月  
病院長 尾下 正秀

# 目 次

<b>■病院の概要</b>	病理診断科.....	121
病院の沿革.....	臨床検査科.....	123
病院の概要.....	精神科.....	128
病院組織機構.....	◇救急総合診療部.....	130
病院管理運営組織図.....	◇中央手術部.....	131
職員配置数.....	◇臨床研修部.....	134
病院職員.....	◇がん治療センター部	
病院の財政状況.....	外来化学療法センター.....	141
<b>■業務概要</b>	がん相談支援センター.....	143
患者状況.....	◇共同診療部	
診療収入状況.....	内視鏡センター.....	146
退院患者年次統計.....	生活習慣病・糖尿病センター.....	151
<b>■各部門の活動</b>	人工透析センター.....	153
◇医務局	口腔ケアセンター.....	155
内科	超音波診断・治療センター.....	157
総合内科.....	健診センター.....	160
腎臓内科.....	◇薬剤部.....	163
血液内科.....	◇看護部.....	171
内分泌・代謝内科.....	◇医療技術部	
呼吸器内科.....	栄養管理科.....	178
消化器内科.....	医療機器管理室.....	182
循環器内科.....	◇臨床研究管理部.....	184
神経内科.....	◇地域医療連携部.....	188
小児科.....	◇感染制御部.....	191
外科	◇医療安全・質管理部.....	199
乳腺・内分泌外科.....	◇経営企画室 情報システム.....	201
呼吸器外科.....	◇診療情報管理部	
消化器外科.....	診療情報管理・診療支援.....	203
脳神経外科.....	◇チーム医療関連	
整形外科.....	栄養サポートチーム(NST).....	207
形成外科.....	褥瘡対策チーム.....	210
皮膚科.....	呼吸療法サポートチーム(RST).....	215
泌尿器科.....	緩和ケアチーム.....	217
(結石治療センター含む)	高齢者サポートチーム(OST).....	220
産婦人科.....	精神科リエゾンチーム.....	222
眼科.....	◇その他の部門	
耳鼻いんこう科.....	ライフサポートチーム.....	223
リハビリテーション科.....	患者サポートチーム.....	225
放射線科.....	臨床心理室.....	226
麻酔科.....	<b>■病院だより.....</b>	<b>228</b>
歯科・歯科口腔外科.....		

# 病 院 の 概 要

- 病院の沿革
- 病院の概要
- 病院組織機構
- 病院管理運営組織図
- 職員配置数
- 病院職員
- 病院の財政状況

## ■ 病 院 の 沿 革

変遷の時期	変	遷	の	内	容
昭和 26. 10. 30	市立池田病院開設 (9科、81床)				
27. 9. 19	伝染病棟開設 (本館敷地内、30床)				
27. 10. 1	看護婦寄宿舍新設				
30. 7. 25	結核病棟開設 (本館敷地内、50床)				
31. 4. 1	地方公営企業法全部適用 (法第2条第2項・第3項)				
32. 7. 30	総合病院承認 (9科、一般病床106床・結核病床60床・伝染病床30床)				
33. 3. 11	中央検査室・コバルト室及び西病棟増設				
37. 7. 23	4階病棟増築				
37. 10. 19	基準給食承認				
38. 10. 1	看護婦寄宿舍建替				
39. 10. 26	救急病院告示				
46. 10. 14	循環器系X線及びシンチ・カメラ室増築				
51. 5. 18	伝染病棟 (30床) 廃止				
51. 9. 27	新診療棟増築 管理棟増改築				
54. 5. 23	伝染病棟建設 (本館敷地内) 一般病床264床 伝染病床15床 計279床				
57. 4. 1	整形外科及び理学診療科新設 (既設 外科診察室に併設)				
57. 7. 14	看護婦寄宿舍増築				
57. 8. 5	新診療棟増築				
59. 10. 1	基準看護1類承認				
59. 12. 1	医専用コンピュータシステム導入				
60. 10. 1	基準看護特2類承認 (特1類より)				
61. 4. 1	給食配膳業務委託開始				
62. 7. 1	時間外小児救急365日体制実施				
平成 4. 4. 1	婦長・主任の管理当直 (土・日・祝日) 開始				
4. 7. 1	泌尿器科新設				
5. 3. 31	市立池田病院移転新築計画基本構想策定				
5. 7. 1	麻酔科新設				
5. 7. 13	4階病棟に新生児室完成				
5. 10. 1	内科予約診察開始				
6. 2. 1	手術室中央化開始				
6. 2. 28	新病院基本設計完了				
6. 3. 25	新病院用地 (大阪教育大学池田分校跡地の一部) 取得				
6. 9. 30	新病院実施設計完了				
6. 11. 1	IDカード (磁気付き診察券) 導入				
6. 12. 2	新病院建築工事着工				

変遷の時期			変遷の内容
平成	8. 10.	1	新看護体系2.5対1看護（A）15対1看護補助
	9. 10.	1	新市立池田病院開院（13科、264床）
	10. 4.	1	歯科口腔外科新設
	11. 3.	30	旧病院敷地（2,500㎡）売却
	11. 7.	1	旧伝病一般転用で個室8床増（入院料加算額対象個室52床から60床に）
	12. 2.	18	病棟薬局、リハビリテーション科改修
	12. 3.	29	職員定数を294人から317人に改定
	12. 3.	31	厚生省臨床研修病院指定
	12. 4.	3	旧病院敷地（4,269.32㎡）を市に無償移管
	12. 8.	1	看護婦寄宿舍を廃止し民間住宅を借上
	13. 4.	1	厚生労働省臨床研修病院指定（歯科） 神経内科新設 2対1看護体制の導入 外来受付業務を委託化（3か年で完了予定）
	13. 4.	2	看護婦寄宿舍（敷地及び建物）を市に無償移管
	13. 6.	1	初診時特定療養費の導入
	13. 10.	1	診療録管理室の稼動
	13. 10.	27	市立池田病院開院50周年記念式典（池田市民文化会館）
	14. 2.	18	病院機能評価の認定（Ver. 3.1、H14.2.18からH19.2.17まで）
	14. 3.	20	豊能保健医療推進協議会で開放型病床（50床）開設の承認
	14. 5.	10	増築工事実施設計業務（H14.5.13～H14.12.27）
	14. 9.	30	急性期入院加算の届出受理
	14. 11.	19	生体腎移植の実施
	15. 2.	1	医療法等の一部改正に伴う病床区分の届出（その他病床から一般病床へ）
	15. 2.	3	医療情報システム（更新）の稼動
	15. 2.	28	増築工事着工（H16.5.31まで）
	15. 4.	1	病院職員の定数改定（317人→402人）
	15. 10.	1	医療相談窓口の開設
	15. 11.	28	新医師臨床研修制度による臨床研修病院の指定
	16. 1.	1	院内全面禁煙の実施
	16. 2.	2	院外処方せんの全面発行の実施
	16. 3.	5	大阪府より一般病床100床の病床配分の認可
	16. 4.	1	看護師長による総合受付案内の実施
	16. 5.	31	増築棟工事完成
	16. 6.	1	新医師臨床研修制度による臨床研修の開始
	16. 7.	1	増築棟病棟オープン
	16. 7.	5	増築棟外来部門オープン
	16. 10.	1	本館改築オープン

変遷の時期	変	遷	の	内	容
16. 10. 27					心血管カテーテル検査治療室の稼動
平成 17. 1. 4					逆紹介コーナーの稼動 外来化学療法室の稼動
17. 4. 1					病院組織機構一部改正、院内委員会組織の改正
18. 1. 4					内科午後一般診療廃止
18. 4. 1					事業管理者設置
18. 6. 1					地域医療連携登録医制度の創設 DPC参加病院の適用 池田市病院事業経営健全化計画の公表
19. 1. 1					病院敷地内禁煙の実施
19. 2. 18					病院機能評価Ver. 5.0の更新認定 (H19. 8. 20に条件付認定の解除)
19. 3. 31					神経内科の標榜廃止による診療中止
19. 4. 1					7対1看護体制の実施 病院職員の定数改定 (402人→431人) 病院組織を11部局から10部局に改正
19. 4. 2					セカンドオピニオン外来の開始
19. 5. 1					消化器科、循環器科を標榜 生活習慣病・糖尿病センターの改称 乳腺・甲状腺センターの開設
19. 6. 1					室料差額の統一
19. 7. 1					外来診療受付時間の変更 (午前8時～11時30分を午前8時～11時に)
19. 10. 1					1階ホール受付カウンターの配置の一部変更
19. 10. 16					看護部2交代制の試行実施 (3階東病棟、5階南病棟)
20. 1. 1					看護部2交代制の試行実施 (4階北病棟)
20. 2. 1					看護部2交代制の試行実施 (5階北病棟)
20. 4. 1					看護部2交代制の試行実施 (4階東病棟) 褥瘡外来の開設 院内保育所の開設
20. 6. 1					亜急性期病床の導入 (4階北病棟、2室・8床)
20. 8. 1					整形外科診療体制の変更 (外来診療の予約制)
20. 10. 1					健診センターの開設 医師事務作業補助者の配置
21. 1. 1					産科医療補償制度保険加入開始
21. 2. 1					看護部2交代制の試行実施 (4階南病棟 [CCU除く])
21. 3. 31					大阪府がん診療拠点病院の指定 (指定期間はH21. 4. 1からH25. 3. 31まで)
21. 4. 1					開放型病床50床を5床に変更 禁煙外来の開始 乾癬外来の開始

変遷の時期	変遷の内容
	市立池田病院改革プランの公表
平成 21. 5. 25	病院ホームページの更新
21. 8. 1	神経内科の標榜
21. 11. 25	救急車の導入
21. 11. 30	大阪府から地域医療支援病院の承認
22. 4. 1	脳神経外科を標榜 耳鼻いんこう科 二次後送病院体制へ参画
22. 5. 1	医師事務作業補助配置50対1に
22. 6. 1	急性期看護補助体制75対1に
22. 8. 1	総合入院体制加算開始
22. 8. 20	電波障害地域の地上デジタル放送対策完了
22. 9. 1	急性期看護補助体制50対1に
22. 9. 27	院内保育所の拡張（定員9名から12名）
23. 2. 28	電子カルテの稼動
23. 4. 1	池田市看護師等修学資金貸与条例の施行
23. 4. 15	治療費のクレジットカード決済開始
23. 6. 1	医師事務作業補助配置25対1に
23. 11. 1	医師事務作業補助配置20対1に
24. 2. 18	病院機能評価Ver. 6.0の更新認定（5月18日発行）
24. 4. 1	病院職員の定数改正（431人→492人） 腎移植センターの廃止
24. 7. 1	消化器外科及び形成外科を標榜
24. 10. 1	亜急性期病床8床を一般病床に変更
25. 1. 1	ガスコージェネレーション発電設備の稼動（発電量210kW）
25. 3. 5	大阪府がん診療拠点病院指定の更新（指定期間はH25. 4. 1からH29. 3. 31まで）
25. 4. 1	乳腺センターに機構改正 病児保育の開始 SPD（物品供給センター）を院外倉庫預託方式で稼動
25. 6. 1	救急総合診療部の設置
25. 10. 19～20	緩和ケア研修会の開催（修了者数 医師29名、その他5名）
26. 3. 1	中期経営計画の策定
26. 4. 1	新公会計制度の導入
26. 10. 1	病理診断科を標榜
27. 1. 1	分娩料の改定
27. 3. 27	指定要件見直しによる大阪府がん診療拠点病院の指定 （指定期間はH27. 4. 1からH32. 3. 31まで）
27. 4. 1	手数料の一部改定
28. 2. 29	消化器病センターの開設
28. 3. 14	リニアックの更新

変遷の時期	変	遷	の	内	容
	28.	3.	22		MRI (1.5T) の追加
	28.	4.	1		乳腺・甲状腺センターを「乳腺・乳房再建センター」に改称 前立腺癌二次検診センターの廃止
平成	28.	7.	16 ~17		緩和ケア研修会の開催 (修了者数 医師33名、その他5名)
	28.	12.	1		空調設備更新 (第1期) 4階北病棟及び5階北病棟
	29.	1.	4		健診センターにて肺ドック開始
	29.	2.	18		病院機能評価3rdG : Ver. 1.1の更新認定 (9月1日交付)
	29.	4.	1		呼吸器内科及び呼吸器外科を標榜 乳腺・内分泌外科を院内標榜
	29.	7.	1		病院食調理業務の直営化 (H30.9.30まで)
	29.	8.	31		X線血管撮影装置の更新
	29.	10.	1		分娩費用の見直し 3階北病棟 (産科フロア) の改修
	29.	10.	28 ~29		緩和ケア研修会の開催 (修了者数 医師28名、その他3名)
	29.	12.	1		特定集中治療室 (ICU) を改修して2床から4床に増床 病棟別病床数の変更 (4階南病棟 49床→48床、4階東病棟 50床→51床) 空調設備更新 (第2期) 4階南病棟及び5階南病棟
	30.	3.	30		医療情報システム (電子カルテほか) の更新 (システムの切替作業は5月25日から5月27日にかけて実施) 喫茶コーナーの廃止
	30.	4.	1		NPO法人卒後臨床研修評価機構 (JCEP) による臨床研修評価の認定
	30.	4.	27		売店の廃止
	30.	5.	7		1階中央待合ホールのリニューアル 〔カウンターのレイアウト変更、妊婦用スマートレーンの設置、 各種窓口の移設、入退院サポートセンターの拡充 など 〕 エスカレーターの再稼働 コンビニエンスストアの設置
	30.	7.	1		医療職員用ユニフォームのリニューアル
	30.	10.	1		病院食調理業務の全面委託化
	30.	12.	1		空調設備更新 (第3期) 3階北病棟等
	31.	2.	7		MRI (3T) の更新
	31.	3.	27		電話設備及びナースコール設備の更新
平成	31.	4.	1		病院職員の定数を改正 (492人から542人に50人の増員) 心臓血管外科、小児外科及び放射線治療科を院内標榜
令和	1.	9.	28		緩和ケア研修会の開催 (修了者数 医師23名)
	2.	1.	6		自動分析装置並びに検体搬送システムの更新
	2.	1.	7		外来化学療法センターの拡張
	2.	9.	26		緩和ケア研修会の開催 (修了者数 医師・歯科医師17名)
	2.	12.	21		I Cルーム増設・運用開始

変遷の時期 変 遷 の 内 容

3. 3. 31	院内 Free Wi-Fi設置
3. 8. 20	コンピュータ断層撮影装置（CT）の更新
3. 9. 27	生体情報モニタの更新（3階東病棟）
3. 12. 29	手術支援ロボットの導入
4. 1. 17	マイナンバーカードの保険証利用開始
4. 3. 28	一般撮影装置の更新
4. 3. 29	生体情報モニタの更新（中央手術室）
4. 3. 31	ガス吸収式冷温水機の更新
4. 3. 31	防災設備（自動火災報知設備）の更新
4. 3. 31	中央監視装置の更新
4. 3. 31	放射線科系統他空調機器の更新

## ■ 概 要

2022. 4. 1現在

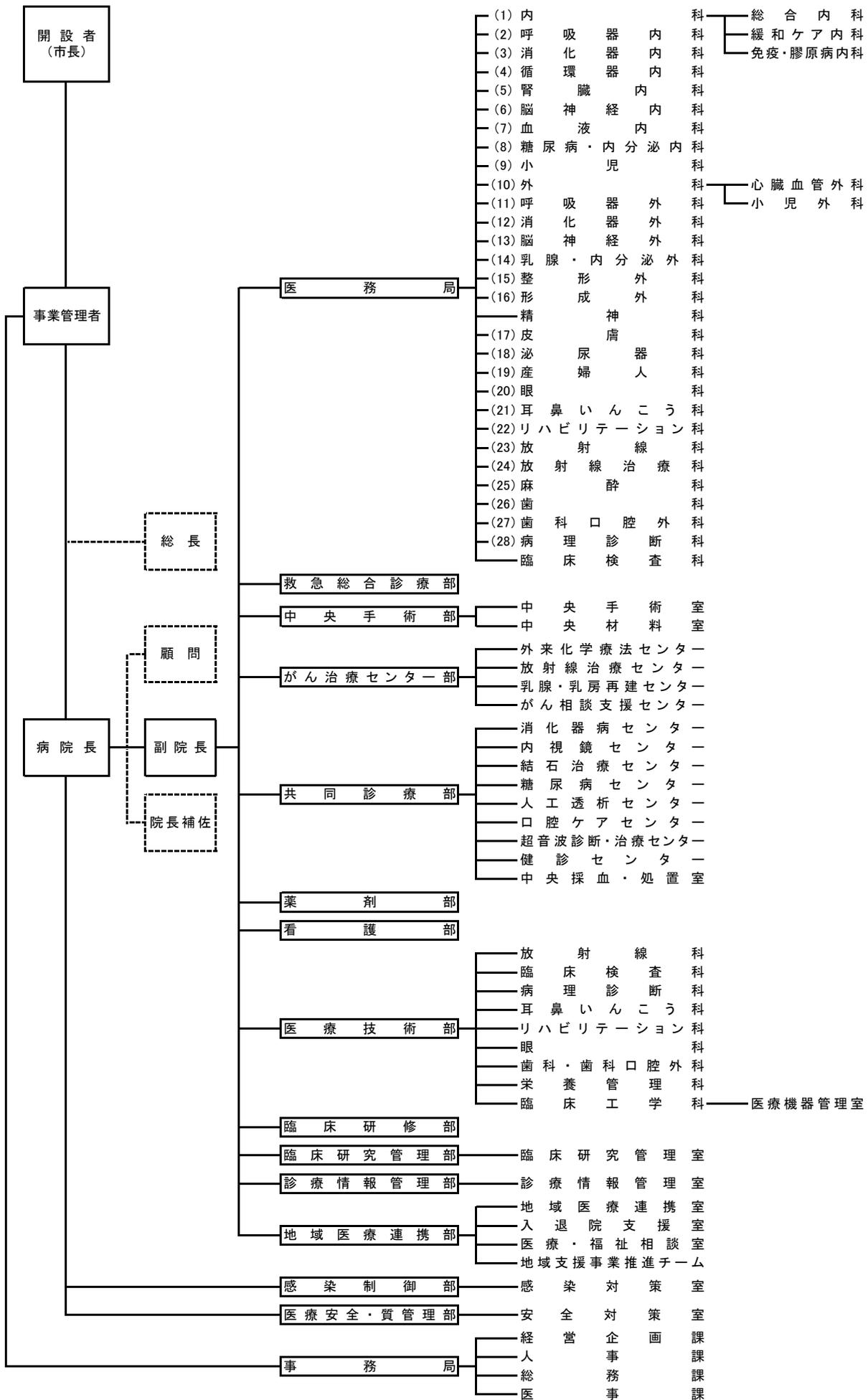
- (1) 所在地 池田市城南3丁目1番18号
- (2) 面積 敷地面積 18,113㎡ (うち増築用地2,400㎡)  
延床面積 39,005㎡ (うち東館10,522㎡、MRI棟118㎡)
- (3) 構造 本館：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階(一部2階) 地上5階(塔屋2階)  
東館：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上4階
- (4) 施設 診療科：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、  
(全28科) 血液内科、糖尿病・内分泌内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、  
脳神経外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、  
産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、  
放射線治療科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科  
病床数：364床 (一般7病棟)  
その他：手術室8室、分娩室1室、人工透析室等
- (5) 駐車場 地上自走式 52台、地下機械式 180台、地下自走式 48台 計 280台
- (6) 駐輪場 435台 (バイク置場含む)
- (7) 付属施設 院内学級(池田小学校の一学級)、リハビリ庭園、子どもの遊び場、バス停留所
- (8) 病院施設  
認定一覧
- ・ 地域医療支援病院
  - ・ 厚生労働省臨床研修指定病院 (医科・歯科)
  - ・ 大阪府がん診療拠点病院
  - ・ 日本医療機能評価機構認定病院 (一般病院2 [3rdG : Ver. 1.1])
  - ・ 卒後臨床研修評価機構認定病院
  - ・ 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
  - ・ 日本腎臓学会研修施設
  - ・ 日本透析医学会教育関連施設
  - ・ 日本糖尿病学会認定教育施設
  - ・ 日本内分泌学会認定教育施設
  - ・ 日本甲状腺学会認定専門医施設
  - ・ 日本呼吸器学会認定施設
  - ・ 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
  - ・ 日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設
  - ・ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
  - ・ 日本消化管学会胃腸科指導施設
  - ・ 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
  - ・ 日本肝臓学会認定施設
  - ・ 日本超音波医学会認定超音波専門医研修基幹施設
  - ・ 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
  - ・ 日本神経学会専門医制度認定准教育施設
  - ・ 日本認知症学会教育施設
  - ・ 日本臨床神経生理学会認定施設
  - ・ 日本小児科学会小児科専門医研修施設
  - ・ 日本外科学会外科専門医制度修練施設
  - ・ 日本乳癌学会認定施設
  - ・ 呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設
  - ・ 日本消化器外科学会専門医修練施設
  - ・ 日本大腸肛門病学会認定施設
  - ・ 日本食道学会食道癌全国登録認定施設
  - ・ 日本胆道学会認定指導医制度指導施設
  - ・ 日本整形外科学会専門医制度研修施設

病院施設  
認定一覧

- ・日本形成外科学会認定施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定インプラント実施施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設
- ・下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会認定実施施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本産婦人科学会専門研修連携施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）暫定認定施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本ペインクリニック学会指定研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設
- ・日本口腔ケア学会認定口腔ケアセンター
- ・日本病理学会研修登録施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設
- ・日本栄養療法推進協議会認定NST（栄養サポートチーム）稼働施設
- ・日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設
- ・日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- ・日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- ・日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設

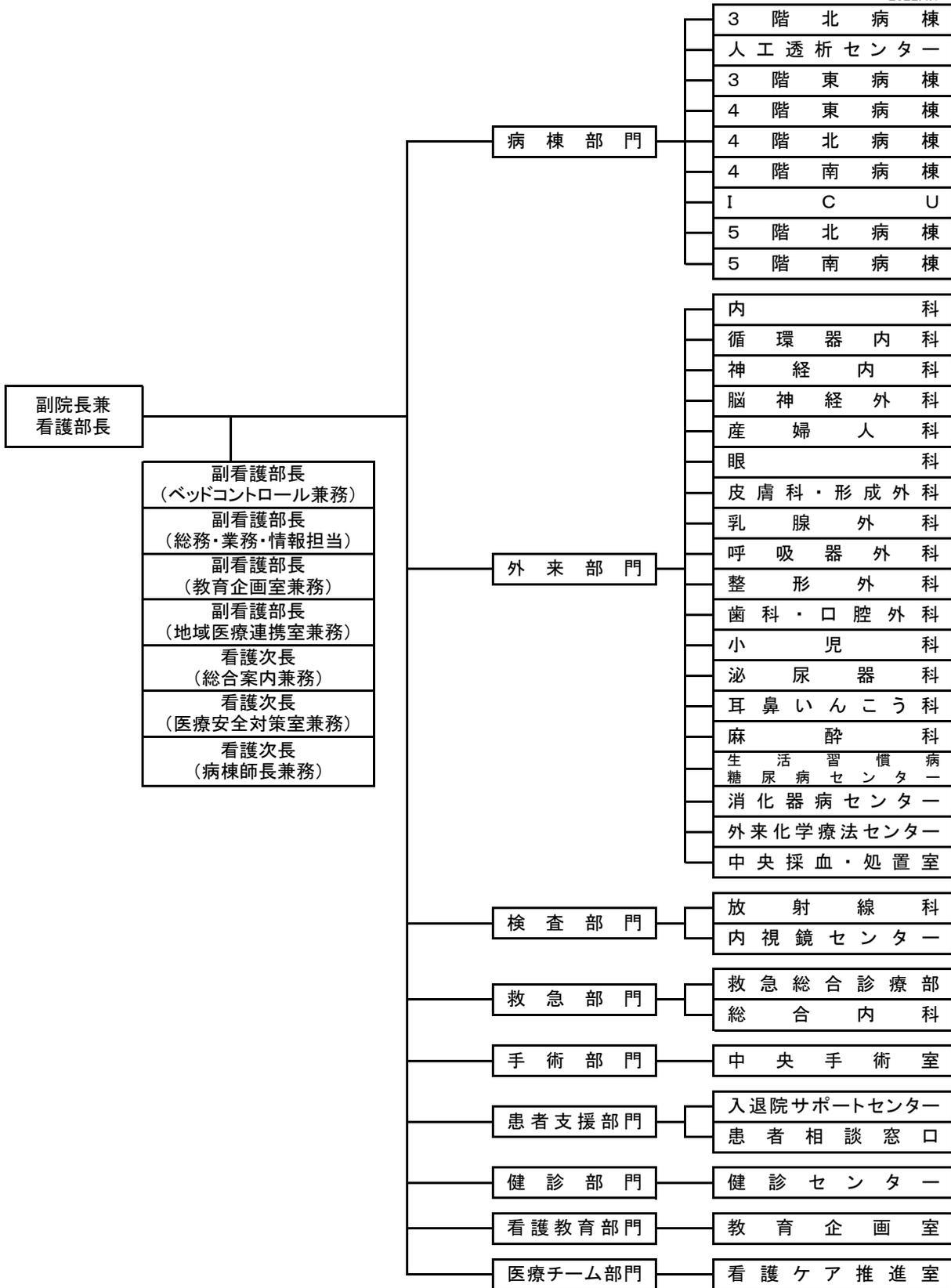
# ■ 病院組織機構

2023.4.1



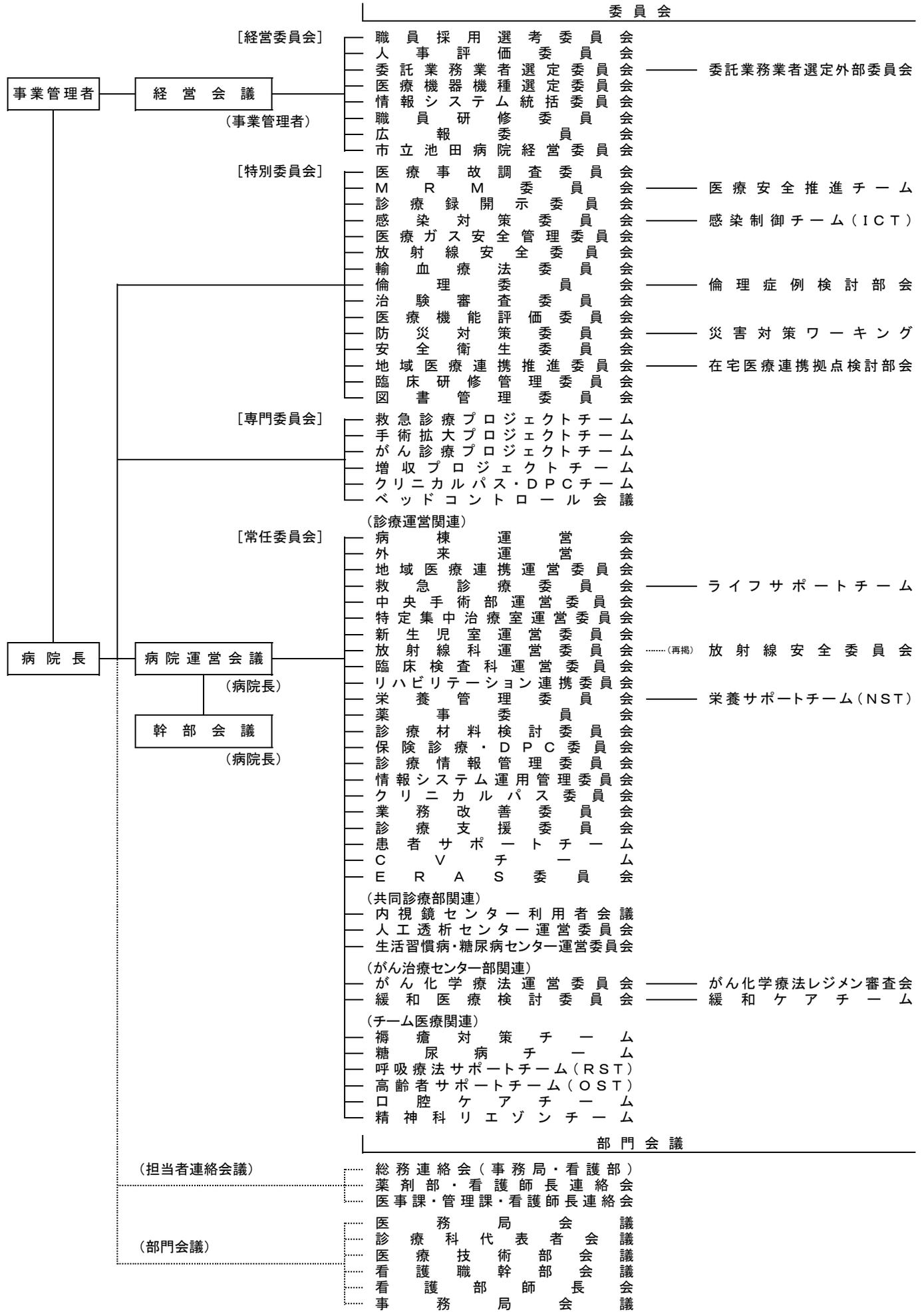
# 看護部組織図

2022.4.1



# 委員会組織図

2022.4.1



## ■ 看護部会議

本病院事業の充実を期し、看護業務の管理運営の円滑化を図るため、以下のとおり「看護部会議」を設置する。

2022.4.1

名 称	構 成 員	目 的 等	開 催
師 長 会	看護部長、副看護部長、 看護次長、看護師長	看護に関する研究に努め、看護業務の充実を図ると共に、看護職員の看護の質向上に対する支援を行い、師長相互の連携を密にして、看護部門内における意思決定と病院事業の円滑な運営に貢献する。	第4火曜日 15時
感 染 M M	看護部長、副看護部長、 看護次長、看護師長、主任看護師	感染管理認定看護師と看護部の各委員長が看護部と共に方針を決め、感染管理と感染対策を一丸となって取り組むための戦略を練る。	第2水曜日 15時
教 育 M M			第1火曜日 11時
業 務 M M			第1月曜日 11時
記 録 M M			第2木曜日 11時
教 育 委 員 会	看護師長、主任看護師	看護職員全員を対象とした継続教育について企画・実施し、専門職として資質の向上を図る。	第3火曜日 14時
業 務 委 員 会	看護師長、主任看護師	効果的な看護業務の遂行のため業務の改善・検討・調整を図る。	第3木曜日 14時
記 録 委 員 会	看護師長、主任看護師	看護の専門性と独自性を発揮し、より質の高い看護をめざして、看護記録の充実と推進を図る。	第3月曜日 14時
地 域 生 活 支 援 委 員 会	副看護部長、看護師長、 主任看護師	退院調整が有効かつ円滑に行われるよう、リンクナースの情報共有・検討・知識の向上を図る。	第2金曜日 14時
M R M 主 任 会	看護次長、看護師長、主任看護師	医療安全に関する情報共有と共に現場の安全管理について検討し、知識の向上を図る。	第4水曜日 16時
専 門 ・ 認 定 看 護 師 会	専門看護師、認定看護師	看護部の理念に基づき、看護ケアの質向上を目的とした専門的看護活動、院内教育などを看護部と協働して行う。	第1金曜日 16時
薬 剤 部 ・ 師 長 連 絡 会	薬剤部長、薬剤師、 副看護部長、看護師長、 副看護師長	薬剤部と病棟・外来との連携を密にし、業務がスムーズに行うことが出来るよう調整する。	第3金曜日 15時
医 療 管 理 課 ・ 管 理 課 ・ 師 長 連 絡 会	医療管理課長、管理課長、 副看護部長、看護次長、 看護師長、副看護師長	医療管理課と病棟・外来との連携を密にし、業務がスムーズに行うことが出来るよう調整する。	第3水曜日 15時
医 療 管 理 課 ・ 総 務 課 ・ 看 護 部 会 連 絡	事務局次長、医療管理課長、 総務課人事担当者、 看護部長、副看護部長	看護部の適切な人事管理を行うための情報共有、及び人材確保のための戦略について検討する。	第3水曜日 11時



## ■ 病院職員

2022. 4. 1

年 度	事業管理者	総 長	病 院 長	看 護 部 長	事 務 局 長
昭和26年	—	—	築 山 義 雄	—	小 山 茂
27年	—	—	〃	森 脇 榮	豊 島 善 五 郎
28年	—	—	〃	〃	〃
29年	—	—	〃	〃	〃
30年	—	—	〃	〃	〃
昭和31年	—	—	〃	〃	〃
32年	—	—	〃	〃	〃
33年	—	—	〃	〃	〃
34年	—	—	〃	〃	〃
35年	—	—	〃	〃	〃
昭和36年	—	—	〃	〃	〃
37年	—	—	〃	〃	〃
38年	—	—	〃	〃	〃
39年	—	—	〃	〃	〃
40年	—	—	〃	〃	〃
昭和41年	—	—	〃	〃	〃
42年	—	—	〃	〃	上 羽 秀 一
43年	—	—	〃	〃	〃
44年	—	—	〃	〃	〃
45年	—	—	〃	〃	〃
昭和46年	—	—	〃	〃	〃
47年	—	—	〃	〃	〃
48年	—	—	〃	〃	〃
49年	—	—	〃	〃	〃
50年	—	—	久 保 田 義 弘	〃	田 中 久 人
昭和51年	—	—	〃	〃	〃
52年	—	—	〃	〃	〃
53年	—	—	〃	〃	〃
54年	—	—	〃	北 川 貞 子	〃
55年	—	—	〃	〃	〃
昭和56年	—	—	〃	〃	〃
57年	—	—	〃	〃	〃
58年	—	—	中 山 賢	〃	〃
59年	—	—	〃	〃	〃
60年	—	—	〃	〃	〃

年 度	事業管理者	総 長	病 院 長	看 護 部 長	事 務 局 長
昭和61年	—	—	中 山 賢	北 川 貞 子	中 本 峰 孝
62年	—	—	〃	〃	〃
63年	—	—	〃	〃	〃
平成 元年	—	—	〃	〃	〃
2年	—	—	〃	〃	〃
平成 3年	—	—	〃	山 本 導 子	西 口 貞 徳
4年	—	—	〃	〃	〃
5年	—	—	〃	〃	〃
6年	—	—	米 沢 毅	〃	〃
7年	—	—	〃	〃	〃
平成 8年	—	—	〃	島 末 喜 美 子	〃
9年	—	—	〃	〃	〃
10年	—	—	〃	〃	美 濃 岡 成
11年	—	—	〃	〃	〃
12年	—	—	〃	〃	〃
平成13年	—	—	〃	〃	〃
14年	—	—	〃	〃	福 井 英 治
15年	—	米 沢 毅	黒 川 正 典	〃	〃
16年	—	〃	〃	〃	〃
17年	—	—	〃	〃	〃
平成18年	生 島 義 輝	—	〃	〃	太 田 憲 吾
19年	〃	—	〃	大 塚 尊 子	〃
20年	〃	—	〃	〃	乾 谷 晃
21年	〃	—	〃	〃	〃
22年	〃	—	〃	〃	〃
平成23年	〃	黒 川 正 典	小 林 哲 郎	〃	〃
24年	〃	〃	〃	〃	杉 本 義 彦
25年	〃	〃	今 井 康 陽	〃	〃
26年	〃	〃	〃	〃	〃
27年	〃	篠 村 恭 久	〃	〃	石 田 勝 重
平成28年	石 田 勝 重	〃	〃	林 由 美	福 田 哲 郎
29年	〃	〃	〃	〃	〃
30年	〃	今 井 康 陽	柴 田 邦 隆	〃	〃
令和元年	〃	〃	〃	〃	東 勇 輔
2年	福 島 公 明	〃	〃	〃	〃

年 度	事業管理者	総 長	病 院 長	看 護 部 長	事 務 局 長
令和3年	福 島 公 明	今 井 康 陽	尾 下 正 秀	林 由 美	衛 門 昭 彦
4年	〃	—	〃	〃	〃

病院事業管理者	福島公明	(平成18年4月1日設置)
---------	------	---------------

病院長	尾下正秀	(消化器内科) 兼診療情報管理部長、地域医療連携部長
副院長	太田博文	(消化器外科) 兼がん治療センター部長、臨床研究管理部長、 医療安全・質管理部長、がん相談支援センター長、 消化器病センター長
副院長	尾崎由和	(小児科) 兼小児科主任部長、感染制御部長
副院長	森山康弘	(血液内科) 兼共同診療部長、中央採血・処置室長
副院長	林由美	兼看護部長
顧問	湯川真生	(外科) 兼乳腺・乳房再建センター長
顧問	墨哲郎	(歯科・歯科口腔外科)

【医務局】

診療科	職名	氏名	備考
	医務局長	井上均	兼泌尿器科主任部長、結石治療センター長
内科	副部長	村上慎一郎	兼救急総合診療部副部長
	医長	中尾真一郎	
	主任医員	三砂雅裕	
	”	影山美沙紀	
	”	吉川麻以	
	医員	青木大	
呼吸器内科	部長	大谷安司	
	副部長	田幡江利子	
	主任医員	清水裕平	
	”	米田翠	
消化器内科	主任部長	荻山秀治	兼内視鏡センター長
	部長	澤井良之	
	副部長	小来田幸世	
	”	山口典高	
	医長	村田淳	
	主任医員	島越洋美	
	”	鬘瑛子	
医員	福嶌裕子		

(常勤嘱託医を含む。ただし、専攻医・研修医を除く。)

【医務局】

診療科	職名	氏名	備考
循環器内科	主任部長	永井 邦彦	
	部長	北川 元昭	
	副部長	二宮 智紀	
	副医長	古川 哲生	
	主任医員	井手本 明子 田中 啓介	
腎臓内科	部長	山本 聡子	兼人工透析センター長
	部長	西村 賢二	
	主任医員	藁田 明希	
脳神経内科	主任部長	那波 一郎	兼脳神経外科主任部長、健診センター長
	部長	上原 拓也	
	主任医員	別府 祥平	
血液内科	部長	片岡 良久	
	副部長	大塚 正恭	
	副部長	柴田 大	
糖尿病・内分泌内科	部長	岡田 拓也	兼臨床研修部長、生活習慣病・糖尿病センター長
	副部長	井上 佳菜	
	副部長	藤田 真吾	
小児科	主任部長	尾崎 由和	副院長
	副部長	新谷 研	
	副部長	上野 圭司	
	副部長	辻 真之介	
外科	主任部長	安座間 隆	乳腺・内分泌外科主任部長
呼吸器外科	部長	須崎 剛行	
消化器外科	主任部長	高地 耕樹	兼中央手術部長
	部長	濱 直樹	
	副部長	瀧内 大輔	
	副部長	宗方 幸二	
	副部長	和田 範子 松浦 雄祐	
脳神経外科	主任部長	那波 一郎	脳神経内科主任部長
乳腺・内分泌外科	主任部長	安座間 隆	兼外科主任部長、外来化学療法センター長
整形外科	主任部長	若林 元子	
	副部長	今井 優子	
	副部長	三輪 俊格	
	主任医員	石田 和夫 秦 絵莉子	
形成外科	部長	藤田 和敏	
	主任医員	常田 沙紀	
精神科	部長	中島 陽	

(常勤嘱託医を含む。ただし、専攻医・研修医を除く。)

【医務局】

診療科	職名	氏名	備考
皮膚科	部長	近藤 由佳理	
	医員	東 典子	
泌尿器科	主任部長	井上 均	兼医務局長
	医員	金城 孝則	
	主任医員	大島 純平	
	医員	金城 友紘	
	医員	山本 哲也	
産婦人科	主任部長	竹原 幹雄	
	副部長	芦原 敬允	
	主任医員	向井 ゆかり	
	医員	井淵 誠吾	
眼科	部長	中尾 武史	
	医員	小島 啓尚	
	医員	宮岡 怜美	
耳鼻いんこう科	主任部長	大崎 康宏	
	医員	中川 あや	
	医員	嶋田 琢磨	
リハビリテーション科	部長	宮本 直人	
	医員	橋本 拓	
放射線科・放射線治療科	主任部長	高村 学	兼放射線治療センター長
	部長	藤田 典彦	
	医員	立川 琴羽	
麻酔科	主任部長	植松 弘進	
	部長	森 梓	
	副部長	中田 由梨子	
	副部長	別府 曜子	
	副部長	神崎 由莉	
	副部長	神崎 亮	
	副部長	永井 美和子	
	副部長	橘 陽介	
	副部長	村田 久仁子	
歯科・歯科口腔外科	主任部長	西村 祐希	兼口腔ケアセンター長
	部長	藤田 三千恵	
	医員	雨河 茂樹	
臨床検査科	主任部長	小川 芙美	副院長
	部長	須澤 佳香	
	部長	森山 康弘	
病理診断科	部長	大橋 寛嗣	

(常勤嘱託医を含む。ただし、専攻医・研修医を除く。)

【救急総合診療部】

診療科	職名	氏名	備考
	主任部長	伊藤基敏	内科副部長
	副部長	村上慎一郎	
	看護師長	藤久保絢子	
	主任看護師	小屋幸子	
	〃	黒田良江	

【中央手術部】

診療科	職名	氏名	備考
	部長	高地耕	消化器外科主任部長
中央手術室	室長	松本登美江	看護次長
中央材料室	室長	松本登美江	兼務

【がん治療センター部】

診療科	職名	氏名	備考
	部長	太田博文	副院長
外来化学療法センター	センター長	安座間隆	乳腺・内分泌外科主任部長
放射線治療センター	〃	高村学	放射線科主任部長
乳腺・乳房再建センター	〃	湯川真生	顧問
がん相談支援センター	〃	太田博文	兼務

【共同診療部】

診療科	職名	氏名	備考
	部長	森山康弘	副院長
消化器病センター	センター長	太田博文	副院長
内視鏡センター	〃	荻山秀治	消化器内科主任部長
結石治療センター	〃	井上均	医務局長
生活習慣病・糖尿病センター	〃	岡田拓也	糖尿病・内分泌内科部長
人工透析センター	〃	山本聡子	腎臓内科部長
口腔ケアセンター	〃	雨河茂樹	歯科・歯科口腔外科部長
超音波診断・治療センター	〃	関康	医療技術部長
健診センター	〃	那波一郎	脳神経内科主任部長
中央採血・処置室	室長	森山康弘	副院長

【医療技術部】

診療科	職名	氏名	備考
	医療技術部長	関 康	兼放射線科技師長
放射線科	技師長	関 康	医療技術部長
	技師次長	木下 亨	
	〃	幸村 吉博	
	〃	一樋 政宏	
	主任診療放射線技師	伊藤 栄一	
	〃	磯谷 圭介	
	〃	比嘉 ありさ	
臨床検査科	技師長	越知 博之	
	技師次長	堀場 裕輝	
	主任臨床検査技師	関口 桃子	
	〃	山本 毅	
	〃	兒谷 香里	
	〃	藤堂 奈穂	
病理診断科	技師長	向井 英代	
	技師次長	河合 賢	
リハビリテーション科	技師長	松山 博文	
	技師次長	柳沢 崇	
	〃	横山 由梨子	
	〃	面田 真也	
	主任理学療法士	丹羽 徹	
	〃	川南 香代子	
	主任言語聴覚士	安藤 敏夫	
眼科	技師長	宮崎 伸子	
	主任視能訓練士	福井 里奈	
歯科・歯科口腔外科	技師長	嶋本 政嗣	
	主任歯科衛生士	山田 みつ美	
栄養管理科	技師長	今西 成雄	
臨床工学科	技師長	杉山 隆志	
	主任臨床工学技士	穴井 恵理	

【薬剤部】

職 名	氏 名	備 考
薬 剤 部 長	下 村 一 徳	
副 薬 剤 部 長	瀬 名 波 宏 昌	
薬 剤 次 長	村 山 洋 子	
主 任 薬 剤 師	中 西 晶 子	
〃	岩 本 千 晶	
〃	大 河 万 頭	

【看護部】

職 名	氏 名	備 考
副院長兼看護部長	林 由 美	
副 看 護 部 長	渡 辺 か つ 子	
〃	武 田 礼 子	
〃	松 本 保 子	
〃	小 田 倫 子	地域医療連携室長
看 護 次 長	和 田 和 美	医療安全・質管理部
〃	松 本 登 美 江	中央手術室
〃	鬼 追 美 也 子	3階北病棟
看 護 師 長	安 部 圭 子	地域医療連携室
〃	難 波 さ お り	〃
〃	藤 久 保 絢 子	救急総合診療部
〃	竹 原 陽 子	放射線科・内視鏡センター
〃	小 原 順 子	看護ケア推進室
〃	満 田 昌 代	4階北病棟
〃	河 野 恵 美	5階北病棟
〃	岸 谷 征 子	3階東病棟
〃	小 谷 朱 根	外来診療
〃	横 山 朋 之	看護部
〃	宮 下 亜 希	5階南病棟
〃	小 林 身 和 子	4階東病棟
〃	山 中 美 穂	4階南病棟
副 看 護 師 長	高 橋 典 子	4階南病棟
〃	岩 垣 奈 津 子	4階東病棟
〃	岩 原 直 子	5階北病棟

職 名	氏 名	備 考
主任助産師	佐々木 幸江	3階北病棟
主任看護師	柴山 敬子	地域医療連携室
〃	小屋 幸子	救急総合診療部
〃	黒田 良江	〃
〃	越智 貴子	中央手術室
〃	塩見 弘子	〃
〃	高雲 奈津美	〃
〃	中野 絢香	〃
〃	脇山 かほる	外来診療
〃	矢野 民子	〃
〃	池田 真澄	〃
〃	池本 佐也加	〃
〃	田上 育子	放射線科・内視鏡センター
〃	地道 敏美	〃
〃	生地 あゆみ	感染対策室
〃	林 紫	〃
〃	音地 真理	入退院サポートセンター
〃	岩崎 真由美	3階北病棟
〃	三井 八千代	〃
〃	新川 由里	〃
〃	西 淳子	3階東病棟
〃	入野 日奈子	4階北病棟
〃	越智 佳織	〃
〃	吉澤 里美	4階南病棟
〃	近藤 由利	〃
〃	津之浦 由記	4階東病棟
〃	前多 初美	〃
〃	上久保 まゆ	5階北病棟
〃	山崎 めぐみ	〃
〃	横山 奈緒子	5階南病棟
〃	三竹 よう子	〃

#### 【臨床研修部】

職 名	氏 名	備 考
部長	岡田 拓也	糖尿病・内分泌内科部長

#### 【臨床研究管理部】

職 名	氏 名	備 考
部長	太田 博文	副院長
臨床研究管理室長	入潮 佳子	副薬剤部長

【診療情報管理部】

職 名	氏 名	備 考
部 長	尾 下 正 秀	病院長
診療情報管理室長	道 上 敏 之	技師長

【地域医療連携部】

職 名	氏 名	備 考
部 長	尾 下 正 秀	病院長
地域医療連携室長	小 田 倫 子	副看護部長
看 護 師 長	安 部 圭 子	
”	難 波 さおり	
技 師 次 長	林 浩 美	地域医療連携室
主任医療ソーシャルワーカー	岸 茜	”

【感染制御部】

職 名	氏 名	備 考
部 長	尾 崎 由 和	副院長
主 任 看 護 師	生 地 あゆみ	
”	林 紫	

【医療安全・質管理部】

職 名	氏 名	備 考
部 長	太 田 博 文	副院長
安 全 対 策 室 長	和 田 和 美	看護次長

【事務局】

職 名	氏 名	備 考
事 務 局 長	衛 門 昭 彦	
事 務 局 次 長	斎 藤 芳 朗	
事 務 局 付 課 長	上 西 正 行	
総務・人事課長	田 邊 義 文	
管 理 課 長	中 原 純 義	
副 主 幹	岩 切 亮 太	
医 事 課 長	布 施 芳 文	
主 幹	青 木 真 名 美	
主任診療情報管理士	高 見 雅 子	
経 営 企 画 課 長	山 本 朗 央	
主 幹	梶 本 幸 彦	
”	跡 部 香 織	

## ■ 病院の財政状況

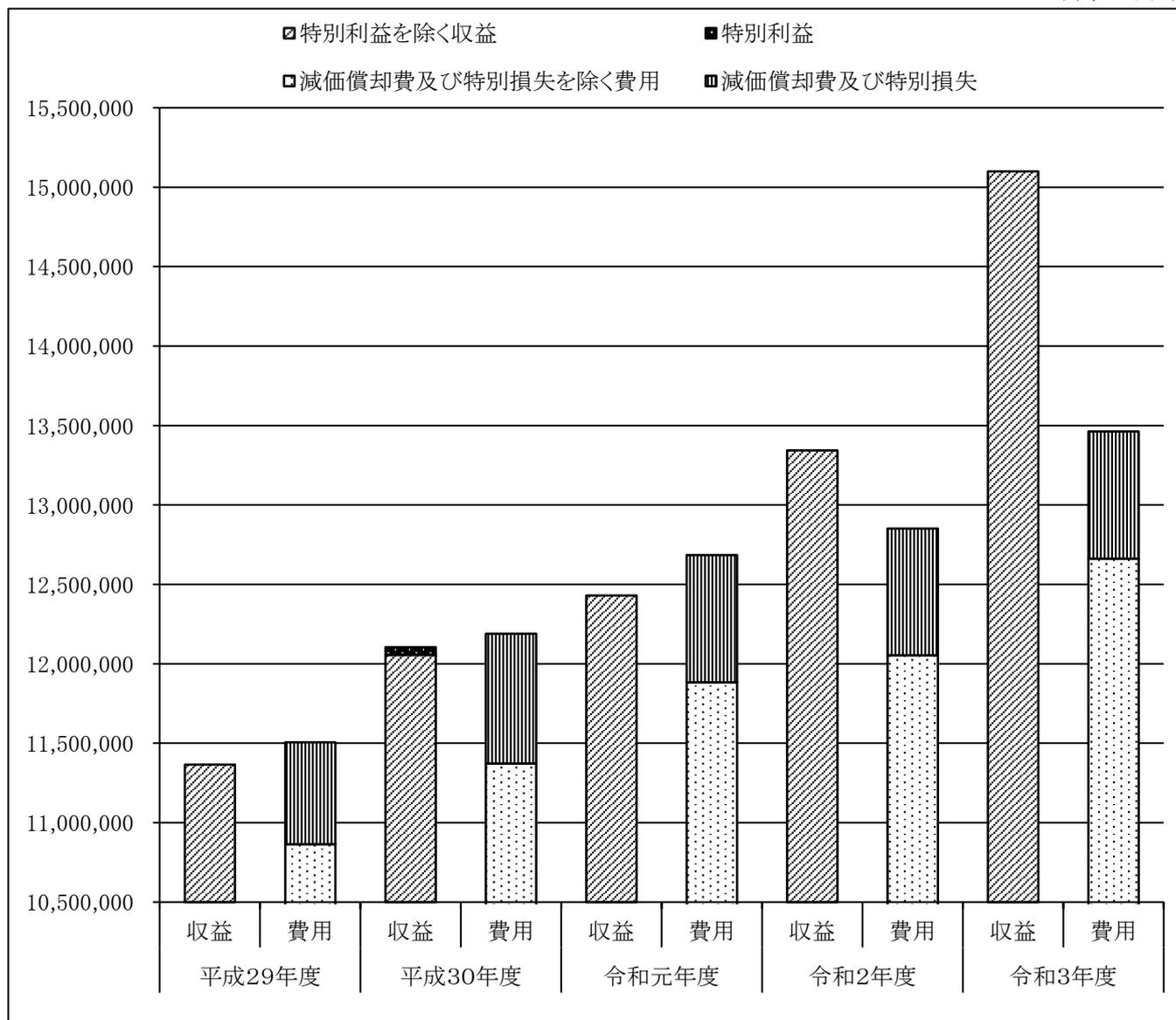
### 1. 年度別損益計算書

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収 益 の 部	医 業 収 益	11,068,885,587	11,642,621,726	12,153,668,415	11,972,566,696	12,436,401,253
	入 院 収 益	6,975,649,005	7,387,430,024	7,759,707,516	7,473,893,402	7,726,650,697
	外 来 収 益	3,525,577,775	3,662,001,708	3,917,605,680	4,127,804,259	4,376,415,231
	その他医業収益	567,658,807	593,189,994	476,355,219	370,869,035	333,335,325
	医 業 外 収 益	296,786,171	413,009,696	276,053,648	1,370,727,872	2,662,926,538
	受 取 利 息	11,677	13,329	16,603	17,792	24,719
	負 担 金 ・ 補 助 金	175,388,000	283,477,000	150,521,600	1,252,831,600	2,520,882,000
	長 期 前 受 金 戻 入	8,735,476	6,819,389	9,139,300	10,730,498	24,571,829
	その他医業外収益	112,651,018	122,699,978	116,376,145	107,147,982	117,447,990
	特 別 利 益	—	50,000,000	—	—	—
	その他特別利益	—	50,000,000	—	—	—
	合 計	11,365,671,758	12,105,631,422	12,429,722,063	13,343,294,568	15,099,327,791
	費 用 の 部	医 業 費 用	10,827,826,660	11,509,546,096	12,012,035,667	12,150,089,902
給 与 費		5,590,366,146	5,850,919,343	5,929,666,374	6,063,123,123	6,395,953,729
材 料 費		2,963,887,418	3,076,722,066	3,284,004,229	3,397,747,099	3,620,119,876
経 費		1,577,358,842	1,752,033,705	1,927,040,341	1,859,992,925	1,853,200,435
減 価 償 却 費		641,797,561	768,167,789	801,839,659	797,189,399	801,466,443
資 産 減 耗 費		9,895,634	22,379,962	30,301,864	3,228,870	16,803,756
研 究 研 修 費		44,521,059	39,323,231	39,183,200	28,808,486	33,648,994
医 業 外 費 用		678,177,230	630,513,844	672,637,507	700,811,025	741,614,989
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費		241,226,262	219,497,058	197,118,666	173,124,534	148,397,396
消 費 税 雑 損 失		436,950,968	411,016,786	475,518,841	527,686,491	593,217,593
特 別 損 失		—	50,000,000	5,000	—	—
過 年 度 損 益 修 正 損		—	—	5,000	—	—
その他特別損失		—	50,000,000	—	—	—
合 計	11,506,003,890	12,190,059,940	12,684,678,174	12,850,900,927	13,462,808,222	
当 年 度 純 損 (△) 益		△ 140,332,132	△ 84,428,518	△ 254,956,111	492,393,641	1,636,519,569

## 2. 病院事業収益・費用の推移

(単位:千円)



	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
病院事業収益 ①	11,365,672	12,105,631	12,429,722	13,343,295	15,099,328
特別利益	—	50,000	—	—	—
特別利益を除く収益 ②	11,365,672	12,055,631	12,429,722	13,343,295	15,099,328
病院事業費用 ③	11,506,004	12,190,060	12,684,678	12,850,901	13,462,808
減価償却費	641,798	768,168	801,840	797,189	801,466
特別損失	—	50,000	5	—	—
減価償却費及び特別損失を除く費用 ④	10,864,206	11,371,892	11,882,833	12,053,712	12,661,342
当年度純損(△)益 ①-③	△ 140,332	△ 84,429	△ 254,956	492,394	1,636,520
減価償却費を除く経常損(△)益 ②-④	501,466	683,739	546,889	1,289,583	2,437,986

### 3. 年度別貸借対照表

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産	固定資産	14,850,969,808	14,547,080,093	13,962,319,087	13,338,234,318	13,149,831,019
	土地	6,145,361,079	6,145,361,079	6,145,361,079	6,145,361,079	6,145,361,079
	建物	6,373,814,321	6,139,106,270	5,771,963,226	5,422,263,182	5,452,135,143
	構築物	19,765,302	14,590,302	9,415,303	7,057,653	4,700,005
	器械及び備品	2,150,506,383	2,040,728,055	1,832,675,428	1,568,081,089	1,371,904,411
	車両	931,992	679,656	427,320	174,984	84,450
	リース資産	135,212,000	180,636,000	178,298,000	164,207,600	150,117,200
	建設仮勘定	—	—	—	8,110,000	4,350,000
	電話加入権	2,243,189	2,243,189	2,243,189	2,243,189	2,243,189
	その他無形固定資産	18,935,542	18,935,542	18,935,542	18,935,542	18,935,542
	修学資金貸付金	4,200,000	4,800,000	3,000,000	1,800,000	0
	流動資産	2,592,360,280	2,383,377,214	2,503,697,322	3,363,796,003	5,229,989,421
	現金預金	584,533,952	405,952,116	511,333,176	890,082,594	2,436,092,874
	未収金	1,968,034,998	1,939,414,155	1,955,091,911	2,436,293,988	2,755,344,203
	貯蔵品	39,791,330	38,010,943	37,272,235	37,419,421	38,552,344
資産合計	17,443,330,088	16,930,457,307	16,466,016,409	16,702,030,321	18,379,820,440	
負債	固定負債	10,803,900,228	10,068,923,379	9,084,642,125	7,830,779,290	6,850,525,470
	企業債	9,157,713,533	8,329,418,048	7,248,609,399	6,024,767,807	5,208,159,523
	リース債務	126,152,914	164,082,214	153,437,464	131,503,216	109,196,947
	退職給付引当金	1,520,033,781	1,575,423,117	1,682,595,262	1,674,508,267	1,533,169,000
	流動負債	3,573,319,902	3,242,001,877	3,265,034,244	3,390,969,448	3,499,468,382
	一時借入金	0	0	0	0	0
	企業債	1,029,756,130	1,261,295,485	1,320,108,649	1,308,641,592	1,308,641,592
	リース債務	14,306,551	20,091,655	21,569,011	21,934,248	22,306,269
	未払金	2,185,292,259	1,590,786,999	1,520,001,318	1,699,286,651	1,718,624,050
	引当金	291,575,000	312,549,000	342,222,000	294,568,000	375,234,000
	預り金	52,389,962	57,278,738	61,133,266	66,538,957	74,662,471
	繰延収益	134,844,137	131,136,748	121,782,848	198,897,750	282,059,186
	長期前受金	209,676,557	211,486,557	211,271,957	299,014,357	406,747,622
	収益化累計額	△ 74,832,420	△ 80,349,809	△ 89,489,109	△ 100,116,607	△ 124,688,436
負債合計	14,512,064,267	13,442,062,004	12,471,459,217	11,420,646,488	10,632,053,038	
資本	資本金	20,741,469,196	21,383,027,196	22,144,145,196	22,938,578,196	23,768,442,196
	自己資本金	20,741,469,196	21,383,027,196	22,144,145,196	22,938,578,196	23,768,442,196
	剰余金	△ 17,810,203,375	△ 17,894,631,893	△ 18,149,588,004	△ 17,657,194,363	△ 16,020,674,794
	資本剰余金	11,380,000	11,380,000	11,380,000	11,380,000	11,380,000
	欠損金	17,821,583,375	17,906,011,893	18,160,968,004	17,668,574,363	16,032,054,794
	繰越欠損金年度末残高	17,681,251,243	17,821,583,375	17,906,011,893	18,160,968,004	17,668,574,363
	当年度純損(△)益	△ 140,332,132	△ 84,428,518	△ 254,956,111	492,393,641	1,636,519,569
	資本合計	2,931,265,821	3,488,395,303	3,994,557,192	5,281,383,833	7,747,767,402
負債・資本合計	17,443,330,088	16,930,457,307	16,466,016,409	16,702,030,321	18,379,820,440	
内部留保資金	354,678,059	402,670,822	558,771,727	1,281,468,147	3,039,162,631	

#### 4. 固定資産増加状況（医療器械・備品他）

##### ① 建 物（建物附帯設備）

（単位：円）

	項 目	取 得 年月日	取 得 金 額	取 得 先	備 考
1	ガス吸引式冷温水機	R4.3.31	170,043,350	(建設仮勘定から振替)	
2	自動火災報知設備	R4.3.31	91,634,600	(建設仮勘定から振替)	
3	中央監視設備	R4.3.31	90,094,050	(建設仮勘定から振替)	
4	放射線科系統他空調機器	R4.3.31	27,800,000	ダイキンエアテクノ(株)	
	合 計		379,572,000		

##### ② 医 療 器 械

（単位：円）

	品 名	規 格 等	所 属	取 得 年月日	数 量	取 得 金 額	取 得 先
1	血管内圧測定システム	アボットメディカルジャパン QUANTIEN C12787	循環器内科	R3.5.25	1	190,000	(株)エムアイディ
2	昇降式平行棒	オージー技研(株) GH-2640、GH-2650	リハビリテー ション科	R3.5.26	2	701,800	(株)やよい
3	自動体外式除細動器	日本光電工業(株) AED-3100	医療機器管理室	R3.6.10	7	1,410,000	石黒メディカル システム(株)
4	超音波手術システム (ソノサージカーブシザーズ Φ5mm×19cm)	オリンパスメディカルシステムズ(株) T3925	中央手術部	R3.6.25	1	170,000	(株)MMコーポレーション
5	マスクフィッティング テスター	柴田科学(株) MT-05U	感染制御部	R3.6.30	1	※1 839,000	(株)MMコーポレーション
6	ビデオ喉頭鏡	コヴィディエンジャパン(株) 301-000-000	救急総合診療部	R3.7.8	1	168,000	(株)MMコーポレーション
7	コンピュータ断層撮影 装置 一式	シーメンスヘルスケア(株) SOMATOM go.Top	放射線科	R3.8.20	1	※2 59,900,000	(株)三笑堂
8	汎用超音波画像診断装置 一式	(株)メディコン SITERITE8 (9770554)	消化器外科	R3.8.31	1	2,170,000	(株)MMコーポレーション
9	高周波手術装置 一式	(株)アムコ VIO50C	形成外科	R3.8.31	1	398,000	(株)三笑堂
10	人工呼吸器 一式	コヴィディエンジャパン(株) Puritan Bennet 980	医療機器管理室	R3.9.10	1	※3 4,490,000	(株)やよい
11	医療用冷蔵庫 一式	PHC(株) MDF-U443-PJ、MBR-506T4-PJ	臨床検査科	R3.9.17	2	1,440,000	(株)メディセオ
12	自動遺伝子解析装置 一式	ベックマン・コールター(株) GeneXpert GX-IV	臨床検査科	R3.9.22	1	※4 8,310,000	(株)メディセオ
13	ガーゼ付着量測定装置	泉工医科工業(株) OBM-21 α V	中央手術部	R3.9.22	1	700,000	(株)MMコーポレーション
14	生体情報モニタ 一式	日本光電工業(株) PVM-4763、CNS-6101	臨床工学科	R3.9.27	1	※5 15,830,000	(株)MMコーポレーション
15	電動油圧手術台 一式	ミズホ(株) MOT-5602BW	中央手術部	R3.9.29	2	7,420,000	(株)MMコーポレーション
16	タブレット型超音波画像 診断装置	(株)フィリップス・ジャパン Lumify	循環器内科	R3.9.29	1	※6 1,800,000	(株)ウイン・インター ナショナル

(単位:円)

	品名	規格等	所属	取得年月日	数量	取得金額	取得先
17	内視鏡下テンポラリークリップリムーバー	ビー・ブラウンエースクラップ(株) PL531R	中央手術部	R3.10.14	1	175,000	(株)やよい
18	ガーゼ付着量測定装置	泉工医科工業(株) OBM-21 αV	中央手術部	R3.10.29	3	1,950,000	(株)MMコーポレーション
19	システム乾燥器	三浦工業(株) RL-500	中央手術部	R3.10.29	1	2,619,000	辻本メディカル(株)
20	ワイヤレス超音波画像診断装置	富士フイルム(株) iViz air	放射線科	R3.11.10	1	870,000	石黒メディカルシステム(株)
21	X線移動型診断装置一式	GEヘルスケア・ジャパン(株) OEC Elite MiniView	整形外科	R3.11.17	1	10,450,000	村中医療器(株)
22	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス(株) TJF-Q290V	消化器内科	R3.12.10	1	3,055,000	オリンパスマーケティング(株)
23	安全キャビネット	(株)エスコ AC2-2J7	臨床検査科	R3.12.13	1	※7 990,000	石黒メディカルシステム(株)
24	分娩監視装置	トーマツ(株) MT-610	産婦人科	R3.12.17	1	1,250,000	(株)やよい
25	長時間心電図解析装置一式	日本光電工業(株) DSC-5500 他	臨床検査科	R3.12.24	1	4,650,000	(株)エムアイディ
26	ウォッシュャーディスプレイインフェクター 一式	ゲティンゲグループ・ジャパン(株) S-86682001	中央手術部	R3.12.29	1	8,500,000	(株)MMコーポレーション
27	腎盂尿管ビデオスコープ	オリンパス(株) UBF-V3	泌尿器科	R3.12.31	1	2,919,000	宮野医療器(株)
28	手術支援ロボット専用滅菌トレー 一式	(株)エムイーテクニカ IN-8936、IN8939	中央手術部	R4.1.14	2	790,000	(株)MMコーポレーション
29	システム生物顕微鏡	オリンパス(株) BX53LED-33	臨床検査科	R4.1.18	1	800,000	宮野医療器(株)
30	システム生物顕微鏡	オリンパス(株) BX43-12	皮膚科	R4.1.18	1	517,000	宮野医療器(株)
31	エアシールインテリジェントフローシステム 一式	コンメッド・ジャパン(株) AS-iFS1	中央手術部	R4.1.20	1	3,184,000	(株)三笑堂
32	移動型外科用X線撮影装置 一式	(株)フィリップス・ジャパン BV Vectra	中央手術部	R4.1.24	1	4,960,000	宮野医療器(株)
33	血液凝固計	平和物産(株) ELITEINT	人工透析センター	R4.1.26	1	900,000	(株)エムアイディ
34	ヒステロビデオスコープ	オリンパス(株) HYF-V	産婦人科	R4.1.26	1	2,040,000	宮野医療器(株)
35	小型包装品用高圧蒸気滅菌器	(株)ナカニシ iClave mini2	歯科・ 歯科口腔外科	R4.1.27	2	620,000	尾崎歯材(株)
36	汎用超音波画像診断装置一式	コニカミノルタジャパン(株) SONIMAGE HS2 PRO	麻酔科	R4.1.31	1	3,810,000	石黒メディカルシステム(株)
37	ビデオ喉頭鏡	コヴィディエンジャパン(株) 301-000-000	中央手術部	R4.2.8	1	168,000	(株)MMコーポレーション
38	シリンジポンプ	テルモ(株) TE-382	臨床工学科	R4.2.10	4	708,000	(株)MMコーポレーション
39	レビテーター 一式	ミズホ(株) レビテーターⅡ (18-070-01、18-070-02、18-070-61)	中央手術部	R4.2.10	1	793,100	(株)三笑堂
40	ホルミウムヤグレーザーシステム	タカイ医科工業(株) Sphinx Jr.	泌尿器科	R4.2.28	1	4,960,000	宮野医療器(株)
41	臓器標本保管用真空包装機	(株)TOSEI HV-300	病理診断科	R4.3.7	1	655,000	宮野医療器(株)

(単位:円)

	品名	規格等	所属	取得年月日	数量	取得金額	取得先
42	汎用超音波画像診断装置一式	富士フイルムメディカル(株) Sonosite Edge II	麻酔科	R4.3.22	1	※8 3,482,000	石黒メディカルシステム(株)
43	分娩監視装置一式	メロディ・インターナショナル(株) iCTG	産婦人科	R4.3.24	2	※9 2,220,000	(株)MMコーポレーション
44	汎用超音波画像診断装置一式	コニカミノルタジャパン(株) SONOVISTA GX30	産婦人科	R4.3.25	1	4,060,000	石黒メディカルシステム(株)
45	无影灯	ゲティンゲグループ・ジャパン(株) Maquet Powered II 500	中央手術部	R4.3.28	1	3,840,000	宮野医療器(株)
46	一般撮影装置一式	島津製作所(株)、 キヤノンメディテックサプライ(株) RADSpeed Pro style edition、 CXDI-410C Wireless	放射線科	R4.3.28	1	18,100,000	石黒メディカルシステム(株)
47	生体情報モニタ一式	日本光電工業(株) CNS-6101、CSM-1502、BSM-1763	麻酔科	R4.3.29	1	22,450,000	(株)MMコーポレーション
48	骨盤固定器	(株)イトー医科器械 KK-0001	整形外科	R4.3.29	1	722,000	(株)三笑堂
49	3D HDビデオレコーダ	SONY(株) HVO-3300MT	中央手術部	R4.3.31	2	2,170,000	(株)MMコーポレーション
50	麻酔器	ドレーゲルジャパン(株) Atlan A300	麻酔科	R4.3.31	1	3,351,000	辻本メディカル(株)
51	バリーラブエネルギープラットフォーム一式	コヴィディエンジャパン(株) Valleylab FT10	中央手術部	R4.3.31	1	2,739,000	辻本メディカル(株)
52	スタンダードアタッチメント	(株)ナカニシ P200-2AM	整形外科	R4.3.31	1	199,000	(株)三笑堂
53	エアウェイスコープ	日本光電工業(株) AWS-S200NK	麻酔科	R4.3.31	1	110,000	小西医療器(株)
合計					71	231,712,900	

※1、※6 取得金額の全額に国庫補助金を充当しています。

※2～※5、※7 取得金額の全額に大阪府補助金を充当しています。

※8、※9 取得金額の全額に寄附金を充当しています。

### ③ 備 品

(単位:円)

	品 名	規 格 等	所 属	取 得 年月日	数 量	取 得 金 額	取 得 先
1	病棟インターネットWi-Fi一式	アライドテレシス(株) AT-TQm5403 他	経営企画室	R3.9.30	1	※10 8,336,000	(株)大塚商会
2	硬貨選別機	グローリー(株) SU-201P	医療管理課	R3.10.27	1	411,000	グローリー(株)
3	適温配膳車 一式	PHC(株) CD1028E	栄養管理科	R3.11.8	2	3,910,000	(株)メディセオ
4	スチームコンベクションオープン	(株)ラショナル・ジャパン iCombi Classic 20-1/1	栄養管理科	R4.3.24	1	1,615,000	ホシザキ阪神(株)
5	医用画像管理システム用増設ストレージ 一式	(株)インフィニットテクノロジー INFINITTストレージ	経営企画室	R4.3.29	1	8,170,000	(株)インフィニットテクノロジー
6	医療画像CDパブリッシャー	(株)インフィニットテクノロジー Array AOC 1.5	経営企画室	R4.3.31	1	※11 1,700,000	(株)インフィニットテクノロジー
合 計					7	24,142,000	

※10 取得金額の全額に国庫府補助金を充当しています。

※11 取得金額の全額に寄附金を充当しています。

### ④ 建設仮勘定

(単位:円)

	項 目	取 得 年月日	取 得 金 額	取 得 先	備 考
1	ガス吸収式冷温水機更新工事	R3.7.31	165,400,000	柳生設備(株)	年度末に建物へ振替
2	ガス吸収式冷温水機更新工事監理業務	R3.8.31	710,000	(株)安井建築設計事務所	年度末に建物へ振替
3	自動火災報知設備更新工事	R4.2.28	88,500,000	(株)トーエネック	年度末に建物へ振替
4	自動火災報知設備更新工事監理業務	R4.2.28	1,026,000	(株)安井建築設計事務所	年度末に建物へ振替
5	中央監視設備更新工事	R4.2.28	87,000,000	栗原工業(株)	年度末に建物へ振替
6	中央監視設備更新工事監理業務	R4.2.28	1,026,000	(株)安井建築設計事務所	年度末に建物へ振替
7	非常放送設備・誘導灯他設計業務	R4.3.31	1,580,000	(株)安井建築設計事務所	
8	空冷ヒートポンプチラー設計業務	R4.3.31	2,770,000	(株)安井建築設計事務所	
合 計			348,012,000		

# 業務概要

- 患者状況
- 診療収入状況
- 退院患者年次統計

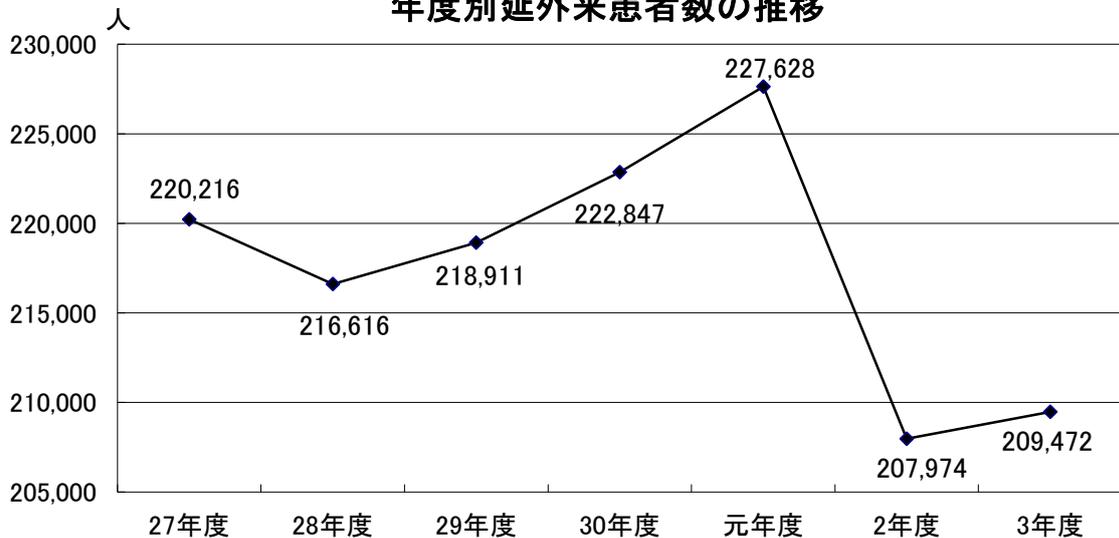
# 患者状況

## ■ 科別外来患者数

科 別	初診患者		再診患者		合 計		構成比率
	延患者	1日当り	延患者	1日当り	延患者	1日当り	
内 科	4,368	18.0	30,664	126.8	35,032	144.8	16.7
呼吸器内科	538	2.2	6,511	26.9	7,049	29.1	3.4
消化器内科	1,794	7.4	25,961	107.3	27,755	114.7	13.3
循環器内科	612	2.5	8,004	33.1	8,616	35.6	4.1
神経内科	417	1.7	3,369	13.9	3,786	15.6	1.8
小 児 科	1,170	4.8	4,484	18.6	5,654	23.4	2.7
外 科	749	3.1	9,215	38.1	9,964	41.2	4.8
呼吸器外科	9	0.0	750	3.1	759	3.1	0.4
消化器外科	408	1.7	10,788	44.6	11,196	46.3	5.3
脳神経外科	33	0.1	601	2.5	634	2.6	0.3
整形外科	1,142	4.7	9,972	41.2	11,114	45.9	5.3
形成外科	602	2.5	4,057	16.8	4,659	19.3	2.2
皮 膚 科	1,160	4.8	6,672	27.6	7,832	32.4	3.7
泌尿器科	791	3.3	14,605	60.3	15,396	63.6	7.3
産 婦 人 科	1,218	5.0	12,384	51.2	13,602	56.2	6.5
眼 科	651	2.7	8,294	34.3	8,945	37.0	4.3
耳鼻いんこう科	1,134	4.7	6,486	26.8	7,620	31.5	3.6
リハビリテーション科	0	0.0	2,646	10.9	2,646	10.9	1.3
放 射 線 科	2,440	10.1	4,589	18.9	7,029	29.0	3.4
麻 酔 科	223	0.9	7,326	30.3	7,549	31.2	3.6
歯科・歯科口腔外科	3,723	15.4	8,912	36.8	12,635	52.2	6.0
合 計	23,182	95.8	186,290	769.8	209,472	865.6	100.0

\*外来診療日数・・・242日

### 年度別延外来患者数の推移



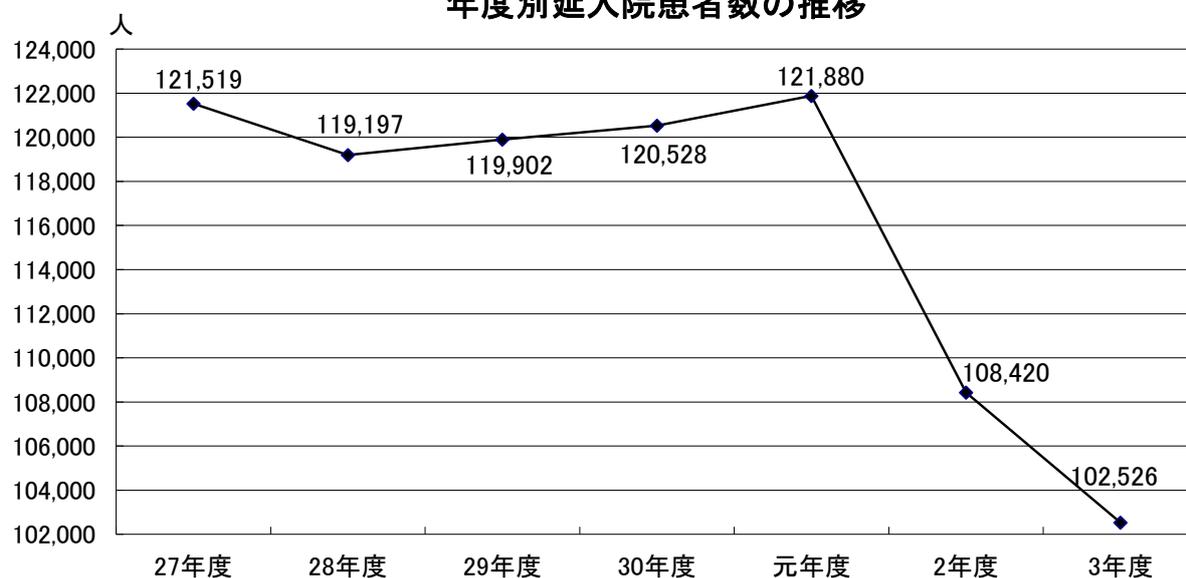
## ■ 科別入院患者数

科 別	病床数	入院患者		病床稼働率
		延患者	1日当り	
内 科	82	24,551	67.3	82.0%
呼 吸 器 内 科	24	10,763	29.5	122.9%
消 化 器 内 科	62	13,795	37.8	61.0%
循 環 器 内 科	16	7,199	19.7	123.3%
神 経 内 科	10	2,235	6.1	61.2%
小 児 科	12	1,959	5.4	44.7%
外 科	4	1,788	4.9	122.5%
呼 吸 器 外 科	3	698	1.9	63.7%
消 化 器 外 科	40	11,131	30.5	76.2%
脳 神 経 外 科	1	0	0.0	0.0%
整 形 外 科	40	10,305	28.2	70.6%
形 成 外 科	4	743	2.0	50.9%
皮 膚 科	10	1,258	3.5	34.5%
泌 尿 器 科	20	6,582	18.0	90.2%
産 婦 人 科	15	5,046	13.8	92.2%
眼 科	7	1,215	3.3	47.6%
耳 鼻 い ん こ う 科	10	1,547	4.3	42.4%
リハビリテーション科	0	0	0.0	0.0%
放 射 線 科	0	0	0.0	0.0%
麻 酔 科	0	30	0.1	0.0%
歯科・歯科口腔外科	4	1,681	4.6	115.1%
合 計	364	102,526	280.9	77.2%

当年度 平均 在院日数	前年度 平均 在院日数
13.9	13.9
14.5	14.2
9.8	9.8
10.5	10.8
17.0	18.5
5.1	6.1
7.6	8.8
9.1	9.5
10.3	11.1
0.0	0.0
22.6	20.2
3.2	3.3
10.4	11.1
8.6	8.1
5.8	5.8
2.3	2.9
6.0	6.5
9.0	1.0
5.7	4.9
10.9	11.1

\*入院診療日数・・・365日

## 年度別延入院患者数の推移



## ■ 地域別外来・入院延患者数

地域別	外来患者数				入院患者数			
	延患者数		構成比率		延患者数		構成比率	
	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度
池田市	100,782	101,466	48.5	48.4	53,336	49,840	49.2	48.6
川西市	56,281	58,296	27.0	27.8	28,218	27,775	26.0	27.1
豊能町	12,927	12,408	6.2	5.9	7,159	6,636	6.6	6.5
豊中市	5,002	4,506	2.4	2.2	3,145	2,681	2.9	2.6
宝塚市	6,621	6,713	3.2	3.2	2,497	2,095	2.3	2.0
箕面市	5,991	5,353	2.9	2.6	3,254	2,610	3.0	2.5
能勢町	4,131	4,058	2.0	1.9	2,616	2,762	2.4	2.7
猪名川町	9,377	9,938	4.5	4.8	3,972	4,967	3.7	4.8
伊丹市	1,007	1,024	0.5	0.5	445	160	0.4	0.2
大阪府下	3,084	2,812	1.5	1.3	1,918	1,414	1.8	1.4
他府県	2,771	2,898	1.3	1.4	1,860	1,586	1.7	1.6
合計	207,974	209,472	100.0	100.0	108,420	102,526	100.0	100.0

## ■ 保険別外来・入院延患者数

保険種別	外来患者数				入院患者数			
	延患者数		構成比率		延患者数		構成比率	
	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度
健康保険	68,904	70,047	33.1	33.4	19,191	20,629	17.7	20.1
国民保険	53,376	52,756	25.7	25.2	24,888	23,437	23.0	22.9
後期高齢者	74,328	75,930	35.7	36.3	56,568	52,621	52.2	51.3
医療保護	4,115	4,155	2.0	2.0	2,393	2,575	2.2	2.5
労働災害	792	895	0.4	0.4	143	327	0.1	0.3
自費その他	6,459	5,689	3.1	2.7	5,237	2,937	4.8	2.9
合計	207,974	209,472	100.0	100.0	108,420	102,526	100.0	100.0

## ■ 65才以上の老人患者数(外来・入院)

科 別	外 来 患 者 数			入 院 患 者 数		
	延患者数	老人患者数	占有率	延患者数	老人患者数	占有率
内 科	35,032	20,585	58.8	24,551	19,098	77.8
呼吸器内科	7,049	5,342	75.8	10,763	8,737	81.2
消化器内科	27,755	19,374	69.8	13,795	10,812	78.4
循環器内科	8,616	6,906	80.2	7,199	6,245	86.7
神経内科	3,786	2,756	72.8	2,235	1,700	76.1
小 児 科	5,654	0	0.0	1,959	0	0.0
外 科	9,964	4,698	47.1	1,788	1,046	58.5
呼吸器外科	759	546	71.9	698	456	65.3
消化器外科	11,196	8,581	76.6	11,131	8,281	74.4
脳神経外科	634	457	72.1	0	0	0.0
整形外科	11,114	7,702	69.3	10,305	8,662	84.1
形成外科	4,659	2,327	49.9	743	451	60.7
皮 膚 科	7,832	4,498	57.4	1,258	856	68.0
泌尿器科	15,396	12,740	82.7	6,582	5,500	83.6
産婦人科	13,602	2,566	18.9	5,046	874	17.3
眼 科	8,945	6,617	74.0	1,215	1,058	87.1
耳鼻いんこう科	7,620	3,390	44.5	1,547	529	34.2
リハビリテーション科	2,646	1,108	41.9	0	0	0.0
放射線科	7,029	4,663	66.3	0	0	0.0
麻 酔 科	7,549	5,212	69.0	30	28	93.3
歯科・歯科口腔外科	12,635	6,759	53.5	1,681	987	58.7
合 計	209,472	126,827	60.5	102,526	75,320	73.5

## ■ 曜日別外来患者数

科 別	日	月	火	水	木	金	土	祝	合計
内 科	385	5,781	7,744	6,972	8,186	5,210	418	336	35,032
呼吸器内科	5	1,547	1,301	994	2,230	937	9	26	7,049
消化器内科	11	4,759	6,120	6,109	4,642	5,989	11	114	27,755
循環器内科	4	1,252	1,182	2,535	1,489	2,116	5	33	8,616
神経内科	1	667	734	810	796	760	4	14	3,786
小 児 科	37	1,367	903	1,233	1,168	830	65	51	5,654
外 科	126	3,530	3,565	682	1,203	614	125	119	9,964
呼吸器外科	0	286	15	21	30	405	0	2	759
消化器外科	47	935	631	3,110	3,186	3,225	26	36	11,196
脳神経外科	0	41	37	328	8	217	0	3	634
整形外科	55	2,425	1,985	2,322	1,839	2,349	68	71	11,114
形成外科	2	870	1,199	1,082	1,072	351	42	41	4,659
皮 膚 科	36	997	1,926	1,607	1,876	1,284	39	67	7,832
泌尿器科	41	2,957	2,497	3,258	3,073	3,451	39	80	15,396
産婦人科	39	3,044	2,485	2,017	2,918	2,967	53	79	13,602
眼 科	0	1,610	2,316	671	2,787	1,505	1	55	8,945
耳鼻いんこう科	54	2,210	2,653	1,090	815	649	63	86	7,620
リハビリテーション科	0	689	639	508	504	287	0	19	2,646
放射線科	0	1,214	1,410	1,448	1,487	1,328	107	35	7,029
麻 酔 科	0	1,773	1,293	1,511	1,117	1,820	0	35	7,549
歯科・歯科口腔外科	10	2,305	2,781	3,084	1,783	2,579	14	79	12,635
合 計	853	40,259	43,416	41,392	42,209	38,873	1,089	1,381	209,472
令和3年度 平日診療日数 242日、土曜日 51日、日曜日 51日、祝(休)日 21日									合計 365日

## ■ 救急外来受診患者数

		内科	呼吸器 内科	消化器 内科	循環器 内科	神経 内科	小児科	外科	呼吸器 外科	消化器 外科	脳神経 外科	整形 外科	形成 外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻 いんこう科	麻酔科	歯科・ 歯科 口腔外科	合計	
																					人数	構成比率
R1	時間内	2,250	175	215	130	65	416	563	1	137	0	241	11	76	61	20	2	20	2	12	4,397	36.7
	時間外	4,193	57	155	108	26	266	674	2	211	0	503	127	338	317	339	8	227	0	29	7,580	63.3
	合計	6,443	232	370	238	91	682	1,237	3	348	0	744	138	414	378	359	10	247	2	41	11,977	100.0
R2	時間内	2,186	137	231	130	52	194	522	3	103	0	146	8	46	63	11	0	13	1	7	3,853	42.8
	時間外	2,490	47	145	73	21	101	537	1	206	0	401	141	226	248	377	5	86	2	33	5,140	57.2
	合計	4,676	184	376	203	73	295	1,059	4	309	0	547	149	272	311	388	5	99	3	40	8,993	100.0
R3	時間内	1,391	122	200	132	48	247	280	0	126	0	100	0	49	69	31	1	23	0	13	2,832	41.3
	時間外	1,825	30	90	55	18	160	421	2	229	0	231	58	146	203	384	3	148	0	25	4,028	58.7
	合計	3,216	152	290	187	66	407	701	2	355	0	331	58	195	272	415	4	171	0	38	6,860	100.0

## ■ 救急外来からの入院患者数

		内科	呼吸器 内科	消化器 内科	循環器 内科	神経 内科	小児科	外科	呼吸器 外科	消化器 外科	脳神経 外科	整形 外科	形成 外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻 いんこう科	麻酔科	歯科・ 歯科 口腔外科	合計	
																					人数	構成比率
R1	時間内	510	174	210	122	63	101	13	1	118	0	68	0	19	36	6	0	3	2	3	1,449	43.0
	時間外	1,037	47	131	97	25	86	21	0	131	0	92	0	12	48	187	0	5	0	1	1,920	57.0
	合計	1,547	221	341	219	88	187	34	1	249	0	160	0	31	84	193	0	8	2	4	3,369	100.0
R2	時間内	444	136	226	125	49	20	9	2	87	0	58	2	17	37	4	0	3	0	0	1,219	45.4
	時間外	706	45	136	59	19	13	9	1	113	0	63	0	13	56	217	0	11	1	2	1,464	54.6
	合計	1,150	181	362	184	68	33	18	3	200	0	121	2	30	93	221	0	14	1	2	2,683	100.0
R3	時間内	403	122	200	130	46	42	8	0	103	0	38	0	21	42	10	0	7	0	0	1,172	50.6
	時間外	523	30	86	53	17	32	9	1	99	0	33	0	6	53	198	0	4	0	0	1,144	49.4
	合計	926	152	286	183	63	74	17	1	202	0	71	0	27	95	208	0	11	0	0	2,316	100.0

## ■ 搬送患者の救急隊別比率

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	構成比率	件数	構成比率	件数	構成比率
池田救急	2,422	72.0	1,877	73.7	1,390	69.7
箕面救急	214	6.4	109	4.3	90	4.5
豊中救急	136	4.0	113	4.4	67	3.4
川西救急	398	11.8	257	10.1	241	12.1
宝塚救急	29	0.9	16	0.6	15	0.7
豊能救急	77	2.3	97	3.8	96	4.8
猪名川救急	42	1.2	24	0.9	39	2.0
能勢救急	17	0.5	26	1.0	30	1.5
その他	29	0.9	29	1.1	25	1.3
合計	3,364	100.0	2,548	100.0	1,993	100.0

## ■ 科別手術件数

科 別	令和2年度			令和3年度		
	件数 (外来再掲)	月平均	構成比率	件数 (外来再掲)	月平均	構成比率
内 科	16 ( 0 )	1	0.3	33 ( 0 )	3	0.6
呼 吸 器 内 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
消 化 器 内 科	40 ( 0 )	3	0.7	34 ( 0 )	3	0.6
循 環 器 内 科	1 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
神 経 内 科	1 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
小 児 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
外 科	193 ( 26 )	16	3.4	242 ( 52 )	20	4.3
呼 吸 器 外 科	61 ( 0 )	5	1.1	71 ( 0 )	6	1.3
消 化 器 外 科	880 ( 4 )	73	15.3	888 ( 7 )	74	15.8
脳 神 経 外 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
整 形 外 科	860 ( 235 )	72	15.0	752 ( 239 )	63	13.3
形 成 外 科	862 ( 511 )	72	15.0	744 ( 483 )	62	13.2
皮 膚 科	0 ( 0 )	0	0.0	3 ( 0 )	0	0.1
泌 尿 器 科	891 ( 59 )	74	15.5	979 ( 85 )	82	17.4
産 婦 人 科	415 ( 0 )	35	7.2	424 ( 0 )	35	7.5
眼 科	954 ( 130 )	80	16.6	890 ( 317 )	74	15.8
耳 鼻 い ん こ う 科	258 ( 4 )	22	4.5	231 ( 5 )	19	4.1
リハビリテーション科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
放 射 線 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
麻 酔 科	0 ( 0 )	0	0.0	0 ( 0 )	0	0.0
歯科・歯科口腔外科	313 ( 22 )	26	5.4	338 ( 27 )	28	6.0
合 計	5,745 ( 991 )	479	100.0	5,629 ( 1,215 )	469	100.0

## 診療収入状況

### ■ 科別・入院外来別収入

(単位:円)

科 別	令和3年度決算 (税抜)			構成比率 (%)
	入 院	外 来	合 計	
内 科	1,774,670,374	981,231,448	2,755,901,822	22.8
呼 吸 器 内 科	773,210,311	314,512,192	1,087,722,503	9.0
消 化 器 内 科	956,376,690	723,756,259	1,680,132,949	13.9
循 環 器 内 科	696,006,238	90,503,232	786,509,470	6.5
神 経 内 科	139,620,788	48,885,140	188,505,928	1.5
小 児 科	94,586,584	50,483,595	145,070,179	1.2
外 科	163,965,409	309,126,853	473,092,262	3.9
呼 吸 器 外 科	106,016,870	13,397,244	119,414,114	1.0
消 化 器 外 科	937,177,860	423,225,598	1,360,403,458	11.2
脳 神 経 外 科	0	6,391,826	6,391,826	0.0
整 形 外 科	736,872,728	135,717,229	872,589,957	7.2
形 成 外 科	63,461,302	45,664,899	109,126,201	0.9
皮 膚 科	57,380,619	178,023,398	235,404,017	1.9
泌 尿 器 科	448,155,666	346,210,226	794,365,892	6.6
産 婦 人 科	413,077,538	152,388,470	565,466,008	4.7
眼 科	133,573,566	152,803,496	286,377,062	2.4
耳 鼻 い ん こ う 科	109,421,308	79,935,176	189,356,484	1.6
リハビリテーション科	0	10,721,290	10,721,290	0.1
放 射 線 科	0	157,802,663	157,802,663	1.3
麻 酔 科	1,321,301	31,077,942	32,399,243	0.3
齒科・齒科口腔外科	121,755,545	124,557,055	246,312,600	2.0
合 計	7,726,650,697	4,376,415,231	12,103,065,928	100.0

### ■ 行為別・入院外来別収入

(単位:円)

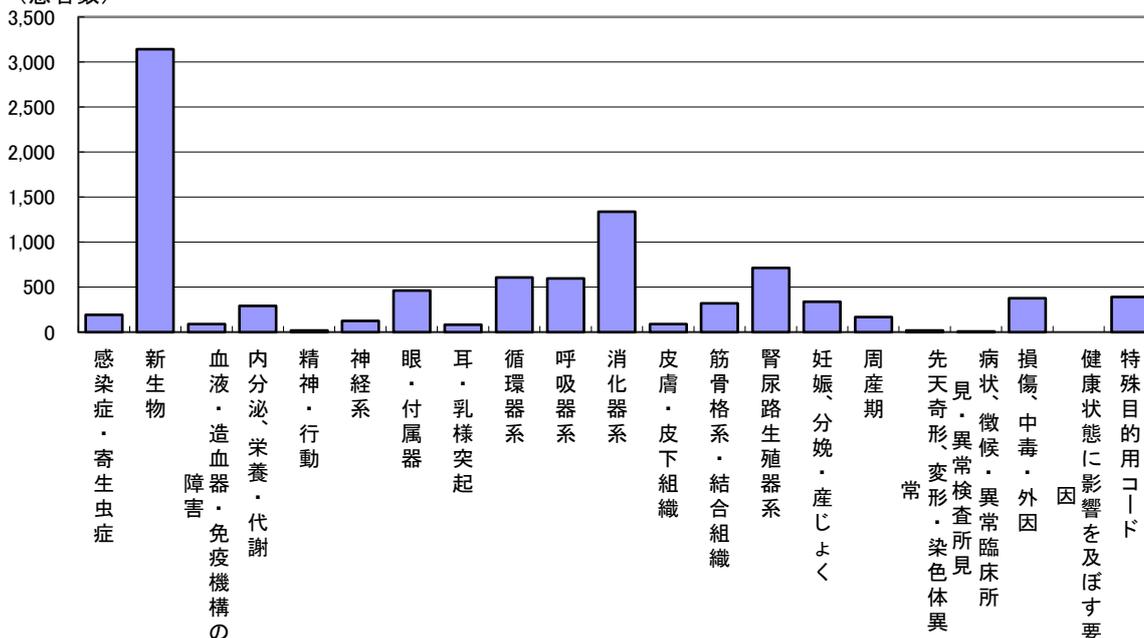
行 為 別	令和3年度決算 (税抜)			構成比率 (%)
	入 院	外 来	合 計	
D P C	3,464,872,173	—	3,464,872,173	28.6
入 院 料	1,553,613,793	—	1,553,613,793	12.8
食 事 療 養 料	156,824,246	—	156,824,246	1.3
処 置 料	209,575,173	34,849,303	244,424,476	2.0
手 術 料	1,761,801,737	216,526,888	1,978,328,625	16.4
検 査 料	120,053,110	1,071,685,696	1,191,738,806	9.9
レ ント ゲ ン 料	27,762,270	589,110,499	616,872,769	5.1
注 射 料	214,311,228	1,417,576,901	1,631,888,129	13.5
薬 治 料	71,085,019	502,844,415	573,929,434	4.7
分 娩 料	17,330,000	—	17,330,000	0.1
診 察 料	127,681,590	519,373,967	647,055,557	5.4
文 書 料	1,680,838	19,150,525	20,831,363	0.2
選 定 療 養 料	59,520	5,297,037	5,356,557	0.0
合 計	7,726,650,697	4,376,415,231	12,103,065,928	100.0

# 退院患者年次統計

## ☆疾病大分類別 退院患者数

章	疾病分類(大分類)	退院患者数	
		患者数	在平均
I	感染症及び寄生虫症	191	13.3
II	新生物	3,143	11.3
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	88	15.0
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	290	13.3
V	精神および行動の障害	17	17.5
VI	神経系の疾患	126	13.8
VII	眼および付属器の疾患	462	2.3
VIII	耳および乳様突起の疾患	82	6.7
IX	循環器系の疾患	606	10.6
X	呼吸器系の疾患	596	14.3
X I	消化器系の疾患	1,339	8.0
X II	皮膚および皮下組織の疾患	91	15.4
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	319	23.0
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	712	8.8
X V	妊娠、分娩および産じょく	336	6.8
X VI	周産期に発生した病態	166	6.3
X VII	先天奇形、変形および染色体異常	17	5.1
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見	9	12.3
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	378	12.5
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因・保健サービス		
X X II	特殊目的用コード	390	13.8
合計		9,358	10.8

(患者数)



☆診療科別 上位疾病(3桁分類)退院患者数

科	3桁分類	患者数
全科	C34：気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	420
	U07：エマージェンシーコードU07	390
	H25：老人性白内障	346
	C18：結腸の悪性新生物<腫瘍>	235
	C22：肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	232
	C16：胃の悪性新生物<腫瘍>	205
	I50：心不全	196
	C61：前立腺の悪性新生物<腫瘍>	191
	E11：2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	190
	K80：胆石症	185

内科(全体)	U07：エマージェンシーコードU07	389
	C34：気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	382
	C22：肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	213
	I50：心不全	196
	E11：2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	179
内科(総合内科)	U07：エマージェンシーコードU07	49
	J69：固形物及び液状物による肺臓炎	18
	M11：その他の結晶性関節障害	11
	N39：尿路系のその他の障害	9
	N10：急性尿細管間質性腎炎	9
内科(内分泌・代謝内科)	E11：2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	170
	U07：エマージェンシーコードU07	38
	E10：1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	15
	J69：固形物及び液状物による肺臓炎	9
	E23：下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	5
内科(血液内科)	C83：非ろ<濾>胞性リンパ腫	171
	D46：骨髄異形成症候群	82
	C90：多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	73
	C92：骨髄性白血病	42
	C82：ろ<濾>胞性リンパ腫	40
内科(呼吸器内科)	C34：気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	380
	U07：エマージェンシーコードU07	120
	J15：細菌性肺炎、他に分類されないもの	45
	J84：その他の間質性肺疾患	42
	J93：気胸	17
内科(腎臓内科)	N18：慢性腎不全	49
	N10：急性尿細管間質性腎炎	37
	U07：エマージェンシーコードU07	27
	N39：尿路系のその他の障害	22
	N04：ネフローゼ症候群	17

科	3桁分類	患者数
神経内科	I63：脳梗塞	32
	G20：パーキンソン<Parkinson>病	17
	H81：前庭機能障害	13
	U07：エマージェンシーコードU07	9
	J69：固形物及び液状物による肺臓炎	9
消化器内科	C22：肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	213
	K63：腸のその他の疾患	160
	C25：膵の悪性新生物<腫瘍>	87
	K80：胆石症	86
	K57：腸の憩室性疾患	83
循環器内科	I50：心不全	186
	I20：狭心症	88
	U07：エマージェンシーコードU07	76
	I25：慢性虚血性心疾患	57
	I48：心房細動及び粗動	40

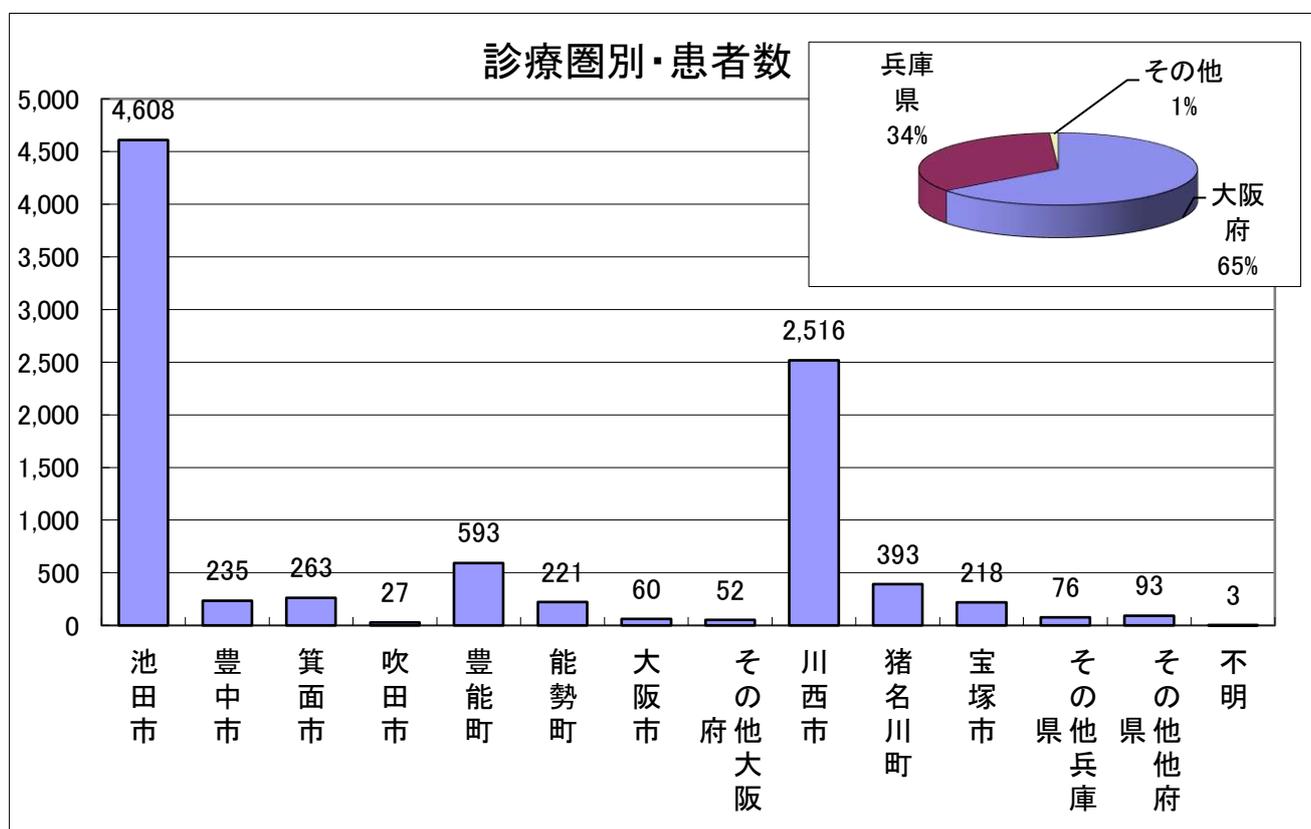
☆診療科別 上位疾病(3桁分類)退院患者数

科	3桁分類	患者数
小児科	T78：有害作用、他に分類されないもの	40
	J20：急性気管支炎	32
	P70：胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	30
	P03：その他の分娩合併症により影響を受けた胎児及び新生児	29
	J45：喘息	21
(乳腺・内分泌外科)	C50：乳房の悪性新生物<腫瘍>	173
	D48：その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	14
	I81：門脈血栓症	1
	K56：麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	1
	J85：肺及び縦隔の膿瘍	1
呼吸器外科	C34：気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	37
	J93：気胸	14
	C78：呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	12
	C79：その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	1
	C20：直腸の悪性新生物<腫瘍>	1
消化器外科	C18：結腸の悪性新生物<腫瘍>	164
	K40：そけい<鼠径>ヘルニア	156
	C16：胃の悪性新生物<腫瘍>	134
	K80：胆石症	98
	C20：直腸の悪性新生物<腫瘍>	78
整形外科	S72：大腿骨骨折	64
	S52：前腕の骨折	51
	M48：その他の脊椎障害	42
	M17：膝関節症 [膝の関節症]	38
	M16：股関節症 [股関節部の関節症]	35
皮膚科	B02：帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	39
	L03：蜂巣炎<蜂窩織炎>	22
	L12：類天疱瘡	4
	M86：骨髄炎	4
	L27：摂取物質による皮膚炎	4
形成外科	H02：眼瞼のその他の障害	44
	N18：慢性腎不全	33
	I83：下肢の静脈瘤	25
	D48：その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	24
	S02：頭蓋骨及び顔面骨の骨折	12
泌尿器科	C61：前立腺の悪性新生物<腫瘍>	191
	C67：膀胱の悪性新生物<腫瘍>	165
	N13：閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	102
	N20：腎結石及び尿管結石	78
	C64：腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	35

科	3桁分類	患者数
産婦人科	O80：単胎自然分娩	113
	N84：女性性器のポリープ	68
	C56：卵巣の悪性新生物<腫瘍>	61
	C54：子宮体部の悪性新生物<腫瘍>	59
	D25：子宮平滑筋腫	56
眼科	H25：老人性白内障	346
	H35：その他の網膜障害	24
	H43：硝子体の障害	24
	H26：その他の白内障	12
	E11：2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	8
耳鼻いんこう科	J32：慢性副鼻腔炎	26
	H91：その他の難聴	24
	J35：扁桃及びアデノイドの慢性疾患	24
	G51：顔面神経障害	23
	H81：前庭機能障害	16
歯科・口腔外科	K01：埋伏歯	36
	D48：その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	30
	K09：口腔部のう<囊>胞、他に分類されないもの	26
	K07：歯顎顔面(先天)異常 [不正咬合を含む]	25
	K04：歯髄及び根尖部歯周組織の疾患	23

☆診療圏別・退院患者数・在院日数

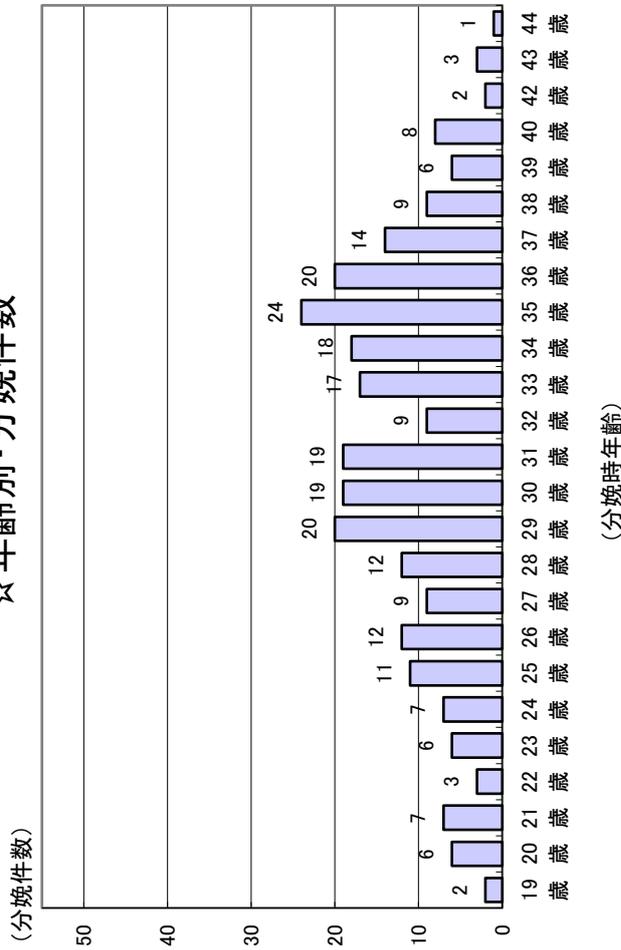
		退院患者数		
診療圏		患者数	在総数	在平均
大阪府	池田市	4,608	49,852	10.8
	豊中市	235	2,858	12.2
	箕面市	263	2,490	9.5
	吹田市	27	304	11.3
	豊能町	593	6,087	10.3
	能勢町	221	2,804	12.7
	大阪市	60	706	11.8
	その他大阪府	52	590	11.3
兵庫県	川西市	2,516	27,260	10.8
	猪名川町	393	4,286	10.9
	宝塚市	218	2,239	10.3
	その他兵庫県	76	795	10.5
他	その他他府県	93	869	9.3
	不明	3	36	12.0
総計		9,358	101,176	10.8



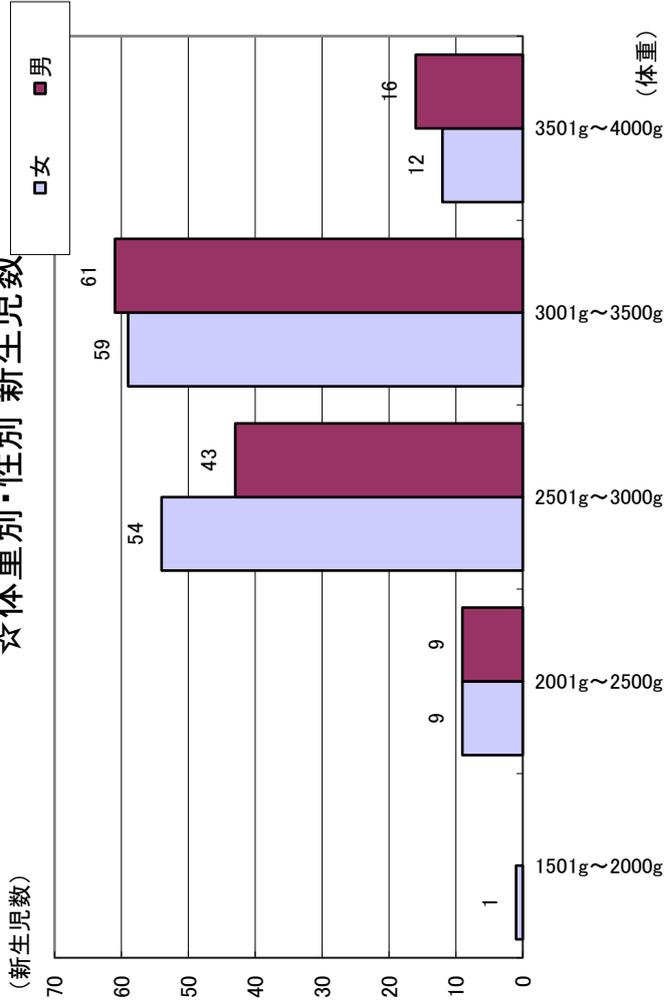
☆悪性新生物患者数（系統別・部位別）

中分類	3桁分類/部位	男性		女性		総計	
		患者数	在平均	患者数	在平均	患者数	在平均
口唇、口腔及び咽頭	C02:舌のその他及び位不明の悪性新生物<腫瘍>	4	32.3	9	16.2	13	21.2
	C03:歯肉の悪性新生物<腫瘍>	8	11.0	6	22.2	14	15.8
	C04:口(腔)底の悪性新生物<腫瘍>	4	36.3			4	36.3
	C06:その他及び部位不明の口腔の悪性新生物<腫瘍>	3	13.7	2	16.0	5	14.6
	C11:鼻<上>咽頭の悪性新生物<腫瘍>			1	6.0	1	6.0
消化器	C15:食道の悪性新生物<腫瘍>	31	13.0	21	12.2	52	12.7
	C16:胃の悪性新生物<腫瘍>	141	10.2	64	12.0	205	10.8
	C17:小腸の悪性新生物<腫瘍>	3	7.0			3	7.0
	C18:結腸の悪性新生物<腫瘍>	101	11.9	134	9.1	235	10.3
	C19:直腸S状結腸移行部の悪性新生物<腫瘍>	1	3.0	1	26.0	2	14.5
	C20:直腸の悪性新生物<腫瘍>	63	13.3	35	10.7	98	12.4
	C21:肛門及び肛門管の悪性新生物<腫瘍>			1	13.0	1	13.0
	C22:肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	169	10.0	63	10.0	232	10.0
	C23:胆のう<囊>の悪性新生物<腫瘍>	5	28.4	5	13.0	10	20.7
	C24:その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>	30	15.9	20	15.2	50	15.6
	C25:膵の悪性新生物<腫瘍>	68	12.3	87	12.7	155	12.5
	C26:その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物<腫瘍>	1	4.0			1	4.0
呼吸器	C30:鼻腔及び中耳の悪性新生物<腫瘍>	1	5.0			1	5.0
	C31:副鼻腔の悪性新生物<腫瘍>			1	2.0	1	2.0
	C34:気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	303	9.1	117	9.4	420	9.2
	C38:心臓、縦隔及び胸膜の悪性新生物<腫瘍>	1	9.0			1	9.0
中皮・軟部組織	C45:中皮腫	2	12.5			2	12.5
	C48:後腹膜及び腹膜の悪性新生物<腫瘍>	1	9.0	6	16.2	7	15.1
皮膚	C44:皮膚のその他の悪性新生物<腫瘍>	3	5.3	8	5.0	11	5.1
乳房	C50:乳房の悪性新生物<腫瘍>	2	7.5	181	9.1	183	9.0
女性生殖器	C53:子宮頸部の悪性新生物<腫瘍>			25	19.2	25	19.2
	C54:子宮体部の悪性新生物<腫瘍>			60	6.1	60	6.1
	C56:卵巣の悪性新生物<腫瘍>			61	6.9	61	6.9
男性生殖器	C60:陰茎の悪性新生物<腫瘍>	1	37.0			1	37.0
	C61:前立腺の悪性新生物<腫瘍>	191	5.0			191	5.0
	C62:精巣<睾丸>の悪性新生物<腫瘍>	1	5.0			1	5.0
	C63:その他及び部位不明の男性生殖器の悪性新生物<腫瘍>	1	5.0			1	5.0
腎尿路	C64:腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	21	9.3	15	9.0	36	9.2
	C65:腎盂の悪性新生物<腫瘍>	19	9.6	8	16.1	27	11.5
	C66:尿管の悪性新生物<腫瘍>	18	11.3	15	11.1	33	11.2
	C67:膀胱の悪性新生物<腫瘍>	128	9.0	37	9.9	165	9.2
甲状腺・内分泌腺	C73:甲状腺の悪性新生物<腫瘍>	2	7.5	3	5.7	5	6.4
部位不明確・続発部位	C77:リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	4	10.5	9	12.9	13	12.2
	C78:呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	13	13.3	23	8.1	36	10.0
	C79:その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	8	18.4	5	17.2	13	17.9
リンパ組織	C81:ホジキン<Hodgkin>病	9	22.1	1	27.0	10	22.6
	C82:ろく濾>胞性リンパ腫	8	15.5	32	18.3	40	17.7
	C83:非ろく濾>胞性リンパ腫	71	22.8	101	20.2	172	21.3
	C84:成熟T/NK細胞リンパ腫	1	16.0	2	33.0	3	27.3
	C85:非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	18	16.1	15	8.5	33	12.7
	C86:T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	8	33.8	6	23.3	14	29.3
	C88:悪性免疫増殖性疾患	2	25.5			2	25.5
	C90:多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	37	18.6	38	21.6	75	20.1
	C91:リンパ性白血病	3	25.7	9	26.1	12	26.0
	C92:骨髄性白血病	30	30.9	12	20.6	42	28.0
	C93:単球性白血病			5	21.0	5	21.0
C95:細胞型不明の白血病			1	29.0	1	29.0	
上皮内新生物	D04:皮膚の上皮内癌			3	2.3	3	2.3
	D06:子宮頸(部)の上皮内癌			4	4.0	4	4.0
	D09:その他及び部位不明の上皮内癌	4	7.0			4	7.0

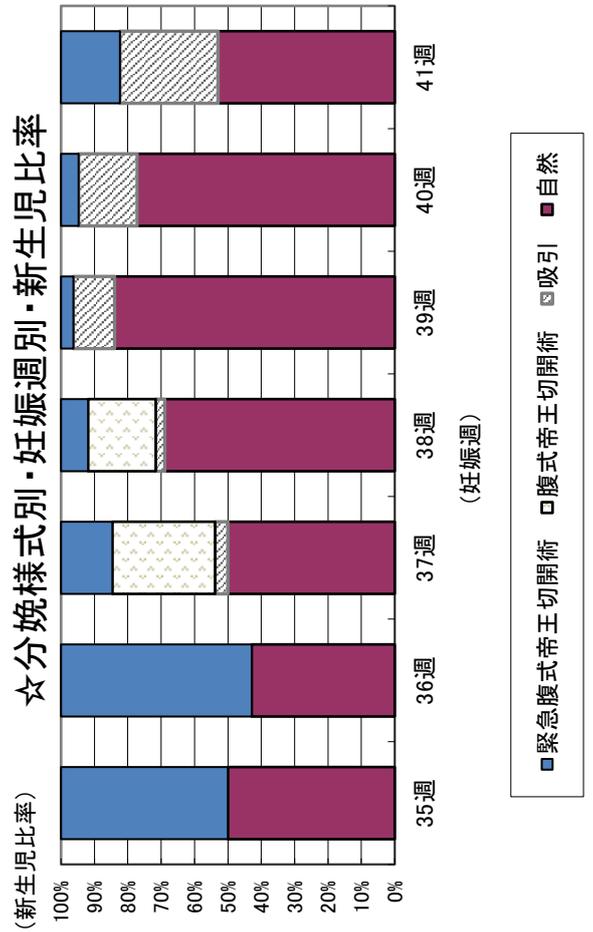
☆年齡別・分娩件数



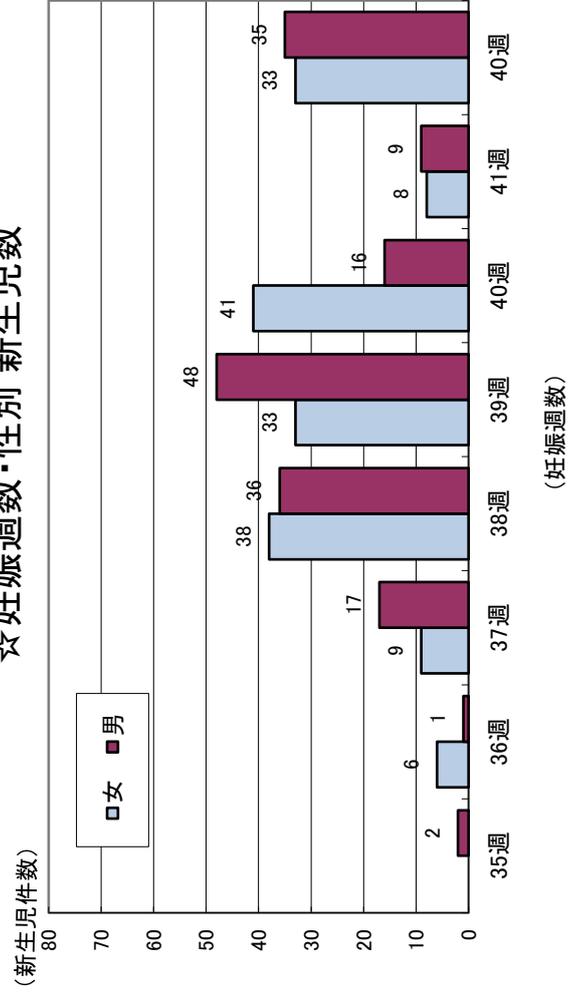
☆体重別・性別・新生児数



☆分娩様式別・妊娠週別・新生児比率



☆妊娠週数・性別・新生児数



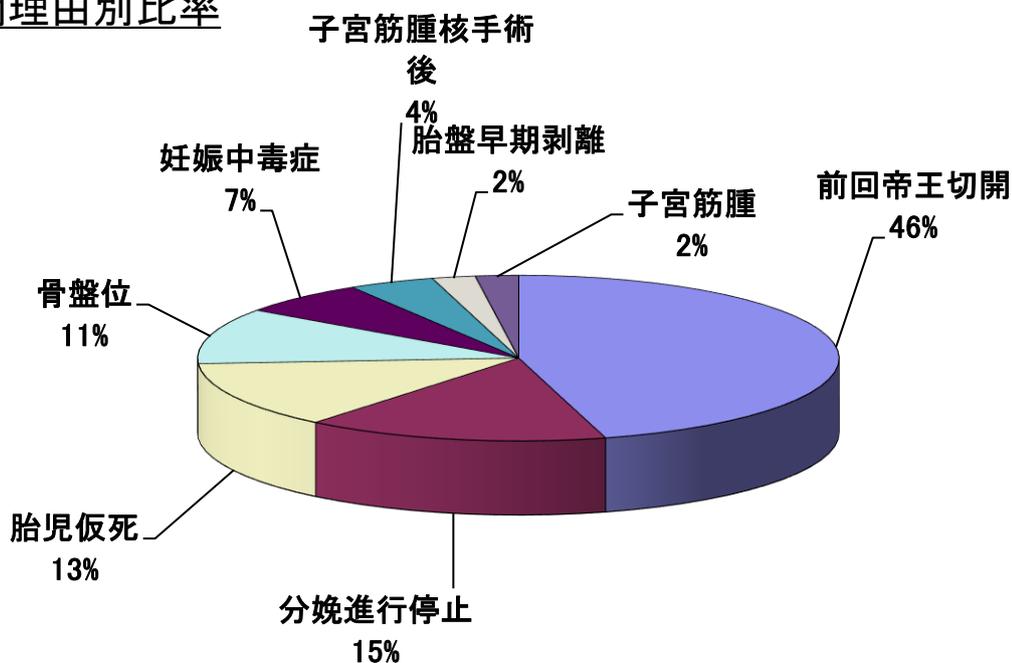
☆帝王切開理由別・分娩件数

帝王切開の理由	合計
前回帝王切開	21
分娩進行停止	7
胎児仮死	6
骨盤位	5
妊娠中毒症	3
子宮筋腫核手術後	2
胎盤早期剥離	1
子宮筋腫	1
総計	46

☆月別・帝王切開件数

分娩月	帝王切開数	分娩総数	帝王切開率
1月	2	15	13.3%
2月	3	19	15.8%
3月	2	18	11.1%
4月	8	27	29.6%
5月	1	14	7.1%
6月	5	21	23.8%
7月	4	27	14.8%
8月	7	28	25.0%
9月	2	16	12.5%
10月	4	25	16.0%
11月	5	26	19.2%
12月	3	20	15.0%
総計	46	256	18.0%

帝王切開理由別比率



# 各部門の活動

## ◇医務局

■内 科	> 総合内科	46
	> 腎臓内科	48
	> 血液内科	52
	> 内分泌・代謝内科	54
■呼吸器内科		56
■消化器内科		58
■循環器内科		66
■神経内科		69
■小児科		72
■外 科	> 乳腺・内分泌外科	76
■呼吸器外科		78
■消化器外科		79
■脳神経外科		86
■整形外科		87
■形成外科		90
■皮膚科		92
■泌尿器科（結石治療センター含む）		94
■産婦人科		97
■眼科		98
■耳鼻いんこう科		101
■リハビリテーション科		105
■放射線科		108
■麻酔科		113
■歯科・歯科口腔外科		116
■病理診断科		121
■臨床検査科		123
■精神科		128
◇救急総合診療部		130
◇中央手術部		131
◇臨床研修部		134
◇がん治療センター部		
■外来化学療法センター		141
■がん相談支援センター		143
◇共同診療部		
■内視鏡センター		146
■生活習慣病・糖尿病センター		151
■人工透析センター		153
■口腔ケアセンター		155
■超音波診断・治療センター		157
■健診センター		160
◇薬剤部		163

◇看護部.....	171
◇医療技術部	
■栄養管理科 .....	178
■医療機器管理室 .....	182
◇臨床研究管理部 .....	184
◇地域医療連携部 .....	188
◇感染制御部 .....	191
◇医療安全・質管理部 .....	199
◇経営企画室 情報システム .....	201
◇診療情報管理部 診療情報管理・診療支援 .....	203
◇チーム医療関連	
■栄養サポートチーム(NST) .....	207
■褥瘡対策チーム .....	210
■呼吸療法サポートチーム(RST) .....	215
■緩和ケアチーム .....	217
■高齢者サポートチーム(OST) .....	220
■精神科リエゾンチーム .....	222
◇その他の部門	
■ライフサポートチーム .....	223
■患者サポートチーム .....	225
■臨床心理室 .....	226

## 総合内科

### I. 総合内科

#### 《概要》

##### ■ 組織・スタッフ

平成 23 年 3 月末から総合内科として主に入院患者の診療を開始し、令和元年度からは下記 4 名。病棟業務は主に中尾医師・三砂医師が運営している。また救急総合診療科スタッフ、家庭医療後期研修医とも連携して総合内科業務を運営している。

中尾 真一郎：日本東洋医学学会専門医、

日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医・認定医、

日本内科学会認定内科医、認知症サポート医

三 砂 雅 裕：家庭医療専門医、日本内科学会認定内科医、認知症サポート医、

日本プライマリ・ケア連合学会認定認定医

影山 美沙紀（家庭医療後期研修医）：日本内科学会認定医、認知症サポート医

青木 大（家庭医療後期研修医）：認知症サポート医

村上 慎一郎：家庭医療専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医、

認知症サポート医

上 岡 孝 人：日本プライマリ・ケア認定医、日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医、

日本内科学会認定内科医

##### ■ 診療・業務概要

**外来：**総合内科外来は内科全体で運営されており、午前外来として週 5 回 2 診体制で行っている。主に内科初診患者や検診異常の患者の窓口となっており、予約制で地域からの紹介も受け付けている。

**入院：**前期・後期研修医とともに主に入院患者の診療に当たっている。入院患者としては救急外来からの緊急入院が多く、高齢者の各種感染症や臓器横断的な問題を抱える症例の割合が高い。家庭医療後期研修医とともに疾病の治療のみでは退院が難しい様々な問題を抱える患者様の診療に貢献するべく活動している。また NST、ICT、ICU カンファレンス、AST、緩和ケアチーム、臨床倫理検討会などの院内におけるチーム医療活動に参加している。

#### 《実績》

##### ■ 統計実績

令和 3 年度の総合内科入院は入院サマリー数で 244 名。総合内科では高齢者診療（誤嚥性肺炎・老衰・食欲低下ほか）や感染症診療、不明熱診療といった各内科疾患や、圧迫骨折や偽痛風など院内で求められる診療をその都度各スタッフの努力やシステムとの協力で行っている。中でも肺炎を中心とした感染症診療が最も多い割合を占めている。特に新型コロナウイルス感染症に対し、内科全体で診療するシステムが構築されるまでの期間、病棟での新型コロナウイルス感染症の診療を呼吸器内科と協働して中心的に行った。

## II. 総合診療専門研修・家庭医療後期研修

平成 30 年度から、新専門医制度のうちの総合診療専門研修を開始。家庭医療後期研修と同様に、内科だけでなく救急総合診療部や小児科、さらに院外の診療所などの協力を得ながら行っている。各診療科の後期研修については、各診療科の項に記載されているが、総合診療専門研修および家庭医療後期研修については、最も関係が深い総合内科の項に記載させていただく。

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

総合診療専門研修・家庭医療後期研修のプログラム責任者は、村上慎一郎（内科（総合内科）医長、家庭医療専門医）である。村上の他に、上岡孝人（救急総合診療部・内科（総合内科）医長、プライマリ・ケア認定医）が指導医の資格を取得し、指導を行っている。

平成 31 年 4 月から青木 大医師、令和 2 年 4 月から末崎 慎也医師が総合診療専門研修を、影山美沙紀医師が家庭医療後期研修を開始している。

### 《実績》

#### ■ 研修・教育活動

毎週水曜日朝に臨床研修医向けの症例検討カンファレンスを行っている。

金曜日早朝には総合内科外来カンファレンスを行っている。

平成 29 年度より認知症初期集中支援チームとして活動を行っている。

#### ■ 学術業績

##### □論文

著 者	題 名	雑誌名・巻号
Dai Aoki, Nobuyuki Kajiwara, Keiko Irishio, Yasuhiro Kato, Shinya Suezaki, Misaki Kageyama, Masahiro Misago, Daisuke Tamai, Shinichiro Nakao, Taketo Ueoka, Nititishi Ito, Shinichiro Murakami	Withdrawal of Glucocorticoid Therapy is Difficult in Women with Polymyalgia Rheumatica	Int J Gen Med. 2021 Oct 5;14:6417-6422

##### □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
影山 美沙紀、梶原 信之、林 和幸、青木 大、三砂 雅裕、玉井 大介、中尾 真一郎、村上 慎一郎、上岡 孝人、伊藤 基敏、尾崎 由和、中山 尋文、藤原 誠	尿蛋白／クレアチニン比を用いた学校園検尿による小児慢性腎臓病スクリーニングの報告	第 55 回日本小児腎臓病学会学術集会 WEB 開催 2021/1/9
山路 修平、三砂 雅裕、影山 美沙紀、中尾 真一郎、村上 慎一郎、井上 佳菜、岡田 拓也、上岡 孝人、津川 真美子、伊藤 基敏	早期診断によりレボチロキシシン (FT4) 静脈投与を行い救命しえた粘液水腫性昏睡の一例	第 234 回日本内科学会近畿地方会 2021/12/4
青木 大、末崎 慎也、吉川 麻以、三砂 雅裕、中尾 真一郎、村上 慎一郎、伊藤 基敏	低温熱傷後に結核性皮下膿瘍を発症した一例	第 235 回日本内科学会近畿地方会 2022/3/12

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

2021年4月に山本聡子が市立豊中病院から、西村賢二が徳島大学から、大河原桃子が市立豊中病院から異動・赴任し、一方で梶原信之が2021年5月末に退職し6月より非常勤勤務となりました。また大河原桃子は2022年3月末で異動となりました。

山本 聡子（部長）：日本内科学会総合内科専門医、日本腎臓学会指導医・専門医、  
日本透析医学会専門医、日本プライマリ・ケア認定医・指導医、  
難病指定医、緩和ケア研修済、臨床研修指導医

西村 賢二（医長）：日本内科学会総合内科専門医、日本腎臓学会専門医、  
日本透析医学会指導医・専門医、難病指定医、緩和ケア研修済

藁田 明希（医員）：

大河原 桃子（後期研修医）：

梶原 信之（非常勤）：日本内科学会近畿支部評議員、総合内科専門医、  
日本腎臓学会指導医、日本プライマリ・ケア連合学会代議員、  
プライマリ・ケア認定医、総合診療専門研修指導医、  
日本透析医学会専門医

### ■ 診療・業務概要

健康診断での検尿異常者の精密検査から、慢性腎炎症候群、ネフローゼ症候群、保存期慢性腎不全、急性腎不全、急性腎盂腎炎などの各種腎疾患の診断・治療を行っています。

特に、慢性腎臓病の重症化予防の必要性が高まっていることを受け、2021年度より慢性腎臓教育入院を開始しました。栄養管理科、看護部、地域連携室、薬剤部、リハビリテーション科、臨床検査科、臨床工学科によるチーム医療のもと、患者指導・病診連携の強化を図っています。同時に慢性腎臓病看護外来を創設し、外来診療における療養指導も可能となりました。

さらにこれまでの血液透析療法に加えて、2021年度より腹膜透析療法を開始し1名の治療導入をおこないました。内シャント作成は形成外科に、腹膜透析カテーテルの留置は消化器外科にご協力いただいています。これにより保存期から血液および腹膜透析療法まで連続した治療が可能となり、腎代替療法選択についての指導もより充実した体制を整えることができました。

また慢性維持透析患者の入院治療のサポートや、電解質異常などに関する他科からのコンサルトにも積極的に対応しています。

その他、2021年度にクリニカルパスを1種修正、4種新規作成、説明同意書を1種修正、7種を新規作成し、業務の効率化を図っています。

## 《実績》

### ■ 統計実績

入院患者 283 名 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の間に退院した患者数)

主な疾患	入院数
慢性腎臓病	53
ネフローゼ症候群	24
検尿異常	14
顕微鏡的多発血管炎	8
IgA 腎症	8
電解質異常	8
うっ血性心不全	5
尿路感染症	68
COVID-19	36
肺炎	13

主な検査・治療別	入院数
血液透析導入	45
腎生検	34
ステロイド治療	18
慢性腎臓病教育入院	8
リツキシマブ治療	7
多発嚢胞腎に対するトルバプタン治療	2
腹膜透析導入	1

#### 腎生検の内訳

診断	数
IgA 腎症	12
膜性腎症	6
尿細管間質性腎炎	2
微小変化型ネフローゼ症候群	2
ループス腎炎	2
半月体形成性腎炎	2
腎硬化症	1
メサングウム増殖性腎炎(非 IgA)	1
クリオグロブリン腎症	1
アルポート症候群	1
アミロイドーシス	1
巣状分節性糸球体硬化症	1
IgG4 関連腎炎	1
不明	1

## ■ 治験

協和キリンによる糖尿病性腎臓病に対するバルドキシロンメチル（RT402）の国内第3相臨床試験を継続しています。

## ■ 学術業績（2021年4月1日-2022年3月31日）

### □原著

著者	題名	雑誌名・巻号
Aoki D, Kajiwara N, Irishio K, Kato Y, Suezaki S, Kageyama M, Misago M, Tamai D, Nakao S, Ueoka T, Ito M, Murakami S	Withdrawal of glucocorticoid therapy is difficult in women with polymyalgia rheumatica: An observational study	J Int J General Med 14: 6417-6422, 2021
Wakabayashi K, Yamamoto S, Hara S, Okawara M, Teramoto K, Ikeda N, Kusunoki Y, Takeji M	Nivolumab-induced membranous nephropathy in a patient with stage IV lung adenocarcinoma	CEN Case Rep, 2021 May; 11(2):171-176

### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
西村 賢二、柴田 恵理子、宮上 慎司、岩城 真帆、清水 郁子、山口 純代、上田 紗代、田蒔 昌憲、安部 秀斉、長井 幸二郎	高 K 血症へのジルコニウムシクロケイ酸 Na 水和物の使用経験	第 66 回日本透析医学会学術集会・総会 パシフィコ横浜/WEB 2021/06/04
大河原 桃子、山本 聡子、藁田 明希、西村 賢二、梶原 信之	糖尿病性腎症第 3 期で低出生体重児を正規産分娩となった一例	第 51 回日本腎臓学会西部学術大会 WEB 開催 2021/10/15
大河原 桃子、藁田 明希、西村 賢二、山本 聡子	高齢者における腹膜透析の実際と課題	第 27 回日本腹膜透析医学会学術集会 WEB 開催 2021/10/30-31
山田 雅彬、青木 大、梶原 信之、加藤 保宏、中尾 真一郎、村上 慎一郎、上岡 孝人、伊藤 基敏、西村 賢二、山本 聡子	リウマチ性多発筋痛症(PMR)に対するグルコルチコイド(GC)治療の継続率と継続に関連する因子の検討	第 234 回日本内科学会近畿地方会 WEB 開催 2021/12/04

### □研究会・講演会

発表者	演題名	研究会、会場、日時
山本 聡子	腎臓内科医からみた SGLT-2 阻害薬	SGLT-2 阻害薬について考える会 in 池田 池田市商工会議所 2021/10/24
山本 聡子	地域連携で目指すシームレスな慢性腎臓病治療～慢性腎臓病教育入院と地域連携パスのご紹介～	これからの糖尿病診療連携を考える会 池田市商工会議所 2021/11/17
山本 聡子	慢性腎臓病における患者参加型医療への当院の新たな取り組み	池田市医師会月例学術講演会 池田市医師会会館 2022/03/16

## □地域連携・勉強会

発表者	演題名	研究会、会場、日時
山本 聡子	慢性腎臓病ってなあに？～みんなで重症化予防に取り組もう～	市民公開講座 WEB 2021/04
山本 聡子	腹膜透析はじめました～みんなで腹膜透析患者さんを支えよう～	地域ケア連携会 WEB 2021/05/13

## ■ 研修・教育活動（2021年4月1日-2022年3月31日）

2021年度より初期研修医の業務マニュアルを作成し、研修医の指導及び業務の効率化を図っています。

週に1度、患者回診を行い、患者診療における教育的指導を行なっています。また月に1度ずつ腎病理カンファレンス、電解質輪読会、抄読会を開催して研鑽を積んでいます。

引き続き、日本腎臓学会の認定教育施設であり、日本透析医学会の教育関連施設です。

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

森山 康弘（副院長、臨床検査科部長）：

日本内科学会所属、日本血液学会所属、日本医師会認定産業医

片岡 良久（部長）：日本内科学会所属、日本血液学会所属

大塚 正恭（副部長）：日本内科学会認定医、日本血液学会認定専門医

柴田 大（副部長）：日本内科学会認定医、日本血液学会認定専門医、  
指導医臨床腫瘍学会専門医・指導医

### ■ 診療・業務概要

血液内科は比較的稀な疾患を診る科と思われがちですが、悪性リンパ腫の有病率は5大がんに次ぐものであり、定数は24床ですが常にそれを超える入院患者さまの加療を行っております。

当科では特に悪性リンパ腫の診療数が多く、厚労省発表の2020年度DPCデータでは入院316件と大阪府下で8位となっております。

その他にも近年増加傾向にある多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群もそれぞれ府下で4位、7位の入院数となっております。

#### 【主な疾患】

##### 悪性リンパ腫

診断後速やかに病気の広がりを見定め（ステージング）、抗がん剤または放射線療法による標準治療が確立していますので、広がりに応じた治療を行います。再発時には条件が整えば、自分自身の血液細胞をあらかじめ保存しておき、その間に強力な化学療法を行う「自家末梢血幹細胞移植」を行うこともあります。

##### 白血病

急性白血病は診断後、抗がん剤による治療を行い、条件が揃えば他の方から血液細胞をもらって再び正常な造血が行われることを目指す「同種造血幹細胞移植」を高次医療機関で行います。

##### 慢性骨髄性白血病

病期にもよりますが、ほとんどの場合、飲み薬（チロシンキナーゼ阻害剤）単独での治療で長期にわたる生存が得られます。

##### 多発性骨髄腫

近年もっとも治療法進歩の著しい疾患です。プロテアゾーム阻害剤、免疫調節薬（サリドマイドの仲間）のほか、抗体薬も上市され、一層の長期生存が期待されます。

## 《実績》

### ■ 統計実績

2020年度は入院において、リンパ腫316件、急性骨髄性白血病28件、急性リンパ性白血病8件、慢性骨髄性白血病12件、多発性骨髄腫66件、骨髄異形成症候群80件（いずれも延べ回数）の治療を行いました。コロナ禍のさなかではありましたが、リンパ腫は紹介のほとんどをお受けすることができたと思います。一方で白血病はタイミング的に猶予が許されないことから、クラスターによる病棟閉鎖などの影響を受けて減少しました。

患者プロフィールでは、引き続き高齢化社会を反映して例年通り65歳以上の症例がかなりの割合を占め、いかに化学療法のみで良好な予後を確認するかに腐心しています。

また、リンパ腫患者の中に低悪性度ながら難治性である濾胞性リンパ腫が占める割合が多く、標準療法リツキシマブ-ベンダムスチン療法を広く適用し、治療成績の向上に取り組んでいます。

一方、多発性骨髄腫症例は高齢者が多く既存療法では早期に耐性となる症例がほとんどでしたが、ボルテゾミブに加えてレナリドミドが初発から使用可能となり、自家移植の適応の有無を問わず生存率の向上に寄与しています。当院では大阪大学が主幹となって行われている複数の臨床研究に参加し、高齢者においても積極的に完全寛解を目指すとともに、我が国から発信されるエビデンスを構築する一助を担いたいと考えています。

慢性骨髄性白血病については引き続き、第2世代チロシンキナーゼ阻害剤を中心とした治療を進め、ほとんどが分子生物学的major寛解を達成している。今後はstop試験に参加し、治癒への可能性を模索したいと考えております。

### 入院実績(DPC データに準拠・延べ人数)

急性骨髄性白血病	28件	(前年度56件)
急性リンパ芽球性白血病	8件	(前年度14件)
悪性リンパ腫 (ホジキンリンパ腫、ATLL含む)	316件	(前年度267件)
多発性骨髄腫	66件	(前年度63件)
慢性骨髄性白血病 (分子標的治療薬導入入院)	12件	(前年度7件)
骨髄異形成症候群	80件	(前年度90件)

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

- 津川 真美子（主任部長）：日本内科学会近畿支部評議員、日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会指導医、日本糖尿病学会学術評議員、日本糖尿病学会研修指導医・専門医、日本内分泌学会評議員、日本内分泌学会指導医・専門医、日本甲状腺学会専門医、大阪大学臨床教授、日本医師会認定産業医、大阪大学医学博士、難病指定医、緩和ケア研修済
- 岡田 拓也（部長）：日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会研修指導医・専門医、日本内分泌学会指導医・専門医、大阪大学医学博士、難病指定医、緩和ケア研修済
- 井上 佳菜（副部長）：日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会研修指導医・専門医、日本内分泌学会指導医・専門医、大阪大学医学博士、難病指定医、緩和ケア研修済
- 松野 香菜絵（専攻医）：日本内科学会所属、日本糖尿病学会所属、日本内分泌学会所属、緩和ケア研修済
- 坂本 紗英花（専攻医）：日本内科学会所属、日本糖尿病学会所属、日本内分泌学会所属、緩和ケア研修済

日本糖尿病学会認定教育施設・日本内分泌学会認定教育施設・日本甲状腺学会認定専門医施設である。

#### ■ 診療・業務概要

内分泌・代謝内科所属3名の糖尿病専門医・内分泌専門医と2名の専攻医の計5名が外来診療・病棟診療・救急診療に毎日従事しています。

専門外来：平日月曜～金曜の毎日開設（火曜は午前のみ、木曜は午後のみ）しています。専門医チームの医師1～2名ずつが外来診療に従事しています。

外来では糖尿病・内分泌疾患の救急、紹介初診・再診、合併症外来を開設しています。内科外来に生活習慣・糖尿病センターを併設しており、専門外来と並行して患者さまの療養ご指導を行っています。救急から慢性期病態まで全ての病態に迅速に対応しています。随時入院・外来受診が可能です。地域医療機関からのご紹介には特に力を入れており、地域連携室経由の紹介受診につきましては現在予約待ちなし、常時当日から対応可能です。

#### 【主な疾患】

糖尿病病態全て（1型・2型・肝性・膵性・ステロイド糖尿病・妊娠糖尿病・周術期血糖管理・化学療法期間血糖管理等）を扱います。外来にて557名、入院にて190名の糖尿病治療入院を行いました。原則入院で対応しておりますが、外来での療養指導・インスリン導入・インスリンポンプ管理・24時間持続血糖モニター解析も行っています。また糖尿病合併症の有無・評価も随時

行っています。

内分泌疾患全てを扱っています。内分泌疾患救急（甲状腺クリーゼ・副腎クリーゼ・下垂体クリーゼ・電解質異常）にも対応しております。その他稀な内分泌疾患の診断・検査も行います。初回診断時の高血圧症例について内分泌異常の有無等の診断もしております。

## 《実績》

### ■ 統計実績

2021年度（2021.4.1～2022.3.31）

外来管理糖尿病患者数：557名、糖尿病教育入院患者数：190名

### ■ 学術業績

#### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
猪阪 知子、井上 佳菜、鍵崎 卓也、塩出 俊亮、岡田 拓也、津川 真美子	低Na血症を契機として診断に至り、バゾプレッシン異種受容体の存在が疑われる両側性大結節性副腎皮質過形成の一例	第94回日本内分泌学会術総会 Web開催 2021/4/22～4/24
鍵崎 卓也、井上 佳菜、塩出 俊亮、猪阪 知子、岡田 拓也、津川 真美子	コルチゾール分泌に経時的変化を認め、診断に苦慮した偽性Cushing症候群の一例	第94回日本内分泌学会術総会 Web開催 2021/4/22～4/24
吉田 侑佳、井上 佳菜、松野 香菜絵、三砂 雅裕、岡田 拓也、津川 真美子	増悪する浮腫と右肩痛を契機に悪性褐色細胞腫の診断に至り、カテコラミン依存性の難治性便秘に対しフェントラミンが奏功した一例	第94回日本内分泌学会術総会 Web開催 2021/4/22～4/24
塩出 俊亮、岡田 拓也、猪阪 知子、井上 佳菜、津川 真美子	脾臓手術に伴う血糖コントロールの推移、インスリン導入の有無	第64回糖尿病学会年次学術集会 Web開催 2021/5/20～5/22
猪阪 知子、岡田 拓也、鍵崎 卓也、井上 佳菜、津川 真美子	市中の中核病院において、入院した2型糖尿病患者のうち尿中ケトン体が陽性であった者の臨床的特徴についての検討	第64回糖尿病学会年次学術集会 Web開催 2021/5/20～5/22
吉田 侑佳、岡田 拓也、松野 香菜絵、三砂 雅裕、井上 佳菜、津川 真美子	伝染性単核球症に無痛性甲状腺炎を合併し甲状腺機能回復に4か月を要した一例	第233回日本内科学会近畿地方会 Web開催 2021/9/11
坂本 紗英花、井上 佳菜、松野 香菜絵、三砂 雅裕、岡田 拓也、津川 真美子	オクトレオチド徐放製剤が著明な効果を認めた内因性高インスリン血症性低血糖の一例	第58回日本糖尿病学会近畿地方会 Web開催 2021/10/30
松野 香菜絵、岡田 拓也、坂本 紗英花、井上 佳菜、津川 真美子	当院2型糖尿病教育入院患者における中性脂肪についての検討	第58回日本糖尿病学会近畿地方会 Web開催 2021/10/30
根来 絢子、岡下 美香、中川 美雪、三井 八千代、濱田 恵美、河野 恵美、今仲 直美、井上 佳菜、岡田 拓也、津川 真美子	透析予防指導の効果を高めるための外来での取り組みについて	第58回日本糖尿病学会近畿地方会 Web開催 2021/10/30
根来 絢子、川染 睦美、和佐田 真歩、脇山 かほる、鬼追 美也子、松本 千穂、今仲 直美、井上 佳菜、岡田 拓也、津川 真美子	COVID-19 病棟におけるステロイド糖尿病患者へ指導フローチャート作成を試みて	第58回日本糖尿病学会近畿地方会 Web開催 2021/10/30
西 健太郎、岡田 拓也、松野 香菜絵、三砂 雅裕、井上 佳菜、津川 真美子	ループ利尿薬投与により低Ca血症が顕在化したビタミンD欠乏による続発性副甲状腺機能亢進症の一例	第22回日本内分泌学会近畿支部学術集会 兵庫 2021/11/13

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

大谷 安司（部長）：総合内科専門医、日本呼吸器学会指導医  
田幡 江利子（副部長）：総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、  
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医、肺がん CT 検診認定医  
清水 裕平：日本内科学会認定内科医・日本呼吸器学会所属

#### ■ 診療・業務概要

肺炎を代表とする急性呼吸器感染症については、喀痰検査により起病菌を推定し治療初期から適切な抗生物質が選択できるよう努力しています。

気胸や胸水症例については、トロッカーカテーテル挿入による治療を施行、原因不明の胸水症例については局所麻酔下での胸腔鏡検査を実施しています。

呼吸不全については、高流量鼻カニューレ（ネーザルハイフロー）や非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）を積極的に導入し安全で苦痛の少ない呼吸管理に努めています。

近年急速に増加しています肺癌については、胸部 X 線・CT・気管支鏡検査などによる迅速な診断と、切除不能例に対しては放射線治療・化学療法を施行しております。また外来化学療法を積極的に推進し QOL の高い診療を目指しています。

#### 【主な疾患】

診療対象は呼吸器疾患全般。肺炎、肺癌をはじめ、びまん性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、気胸、胸膜炎など、急性期呼吸器疾患のプライマリーケア全般に対応しています。

患者層の高齢化を反映し、肺炎などの急性呼吸器感染症、原発性肺癌、慢性閉塞性肺疾患が増加傾向にあります。原発性肺癌は症例数が増加し在院期間は短縮されており、負担が少なく QOL の高い診療ができていると考えています。

初診外来：月曜午前、水曜午前、木曜午前

気管支鏡検査：火曜午前、金曜午前

## 《実績》

### ■ 統計実績

2021 年度呼吸器内科診療実績

入院患者 769 例（延べ）の疾患別内訳

原発性肺癌	366 例
肺癌以外の悪性腫瘍	12 例
急性呼吸器感染症	181 例
その他の感染症	9 例
びまん性肺疾患	89 例
慢性閉塞性肺疾患	14 例
気管支喘息	18 例
自然気胸	23 例
胸膜疾患	20 例
その他	37 例

## 《実績》

### ■ 研修・教育活動

肺炎を代表とする急性呼吸器感染症に対する研修は、感染症の基礎を学ぶのにも適しており、喀痰グラム染色で起原菌を推定し、治療初期から適切な抗生物質が選択できるよう教育した。

気胸や胸水症例については、安全で適切なトロッカーカテーテル挿入法の習得と管理を指導。

呼吸不全に関しては、挿管下人工呼吸管理や非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）の導入・管理・離脱方法の指導と、高流量鼻カニューラ療法の教育に努めた。

肺癌については近年バイオマーカーによる個別化治療の進歩が著しく、その為の病理組織検体の採取が不可欠となっている。当院でも最新の気管支鏡システムを導入し、超音波ガイドシース法や超音波気管支鏡下経気管支リンパ節穿刺法により、正確で安全な検体採取できるようになった。

近年増加の著しい肺がんの薬物治療では有効な治療薬を選択するためにがんの遺伝子変化を調べる、いわゆる「がんゲノム医療」が導入されている。当院は、肺がんゲノムスクリーニングプロジェクトである「LC-SCRUM-Asia」に参加している。

## 消化器内科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

今井 康陽  
総長（肝胆）

日本肝臓学会専門医・指導医・評議員  
日本消化器病学会専門医・指導医・財団評議員  
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員  
日本内科学会認定内科医・近畿支部評議員  
日本超音波医学会指導医・代議員  
日本門脈圧亢進症学会評議員  
大阪府医師会感染症予防接種問題検討委員会委員  
日本臨床腫瘍学会暫定指導医  
大阪大学臨床教授  
緩和ケア研修終了済

福田 和人  
副院長（肝胆）

日本内科学会総合内科専門医・指導医  
日本肝臓学会専門医・指導医・西部会評議員  
日本消化器病学会専門医・指導医・評議員  
日本超音波医学会専門医  
がん治療認定医  
日本臨床腫瘍学会暫定指導医  
日本医師会認定産業医  
緩和ケア研修終了済  
大阪大学臨床教授  
兵庫医大臨床教授

井倉 技  
主任部長（肝胆）

日本消化器病学会専門医・評議員  
日本肝臓学会専門医・西部会評議員  
日本内科学会認定内科医  
日本補完代替医療学会幹事・学識医  
日本統合医療学会評議員  
日本医師会認定産業医  
THP指導者  
緩和ケア研修終了済

中原 征則  
主任部長（胃腸膵）

日本内科学会認定内科医  
日本消化器病学会専門医・指導医・近畿支部評議員  
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・近畿支部評議員  
日本消化管学会・胃腸科専門医・指導医  
日本膵臓学会認定指導医  
がん治療認定医  
緩和ケア研修終了済  
兵庫医大臨床准教授

澤井 良之  
部長（肝胆）

日本内科学会認定内科医  
日本肝臓学会専門医・西部会評議員  
日本消化器内視鏡学会専門医  
緩和ケア研修終了済

小来田 幸世  
副部長（肝胆）

日本内科学会認定内科医  
日本消化器病学会専門医  
日本肝臓学会専門医・指導医  
がん治療認定医  
緩和ケア研修終了済

山口 典高 副部長（胃腸痔）	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医・近畿支部評議員 日本消化器内視鏡学会専門医 ヘリコバクター・ピロリ感染症認定医 緩和ケア研修終了済
氣賀澤 齊史 副部長（胆痔）	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本膵臓学会指導医 がん治療認定医 緩和ケア研修終了済
島越 洋美（主任医員）	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 緩和ケア研修終了済
鬘 瑛（医員）	日本内科学会認定内科医 緩和ケア研修終了済
杉尾 諒（専攻医）	緩和ケア研修終了済
相馬 一超（専攻医）	緩和ケア研修終了済
箕浦 悠太郎（専攻医）	緩和ケア研修終了済
北中 崇雄（専攻医）	緩和ケア研修終了済
石川 史彬（専攻医）	緩和ケア研修終了済

## ■ 診療・業務概要

- C型肝炎・B型肝炎に対する抗ウイルス療法（経口剤、インターフェロン）。
- 肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法を中心とした局所治療、肝動脈塞栓術、動注化学療法、分子標的薬治療、放射線治療。
- 自己免疫性疾患（原発性胆汁性肝硬変症・自己免疫性肝炎）の治療。
- 非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）を中心とした NAFLD の診断と治療。
- 非代償性肝硬変の治療。
- 肝疾患を中心とした消化器疾患に対する腹部超音波検査、造影、エラストグラフィ。
- 上部・下部内視鏡、ERCP、超音波内視鏡・EUS-FNA、カプセル内視鏡などの各種内視鏡検査。
- 胃癌・食道癌に対する ESD、大腸癌 EMR・ポリペクトミー・ESD、胆道系疾患に対する EST・EML、ENBD・ERBD、食道・胃静脈瘤に対する EVL・EIS・APC、PEG 造設、胆管・消化管ステント留置などの内視鏡治療。
- 消化性潰瘍、食道・胃静脈瘤などからの出血や閉塞性黄疸の減黄などに対する緊急内視鏡治療。
- 緩和医療ケアチームと協力体制の下に行う進行消化器癌に対する化学療法、放射線化学療法。
- 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）に対する治療。

上記を中心とした診療・業務を行っている。

## 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
早朝				抄読会	
午前	肝生検 GF/CF US	GF/CF カプセル内視鏡 US	GF/CF/EMR EUS US	EIS/EVL PEG/CF/EMR EUS/US	GF/CF/EMR US
午後	GF/CF/ESD US	ERCP CF/ESD 造影 US	CF/EMR/ESD 造影 US 緩和ケア回診	RFA/肝生検 CF ERCP	GF/CF 造影 US EMR
夕方	症例回診		画像カンファ		内視鏡病理 検討会 ESD 症例 検討会

## 《実績》

### ■ 統計実績

入院症例件数

	2021 年度	2020 年度	2019 年度	2018 年度
肝細胞癌	180	229	229	225
肝硬変	96	34	80	47
慢性肝炎	21	10	11	20
食道癌	27	16	29	32
食道・胃静脈瘤	34	26	51	17
消化性潰瘍(胃・十二指腸潰瘍)	27	18	30	37
胃癌	69	83	75	84
大腸ポリープ	152	212	283	330
大腸癌	93	75	72	85
クローン病	7	8	4	3
潰瘍性大腸炎	13	15	12	16
胆嚢炎	12	16	14	18
総胆管結石・胆管炎	111	135	138	126
胆管癌	45	29	24	21
膵炎	29	26	38	21
膵癌	98	87	100	68

## 検査件数

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
腹部超音波	9,031	8,865	9,366	9,611
造影超音波	177	172	208	214
エラストグラフィ	157	179	245	353
肝生検	9	8	16	29
上部内視鏡総件数(検査・治療含む)	3,833	3,555	4,322	4,031
下部内視鏡総件数(検査・治療含む)	2,065	2,123	2,478	2,251
超音波内視鏡	198	155	178	155
EUS-FNA	42	50	47	—
カプセル内視鏡	14	9	12	7
ERCP(治療含む)	238	206	231	194

## 治療件数

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
肝臓 RFA/PEIT	21	31	41	33
TACE/TAI	115	114	115	125
上部消化管 止血	62	78	75	72
EIS	20	11	20	29
EVL	13	23	17	13
EMR・ポリペクミー	15	13	15	16
ESD	53	52	57	75
APC	10	12	23	20
食道拡張術	0	24	10	27
PEG 増設・交換	60	53	61	60
下部消化管 EMR・ポリペクミー	1,055	961	1,098	879
ESD	61	44	39	52
止血	13	22	20	14
APC	7	2	3	4
胆膵 EST	68	20	37	44
EML	28	56	9	14
ERBD	123	112	92	71
ENBD	2	1	5	6

■ 学術業績

□ 原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Masatosi Kudo, Yusuke Kawamura, Kiyosi Hasegawa, Ryouyuke Tateisi, Kazuya Kariyama, Shuichiro Shiina, Hidenori Toyoda, Yasuharu Imai, Atsushi Hiraoka, Masafumi Ikeda, Namiki Izumi, Michihisa Moriguchi, Sadahisa Ogasawara, Yasunori Minami, Kazuomi Ueshima, Takamichi Murakami, Shiro Miyayama, Osamu Nakashima, Hirohisa Yano, Michie Sakamoto, Etsuro Hatano, Mitsuo Shimada, Norihiro Kokudo, Satoshi Mochida, Tetsuo Takehara	Management of Hepatocellular Carcinomain Japan: JSH Consensus Statements and Recommendations 2021 Update	Liver Cancer. 2021 Jun;10(3):181-223
Minoru Kato, Yoshito Hayashi, Tsutomu Nishida, Masahide Oshita, Fumihiko Nakanishi, Shinjiro Yamaguchi, Shinji Kitamura, Akihiro Nishihara, Tomofumi Akasaka, Hideharu Ogiyama, Masanori Nakahara, Takuya Yamada, Osamu Kishida, Masashi Yamamoto, Akinori Shimayoshi, Yoshiki Tsuji, Motohiko Kato, Shinichiro Shinzaki, Hideki Iijima, Tetsuo Takehara	Helicobacter pylori eradication prevents secondary gastric cancer in patients with mild-to-moderate atrophic gastritis	J Gastroenterol Hepatol. 2021 Aug;36(8):2083-2090
Yuki Tahata, Ryotaro Sakamori, Ryoko Yamada, Takahiro Kodama, Hayato Hikita, Hideki Hagiwara, Yasuharu Imai, Naoki Hiramatsu, Shinji Tamura, Keiji Yamamoto, Masahide Oshita, Kazuyoshi Ohkawa, Taizo Hijioka, Hiroyuki Fukui, Toshifumi Ito, Yoshinori Doi, Yukinori Yamada, Takayuki Yakushijin, Yuichi Yoshida, Tomohide Tatsumi, Tetsuo Takehara	Prediction model for hepatocellular carcinoma occurrence in patients with hepatitis C in the era of direct-acting anti-virals	Aliment Pharmacol Ther. 2021 Nov;54(10):1340-1349
Emi Meren, Yoshiyuki Sawai, Kazuto Fukuda, Takumi Igura, Sachio Kogita, Yoshihiro Yukimura, Yasushi Seki, Norihiko Fijita, Masahide Oshita, Yasuharu Imai	Risk stratification of hepatocellular carcinoma in patients with chronic liver disease by combining gadolinium-ethoxybenzyl diethylenetriamine-pentaacetic acid-enhanced magnetic resonance imaging and magnetic resonance elastography	GastroHep volume3, Issue7 2021 Dec; 435-442
Yuki Tahata, Ryotaro Sakamori, Ryoko Yamada, Takahiro Kodama, Hayato Hikita, Hideki Hagiwara, Yasuharu Imai, Naoki Hiramatsu, Shinji Tamur, Keiji Yamamoto, Masahide Oshita, Kazuyoshi Ohkawa, Taizo Hijioka, Hiroyuki Fukui, Toshifumi Ito, Yoshinori Doi, Yukinori Yamada, Takayuki Yakushijin, Yuichi Yoshida, Tomohide Ttsumi, Tetsuo Takehara	Letter: evaluation and proposed reclassification of HCC prediction model of Tahata et al. in chronic hepatitis C genotype 4 patient. Authors' reply	Aliment Pharmacol Ther. 2022 Jan;55(2):258-259

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Yuta Myojin, Takahiro Kodama, Ryotaro Sakamori, Kazuki Maesaka, Takayuki Matsumae, Yoshiyuki Sawai, Yasuharu Imai, Kazuyoshi Ohkawa, Masanori Miyazaki, Satoshi Tanaka, Eiji Mita, Seiichi Tawara, Takayuki Yakushijin, Yasutoshi Nozaki, Hideki Hagiwara, Yuki Tahata, Ryoko Yamada, Hayato Hikita, Tomohide Tatsumi, Tetsuo Takehara	Interleukin-6 is a Circulating Prognostic Biomaker for Hepatocellular Carcinoma Patients Treated with Combined Immunotherapy	Cancers(Basel). 2022 Feb 10;14(4):883
Yuta Myojin, Hayato Hikita, Yuki Tahata, Akira Doi, Seiya Kato, Yoichi Sasaki, Kumiko Shirai, Sadatsugu Sakane, Ryoko Yamada, Takahiro Kodama, Hideki Hagiwara, Yasuharu Imai, Naoki Hiramatsu, Shinji Tamura, Keiji Yamamoto, Kazuyoshi Ohkawa, Taizo Hijioka, Hiroyuki Fukui, Yoshinori Doi, Yukinori Yamada, Takayuki Yakushijin, Eiji Mita, Ryotaro Sakamori, Tomohide Tatsumi, Tetsuo Takehara	Serum growth differentiation factor 15 predicts hepatocellular carcinoma occurrence after hepatitis C virus elimination	Aliment Pharmacol Ther. 2022 Feb;55(4):422-433
Kazuki Maesaka, Ryotaro Sakamori, Ryoko Yamada, Yuki Tahata, Yasuharu Imai, Kazuyoshi Ohkawa, Masanori Miyazaki, Eiji Mita, Toshifumi Ito, Hideki Hagiwara, Takayuki Yakushijin, Takahiro Kodama, Hayato Hikita, Tomohide Tatsumi, Tetsuo Takehara	Hyperprogressive disease in patients with unresectable hepatocellular carcinoma receiving atezolizumab plus bevacizumab therapy	Hepatol Res. 2022 Mar;52(3):298-307
Takahiro Amano, Shinichiro Shinzaki, Akiko Asakura, Taku Tashiro, Mizuki Tani, Yuriko Otake, Takeo Yoshihara, Shuko Iwatani, Takuya Yamada, Yoko Sakakibara, Naoto Osugi, Syuji Ishii, Satoshi Egawa, Manabu Araki, Yuki Arimoto, Masanori Nakahara, Yoko Murayama, Ichizo Kobayashi, Kazuo Kinoshita, Hiroyuki Ogawa, Satoshi Hiyama, Narihiro Shibukawa, Masato Komori, Yorihide Okuda, Takashi Kizu, Syunsuke Yoshii, Yoshiki Tsujii, Yoshito Hayashi, Takahiro Inoue, Hideki Iijima, Tetsuo Takehara, Minoru Kato, Yoshito Hayashi, Hiromu Fukuda, Shinjiro Yamaguchi, Takuya Inoue, Hideharu Ogiyama, Shinji Kitamura, Masato Komori, Katsumi Yamamoto, Masashi Yamamoto, Kengo Nagai, Masanori Nakahara, Satoshi Egawa, Takuya Yamada, Akira Sasakawa, Takashi Kizu, Osamu Nishiyama, Satoki shchijo, Syunsuke Yoshii, Yoshiki Tuji, Shinichiro Shinzaki, Hideki Iijima, Tetsuo Takehara	Elderly onset age is associated with low efficacy of first anti-tumor necrosis factor treatment in patients with inflammatory bowel disease	Sci Rep. 2022 Mar 29;12(1):5324

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Minoru Kato, Yoshito Hayashi, Hiromu Fukuda, Shinjiro Yamaguchi, Takuya Inoue, Hideharu Ogiyama, Shinji Kitamura, Masato Komori, Katsumi Yamamoto, Masashi Yamamoto, Kengo Nagai, Masanori Nakahara, Satoshi Egawa, Takuya Yamada, Akira Sasakawa, Takashi Kizu, Osamu Nishiyama, Satoki shchijo, Syunsuke Yoshii, Yoshiki Tujii, Shinichiro Shinzaki, Hideki Iijima, Tetsuo Takehara	Geriatric nutritional risk index as a prognostic indicator in elderly patients with early colorectal cancer undergoing endoscopic submucosal dissection	Dig Endosc. 2022 Mar ;34(3):569-578

## □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
座長 今井 康陽	一般演題ブース3 肝臓/症例	第94回日本超音波医学会学術集会 神戸国際展示場 2021/5/21
氣賀澤 齊史、山口 典高、中原 征則、 今井 康陽	パネルディスカッション1 「胆膵疾患に対する内視鏡診断・治療の工夫」No-suction 法によるEUS-FNB についての検討	第106回日本消化器内視鏡学会 近畿支部例会 リーガロイヤルホテル大阪 2021/7/10
山口 典高、中原 征則、鬘 瑛、 氣賀澤 齊史、今井 康陽	シンポジウム1 「上部消化管ESD/EMRにおける残された課題と乗り越える工夫」当院における表在型十二指腸非乳頭部上皮性腫瘍に対する underwaterEMR の治療成績	第106回日本消化器内視鏡学会 近畿支部例会 リーガロイヤルホテル大阪 2021/7/10
中原 征則、山口 典高、氣賀澤 齊史、 島越 洋美、今井 康陽	パネルディスカッション2 「高齢者内視鏡治療の現況と課題」高齢者閉塞性大腸癌に対する術前大腸金属ステント留置術の有用性と安全性	第106回日本消化器内視鏡学会 近畿支部例会 リーガロイヤルホテル大阪 2021/7/10
花房 賢爾、島越 洋美、今井 康陽、 尾下 正秀、福田 和人、井倉 技、 中原 征則、山口 典高、鬘 瑛	パネルディスカッション2 「高齢者内視鏡治療の現況と課題」高齢者閉塞性大腸癌に対する術前大腸金属ステント留置術の有用性と安全性	第106回日本消化器内視鏡学会 近畿支部例会 リーガロイヤルホテル大阪 2021/7/10
花房 賢爾、島越 洋美、今井 康陽、 尾下 正秀、福田 和人、井倉 技、 中原 征則、山口 典高、鬘 瑛	貧血を契機に診断されたA型胃炎の1例	第234回日本内科学会近畿地方会 WEB開催 2021/12/4
相馬 一超、福田 和人、澤井 良之、 小来田 幸世、井倉 技、山口 典高、 氣賀澤 齊史、島越 洋美、鬘 瑛、 杉尾 諒、尾下 正秀、今井 康陽	肝細胞癌の予後および長期生存に関与する因子の検討	第44回日本肝臓学会西部会 岡山 2021/12/9-10
杉尾 諒、澤井 良之、尾下 正秀、 今井 康陽	肝細胞癌の予後および長期生存に関与する因子の検討ワークショップ1 「肝炎ウイルスコントロール下における課題へのアプローチ」C型肝炎に対するDAA療法前後における肝硬度および脾硬度の推移について—血清バイオマーカーとの比較検討	第116回日本消化器病学会近畿支部例会 大阪国際会議場 2022/2/5
大川 芹、福田 和人、和田 範子、 原田 宗一郎、澤井 良之、 小来田 幸世、中原 征則、山口 典高、 氣賀澤 齊史、島越 洋美、鬘 瑛、 井倉 技、尾下 正秀、今井 康陽	術前診断が困難であった肝外発育型細胞癌の1例	第116回日本消化器病学会近畿支部例会 大阪国際会議場 2022/2/5

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
山田 雅彬、小来田 幸世、澤井 良之、井倉 技、福田 和人、石川 史彬、北中 崇雄、箕浦 悠太郎、杉尾 諒、相馬 一超、鬘 瑛、島越 洋美、氣賀澤 斉史、山口 典高、中原 征則、尾下 正秀、今井 康陽、瀧内 大輔、濱 直樹、大橋 寛嗣	肝細胞癌と鑑別困難であった肝悪性リンパ腫の1例	第116回日本消化器病学会近畿支部例会 大阪国際会議場 2022/2/5
今中 友香、井倉 技、石川 史彬、北中 崇雄、箕浦 悠太郎、相馬 一超、杉尾 諒、澤井 良之、小来田 幸世、鬘 瑛、島越 洋美、山口 典高、氣賀澤 斉史、中原 征則、福田 和人、尾下 正秀、今井 康陽	アテンゾリズム+ベバシズマブ併用療法にて下垂体性副腎皮質機能低下症を来した肝細胞癌の1例	第116回日本消化器病学会近畿支部例会 大阪国際会議場 2022/2/5
中山 俊雄、氣賀澤 斉史、石川 史彬、北中 崇雄、箕浦 悠太郎、相馬 一超、杉尾 諒、鬘 瑛、島越 洋美、山口 典高、小来田 幸世、澤井 良之、中原 征則、井倉 技、福田 和人、尾下 正秀、今井 康陽	分枝型IPMNを伴う膵に発症した膵原発悪性リンパ腫の1例	第116回日本消化器病学会近畿支部例会 大阪国際会議場 2022/2/5

#### ■ 研修・教育活動（R3.4～R4.3）

福田和人副院長（大阪大学臨床教授、兵庫医科大学臨床実習教授）、中原征則消化器内科主任部長（兵庫医科大学臨床実習教授）の下、大阪大学医学生、兵庫医科大学医学生の学外研修（クリニカルクラークシップ）に精力的に協力した。

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

- 永井 邦彦：循環器全般  
(循環器学会専門医、内科学会総合内科専門医、兵庫医科大学臨床教育教授)
- 北川 元昭：循環器全般 ステンント治療  
(循環器学会専門医、内科学会認定内科医)
- 二宮 智紀：循環器全般 不整脈：カテーテルアブレーションとペースメーカー治療  
(不整脈学会、循環器学会、内科学会)
- 柴本 将人：循環器全般 カテーテル治療とペースメーカー治療  
(循環器学会専門医、内科学会総合内科専門医、内科学会認定内科医)
- 古川 哲生：循環器全般 カテーテル治療とペースメーカー治療  
(循環器学会専門医、超音波学会専門医、内科学会総合内科専門医)
- 井手本 明子：循環器全般 カテーテル治療と超音波検査  
(循環器学会専門医、超音波学会専門医、内科学会認定内科医)
- 田中 啓介：循環器全般 カテーテル治療とペースメーカー治療  
(循環器学会、心不全学会、内科学会)

#### ■ 診療・業務概要

循環器内科は、心不全、心筋梗塞、不整脈、弁膜症、大動脈/末梢動脈疾患、静脈血栓塞栓症(肺塞栓)など急性期疾患全般に対応しています。

2021年度は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも入院患者さんは前年比20%以上増加、カテーテル治療、心血管エコー件数も前年比10%以上増加し、ともに過去最高となりました。また、コロナトリアージを行いながらも救急対応能力も維持しており、「ウイズ・コロナ」の時代でも循環器内科はますます必要とされていることがわかります。

冠動脈や末梢動脈のカテーテル治療と同時に、心房細動始め各種不整脈に対するカテーテルアブレーションも順調に症例を積み重ねています。

血行動態不安定な症例には、IABP(大動脈バルーンポンプ)とV-A ECMO(経皮的心肺補助装置)を用い救命に努め、また重症呼吸不全には、呼吸器内科と協同でV-V ECMOも導入しています。

冠動脈バイパス術・弁形成術/人工弁置換術・胸部大動脈人工血管置換術などの開心術および経カテーテル大動脈弁置換術・僧帽弁Mitral Clip・大動脈ステントグラフトなどの低侵襲カテーテル手術適応患者さんについては、大阪大学心臓血管外科、兵庫医科大学心臓血管外科、国立循環器病研究センターと緊密な連携をとっています。

#### 【主な疾患】

##### 虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)

冠動脈ステント治療(PCI)は87件で、急性冠症候群(急性心筋梗塞、不安定狭心症)に対する緊急PCIは17件行いました。Courage試験・Ischemia試験の結果をふまえて、待機的PCIは、最適な内科的治療(OMT: Optimal Medical Treatment)を行ったうえで、負荷心筋シンチや

FFR 測定で虚血が確認された症例に行うように努めています。

### 不整脈治療

カテーテルアブレーションは、心房細動 33 件、心室頻拍 3 例ほか計 42 件、徐脈性不整脈に対するペースメーカー植え込み術は 38 件行いました。最近のトピックスとして、失神(意識消失発作)の原因精査目的に皮下植え込み型心電図モニター(ICM)を積極的に行っています。洞不全症候群や発作性完全房室ブロックが記録された症例にはペースメーカーを植え込み、頻脈性不整脈に対してはカテーテルアブレーションを行い、再発予防・根治的治療に有用でした。

### 閉塞性下肢動脈硬化症 (ASO)

高齢化と糖尿病罹患率の上昇とともに末梢動脈の狭窄・閉塞疾患も年々増加しています。腸骨動脈・大腿動脈領域を中心としたの血管内治療 (EVT) は 36 例(10 例は救肢のため準緊急)に行いました。腎動脈狭窄や鎖骨下動脈狭窄に対しても EVT を開始しています。末梢動脈領域でも、冠動脈治療と同様に血管内超音波を用いて、最適なバルーン拡張やステント留置を行っています。

### 弁膜症

高齢化と共に大動脈弁狭窄症と僧帽弁閉鎖不全症が増加しています。両疾患ともに、低侵襲カテーテル治療が積極的に行われており、当院でも最新の心エコーで弁膜病変の精確な診断を行ない、手術適応を評価しています。心エコーは、経食道心エコー・ドブタミン負荷エコー(7 例)も含めて 4,500 件以上に増加しました。

## 《実績》

### ■ 統計実績

	2020 年度	2021 年度
心臓エコー	4,289	4,453
経食道心エコー	42	51
頸動脈エコー	1,137	1,391
下肢血管エコー	1,625	1,729
心血管エコー合計	7,051	7,697
カテーテル件数	354 (緊急 35 例)	350 (緊急 33 例)
カテーテル治療件数	202 (緊急 32 例)	222 (緊急 32 例)
冠動脈ステント治療	77 (緊急 15 例)	87 (緊急 17 例)
末梢動脈血管内治療	23	36 (重傷虚血 10 例)
ペースメーカー治療	36	38
アブレーション治療	42(心房細動 37)	42(心房細動 37, VT 3)
皮下植込型心臓モニター	3	3
IABP/ECMO	4(IABP 2,ECMO 2)	4(IABP 2、ECMO 2)
その他緊急治療(IVC フィルターなど)	18	18
入院患者数	536	653

## ■ 学術業績

### □ 学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
古川 哲生、田中 啓介、井手本 明子、柴本 将人、二宮 智紀、北川 元昭、永井 邦彦	壊死性筋膜炎の改善に伴い洞不全症候群が改善した1例	第 132 回日本循環器学会近畿地方会 大阪 2021/11/4
末崎 慎也、古川 哲生、田中 啓介、井手本 明子、柴本 将人、二宮 智紀、北川 元昭、永井 邦彦	重傷化新型コロナウイルス肺炎患者への対応にせまられた中等症病院での治療経験について	第 21 回大阪病院学会 WEB 2021/11/7
高木 宏太、古川 哲生、田中 啓介、井手本 明子、柴本 将人、二宮 智紀、北川 元昭、永井 邦彦	完全房室ブロック加療の際に先端巨大症を指摘できた1例	第 234 回日本内科学会近畿地方会 WEB 2021/12/4
小泉 遙、古川 哲生、田中 啓介、井手本 明子、柴本 将人、二宮 智紀、北川 元昭、永井 邦彦	肺高血圧症の精査過程で強皮症の可能性が疑われた1例	第 235 回日本内科学会近畿地方会 WEB 2022/3/12

## ■ 研修・教育実績

平成 21 年度に日本循環器学会認定循環器専門医研修施設に認定されたのを受けて、初期研修医が 6 週交代で循環器内科研修を循環器専門医とともに行っていきます。

教育方針としては、1) メディカル・インタビューと身体診察を重視し、各種画像から得られた診断を、常に病歴・身体所見・簡単な検査(心電図など)に還元し、2) 集中治療室のラウンドを通じて、全身管理を学んでもらえるように努めています。

## 《概 要》

### ■ 組織・スタッフ

松本 昌泰（病院顧問）：日本内科学会認定医、日本神経学会指導医・専門医、  
日本老年医学会認定老年病指導医・専門医、  
日本脳卒中学会認定脳卒中指導医・専門医、  
日本動脈硬化学会認定指導医、

那波 一郎（部長）：日本内科学会総合内科指導医・専門医、  
日本神経学会指導医・専門医、日本認知症学会指導医・専門医、  
日本臨床神経生理学会指導医・専門医

上原 拓也（医員）：日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会専門医

### ■ 診療・業務概要

神経疾患は慢性に経過する変性疾患のようなものから、髄膜脳炎、ギランバレー、脳卒中などの救急対応が必要なものまで幅広い対応が必要となります。当科では外来診療、検査、診断、治療目的の入院から、急性期対応が必要な疾患まで対象としています。検査としては、血液検査、脳脊髄検査、画像検査（CT、MRI、MRA、SPECT、DATscan、心筋シンチなど）、頸動脈エコー、神経生物学的検査（脳波、神経伝導検査、針筋電図、誘発電位）、末梢神経生検、筋生検などを行います。診断確定のため、国内外の研究機関に検査を依頼するなども行っています。脳梗塞には急性期治療（t-PA、血管内治療は除く）を入院の下で、リハビリテーションとともに行います。パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経変性疾患では、投薬加療と生活指導、場合によってはリハビリテーションを行います。

### 【主な疾患】

- ・脳脊髄：脳血管障害（脳梗塞、一過性脳虚血発作など）
- ・神経変性疾患（パーキンソン病、パーキンソン症候群、脊椎小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症など）
- ・認知症（アルツハイマー病、前頭側頭型認知症、レヴィー小体型認知症など）
- ・末梢神経疾患（ギランバレー症候群、遺伝性末梢神経障害など）
- ・髄膜脳炎（感染性、自己免疫性など）
- ・自己免疫疾患（多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症など）
- ・筋疾患（筋炎、ミオパチーなど）

## 《実績》

### ■ 統計実績

2021年4月～2022年3月の実績

●外来患者数 3,786人 (1日当たり15.6人)

紹介率 95.9%、逆紹介率 101.4%

●退院患者総数 156人

平均在院日数 15日 (平均在科日数 13.6日)

紹介入院率 45.5%、逆紹介率 47.4%、救急車搬送率 36.5%

### 内訳

主病名	退院患者数	平均在院日数
脳梗塞	29	16.7
ニューロパチー	4	11.3
一過性脳虚血発作	3	4.3
その他の脳血管障害	1	9.0
パーキンソンズム	23	15.7
脊髄症	1	16.0
てんかん	2	17.5
前庭機能障害	17	4.9

主病名	退院患者数	平均在院日数
運動ニューロン疾患	10	23.8
中枢性脱髄性疾患	2	28.5
髄膜炎、脳炎、脳症	10	16.5
認知症性疾患	3	21.3
自律神経障害	1	24.0
脊髄小脳変性症	2	13.5
筋疾患	4	14.3
その他	44	15.0

### ■ 学術業績

#### □原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Kitagawa K, Arima H, Yamamoto Y, Ueda S, Rakugi H, Kohro T, Yonemoto K, Matsumoto M, Saruta T, Shimada K	Management of Hepatocellular Carcinoma in Japan: JSH Consensus Statements and Recommendations 2021 Update	Recurrent Stroke Prevention Clinical Outcome (RESPECT) Study Group. Hypertens Res. 2022 45(4):591-601. Epub 2022 Mar 4.
Kimura S, Toyoda K, Yoshimura S, Minematsu K, Yasaka M, Paciaroni M, Werring DJ, Yamagami H, Nagao T, Yoshimura S, Polymeris A, Zietz A, Engelter ST, Kallmünzer B, Cappellari M, Chiba T, Yoshimoto T, Shiozawa M, Kitazono T, Koga M	Practical "1-2-3-4-Day" Rule for Starting Direct Oral Anticoagulants After Ischemic Stroke With Atrial Fibrillation: Combined Hospital-Based Cohort Study.	SAMURAI, RELAXED, RAF, RAF-NOAC, CROMIS-2, NOACISP LONGTERM, Erlangen Registry and Verona Registry Investigators. RELAXED Study Collaborators (Masayasu Matsumoto et al). Stroke. 2022 53(5):1540-1549. Epub 2022 Feb 2.
Toyoda K, Omae K, Hoshino H, Uchiyama S, Kimura K, Miwa K, Minematsu K, Yamaguchi K, Suda Y, Toru S, Kitagawa K, Ihara M, Koga M, Yamaguchi T	Association of Timing for Starting Dual Antiplatelet Treatment With Cilostazol and Recurrent Stroke: A CSPS.com Trial Post Hoc Analysis.	CSPS.com Trial Investigators (Masayasu Matsumoto et al). Neurology. 2022 98(10): e983-e992. Epub 2022 Jan 24.
Ishikawa K, Araki M, Nagano Y, Motoda A, Shishido T, Kurashige T, Takahashi T, Morino H, Kawakami H, Matsumoto M, Maruyama H	Knockdown of optineurin controls C2C12 myoblast differentiation via regulating myogenin and MyoD expressions.	Differentiation. 2022 123:1-8.

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Uchiyama S, Toyoda K, Omae K, Aita R, Kimura K, Hoshino H, Sakai N, Okada Y, Tanaka K, Origasa H, Naritomi H, Houkin K, Yamaguchi K, Isobe M, Minematsu K, Matsumoto M, Tominaga T, Tomimoto H, Terayama Y, Yasuda S, Yamaguchi T	Dual Antiplatelet Therapy Using Cilostazol in Patients With Stroke and Intracranial Arterial Stenosis.	J Am Heart Assoc. 2021 10(20): e022575.
Hoshino H, Toyoda K, Omae K, Ishida N, Uchiyama S, Kimura K, Sakai N, Okada Y, Tanaka K, Origasa H, Naritomi H, Houkin K, Yamaguchi K, Isobe M, Minematsu K, Matsumoto M, Tominaga T, Tomimoto H, Terayama Y, Yasuda S, Yamaguchi T	Dual Antiplatelet Therapy Using Cilostazol With Aspirin or Clopidogrel: Subanalysis of the CSPS.com Trial	CSPS.com Trial Investigators. Stroke. 2021 52(11): 3430-3439.
Nakamizo T, Cologne J, Cordova K, Yamada M, Takahashi T, Misumi M, Fujiwara S, Matsumoto M, Kihara Y, Hida A, Ohishi W	Radiation effects on atherosclerosis in atomic bomb survivors: a cross-sectional study using structural equation modeling.	Eur J Epidemiol. 2021 36(4):401-414.
Toyoda K, Yamagami H, Kitagawa K, Kitazono T, Nagao T, Minematsu K, Uchiyama S, Tanahashi N, Matsumoto M, Nagata I, Nishikawa M, Nanto S, Shirai T, Abe K, Ikeda Y, Ogawa A	Blood Pressure Level and Variability During Long-Term Prasugrel or Clopidogrel Medication After Stroke: PRASTRO-I	PRASTRO-I Study Group. J Atheroscler Thromb. 2021 28(2):169-180.
Kitazono T, Toyoda K, Kitagawa K, Nagao T, Yamagami H, Uchiyama S, Tanahashi N, Matsumoto M, Minematsu K, Nagata I, Nishikawa M, Nanto S, Ikeda Y, Shirai T, Abe K, Ogawa A	Efficacy and Safety of Prasugrel by Stroke Subtype: A Sub-Analysis of the PRASTRO-I Randomized Controlled Trial.	PRASTRO-I Study Group. J Atheroscler Thromb. 2021 28(2):169-180.

## 《概 要》

### ■組織・スタッフ

尾崎 由和（主任部長）：日本小児科学会指導医・専門医、大阪大学医学部臨床教授、大阪大学医学博士、日本内分泌学会、日本小児内分泌学会、日本小児栄養消化器肝臓学会、日本周産期・新生児医学会、日本小児感染症学会、日本小児アレルギー学会、日本エイズ学会

新谷 研（副部長）：日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医、大阪大学医学博士

上野 圭司（副部長）：日本小児科学会、日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会

辻 真之介（医 長）：日本小児科学会専門医、日本小児栄養消化器肝臓学会、日本消化管内視鏡学会、日本小児救急医学会

非常勤医師は、藤原医師（腎臓）、中山医師（腎臓）、橘医師（発達）、篠原医師（心臓）が専門外来の診療をおこなっている。

小児の心身医療の分野は、臨床心理室の臨床心理士（小林、羽下、小野）と協力して発達評価及び心理カウンセリングをおこなっている。

### ■診療・業務内容

現在 4 人の医師スタッフで診療をおこなっており、感染症、川崎病などの急性疾患だけでなく、幅広い疾患に対応している。その中でも、喘息や食物アレルギーなどのアレルギー疾患、慢性神経疾患、低身長などの内分泌疾患は患者数も多く、ニーズに応えるように努力している。

外来では午前是一般外来と専門外来、午後は専門外来をおこない、入院加療が必要な患者は 4 階東病棟へ入院としている。また平日は 19 時まで救急患者と紹介患者を受け入れており、金曜日と隔週日曜日は、豊能広域こども急病センターの後送病院となっている。

4 階東病棟には 1997 年から院内学級（池田小学校）が設置されている。該当児童にはベッドサイド指導や、院内学級への登校を指示し、入院中も病状に合わせた教育ができるように努めている。

新生児に関しては 3 階北病棟において、異常分娩の立ち会いや生後 1 日と退院前の小児科診察、新生児疾患を持つ患児の入院診療をおこなっている。また産科との連携強化の目的で産科との合同カンファレンスをおこなっている。

## 【主な疾患】

2021年度の入院患者数は358名であり、うち124名が他院からの紹介であった。うちわけは新生児疾患が176名、川崎病を含めた免疫アレルギー疾患が80名であった。新型コロナウイルスの影響で感染症の減少が続いているが、本年度はRSウイルス感染症の流行があり、感染症全体としては昨年度よりは増加している。本院の特徴として、食物アレルギーに対する負荷試験を積極的におこなっていることがあげられる。

専門外来は以下のように担当している。

- ・喘息／食物アレルギー（担当・上野副部長）
- ・神経疾患／発達障害（担当・新谷副部長）
- ・消化器（担当・辻医長）
- ・成長障害／内分泌疾患（担当・尾崎主任部長）

## 《実績》

### ■ 統計実績

外来患者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
475	395	546	493	504	405	446	430	495	473	433	559	5,654

男女別  
入院患者数

女	208
男	150
計	358

入院日数

中央値	6日
平均値	5.6日
最頻値	6日

月別入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3北	19	8	15	16	19	5	22	16	15	16	13	14	178
4東など	11	31	26	23	19	11	16	14	9	9	3	8	178
計	30	39	41	39	38	16	38	30	24	25	16	22	358

年齢別入院患者数

新生児	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	9歳	10歳	11歳	12歳	14歳	15歳	17歳
178	34	46	40	14	4	5	11	9	3	1	5	2	2	1	2

### 紹介元別入院患者数

まきこどもクリニック	34
あしの小児科	15
たむらこどもクリニック	11
豊能広域こども急病センター	8
まえかわこどもクリニック	8
原医院	7
箕面レディースクリニック分院	6
すくすくこどもクリニック	5
たなべ小児科	4
打田医院	3
たけもと小児科	3
その他	20
計	124

### 住所別入院患者数

大阪府	豊能医療圏	池田市	250
		箕面市	9
		豊中市	8
		吹田市	3
		豊能町	2
		能勢町	0
		大阪市	5
その他 大阪市	8		
兵庫県	川西市	44	
	猪名川町	2	
	その他 兵庫県	6	
他道府県		21	
計		358	

### 疾患別入院患者数

新生児疾患	
帝切児症候群	35
母体合併症	33
新生児低血糖	21
早産児・低出生体重児	20
新生児黄疸	19
新生児仮死・新生児呼吸障害	19
先天奇形およびその疑い	9
その他	20
計	176

感染症	
RSウイルス感染症	30
気管支炎・肺炎	16
急性上気道炎・扁桃炎	9
尿路感染症	6
COVID-19 およびその疑い	3
急性胃腸炎	3
その他	6
計	73

免疫アレルギー疾患	
食物アレルギー	37
気管支喘息	27
川崎病	15
アナフィラキシー	1
計	80

神経疾患	
てんかん・熱性痙攣	2
その他	3
計	5

代謝・内分泌疾患	
ケトン性低血糖症・嘔吐症	6
低身長症	3
その他	3
計	12

その他	
特発性血小板減少性紫斑病	5
骨形成不全症	2
IgA 血管炎	2
その他	4
計	13

## ■ 学術業績

### □ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
上野 圭司、辻 真之介、 新谷 研、尾崎 由和	胎児期に発症した新生児副腎出血の1例	第89回北摂小児科医会 Web開催 2021/7/31
新谷 研	座長	第89回北摂小児科医会 Web開催 2021/7/31
尾崎 由和	座長	第89回北摂小児科医会 Web開催 2021/7/31
尾崎 由和	座長	第32回大阪小児科医会救急・新生児研修会 Web開催 2022/2/19
辻 真之介	座長	第35回近畿小児科学会 Web開催 2022/2/27

## ■ 研修・教育実績

教育：尾崎主任部長が大阪大学医学部臨床教授になっており、大阪大学医学部学生 5 年生 4 名の臨床実習を受け入れた。

研修：初期研修医は 8 名が 4～6 週間のローテーションをおこなった。

総合内科専攻医は 3 名が 3 ヶ月のローテーションをおこなった。

なお当科は、日本小児科学会専門医研修施設の認定を受けている。

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

湯川 真生（乳腺・内分泌外科、病院顧問）：

日本外科学会指導医・専門医、日本乳癌学会専門医・指導医、MMG 読影認定医、  
日本消化器外科学会認定医、日本消化器病学会専門医、緩和ケア研修修了済

安座間 隆（乳腺・内分泌外科、主任部長）：

日本外科学会専門医、日本乳癌学会専門医、MMG 読影認定医、  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本静脈経腸栄養学会認定医、  
緩和ケア研修修了済

阿部 瑞穂（乳腺・内分泌外科、主任医員）：

日本外科学会専門医、日本乳癌学会専門医、MMG 読影認定医、緩和ケア研修修了済

#### ■ 診療・業務概要

乳腺疾患を中心に対応しています。

迅速な診断治療を目指しており、受診当日に、マンモグラフィ・超音波検査・穿刺吸引細胞診、場合によっては針生検（CNB）まで行います。微小石灰化病変を認め、乳癌が疑われる症例にはステレオガイド下マンモトーム生検を施行し、診断を確定します。

乳癌の手術は、乳房MRIを参考に患者様と相談の上、温存術か全摘術かの術式を選択しています。温存術の場合は整容性及び安全性にこだわり、綺麗な仕上がりを目指しています。センチネルリンパ節生検は色素法とICGを併用して行っています。乳房再建にも積極的に取り組んでおり、人工物の施設認定のもと形成外科にてインプラントや自家組織による再建を行っています。その場合は皮下乳腺全摘術などの術式を施行します。

術前・術後や再発後の薬物療法、放射線治療も積極的に行っています。

2021年の新規乳癌手術は81名の方に88件の手術が行われ、両側乳癌の症例は6名でした。乳房温存手術が27件、乳房全摘術が49件でした。同時乳房再建を伴う皮下乳腺全摘術は12件行われましたが、1件は乳房温存手術後の追加切除として行われました。再発乳癌にも6件の手術が行われました。

#### 【主な疾患】

乳癌以外の乳腺疾患では、乳腺良性腫瘍・乳腺症・乳腺炎・乳腺膿瘍などです。葉状腫瘍や3cmを超える線維腺腫は摘出術を行っています。異型乳管過形成（ADH）などの境界病変は生検を行い、悪性か否かの判定をしています。

## 《実績》

### ■ 統計実績

分類	手術名	令和1年	令和2年	令和3年
乳腺	乳房温存手術 センチネルリンパ節生検	25	24	22
	乳房温存手術 腋窩リンパ節郭清	6	5	3
	乳房温存手術のみ	2	6	4
	乳房切除 or 全乳腺切除術 センチネルリンパ節生検	29	43	36
	乳房切除 or 全乳腺切除術 センチネルリンパ節生検 一期的乳房再建	6	7	11
	乳房切除 or 全乳腺切除術 腋窩リンパ節郭清	19	13	13
	乳房切除 or 全乳腺切除術 腋窩リンパ節郭清 一期的乳房再建	5	1	1
	乳房切除 or 全乳腺切除術のみ	0	1	3
	乳腺良性腫瘍摘出術	10	9	15
	その他	7	6	3
甲状腺	甲状腺癌 全摘術、亜全摘術	1	0	0
	甲状腺癌 葉切除	1	1	0
	甲状腺癌 リンパ節郭清のみ	1	0	0
	甲状腺癌 その他	0	0	0
	甲状腺良性腫瘍に対する手術	0	0	0
	バセドウ氏病に対する手術	0	0	0
	その他	0	0	0
副甲状腺	原発性副甲状腺機能亢進症	0	0	0
	その他	0	0	0

### ■ 学術業績

#### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
安座間 隆、北田 昌之	Paclitaxel+Bevacizumab 投与中に重篤な心不全を合併した進行再発乳癌の2症例	第29回日本乳癌学会学術総会 横浜 2021/7/1-3

## 呼吸器外科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

須崎 剛行（呼吸器外科、部長）：

日本呼吸器外科専門医、日本外科学会専門医、がん治療認定医

#### ■ 診療・業務概要

疾患：肺癌を中心に、気胸、縦隔腫瘍など。また、内科治療では難治性の膿胸など。基本的には、一般胸部外科領域の疾患であれば、なんでも診察いたします。

月曜日の午後、金曜日の午後に診察をしておりますが、救急対応は適宜行っております。

大阪大学医学部呼吸器外科関連施設であり、大学と連携しながらの診療を行います。

#### 【主な疾患】

- ・肺癌
- ・転移性肺腫瘍
- ・良性腫瘍などの腫瘍
- ・気胸
- ・膿胸などの良性疾患
- ・縦隔腫瘍（良悪性とも）

### 《実績》

#### ■ 統計実績

疾患	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
良性肺腫瘍	0	0	0	1	0
原発性悪性肺腫瘍	16	24	25	25	37
肺癌	8	19	18	18	29
扁平上皮癌	6	5	4	3	7
その他	2	0	3	4	1
転移性肺腫瘍	3	7	6	14	14
気管腫瘍	0	0	0	0	0
胸膜腫瘍	0	0	0	1	0
縦隔腫瘍	0	3	1	0	1
炎症性肺疾患	2	1	1	3	0
膿胸	0	2	2	3	0
気胸	18	11	13	10	15
その他の呼吸器手術	0	2	2	3	2
全治療手術総数	39	50	50	60	69

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

太田 博文（消化器外科、副院長）：

大阪大学医学部臨床教授、兵庫医科大学臨床教育教授、  
日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医、  
日本大腸肛門病学会指導医・専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、  
手術支援ロボット助手認定、近畿外科学会評議員、難病指定医、  
臨床研修指導医のためのワークショップ修了済、がんのリハビリテーション研修会修了済、  
緩和ケア研修修了済

高地 耕（消化器外科、主任部長）：

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、  
日本食道学会食認定医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、  
日本医師会「指導医のためのワークショップ」終了、緩和ケア研修修了済

濱 直樹（消化器外科、部長）：

日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医、  
日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医、日本肝胆膵外科学会評議員、  
日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会指導医・専門医、日本胆道学会指導医・専門医、  
日本膵臓学会指導医・専門医、消化器がん外科治療認定医、近畿外科学会評議員、  
緩和ケア研修修了済

瀧内 大輔（消化器外科、副部長）：

日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、  
日本癌治療学会がん治療認定医機構がん治療認定医、  
日本肝胆膵外科学会評議員、近畿外科学会評議員、緩和ケア研修修了済、難病指定医

宗方 幸二（消化器外科、副部長）

日本外科学会指導医・専門医、日本消化器外科学会専門医、  
日本内視鏡外科学会技術認定医（大腸）、手術支援ロボット術者認定、  
外科周術期感染管理教育医・認定医（ICD）、大阪大学医学部医学研究科招聘教員、  
日本臨床外科学会評議員、緩和ケア研修修了済

和田 範子（消化器外科、副部長）：

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医、  
日本内視鏡外科学会技術認定医（胃）、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、  
日本消化器病学会専門医、日本食道学会認定医、消化器がん外科治療認定医、  
日本がん治療学会がん治療認定医機構がん治療認定医、緩和ケア研修修了済

松浦 雄祐（消化器外科、副部長）：

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、  
手術支援ロボット助手認定、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、  
緩和ケア研修修了済

福田 虹恵（専攻医）：日本外科学会、日本消化器外科学会、緩和ケア研修修了済

白崎 祐美（専攻医）：日本外科学会

藤原 雅孝（専攻医）：日本外科学会

## ■ 診療・業務概要

消化器悪性腫瘍に対する手術および化学療法や消化器良性疾患に対する手術、ヘルニア、肛門疾患に対する手術を行います。ロボット支援下手術も2022年3月から導入し、大腸癌から適応を開始しています。今後、胃癌にも適応を拡大する予定です。救急部と協力し、急性腹症に対する緊急手術に可及的に対応しています。上部消化管、下部消化管、肝胆膵疾患すべて、適応があれば腹腔鏡手術を優先させています。また、緩和ケアチームと協力した癌の終末期医療も患者さまの尊厳を重視した上で在宅医療や緩和ケア病棟への適切な紹介も行っています。

### 【主な疾患】

食道癌、胃癌、十二指腸癌、小腸癌、大腸癌（結腸癌、直腸癌）、肛門管癌、肝癌、膵癌、胆道癌、後腹膜腫瘍、胆石症や急性胆嚢炎などの良性胆道疾患、胃十二指腸穿孔、食道裂孔ヘルニア、虫垂炎、鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア、閉鎖孔ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、横隔膜ヘルニア、臍ヘルニア、内痔核、痔瘻、裂肛、直腸脱、肛門周囲膿瘍、大腸憩室による腹膜炎、腸閉塞など。

## 《実績》

### ■ 統計実績

項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
消化器外科手術症例数	814	822	845	886	829
そのうち全身麻酔による手術症例数	629	691	676	717	651
そのうち全身麻酔以外による手術症例数	185	131	169	169	178
腹腔鏡(胸腔鏡)手術症例数(原疾患を問わず)	361	458	492	544	481

項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
食道疾患 合計	9	8	16	13	9
食道癌(接合部癌扁平上皮癌含む)	8	7	12	6	2
頸部食道切除	0	0	0	0	0
胸部食道切除	3	3	7	6	2
開胸	3	2	1	0	1
胸腔鏡	0	1	6	6	1
縦隔膜鏡	0	0	0	0	0
その他	5	4	5	3	0
食道その他	1	1	4	4	7
胃・十二指腸疾患 合計	83	91	76	80	77

項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
胃癌	74	83	56	69	59
胃全摘	12	9	4	12	20
開腹	10	8	3	1	4
腹腔鏡	2	1	1	11	16
幽門側胃切除(PPG、分節切除含む)	41	43	28	26	24
開腹	14	12	6	6	2
腹腔鏡	27	31	22	20	22
噴門側胃切除	3	2	5	1	3
開腹	0	0	1	0	0
腹腔鏡	3	2	4	1	3
その他胃切除(局所切除／楔状切除など)	1	0	1	0	2
開腹	1	0	1	0	1
腹腔鏡	0	0	0	0	1
その他胃癌手術(バイパス／審査腹腔鏡など)	17	29	18	30	10
十二指腸癌	0	0	1	3	1
胃・十二指腸 GIST	6	4	5	2	2
胃・十二指腸その他(潰瘍／病的肥満／胃瘻など)	3	4	14	6	15
小腸・大腸・肛門疾患 合計	291	286	293	277	251
結腸癌	87	81	97	70	63
切除術	65	75	74	52	54
開腹	20	16	13	6	6
腹腔鏡	45	50	61	46	48
その他	0	9	0	0	0
非切除(人工肛門造設・閉鎖、バイパスなど)	22	6	23	18	9
直腸癌(肛門癌含む)	50	55	36	55	45
切除術(肛門温存)	24	39	16	29	28
開腹	10	5	2	1	2
腹腔鏡	14	22	14	28	26
その他	0	12	0	0	0
切断術(肛門非温存)	4	4	3	1	4
開腹	4	3	2	0	0
腹腔鏡	0	1	1	1	4
その他	0	0	0	0	0
局所切除(経肛門切除)	1	0	0	3	2
非切除(人工肛門造設・閉鎖、バイパスなど)	21	12	17	22	11
大腸 GIST(開腹／腹腔鏡を問わず)	0	0	0	0	1
小腸癌(開腹／腹腔鏡を問わず)	3	0	0	1	0
小腸 GIST(開腹／腹腔鏡を問わず)	3	0	0	0	0

項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
虫垂炎 合計	65	68	62	55	54
開腹	6	5	3	2	0
腹腔鏡(単孔式、RPSを含む)	59	63	59	53	54
イレウス(開腹/腹腔鏡を問わず)	22	17	15	24	7
直腸脱	15	21	19	13	24
ガント三輪法	0	2	0	1	1
アルテマイア法	11	13	3	2	10
アルテマイア法+腹腔鏡下結腸固定術	0	0	9	6	5
デロメ法	2	2	0	0	6
直腸固定術	2	4	6	2	2
粘膜切除手術	0	0	1	2	0
結腸良性疾患	18	21	26	23	34
直腸良性疾患	5	4	10	14	11
肛門良性疾患(痔核、痔瘻など)	25	13	14	19	8
小腸良性疾患	9	8	13	3	4
ヘルニア(鼠径ヘルニア、大腿ヘルニアなど)	167	188	160	203	207
開腹ヘルニア根治術	165	105	69	79	84
腹腔鏡下ヘルニア根治術	2	83	91	124	123
腹膜炎・その他	30	25	76	16	44

分類		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
	肝・胆・膵・脾 合計	234	211	224	247	208
<疾患>	原発性肝癌(肝細胞癌、肝内胆管癌)	24	30	20	22	19
	転移性肝癌	9	16	13	12	12
	胆道癌	10	16	16	10	16
	膵癌	15	14	19	16	24
	胆石症・胆嚢炎・胆嚢腺筋症など	163	122	148	166	130
	肝胆膵脾疾患他	13	14	8	21	7
<術式>	肝切除(開腹)	14	23	17	16	17
	肝切除(腹腔鏡下)	19	28	18	21	12
	膵頭十二指腸切除	11	13	19	17	10
	膵体尾部切除	6	4	8	5	9
	胆嚢摘出(開腹)	18	8	11	2	15
	胆嚢摘出(腹腔鏡下)	147	118	139	171	122
	他	19	17	12	15	23

## ■ 学術業績

### □原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Noriko W, Tsuyoshi Takahashi, Yukinori Kurokawa, Kiyokazu Nakajima, Toshiro Nishida, Masahiro Koh, Yusuke Akamaru, Masaaki Motoori, Yutaka Kimura, Koji Tanaka, Yasuhiro Miyazaki, Tomoki Makino, Makoto Yamasaki, Hidetoshi Eguchi, and Yuichiro Doki	Clinical significance of surgical intervention for imatinib-resistant gastrointestinal stromal tumor in the era of multiple tyrosine kinase inhibitors	Surgery Today 2021 51 1506-1512
Sato H, Tominaru Y, Akita H, Kobayashi S, Ito T, Sasaki K, Iwagami Y, Yamada D, Noda T, Gotoh K, Takahashi H, Hama N, Asaoka T, Tanemura M, Doki Y, Eguchi H	A case of intraductal papillary mucinous neoplasm developing in the native pancreas after pancreas transplantation treated by total pancreatectomy	Clinical Journal of Gastroenterology 2021 14 6 1766-1771
瀧内 大輔、森本 修邦、濱 直樹、大橋 寛嗣、島岡 高宏、原田 宗一郎、江口 聡、北國 大樹、和田 遼平、池嶋 遼、宗方 幸二、和田 範子、赤丸 祐介、太田 博文、柴田 邦隆	当院における原発性十二指腸癌 16 例についての検討	癌と化学療法 2021/2 48 2 251-253
佐藤 広陸、藤原 綾子、植村 守、三宅 正和、平尾 素宏、高見 康二	成人 Bochdalek 孔ヘルニア術後に腸回転異常症による腸閉塞を発症した 1 例	日本外科系連合学会誌 2021/2 46 1 102-109
赤丸 祐介、和田 範子、江口 聡、島岡 高宏、原田 宗一郎、池嶋 遼、宗方 幸二、瀧内 大輔、濱 直樹、太田 博文、柴田 邦隆	イマチニブによる術前化学療法が奏効し腹腔鏡下に切除した大型胃 GIST の 2 例	癌と化学療法 2021/12 48 13 1752-1754
和田 範子、赤丸 祐介、島岡 高宏、原田 宗一郎、江口 聡、池嶋 遼、宗方 幸二、瀧内 大輔、濱 直樹、太田 博文、大橋 寛嗣、柴田 邦隆	術前 Docetaxel+Oxaliplatin+S-1 療法が著効した進行胃癌の 2 例	癌と化学療法 2021/12 48 13 1649-1651
原田 宗一郎、和田 範子、赤丸 祐介、島岡 高宏、江口 聡、池嶋 遼、宗方 幸二、瀧内 大輔、濱 直樹、太田 博文、大橋 寛嗣、柴田 邦隆	術前診断に苦慮した肝外発育型巨大腫瘍の 1 例	癌と化学療法 2021/12 48 13 2130-2132
島岡 高宏、瀧内 大輔、濱 直樹、森本 修邦、原田 宗一郎、江口 聡、池嶋 遼、宗方 幸二、和田 範子、須崎 剛行、安座間 隆、赤丸 祐介、太田 博文、大橋 寛嗣、柴田 邦隆	残脾癌術後に仮性脾嚢胞内に再発を来した 1 例	癌と化学療法 2021/12 48 13 1786-1788

### □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
Noriko Wada, Yusuke Akamaru, Takahiro Shimaoka, Soichiro Harada, Satoshi Eguchi, Ryo Ikeshima, Koji Munakata, Daisuke Takiuchi, Naoki Hama, Hirofumi Ota, Kunitaka Shibata	The experience of nivolumab therapy in the patients with advanced and recurrence gastric cancer	第 18 回日本臨床腫瘍学会学術集会 Virtual 2021/2/19
赤丸 祐介、松山 仁、寺澤 哲司、後藤 昌弘、川端 良平、遠藤 俊治、川上 尚人、黒川 幸典、下川 敏雄、坂井 大介、藤谷 和正、佐藤 太郎	A phase II study of perioperative CapeOx for clinical SS/SE N1-3 M0 gastric cancer(OGSG1601)	第 93 回日本胃癌学会総会 大阪 2021/3/4

発表者	演題名	学会名、会場、日時
Noriko Wada, Yusuke Akamaru, Takahiro Shimaoka, Soichiro Harada, Satoshi Eguchi, Ryo Ikeshima, Koji Munakata, Daisuke Takiuchi, Naoki Hama, Hirofumi Ota, Kunitaka Shibata	The experience of the treatment for gastric neuroendocrine carcinoma	第93回日本胃癌学会総会 大阪 2021/3/4
太田 博文、宗方 幸二、池嶋 遼、 江口 聡、原田 宗一郎、島岡 高宏、 和田 範子、瀧内 大輔、濱 直樹、 赤丸 祐介、柴田 邦隆	当院における進行・再発大腸癌に対する	第121回日本外科学会定期学術集会 千葉(Web) 2021/4/8-10
宗方 幸二、太田 博文、池嶋 遼、 和田 範子、瀧内 大輔、濱 直樹、 赤丸 祐介、柴田 邦隆	大腸癌手術における Enhanced Recovery After Surgery (ERAS)の周術期感染予防に対する有用性	第121回日本外科学会定期学術集会 千葉(Web) 2021/4/8-10
和田 範子、赤丸 祐介、島岡 高宏、 原田 宗一郎、江口 聡、池嶋 遼、 宗方 幸二、瀧内 大輔、濱 直樹、 太田 博文、柴田 邦隆	胃癌に対するトリフルリジン・チピラシル塩酸塩の治療経験	第121回日本外科学会定期学術集会 千葉(web) 2021/4/8-10
瀧内 大輔	腹壁ヘルニア嵌頓に対する 当院の治療状況の検討	第12回 Acute Care Surgery 学会学術集会 島根(Web) 2021/4/22-23
和田 範子、赤丸 祐介、島岡 高宏、 原田 宗一郎、江口 聡、池嶋 遼、 宗方 幸二、瀧内 大輔、濱 直樹、 太田 博文、大橋 寛嗣、柴田 邦隆	術前 Docetaxel+Oxaliplatin+S-1 療法が著効した 進行胃癌の2例	第43回日本癌局所療法研究会 横浜 2021/5/21
原田 宗一郎、和田 範子、赤丸 祐介、 島岡 高宏、江口 聡、池嶋 遼、 宗方 幸二、瀧内 大輔、濱 直樹、 太田 博文、大橋 博嗣、柴田 邦隆	術前診断に苦慮した 肝外発育型巨大腫瘍の1例	第43回日本癌局所療法研究会 横浜 2021/5/21
島岡 高宏、瀧内 大輔、濱 直樹、 森本 修邦、原田 宗一郎、江口 聡、 池嶋 遼、宗方 幸二、和田 範子、 須崎 剛行、安座間 隆、赤丸 祐介、 太田 博文、大橋 寛嗣、柴田 邦隆	膀胱癌術後6年目に残存癌を発症し治療に難渋した一例	第43回日本癌局所療法研究会 横浜 2021/5/21
瀧内 大輔、江口 聡、和田 範子、 濱 直樹、柴田 邦隆	TAPP 術後漿液腫に対する工夫	第19回ヘルニア学会学術集会 東京(Web) 2021/5/21-22
宗方 幸二、太田 博文、池嶋 遼、 江口 聡、和田 範子、瀧内 大輔、 濱 直樹、赤丸 祐介、柴田 邦隆	当院における急性虫垂炎に対する緊急手術の診療体制の工夫-緊急手術 vs 待機手術	第76回日本消化器外科学会総会 京都 2021/7/7-9
瀧内 大輔、氣賀澤 斉史、濱 直樹	急性胆嚢炎に対する当院の 治療戦略と手術施行時期の検討	第57回胆道学会学術集会 横浜(Web) 2021/7/8
福田 虹恵、和田 範子、高地 耕、 島岡 高宏、原田 総一郎、佐藤 広陸、 松浦 雄祐、宗方 幸二、瀧内 大輔、 濱 直樹、太田 博文	ESD5年後に腹膜播種再発を来した胃粘膜内癌の1例	第82回攝津外科検討会 大阪 2021/7/21
Hirofumi Ota, Akihito Tsuji, Tetsuji Terazawa, Toru Miyake, Sagawa Tamotsu, Shu Okamura, Mitsugu Kochi, Masahito Kotaka, Yutaro Kubota, Yu Sunakawa,	A randomized phase II study of FOLFOXIRI plus cetuximab versus bevacizumab as the first-line treatment in metastatic colorectal cancer with RAS wild-type tumors: the DEEPER trial (JACCRO CC-13)	第59回日本癌治療学会学術集会 横浜 2021/10/21-23

発表者	演題名	学会名、会場、日時
太田 博文、宗方 幸二、松浦 雄祐	完全直腸脱に対する新しい手術 Altepeier procedure with laparoscopic colopexy (Lap Altepey)	第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会 広島 2021/11/12-13
宗方 幸二、松浦 雄祐、太田 博文	高齢者大腸癌患者に対する enhanced recovery after surgery (ERAS)を基本とした治療戦略と課題	第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会 広島 2021/11/12-13
松浦 雄祐、太田 博文、宗方 幸二	Rhomboid flap 形成術が 奏功した毛巣洞の 1 例	第 76 回日本大腸肛門病学会学術集会 広島 2021/11/12-13
太田 博文、中田 健、小森 孝通、 笹生 和宏、賀川 義規、森田 俊治、 能浦 真吾、林 伸泰、植村 守、 松田 宙、佐藤 太郎、水島 恒和、 村田 幸平、土岐 祐一郎、江口 英利	パニツムマブ皮膚障害予防策としてのスキンケアとクラリスロマイシン内服投与の効果	第 83 回日本臨床外科学会総会 東京 2021/11/18-20
宗方 幸二、太田 博文、松浦 雄祐、 和田 範子、瀧内 大輔、濱 直樹、 高地 耕	高齢者および超高齢者に対する大腸癌手術における enhanced recovery after surgery (ERAS)の有用性の検討	第 83 回日本臨床外科学会総会 東京 2021/11/18-20
宗方 幸二、太田 博文、松浦 雄祐、 和田 範子、瀧内 大輔、濱 直樹、 高地 耕	憩室炎による結腸膀胱瘻に対する腹腔鏡手術に infrared illumination system (IRIS)が有用であった 3 例	第 34 回日本内視鏡外科学会総会 兵庫 2021/12/2-4
島岡 高宏、瀧内 大輔、濱 直樹、 原田 宗一郎、佐藤 広陸、松浦 雄祐、 和田 範子、宗方 幸二、高地 耕、 太田 博文	脾臓 Sclerosing angiomatoid nodular transformation に対して、腹腔鏡下脾臓摘出術を施行した 1 例	第 34 回日本内視鏡外科学会総会 兵庫 2021/12/2-4
佐藤 広陸、和田 範子、高地 耕、 島岡 高宏、松浦 雄祐、宗方 幸二、 瀧内 大輔、濱 直樹、太田 博文	Morgagni 孔ヘルニアに対して、腹腔鏡下横隔膜ヘルニア修復術を施行した一例	第 34 回日本内視鏡外科学会総会 兵庫 2021/12/2-4
宗方 幸二、太田 博文、松浦 雄祐、 和田 範子、瀧内 大輔、濱 直樹、 高地 耕、生地 あゆみ	大腸癌手術における術後感染症に対する Enhanced Recovery After Surgery (ERAS)を基本とした周術期栄養管理の有用性の検討	第 34 回日本外科感染症学会総会学術集会 福岡 2021/12/17-18

## 脳神経外科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

2010年4月から脳神経外科外来が開始され、現在、脳神経外科専門医が派遣され、診療に当たっている。

#### ■ 診療・業務概要

外来は2010年4月から開設され、週2日（水曜日午前、金曜日午前）診療を行っている。外来診療は原則として紹介制にしている。入院は、定数1名として運用している。

地域基幹病院として、近隣からの紹介患者さんを中心に診療を行っている。神経学的診察に加えて、神経放射線学的検査も施行し、他部門・他診療科の協力を得ながら総合的に診断し、加療に当たる。

疾患として脳血管障害が多く、長期にわたる治療が必要となる場合も少なくないため、病診連携・病病連携を活用し、地域医療機関への逆紹介にも留意している。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

2021年4月～2022年3月の実績

●外来患者数 634人（1日当たり2.6人）

紹介率 93.1%、逆紹介率 89.6%

●退院患者総数 0人

平均在院日数0日（平均在科日数 0日）

紹介入院率 0%、逆紹介率 0%、救急車搬送率 0%

## 整形外科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

令和3年度末のスタッフは7名（整形外科5・リハビリ科2）で、令和3年度中に3名の異動があった。

#### 令和3年度末に在籍

大河内 敏行（副院長、昭和58年卒）

日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医、脊椎脊髄外科専門医、  
日本整形外科学会専門医、中部日本整形外科災害外科学会評議員、  
日本整形外科学会認定リウマチ医・リハビリ医・脊椎脊髄病医、  
日本リハビリテーション医学会認定臨床医、義肢装具判定医

若林 元（整形外科主任部長、平成5年卒）

日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医・リハビリ医

三輪 俊格（整形外科副部長、平成14年卒）

日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医、脊椎脊髄外科専門医、  
日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

今井 優子（整形外科副部長、平成17年卒）

日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医

宮本 直（リハビリ科医長、平成21年卒）

日本整形外科学会専門医

石田 和大（整形外科医員、平成25年卒）

中村 正人（リハビリ科医員、平成26年卒）

#### 令和3年度内に異動となったスタッフ

大河内 敏行（H17.1.1～R4.3.31）

金山 完哲（H30.1.1～R3.12.31）

中村 正人（R3.4.1～R4.3.31）

#### ■ 診療・業務概要

医師7名で診療にあたっています。うち5名が日本整形外科学会専門医です。関節外科、脊椎外科、手外科の3つの専門領域に対し、エビデンスに基づいた高度医療を目指しています。リウマチに対しても生物学的製剤などによるコントロール、手術を積極的に行っています。

近年、骨粗鬆症に伴う高齢者の骨折が増えています。早期に機能回復が出来るよう努めています。

#### 【主な疾患】

##### ・関節外科

膝関節・股関節の人工関節を中心とした治療を行っており、保存療法の効果がない患者さまが手術対象です。低侵襲と高機能を目指して手術手技を改良しております。コンピューター支援手術も導入しています。

・脊椎外科

変性疾患では保存療法に抗する疼痛や麻痺など神経症状をきたす椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症の患者さま、また脊椎骨折などの患者さまが手術対象となります。

・手外科

骨折、腱損傷、靭帯損傷、絞扼性神経障害（手根管症候群など）、腱鞘炎、変形性関節症、リウマチ手、腫瘍など、上肢に生じる障害や疾患を幅広く専門的に治療しています。

《実績》

■ 統計実績

(表 1)

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
外来	平均外来患者数(人/日)	44.4	42.8	43.3	43.8	48.6	46.4	45.9
入院	病床稼働率(%)	95.0	76.0	72.5	69.8	72.5	73.4	70.6
	在院日数(日)	23.7	23.7	23.3	19.5	17.5	20.2	22.6
	紹介率(%)	93.8	94.6	95.9	95.8	92.6	96.1	97.2
	逆紹介率(%)	88.8	74.7	61.9	63.9	63.6	81.6	90.4

(表 2)

分類	手術	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
人工関節	人工膝関節	56	64	63	81	76	63	48
	人工股関節	43	35	37	40	56	52	50
	その他	0	0	0	0	0	1	1
脊椎	頰椎	23	14	21	19	23	12	33
	胸椎	3	6	6	10	10	6	8
	腰椎	47	46	58	66	76	97	81
腫瘍		14	5	23	13	19	14	10
外傷	骨折	178	184	166	180	212	203	160
	人工骨頭(股・肩)	37	46	38	43	55	33	30
	抜釘	38	42	42	46	50	51	47
関節形成術	前足部・肘・手関節	4	4	6	1	5	9	11
腱	アキレス腱縫合術	7	5	7	4	7	3	3
	その他の縫合・移行術	8	13	6	6	9	8	12
	腱鞘切開	61	51	69	59	64	91	85
神経	手根管開放術・尺骨神経移行術	54	49	74	53	67	73	68
膝 (鏡視下手術)	半月板、ACL、滑膜	8	0	3	6	2	2	4

その他	21	40	23	35	55	33	26
合計	602	604	642	662	786	751	677

## ■ 学術業績

### □論文発表

発表者	題名	雑誌名、巻号
今井 優子	腱鞘切開術後 PIP 関節伸展制限を合併したばね指症例の検討	日本手外科学会雑誌、第37巻3号

### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
金山 完哲	ブーメラン型 cage を用いた PLIF 手技の新たな試み	第 50 回日本脊椎関節病学会学術集会 ON-LINE 2021/4/22-24
金山 完哲	PPS による低侵襲固定術におけるオリエチレンテフタレートバンド併用固定の工夫	第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 名古屋 2021/10/1-2
金山 完哲	Biology の観点から椎体間固定術の骨癒合率上昇を目指すための新規デバイスの開発工夫	第 30 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 名古屋 2021/10/1-2
橋本 拓人	骨パジェット病に対する手術加療とデノスマブ投与加療の効能	第 137 回中部日本整形外科学会災害外科学会・学術集会 ON-LINE 2021/10/8-9
金山 完哲	高齢女性における腰椎すべり症に対する椎体固定術にテリパラチドは有効か？	第 23 回日本骨粗鬆症学会 ON-LINE 2021/10/8-10
金山 完哲	最適な逐次療法を目指したテリパラチドからロモゾマブへのスイッチのタイミングの検討(中間報告)	第 23 回日本骨粗鬆症学会 ON-LINE 2021/10/8-10

### □研究会・講演会発表

発表者	演題名	講演会名、会場、日時
金山 完哲	日常診療に役立つ骨粗鬆症治療のイロハ	Osteoporosis NEXT Web symposium ON-LINE 2021/5/26
金山 完哲	良好な骨癒合と腰椎前弯を獲得するための PLIF 術式	NOVA Spine Surgeons Assembly @ Kita Osaka ON-LINE 2021/7/15

## ■ 研修・教育活動

発表者	演題名	講演会名、日時
金山 完哲	最新の骨粗鬆症治療薬選択と骨粗鬆性椎体骨折に対する治療法	科研製薬株式会社 社内研修会 2021/12/13

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

藤田 和敏（部長）：

日本形成外科学会専門医  
日本創傷外科学会専門医  
日本形成外科学会再建・マイクロサージャリー分野指導医  
下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医  
乳房再建用エキスパンダー・インプラント責任医師  
日本顎顔面外科学会所属  
日本乳癌学会所属

常田 沙紀（医員）：2019年10月～

日本形成外科学会専門医  
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医

杉山 優弥（専攻医）：2021年4月～2022年3月

日本形成外科学会所属

平成25年12月13日より乳房再建用エキスパンダー・インプラント実施認定施設

平成27年4月より日本形成外科学会教育認定施設

### ■ 診療・業務概要

形成外科とは先天的あるいは後天的な身体外表の醜状変形に対して、機能はもとより形態解剖学的に正常にすることで、個人を社会に適応させる事を目的とする外科です。

#### 【主な疾患】

- ・眼瞼・眼窩疾患（眼瞼下垂、内反症、霰粒腫、鼻涙管閉塞、甲状腺眼症、眼窩腫瘍など）
- ・下肢静脈瘤
- ・顔面外傷（鼻骨、頬骨、眼窩骨折・皮膚軟部組織損傷など）
- ・皮膚腫瘍（良性・悪性）
- ・悪性腫瘍切除後の組織欠損（頭頸部癌、乳癌、軟部悪性腫瘍など）
- ・熱傷・瘢痕・ケロイド
- ・難治性潰瘍（糖尿病性壊疽、虚血肢、褥瘡など）
- ・手の外傷（切断指、デグロービング損傷など）
- ・その他（内シャント造設術、腋臭症など）

## 《実績》

### ■ 統計実績

手術（2021年4月～2022年3月）

入院 238件/ 外来 499件 計 737件

外傷	20例	一次再建（頭頸部、乳房など）	36例
先天異常	15例	二次再建（乳房など）	12例
良性腫瘍	361例	瘢痕・ケロイド	7例
悪性腫瘍	40例	難治性潰瘍	5例
眼瞼疾患（眼瞼下垂症等）	65例	変性疾患（内反症・下肢静脈瘤など）	66例
内シャント造設術	54例	その他	56例

### ■ 学術業績

#### □ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
杉山 優弥、常田 沙紀、藤田 和敏、曾束 洋平	TruMatch®Reconstruction システムを利用した下顎骨再建の経験	第129回関西形成外科学会学術集会 京都 2021/11/20
藤田 和敏	乳頭乳輪温存乳腺切除再建症例での内胸動脈露出のための小工夫	第12回兵庫形成外科集談会 西宮 2021/4/24
杉山 優弥	母斑切除後V-Y皮弁で再建した症例	第12回兵庫形成外科集談会 西宮 2021/4/24

## 皮膚科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

近藤 由佳理（部長）：日本皮膚科学会認定専門医、アレルギー学会、  
皮膚免疫アレルギー学会

東 典子（主任医員）：日本皮膚科学会認定専門医

川喜田遥香（専攻医）：日本皮膚科学会

川部僚子（専攻医）：日本皮膚科学会

#### ■ 診療・業務概要

湿疹、帯状疱疹、疣贅、白癬などの一般的な皮膚疾患から、重症薬疹、自己免疫性水疱症、血管炎、抗がん剤による皮膚障害、糖尿病や血流障害による皮膚潰瘍、熱傷等、母斑等の良性腫瘍から高齢者に多い皮膚悪性腫瘍まで幅広く診療にあたっています。

皮膚生検、皮膚超音波検査・CT 等を用いた画像検査、ダーモスコピー、光線テスト、パッチテスト、下肢静脈エコー・動脈エコー等を用いた各種検査が可能で、ほとんど場合は外来通院での検査が可能です。光線治療、外来での皮膚科小手術（火曜日午後 予約制）も行っております。

かかりつけ医と連携し積極的に入院加療を受け入れています、また当科は生物製剤承認施設であり、難治性の尋常性乾癬やアトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹、化膿性汗腺炎等にたいして生物製剤導入にも力をいれております。（木曜日午後 予約制）

患者さまの病状に応じて、当院形成外科（一部皮膚腫瘍、下肢静脈瘤など）、ペインクリニック（帯状疱疹後神経痛）と循環器内科や内分泌内科（閉塞性動脈硬化症や糖尿病性潰瘍）と連携して診療にあたり、場合によってはより専門性の高い病院へ当院の地域連携室を通じて紹介させていただきます。

### 《実績》

#### ■ 学術業績

##### □ 原著

著者	題名	雑誌名、巻号
吉村 亜紀、近藤 由佳理、東 典子、吉良 正浩、小島 啓尚	アトピー性皮膚炎を合併した弾性線維性仮性黄色腫の1例	皮膚の科学 2021年20巻4 293-298

##### □ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
吉村 亜紀、近藤 由佳理、東 典子、吉良 正浩、大島 純平	緩徐に進行し、広範囲な開窓術が不要であったフルニエ壊疽の女性例	第120回日本皮膚科学会総会 Web開催、横浜 2021/6/10-6/13

発 表 者	演 題 名	学 会 名、会 場、日 時
近藤 由佳理ほか	成人アトピー性皮膚炎患者における Dirty Neck(さざ波状の色素沈着)のダーモスコピー所見についての検討	第 47 回皮膚かたち研究会 Web 開催 2021/7/10
代表者 近藤 由佳理	アトピー性皮膚炎患者における Dirty Neck 発症と進展の リスクファクターの検討	第 51 回日本皮膚免疫学会総会学術大会 共同研究シンポジウム 東京 2021/11/26
近藤 由佳理	遺伝性血管性浮腫患者のライフイベントに寄り添った治療をめざして	第 72 回 日本皮膚科学会中部支部学術大会 ランチョンセミナー 奈良県コンベンションセンター 2021/11/20
吉村 亜紀、近藤 由佳理、 田邊 稔明、東 典子、影山 美沙紀	高齢関節リウマチ患者に生じた蜂窩織炎様の症状を呈した真性皮膚結核の一例	第 72 回日本皮膚科学会中部支部学術大会 奈良 2021/11/21
吉村 亜紀、近藤 由佳理、東 典子	エリスリトールによる即時型アレルギーの一例	第 489 回日本皮膚科学会大阪地方会 Web 開催 2022/2/5

## ■ 研修・教育活動

発 表 者	演 題 名	学 会 名、会 場、日 時
近藤 由佳理	入院患者の皮膚トラブル(真菌感染 褥瘡編)	市立池田病院院内勉強会 2021/6
近藤 由佳理	アトピー性皮膚炎患者における Dirty Neck 発症と進展のリスクファクターの検討	Type2 炎症 臨床あるある研究会 ホテル阪急レスパピア大阪 2021/7/27
近藤 由佳理	皮膚疾患におけるアプレミラストの有効性	北摂地区 乾癬治療を考える会 Web 開催 2021/11/13

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

令和3年1月は、井上 均主任部長(平成4年卒)以下、芝 政宏副部長(平成8年卒)、金城(きんじょう) 孝則主任医員(平成21年卒)、大島 純平主任医員(平成23年卒)、金城(かなき) 友紘医員(平成27年卒)、泉 はるか専攻医(平成29年卒)の6人体制でスタートしました。令和3年4月には芝 政宏副部長、泉 はるか専攻医が退職し、代わりに山本 哲也医師(平成28年卒)、岡本 崇医師(平成30年卒)が赴任。6人体制でスタートしております。また毎週火曜日の外来応援は氏家 剛医師(大阪大学泌尿器科助教)から波多野 浩士医師(大阪大学泌尿器科助教)に交代しました。

- 井上 均(主任部長) : 日本泌尿器科学会指導医・専門医、  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医、緩和ケア研修終了済
- 金城 孝則(医長) : 日本泌尿器科学会指導医・専門医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、  
泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医、緩和ケア研修終了済
- 大島 純平(主任医員) : 日本泌尿器科学会専門医、泌尿器腹腔鏡技術認定医、  
緩和ケア研修終了済
- 金城 友紘(医員) : 日本泌尿器科学会所属、緩和ケア研修終了済
- 山本 哲也(医員) : 日本泌尿器科学会所属、緩和ケア研修終了済
- 岡本 崇(専攻医) : 日本泌尿器科学会所属、緩和ケア研修終了済

### ■ 診療・業務概要

当院では泌尿器がん(前立腺・腎・膀胱・精巣など)や尿路結石症、前立腺肥大症、男性・女性下部尿路症状、尿路感染症、尿路性器外傷など泌尿器科疾患全般に対応しています。

当院には泌尿器科指導医2名、さらに専門医1名が勤務しており、質の高い診療を提供することが可能です。病状を患者さまに丁寧にご説明し、最良の治療方針をお示ししつつ診療を進めるように心がけております。

令和3年の実績としては1日平均外来患者数が61.9人、入院患者が781人、前立腺生検や体外衝撃波結石破碎療法(ESWL)などを除外した手術件数が合計585件でした。ESWLは原則的に外来手術として行っています。

#### 【主な疾患】

当院は大阪府がん診療拠点病院に指定されており、がんを患う多くの患者さまの診療に取り組んでおります。

尿路性器がんで最も頻度の高いのは膀胱がんで、令和3年には経尿道的膀胱腫瘍切除術を138件行いました。浸潤性膀胱がんに対しては腹腔鏡下膀胱全摘除術を5例に施行しております。

腎腫瘍に対する鏡視下腎摘除術・鏡視下腎部分切除術を15件・9件、腎盂尿管がんに対する後腹膜鏡下腎尿管全摘除術を24件行いました。

前立腺がんに対しては腹腔鏡下前立腺全摘除術を26件に施行しました。手術療法以外の根治治療として強度変調放射線療法(IMRT)を、放射線治療科立川先生にて年間36例を目途に施行

が可能です。前立腺生検は144件、すべて手術室で施行しました。

尿路結石症に対しては、体外衝撃波結石破碎療法（ESWL）やレーザーなどを用いた経尿道的腎尿管碎石術（TUL）、大きな腎結石に対しては、経皮的腎碎石術（PNL）を行うことも可能です。令和3年にはESWLを延41件、TULを102件、PNLを10件行っております。

膀胱結石に対する経尿道的手術は10件行いました。前立腺肥大症による排尿障害に対し、経尿道的前立腺手術を29件行いました。

## 《実績》

### ■ 統計実績

令和3年の泌尿器科の入院患者数は781人でした。手術件数は前年753件に対して737件でした(表1)。

手術内容については前立腺生検が144件と最も多く、膀胱がんに対するTURBT(経尿道的膀胱腫瘍切除術)が138件と続きます(表2)。

尿路性器がんで最も頻度の高いのは膀胱がんで、令和3年には経尿道的膀胱腫瘍切除術を138件行いました。浸潤性膀胱がんに対しては腹腔鏡下膀胱全摘除術を平成30年より導入しました。

腎がん/腎腫瘍に対する鏡視下腎摘除術・鏡視下腎部分切除術、腎盂尿管がんに対する後腹膜鏡下腎尿管全摘除術を計48件行いました。

前立腺がんに対して腹腔鏡下前立腺全摘除術を26件に施行しました。ロボット支援手術を令和4年2月より導入することとなりました。手術療法以外の根治療法として平成28年9月から強度変調放射線療法(IMRT)を導入しております。放射線治療科の立川先生にて現在月最大3名、年間36名を目途に主にIMRTによる治療をしていただいております。

上部尿路結石に関しては、平成25年12月に軟性尿管鏡およびホルミウムレーザー機器を導入しました。経尿道的尿管碎石術(TUL)は平成25年の28件から平成26年には50件と増加し、令和3年には102件施行しました。ESWLは41件施行しました。

前立腺肥大症に対しては経尿道的前立腺切除術・核出術を計29件施行しました。

表1 年次別入院患者数・手術件数・ESWL件数

年次	入院患者数	手術件数	ESWL 件数
平成 21 年	921	625	289
平成 22 年	837	596	283
平成 23 年	718	413	129
平成 24 年	765	438	251
平成 25 年	802	521	249
平成 26 年	836	642	175
平成 27 年	732	566	211
平成 28 年	665	575	165
平成 29 年	635	581	127
平成 30 年	727	625	121
平成 31 年	811	737	106
令和 2 年	807	753	74
令和 3 年	781	737	41

表2 手術統計

臓器	術式	件数	臓器	術式	件数
腎	鏡視下腎摘除術	15	前立腺	鏡視下前立腺全摘除術	26
	鏡視下腎尿管全摘除術	24		TURP・TUEB	29
	鏡視下腎部分切除術	9		前立腺生検	144
	経皮的腎腫瘍針生検	2	尿道	尿道狭窄拡張術	7
	経皮的腎瘻造設術	5		尿道カルンケル・尿道脱手術	2
	経皮的腎碎石術	10		コンジローマ切除術	1
	経皮的腎膿瘍穿刺	1		包茎手術	3
	経皮的腎嚢胞穿刺硬化術	3	陰嚢内容	高位精巣摘出術	1
尿管	経尿道的腎尿管碎石術	102		去勢術	1
	尿管鏡(下生検・腫瘍切除)	22		精巣摘出術	1
	尿管瘤切除	1		陰嚢水腫手術	2
	尿管ステント留置・交換	142		精液瘤切除術	1
	逆行性腎盂造影	6	副腎・後腹膜	鏡視下副腎・後腹膜腫瘍手術	7
膀胱	鏡視下膀胱全摘除術	5	精索静脈瘤	腹腔鏡下結紮	1
	TURBT・TURB	138	(尿路変向)	(回腸導管)	3
	経尿道的膀胱碎石術	10		(尿管皮膚瘻)	3
	経尿道的凝血塊除去・止血術	3	その他		
	膀胱瘻造設	1			11
			合計		737

■ 学術業績

□ 原著

著者	題名	雑誌名、巻号
泉 はるか、金城 友紘、弓場 寛、大島 純平、金城 孝則、芝 政宏、井上 均	尿管鏡で止血困難であった左特発性腎出血に対し過酸化水素水腎盂内注入が奏功した1例	泌尿器科紀要 67:489-492. 2021

## 《概要》

## ■ 組織・スタッフ

主任部長 竹原幹雄  
 医 員 舟田里奈、芦原敬允、石川 渚  
 非常勤医師 林 正美、向井ゆかり、藤田太輔、田中智人、土橋裕允

## ■ 診療・業務概要

## 1 産 科

新型コロナウイルス感染対策のためすべての妊婦に PCR 検査を行うこととなった。生殖診療で人工受精が始まった。

## 2 婦 人 科

入院患者制限のため良性疾患の手術調整を要した。子宮体癌に対するロボット支援腹腔鏡下手術を導入した。

## 《実績》

## ■ 統計実績

分娩数 271 例(帝王切開 50 例を含む)  
 開腹手術 60 例(良性 33 例、悪性 27 例)  
 腹腔鏡下手術 93 例(良性 76 例、悪性 17 例)  
 子宮鏡下手術 91 例  
 化学療法 20 例  
 放射線療法 5 例  
 子宮頸部円錐切除術 48 例  
 子宮内容除去術 25 例

## ■ 学術業績

## □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
竹原 幹雄	A malignant retroperitoneal solitary fibrous tumor: A case report	第 73 回日本産科婦人科学会 新潟 2021/4/22-25
芦原 敬允	BRCA1/2 遺伝子検査で変異を認め olaparib 維持療法に至った症例	第 73 回日本産科婦人科学会 新潟 2021/4/22-25
土橋 裕允	子宮内外同時妊娠に対して腹腔鏡下卵管切除術施行後、生児を得た一例	第 73 回日本産科婦人科学会 新潟 2021/4/22-25
石川 渚	子宮体癌との鑑別に苦慮したが、診断に至ることで治療が著効した肺腺癌の症例	第 63 回日本婦人科腫瘍学会 大阪 2021/7/16-18

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

中尾 武史（部長）：日本眼科学会認定眼科専門医、  
 身体障害者福祉法第15条指定医（視覚障害）、難病指定医、  
 日本眼科学会所属  
 宮岡 怜美（医員）：日本眼科学会所属  
 視能訓練士（ORT）は、常勤の宮崎技師長、福井主任技師、町野技師（月額）、  
 伊田技師（日額）の4名。

### ■ 診療・業務概要

今年度は、常勤医2名（中尾部長と宮岡医員）で、視能訓練士（4名）・看護師とともに、白内障はもとより網膜硝子体疾患・緑内障・角膜疾患等、幅広く診療している。十分な医療設備、迅速で正確な検査、的確な診断と治療、丁寧で分かりやすい説明、患者さまとの十分なコミュニケーションを心掛けている。治療のみならずロービジョンケアにも注力しており、患者さまにトータルで安心を提供すべく、チーム一丸となって努力している。

#### 【主な疾患】

白内障は片眼1泊、2泊の入院もしくは日帰りにて手術治療を行っており、通常の内障から成熟白内障・水晶体脱臼等の難治症例まで対応している。より良い術後視力のために徹底した術前検査を施行し、正確で低侵襲な手術を心掛けている。多焦点眼内レンズを使用した白内障手術にも対応している。水晶体・眼内レンズの脱臼に対しては眼内レンズ縫着術、もしくは強膜内固定術を施行している。網膜硝子体手術は広角観察システムを併用したコンステレーション®ビジョンシステムにて25G～27Gの小切開創より施行している。増殖糖尿病網膜症や黄斑上膜、黄斑円孔等の黄斑疾患、また網膜剥離手術にも対応している。加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症の黄斑浮腫や糖尿病黄斑浮腫に対する抗VEGF薬の硝子体内注射も施行している。緑内障はOCTも活用して細密にフォローアップし、必要な場合は手術も施行している。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### □ 手術実績(2021年4月～2022年3月)

##### 手術

水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 790件  
 (うち多焦点眼内レンズ4件、眼内レンズ強膜内固定術13件)

硝子体手術 81件

緑内障手術 1件

外眼手術 15件

##### レーザー手術

網膜光凝固術 56件

後発白内障手術  
抗 VEGF 薬硝子体注射

62 件  
262 件

## ■ ロービジョンケア

平成 14 年から眼科では、治療による視機能回復の見込みのない患者に対し、QOL 及び QOV (Quality of vision) の向上を目的にロービジョンケアを行っている。

光学的ケア、精神的ケアを中心に福祉とのつなぎの役目も担っている。

ケアの一環として、視覚障害者の自立支援のため平成 17 年度より開催している「院内ロービジョンサロン」は、前半が講演会及び講習会、後半は座談会を開いている。

今年度はコロナ感染拡大防止のため全日程中止とした。

視覚の代わりに触れることで確認することの多い視覚障害者にとって、様々なコロナ感染対策は日常生活に影響を及ぼす。感染対策をしながら QOL を維持する工夫を患者と共に模索していく必要がある。

病院主催ではあるが当事者の意見も取り入れ、運営にも参加してもらうことで、より自立支援に向けたサロンを目指している。

今後も講演会で様々な情報提供を受けることにより安心感を得、座談会で当事者同士の話し合いにより孤独感から解放され互いに問題解決の道を見つけることで、社会参加・自立へのきっかけの場となるよう再開をめざしたい。

## ■ 学術業績

### □ 原著

著 者	題 名	雑 誌 名、巻 号
Yu M, Lee SM, Lee HS, Amouzegar A, Nakao T, Chen Y, Dana R.	Neurokinin-1 Receptor Antagonism Ameliorates Dry Eye Disease by Inhibiting Antigen-presenting cell Maturation and Th17 cell Activation.	AmJ ophthalmol. 2020 Jan;190(1):125-133.
Foulsham W, Mittal SK, Taketani Y, Chen Y, Nakao T, Chauhan SK, Dana R.	Aged Mice Exhibit Severe Exacerbations of Dry Eye Disease with an Amplified Memory Th17 Cell Response.	AmJ Pathol. 2020 Jul;190(7):1474-1482.
Chen Y, Shao C, Fan NW, Nakao T, Amouzegar A, Chauhan SK, Dana R	The functions of IL-23 and IL-2 on driving autoimmune effector T-helper 17 cells into the memory pool in dry eye disease.	Mucosal Immunol. 2021 Jan;14(1):177-186.
Nakao T, Inomata T, Tahvildari M, Amouzegar A, Chen Y, Yin J, Blanco T, Musayeva A, Chauhan SK, Dana R	Amplified natural killer cell activity and attenuated regulatory T cell function are determinants for corneal alloimmunity in the very young mice.	Transplantation. in press

### □ 著書・総説

著 者	題 名	雑 誌 名、巻 号
中尾 武史	セラチア性角膜炎	眼疾患アトラスシリーズ第 1 巻 前眼部アトラス 総合医学社

## □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
中尾 武史、砂田 淳子、相馬 剛至、 大家義則、小林 礼子、高 静花、 川崎 諭、前田 直之、西田 幸二	Microsporidia 角膜炎を疑い治療的角膜移植 を施行した1症例	第 45 回日本角膜学会総会 web 2021/2/11
中尾 武史	シンポジウム 4 制御性 T 細胞を用いた角膜移植における免 疫寛容の可能性	第 125 回日本眼科学会総会 大阪 2021/4/8

## □研究会・講演会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
中尾 武史	パネルディスカッション 春季カタル	第 17 回大阪角膜フォーラム 大阪 2021/5/29
中尾 武史	パネルディスカッション 角膜ぶどう膜炎	第 250 回 O.C.C. (Osaka Ophthalmology Conference) 大阪 2021/11/6

## ■ 研修・教育活動

### □ ORT 臨床教育

当科では視能訓練士養成校の学生を受け入れ実習を行っている。

<令和元年度受け入れ人数>

大阪医専 1 名

大阪医療福祉専門学校 2 名

今年度は緊急事態宣言や養成校の自主的判断により実習中止となった期間があった。

### 主な教育内容

\*臨床の場における接遇

\*眼科一般検査：屈折検査・視力・眼圧・眼位・写真撮影・超音波・視野 OCT  
斜視弱視・眼鏡処方・白内障術前検査・色覚検査 他

\*訓練：斜視・弱視訓練

\*ロービジョンケア：ケア計画の立て方・補助具の選定方法

### □ ロービジョンケア普及活動

今年度は近隣眼科・市役所福祉課・保健所へロービジョンケアやサロンの案内は配布せず。

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

中川 あや（耳鼻いんこう科部長）：

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医・補聴器適合判定医、  
日本耳鼻咽喉科学会認定専門研修指導医、日本宇宙航空環境医学会認定医、  
身体障害者福祉法第15条第1項指定医、難病指定医、  
日本めまい平衡医学会認定めまい相談医、日本耳鼻咽喉科学会所属、  
耳鼻咽喉科臨床学会所属、日本めまい平衡医学会所属、  
日本聴覚医学会所属、日本小児耳鼻咽喉科学会所属、  
日本宇宙航空環境医学会所属、緩和ケア研修会修了

滝本 泰光（耳鼻いんこう科部長）：

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、日本耳鼻咽喉科学会認定専門研修指導医、  
身体障害者福祉法第15条第1項指定医、難病指定医、  
日本めまい平衡医学会認定めまい相談医、日本耳鼻咽喉科学会所属、  
日本めまい平衡医学会所属、日本耳科学会所属、  
日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会所属、日本解剖学会所属、  
緩和ケア研修会修了

嶋田 琢磨（耳鼻いんこう科医員）：日本耳鼻咽喉科学会所属、緩和ケア研修会修了

末方 由（耳鼻いんこう科医員）：日本耳鼻咽喉科学会所属、緩和ケア研修会修了

辻村 慶（耳鼻いんこう科医員）：日本耳鼻咽喉科学会所属、緩和ケア研修会修了

### ■ 診療・業務概要

当科では急性期病院の役割として耳鼻咽喉・頭頸部（甲状腺）領域の手術を主に行い、扁桃周囲膿瘍、急性喉頭蓋炎などの救急疾患、突発性難聴、顔面神経麻痺等に対する入院治療も行っています。2021年3月に前川千絵が退任、鶴田幸之が大阪市立総合医療センターへ赴任し、4月から末方由が着任しました。9月末には末方由が大学へ赴任、10月から辻村慶が着任しました。

COVID-19感染期もPPEを適切に使用し、感染者を出さず上気道病変の検査・加療を行いました。一方、マスク・手洗い励行により、感染症である副鼻腔炎・中耳炎・扁桃炎・鼻出血は激減、受診控えによると思われる突発性難聴・顔面神経麻痺・めまい疾患も減少し、手術症例の減少もおこりました。

①副鼻腔手術に関しては従来通り全症例ナビゲーション下にて安全に行い、手術難易度の高い好酸球形副鼻腔炎症例に関しては前部長の識名崇医師の指導の元、国内でも有数のハイレベルな手術を行いつつ3泊4日の短期入院にも対応しています。頭頸部手術の耳下腺・甲状腺、および耳科手術の鼓室形成術には神経刺激装置（NIM）を使用し、繊細な神経温存を行っています。頭頸部がん専門医である鈴木基之医師の直接指導もあり、大学と同レベルの手術を施行、専攻医教育も行っています。

②聴覚に関しては聴覚情報処理障害（APD）に対する最新の検査を開始しました。

③滝本部長主導のもと、平衡機能検査（vHIT、ENG、重心動揺検査、めまい短期入院検査、リハビリ指導）を改変、さらに充実させました。また、顔面神経麻痺に関しては最新の知見に基づいた大量ステロイド点滴を行い、リハビリ指導も行っています。

④成人に対する手術や点滴（ステロイド、デフィブラーゼ点滴）加療、補聴器外来も従来通り行っています。新生児から幼児に対する各種聴力検査（ABR、ASSR、遊戯聴力検査、DPOAE、幼児の補聴器作成、装用指導）を行い、対象児には聴覚支援教育機関を積極的に紹介・連携・情報共有に努めています。また、学童期にみられる心因性難聴に関しては、背景にあるストレス、学習障害、発達障害を臨床心理室と連携し早期発見、2次障害予防につなげています。

⑤言語に関しては、聴覚異常の有無にかかわらず、言語発達遅滞の患児（発達障害や自閉症スペクトラム症例含む）を受け入れています。小児科や市の健康増進課、発達支援課とも連携をとりながら言語リハビリ（2週間に1回程度の継続リハビリ）、吃音診察を行っています。

⑥音声に関しては、声帯結節やポリープの手術のみにとどまらず、再発予防のため、のどに負担をかけない発声指導も継続してリハビリとして行っています。

⑦嗅覚検査、味覚検査（北摂の公立病院では当科でのみ施行可能です）、狭帯域光強調観察（NBI）による悪性腫瘍の早期発見を行い、嚥下指導、リハビリも行っています。

当科の手術では、内視鏡下副鼻腔手術が最も多く、その他、扁桃など咽頭手術、耳下腺・顎下腺・甲状腺などの頭頸部手術、耳疾患に対する鼓室形成術なども行っています。また、呼吸器・神経疾患等で入院中の患者さまの気管切開や悪性リンパ腫等の診断目的に頸部リンパ節生検も行っています。

### 【主な疾患】

鼻副鼻腔疾患：鼻副鼻腔悪性腫瘍※、好酸球性副鼻腔炎、鼻中隔湾曲症、副鼻腔乳頭腫、アレルギー性鼻炎、嗅覚障害、眼窩吹き抜け骨折、鼻涙管閉塞（狭窄）症、鼻出血

耳疾患：先天性難聴、突発性難聴、顔面神経麻痺、慢性中耳炎（鼓膜穿孔）、真珠腫性中耳炎、耳硬化症、先天性耳瘻孔（耳瘻管）、耳性めまい症（良性発作性頭位眩暈、メニエール病）

咽頭疾患：扁桃肥大、慢性（習慣性）扁桃炎、アデノイド増殖症、閉塞性睡眠時無呼吸、扁桃周囲膿瘍、上・中・下咽頭癌※

喉頭疾患：喉頭癌※、声帯ポリープ、ポリープ様声帯、声帯麻痺（反回神経麻痺）、急性喉頭蓋炎

頭頸部・甲状腺疾患：耳下腺腫瘍、甲状腺癌、甲状腺良性腫瘍、顎下腺腫瘍、唾石症

※一部の甲状腺癌を除く、悪性腫瘍の治療につきましては、大阪大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科に紹介させていただきます。

## 《実績》

### ■ 統計実績

手術件数

	全麻 (例)	局麻 (例)		全麻 (例)	局麻 (例)
鼓膜切開術	0	10	アデノイド切除術	14	0
鼓膜チューブ留置術	10	6	口蓋扁桃切除術	56	0
鼓室形成術	7	0	喉頭良性病変切除術	5	0
耳瘻孔摘出術	2	0	気管切開術	8	0
外耳道腫瘍摘出術	1	1	口腔良性腫瘍手術	0	5
耳介軟骨生検術	0	1	唾石(口内法)摘出術	1	1
鼻中隔矯正術	30	0	耳下腺良性腫瘍手術	8	0
下鼻甲介切除術	56	0	顎下腺良性腫瘍手術(唾石含む)	4	0
鼻粘膜焼灼術	0	22	甲状腺腫瘍手術(副甲状腺含む)	12	0
内視鏡下鼻内開放術	38	0	その他(側頸嚢胞、皮様嚢種など)	1	3
経鼻腔の翼突管神経切断術	10	0	頸部リンパ節生検	1	15
鼻骨変形治癒骨折矯正術	3	0	異物摘出(外耳・鼻腔・咽頭)	0	12
鼻茸切除術	0	4			
顎・顔面骨骨折矯正術	0	4	合計	267	84

### ■ 学術業績

#### □ 原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Harada S, Imai T, Takimoto Y, et al	Development of a new method for assessing otolith function in mice using three-dimensional binocular analysis of the otolith-ocular reflex.	Sci Rep 17191 2021
滝本 泰光、今井 貴夫、 花田 有紀子、宇野 敦彦、 鎌倉 武史、北原 紘、猪原 秀典	内耳の病態に迫る前庭刺激検査 マウス回転検査を用いたシスプラチンによる半規管障害の検討	Otology Japan 371-375 2021
有賀 健治、滝本 泰光、北村 江理、 三好 毅、松代 直樹	当科で経験した耳鼻咽喉科領域における梅毒7症例の検討	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報 1510-1516 2021
河辺 隆誠、上塚 学、道場 隆博、 太田見 祐介、板倉 志織、 須藤 貴人、辻村 慶、西池 季隆	高気圧酸素療法における合併症 突発性難聴 239例での検討	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会報 38-42 2022

## □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
滝本 泰光、今井 貴夫、北村 公二、 奥村 朋子、太田 有美、佐藤 崇、 鎌倉 武史、猪原 秀典	視運動性眼振の倒錯現象を示す先天性眼振症 例の垂直性、斜行性滑動性眼球運動および視 運動性眼球運動	第 122 回日本耳鼻咽喉科学会総会学術講 演会 京都 2021/05/12-15
今井 貴夫、滝本 泰光、北村 公二、 奥村 朋子、太田 有美、佐藤 崇、 鎌倉 武史、猪原 秀典	視運動性眼振の倒錯現象を示す先天性眼振症 例の前庭動眼反射	第 122 回日本耳鼻咽喉科学会総会学術講 演会 京都 2021/05/12-15
有賀 健治、滝本 泰光、北村 江理、 三好 毅、松代 直樹	耳鼻咽喉科領域における梅毒 7 症例の検討	第 122 回日本耳鼻咽喉科学会総会学術講 演会 京都 2021/05/12-15
滝本 泰光、北村 江理、野崎 謙吾	当科における前庭神経炎症例の検討	第 83 回耳鼻咽喉科臨床学会総会学術講 演会 北海道 2021/06/26-27
滝本 泰光、今井 貴夫、西池 季隆、 佐藤 崇、太田 有美、鎌倉 武史、 猪原 秀典	後半規管型良性発作性頭位めまい症の Dix- Hallpike 法時での患側下懸垂頭位及び座位維 持時の疲労現象への影響	第 31 回日本耳科学会総会学術講演会 東京 2021/10/13-16
今井 貴夫、滝本 泰光、北村 公二、 奥村 朋子、太田 有美、佐藤 崇、 鎌倉 武史、猪原 秀典	pBPPV にて Dix-Hallpike 法時に患側下懸垂頭 位および座位を維持した場合の疲労現象への 影響	第 80 回日本めまい平衡医学会総会学術講 演会 東京 2021/11/10-12
滝本 泰光、今井 貴夫、奥村 朋子、 太田 由美、佐藤 崇、鎌倉 武史、 猪原 秀典	視運動性眼振の倒錯現象を示す先天性眼振症 例の垂直性、斜行性滑動性眼球運動および視 運動性眼球運動	第 80 回日本めまい平衡医学会総会学術講 演会 東京 2021/11/10-12

## □研究会・講演会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
末方 由、滝本 泰光、嶋田 琢磨、 中川 あや、辻村 慶、端山 昌樹、 北村 公二、前田 陽平、猪原 秀典、 永田 明弘	術前診断に苦慮した鼻腔多型腺腫の 2 例	第 360 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 大阪地方連合会 大阪 2021/03/05
末方 由、滝本 泰光、嶋田 琢磨、 中川 あや	中等症病床における COVID-19 重症患者の気 管切開術の経験 ～「第 4 波」の病棟逼迫の影 響～	第 358 回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 大阪地方連合会 大阪 2021/09/04

## ■ 研修・教育活動

指導者・講師	内 容	実習名・日時
中川 あや	看護学科 学生講義(病態と治療 IV、感覚器・耳 鼻科)	学校法人大阪滋慶学園 大阪医療看護専門学校 2021/06/04-07/02

## 《概要》

### ■ スタッフ数

- 医師（専任2名）：宮本 直、中村 正人  
（兼任2名）：大河内 敏行、若林 元
- 理学療法士（9名）：松山 博文、川南 香代子、面田 真也、丹羽 徹、佐々木 大地、  
横山 遙香、仲 健太、渡辺 彩、田中 大貴
- 作業療法士（8名）：柳沢 崇、横山 由梨子、佐々木 奈央、濱田 亜紀、浅野 雅也、  
渡辺 千尋、上村 彩寧、奈良垣 大地
- 言語聴覚士（3名）：安藤 敏夫、立石 圭、片尾 奈緒子

### ■ 診療・業務概要

令和3年度は、令和元年からの新型コロナウイルス感染症の影響が続く中でのリハビリテーションの提供を行ってきた。入院患者の依頼件数としては、令和2年度の6,171に対して、令和3年度は6,417と前年比104.0%であった。

#### 1 理学療法部門

理学療法部門への診療依頼件数は、本年度2,886件（前年比107.0%）と前年度より上昇し、そのうち廃用症候群リハビリテーション990件（全体の34.3%）、脳血管疾患等リハビリテーション103件（全体の3.6%）、運動器リハビリテーション440件（全体の15.2%）、呼吸器リハビリテーション492件（全体の17.0%）、がん患者リハビリテーション663件（全体の23.0%）、心大血管疾患リハビリテーション198件（全体の6.9%）であった。今年度のコロナ感染症患者に対する理学療法では早期からの介入および病室内での精神的ストレスの緩和も含め、病棟との協力の下、廊下を利用した練習内容も取り入れて行ってきた。

#### 2 作業療法部門

作業療法部門への診療依頼件数は、本年度2,655件（前年比102.7%）であり、そのうち廃用症候群リハビリテーション898件（33.8%）、脳血管疾患等リハビリテーション109件（4.1%）、運動器リハビリテーション488件（18.4%）、呼吸器リハビリテーション435件（16.4%）、がん患者リハビリテーション526件（19.8%）、心大血管疾患リハビリテーション199件（7.5%）であった。

前年度に引き続き感染対策を徹底し新型コロナ患者に対するADLの維持改善を目的とした関わりを行った。また部門において、池田市自立支援型ケア会議に参加、加えて認知症支援事業（オレンジカフェ）に参加し地域連携を図った。

#### 3 言語聴覚療法部門

言語聴覚療法部門へのリハビリ依頼内容は、本年度868件（前年比98%）であった。内訳は、廃用症候群リハビリテーション369件（前年比94%）、呼吸器リハビリテーション219件（同90%）、脳血管疾患等リハビリテーション207件（同113%）、がん患者リハビリテーション73件（113%）と、やや変動があった。呼吸器リハビリテーションでの算定が減少し脳血管疾患等リハビリテーション、癌患者リハビリテーションが増加に転じている。施設での新型コロナクラスター感染による高齢者、認知症患者に対して厳重な感染予防対策のうえ積極的に介入してきた。

## 《実績》

### ■ 統計実績 (2021.4-2022.3)

#### ◆ 療法別月別依頼件数

療法別月別依頼件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
理学療法	がん患者リハビリテーション	52	42	61	54	45	68	62	53	54	65	56	51	663
	運動器リハビリテーション	35	30	35	46	42	35	46	46	30	30	39	26	440
	呼吸器リハビリテーション	47	61	44	34	44	34	24	29	32	43	55	45	492
	心大血管疾患等リハビリテーション	14	20	12	7	20	16	16	11	26	23	17	16	198
	脳血管疾患等リハビリテーション	13	5	10	10	7	6	8	16	8	10	5	5	103
作業療法	廃用症候群リハビリテーション	66	66	87	97	90	76	109	96	96	74	64	69	990
	がん患者リハビリテーション	46	37	45	43	32	53	40	44	46	53	47	40	526
	運動器リハビリテーション	38	35	30	47	50	44	52	55	33	33	36	35	488
	呼吸器リハビリテーション	43	54	42	31	38	30	22	29	29	34	46	37	435
	心大血管疾患等リハビリテーション	14	20	13	8	20	17	16	11	24	23	17	16	199
言語療法	脳血管疾患等リハビリテーション	15	6	10	11	7	7	9	15	8	11	5	5	109
	廃用症候群リハビリテーション	62	59	87	91	83	69	98	87	84	68	51	59	898
	がん患者リハビリテーション	5	4	3	5	5	9	9	8	7	3	6	9	73
	運動器リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	呼吸器リハビリテーション	18	28	22	22	19	16	17	18	12	16	17	14	219
総計	心大血管疾患等リハビリテーション	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
	認知症患者リハビリテーション	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
	脳血管疾患等リハビリテーション	16	12	14	12	17	27	17	18	24	16	17	17	207
	脳血管疾患等リハビリテーション	16	12	14	12	17	27	17	18	24	16	17	17	207
	廃用症候群リハビリテーション	26	25	29	38	36	27	40	36	51	23	18	20	369
総計	511	504	545	556	555	535	587	572	566	526	496	464	6,417	

#### ◆ 療法別月別実施単位数

療法	項目内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	
理学療法	がん患者リハビリテーション料	480	353	552	556	460	516	602	498	566	402	433	455	5,873	
	運動器リハビリテーション料(1)	1,007	716	961	1,006	997	930	984	889	925	760	732	857	10,764	
	呼吸器リハビリテーション料(1)	404	597	533	432	400	371	338	413	328	494	516	514	5,340	
	時間内歩行試験	3	4	2	0	3	1	3	0	2	0	2	4	24	
	心大血管疾患等リハビリテーション料(1)	214	248	174	129	223	188	139	108	181	254	162	199	2,219	
	早期リハビリテーション加算(30日以内)	1,706	1,447	1,860	1,908	1,746	1,677	1,701	1,802	1,804	1,638	1,442	1,525	20,256	
	早期リハビリテーション加算(初期加算14日以内)	1,046	963	1,141	1,247	1,034	1,028	1,214	1,094	1,225	951	846	912	12,701	
	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)	131	57	135	85	76	91	72	157	108	73	86	116	1,187	
	廃用症候群リハビリテーション料(1)	672	585	719	992	867	670	783	781	868	732	636	638	8,943	
	作業療法	がん患者リハビリテーション料	458	319	434	402	325	376	477	391	449	314	350	328	4,623
運動器リハビリテーション料(1)		876	698	905	972	1,048	913	904	911	899	707	731	826	10,390	
呼吸器リハビリテーション料(1)		354	585	546	424	383	364	355	366	382	478	512	545	5,294	
心大血管疾患等リハビリテーション料(1)		227	244	183	123	166	139	145	114	203	221	167	179	2,111	
早期リハビリテーション加算(30日以内)		1,473	1,363	1,762	1,752	1,586	1,480	1,606	1,618	1,784	1,363	1,266	1,365	18,418	
早期リハビリテーション加算(初期加算14日以内)		901	920	1,100	1,103	903	914	1,145	989	1,157	831	726	778	11,467	
脳血管疾患等リハビリテーション料(1)		134	75	147	101	79	95	85	164	130	74	85	138	1,307	
廃用症候群リハビリテーション料(1)		708	603	705	938	828	608	749	719	942	699	535	574	8,608	
言語聴覚		がん患者リハビリテーション料	95	64	101	93	42	87	108	118	54	19	36	54	871
		呼吸器リハビリテーション料(1)	225	348	398	443	381	292	292	255	362	316	305	365	3,982
	早期リハビリテーション加算(30日以内)	521	589	734	836	571	464	582	594	713	545	337	483	6,969	
	早期リハビリテーション加算(初期加算14日以内)	377	418	515	593	373	327	431	384	541	335	215	308	4,817	
	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)	143	123	217	186	214	208	192	178	193	187	190	261	2,292	
脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用)	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	4		
廃用症候群リハビリテーション料(1)	448	391	360	466	403	329	400	429	527	408	274	307	4,742		
総計		12,603	11,711	14,184	14,787	13,108	12,068	13,307	12,974	14,343	11,801	10,584	11,732	153,202	

### ■ 学術業績

#### □ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
渡辺 彩	心不全患者に対し運動療法と栄養管理を多職種間でい自宅退院となった一症例	第33回大阪府理学療法学会学術大会 web会場 2021/7/11
川南 香代子	当院における新型コロナウイルス感染症病棟での理学療法士の取り組み	第21回大阪病院学会 WEB会場 2021/11/7
丹羽 徹	新型コロナウイルス感染症患者に対する理学療法の経験～身体機能は改善したが低酸素血症が残存した一症例～	第21回大阪病院学会 WEB会場 2021/11/7

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
柳沢 崇	急性期病院における認知症対応(支援)の実際	大阪府作業療法士会 認知症支援推進 委員会主催 アドバンス研修 2022/2/6

## ■ 研修・教育活動

### 1 理学療法部門

臨床教育においてはコロナウイルス感染の緊急事態宣言による実習中止のため、長期臨床実習として大阪保健医療大学、四條畷学園大学、から各1名ずつ（計2名）の学生指導を行った。また、評価実習として大阪リハビリテーション専門学校（1名）の学生指導を行った。

### 2 作業療法部門

臨床教育においてはコロナウイルス感染の緊急事態宣言による実習中止のため、臨床教育は長期臨床実習として森ノ宮医療大学（1名）、藍野大学（1名）の計2名、評価実習は箕面学園福祉保育専門学校（1名）の学生指導（計3名）のみ行った。

### 3 言語療法部門

臨床教育活動では、緊急事態宣言の発令により実習の中断や受け入れ自体の中止があったが臨床実習として大阪医療技術専門学校（1名）、見学実習として大阪医療技術専門学校（1名）の学生を受け入れ指導を行った。

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

医師：藤田主任部長、伊藤部長、立川医長、非常勤医師 9 名

技師：関技師長以下 常勤技師 18 名、非常勤月額職員 6 名、非常勤日額職員 1 名、  
非常勤時間給職員 2 名、MRI 補助婦 4 名

看護師：岸谷師長以下 常勤看護師 13 名、非常勤 9 名、補助婦 3 名（ステリ：内視鏡）

### ■ 診療・業務概要

令和 3 年 4 月（2021）～令和 4 年 3 月（2022）までの概要。

CT、MRI、IVR および放射線治療が業務の中心で、RI と一部の胸部 X 線写真の読影、autopsy imaging も行っている。

MRI については、1.5 T と 3T の 2 台体制となって 4 年目で、安定的に稼働している。前年度 6,894 件から、今年度 7,255 件となり、5%増加した。コロナ禍の影響により減少していた件数は回復傾向にあるが 2019 年のピーク時 7,577 件まではまだ回復していない。CT については、前年度 15,390 件から、今年度 15,305 件とほぼ同様（2019 年のピーク時 16,355 件）。救急含め、当日依頼の CT 検査が全検査数の 1/3 以上を占めているので、コロナ対策による病床確保で救急外来が制限され、そのため緊急 CT 撮影が減少し、CT の件数が回復していないと考えられる。

超音波検査については、超音波診断・治療センターを参照。

地域医療の MR 検査については、前年度 1,364 件から 1,489 件と、9%増加し、地域医療の CT 検査についても、前年度 952 件から 1,135 件と 19%の増加した。コロナ禍の影響が軽減し、回復傾向にある。

放射線治療については、立川医長の 4 年目にあたる。前年度は 276 例で、今年度は 228 件とやや減少した。

肺癌の体幹部定位放射線治療は今年度は 10 例（11 病変）に行った。前年度と同程度で推移している。

乳癌の外照射が 134 件から 99 件と減少した。

他に、技師による超音波検査や応援医師による IVR、RI が行われている。

## 《実績》

### ■ 統計実績

2021年度 年間放射線件数

#### ◆外 来

診療科	一般撮影(単純)	一般撮影(造影)	CT	MR	核医学	計
内科	1,821	12	2,394	140	1	4,368
小児科	247	0	25	57	1	330
外科	144	0	150	2	0	296
整形外科	5,152	18	680	569	0	6,419
皮膚科	126	0	51	37	0	214
泌尿器科	866	20	1,376	471	159	2,892
産婦人科	118	48	354	275	0	795
眼科	11	0	21	23	0	55
耳鼻咽喉科	242	0	424	294	1	961
放射線科	47	0	1,135	1,489	81	2,752
麻酔科	31	17	12	66	0	126
リハビリ科	1	0	0	0	0	1
神経内科	23	0	41	372	148	584
消化器内科	434	1	1,452	1,726	1	3,614
循環器内科	898	0	361	16	138	1,413
脳神経外科	0	0	17	231	0	248
歯科口腔外科	4,023	0	144	102	0	4,269
健診科	25	99	38	219	0	381
歯科	0	0	0	0	0	0
救急総合科	0	0	0	0	0	0
総合内科	319	1	392	38	0	750
内分泌・代謝	227	0	120	22	20	389
血液内科	444	0	193	22	0	659
呼吸器内科	2,262	111	1,212	66	2	3,653
腎臓内科	215	0	80	56	4	355
消化器外科	657	6	1,853	202	0	2,718
形成外科	9	0	94	99	0	202
緩和ケア内科	2	0	1	0	0	3
精神科	2	0	10	1	0	13
乳腺・内分泌外科	403	0	417	144	3	967
呼吸器外科	162	0	289	23	0	474
心臓血管外科	16	0	17	0	0	33
放射線治療科	19	0	9	21	0	49
免疫・膠原病内科	121	0	52	12	0	185
小児外科	1	0	0	0	0	1
計	19,068	333	13,414	6,795	559	40,169

## ◆入院

診療科	一般撮影(単純)	一般撮影(造影)	CT	MR	核医学	計
内科	151	2	56	16	0	225
小児科	23	0	0	1	0	24
外科	7	0	0	0	0	7
整形外科	1,396	3	164	31	2	1,596
皮膚科	15	0	17	5	0	37
泌尿器科	524	57	74	22	2	679
産婦人科	190	4	31	8	0	233
眼科	1	0	1	0	0	2
耳鼻咽喉科	10	1	10	16	0	37
放射線科	0	0	0	0	0	0
麻酔科	8	0	0	1	0	9
リハビリ科	1	0	0	0	0	1
神経内科	45	1	66	68	15	195
消化器内科	684	36	374	77	0	1,171
循環器内科	935	1	162	30	86	1,214
脳神経外科	0	0	0	4	0	4
歯科口腔外科	265	0	19	3	0	287
健診科	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0
救急総合科	0	0	0	0	0	0
総合内科	169	3	83	29	3	287
内分泌・代謝	170	1	66	20	1	258
血液内科	409	0	176	28	1	614
呼吸器内科	1,274	28	217	43	3	1,565
腎臓内科	309	4	114	12	1	440
消化器外科	2,236	101	241	38	0	2,616
形成外科	2	0	1	0	0	3
緩和ケア内科	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	1	1
乳腺・内分泌外科	87	0	9	5	1	102
呼吸器外科	400	2	10	0	0	412
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0
放射線治療科	1	0	0	3	0	4
免疫・膠原病内科	3	0	0	0	0	3
小児外科	0	0	0	0	0	0
計	9,315	244	1,891	460	116	12,026

## ◆外来入院

診療科	一般撮影(単純)	一般撮影(造影)	CT	MR	核医学	計
内科	1,972	14	2,450	156	1	4,593
小児科	270	0	25	58	1	354
外科	151	0	150	2	0	303
整形外科	6,548	21	844	600	2	8,015
皮膚科	141	0	68	42	0	251
泌尿器科	1,390	77	1,450	493	161	3,571
産婦人科	308	52	385	283	0	1,028
眼科	12	0	22	23	0	57
耳鼻咽喉科	252	1	434	310	1	998
放射線科	47	0	1,135	1,489	81	2,752
麻酔科	39	17	12	67	0	135
リハビリ科	2	0	0	0	0	2
神経内科	68	1	107	440	163	779
消化器内科	1,118	37	1,826	1,803	1	4,785
循環器内科	1,833	1	523	46	224	2,627
脳神経外科	0	0	17	235	0	252
歯科口腔外科	4,288	0	163	105	0	4,556
健診科	25	99	38	219	0	381
歯科	0	0	0	0	0	0
救急総合科	0	0	0	0	0	0
総合内科	488	4	475	67	3	1,037
内分泌・代謝	397	1	186	42	21	647
血液内科	853	0	369	50	1	1,273
呼吸器内科	3,536	139	1,429	109	5	5,218
腎臓内科	524	4	194	68	5	795
消化器外科	2,893	107	2,094	240	0	5,334
形成外科	11	0	95	99	0	205
緩和ケア内科	2	0	1	0	0	3
精神科	2	0	10	1	1	14
乳腺・内分泌外科	490	0	426	149	4	1,069
呼吸器外科	562	2	299	23	0	886
心臓血管外科	16	0	17	0	0	33
放射線治療科	20	0	9	24	0	53
免疫・膠原病内科	124	0	52	12	0	188
小児外科	1	0	0	0	0	1
計	28,383	577	15,305	7,255	675	52,195

検査別・月別件数

◆MR 検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
2020年度合計	462	443	602	625	569	614	700	571	602	535	515	656	6,894	
2020年度地域医療室件数	64	59	101	142	98	124	181	114	125	99	106	151	1,364	
2020年度地域医療室利用率	14%	13%	17%	23%	17%	20%	26%	20%	21%	19%	21%	23%	20%	
2021年度	外来件数	467	374	446	431	411	450	468	468	477	417	412	485	5,306
	入院件数	44	40	30	51	34	37	52	39	34	48	23	28	460
	地域医療室	131	108	138	119	99	117	145	150	123	130	98	131	1,489
2021年度合計	642	522	614	601	544	604	665	657	634	595	533	644	7,255	
2021年度地域医療室利用率	20%	21%	22%	20%	18%	19%	22%	23%	19%	22%	18%	20%	21%	

◆CT検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
2020年度合計	1,147	1,108	1,336	1,337	1,343	1,304	1,470	1,327	1,338	1,179	1,151	1,350	15,390	
2020年度地域医療室件数	52	39	54	78	73	81	106	102	103	73	79	112	952	
2020年度地域医療室利用率	5%	4%	4%	6%	5%	6%	7%	8%	8%	6%	7%	8%	6%	
2021年度	外来件数	968	905	1,095	1,021	1,070	1,055	1,079	1,103	1,111	990	858	1,024	12,279
	入院件数	167	146	167	168	176	153	157	138	166	154	158	141	1,891
	地域医療室	101	59	113	88	89	102	127	117	119	75	59	86	1,135
2021年度合計	1,236	1,110	1,375	1,277	1,335	1,310	1,363	1,358	1,396	1,219	1,075	1,251	15,305	
2021年度地域医療室利用率	8%	5%	8%	7%	7%	8%	9%	9%	9%	6%	5%	7%	7%	

◆核医学検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度合計	59	40	52	54	46	52	50	57	54	54	43	55	616
2020年度地域医療室件数	5	3	5	6	3	5	5	9	4	10	9	7	71
2020年度地域医療室利用率	8%	8%	10%	11%	7%	10%	10%	16%	7%	19%	21%	13%	12%
2021年度合計	50	48	60	55	57	59	53	56	51	59	55	72	675
2021年度地域医療室件数	3	5	4	10	5	7	9	10	8	8	2	10	81
2021年度地域医療室利用率	6%	10%	7%	18%	9%	12%	17%	18%	16%	14%	4%	14%	12%

◆腹部血管造影装置

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度（人）	12	14	19	14	14	18	16	17	9	7	13	7	160
2021年度（人）	9	10	13	12	9	13	14	14	11	13	10	13	141

◆心臓血管造影装置(ペースング含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度(人)	34	24	27	25	29	32	32	33	39	35	23	36	369
2021年度(人)	27	26	26	26	30	30	34	26	43	26	28	26	348

放射線治療 2021年度の件数

症例件数	
脳・脊髄腫瘍	1
頭頸部腫瘍(甲状腺腫瘍含む)	3
食道癌	8
肺癌・気管・縦隔腫瘍(うち肺)	33(24)
乳癌	99
肝・胆・膵癌	2
胃・小腸・結腸・直腸癌	14
婦人科腫瘍	6
泌尿器系腫瘍(うち前立腺癌)	46(32)
造血器リンパ系腫瘍	12
皮膚・骨・軟部腫瘍	1
原発不明癌	2
良性疾患	1
合計	228

◆2021年度 放射線治療稼働状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診察件数	初診	17	19	26	28	23	15	20	16	19	16	18	26	243
	再診	197	187	224	200	186	145	121	136	143	114	140	163	1,956

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診察件数	外来	205	201	218	176	174	145	123	146	155	121	143	165	1,972
	入院	9	5	32	52	35	15	18	6	7	9	15	24	227

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
治療患者数	外来	322	359	367	282	313	221	216	283	280	195	265	325	3,428
	入院	35	13	85	115	119	64	34	14	30	34	54	90	687

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
照射門数	外来	1,037	1,224	1,328	1,330	1,206	619	564	1,013	1,118	792	966	1,021	12,218
	入院	142	61	325	248	522	238	138	41	103	79	164	284	2,345

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
治療計画CT	撮影件数	23	22	28	35	24	18	14	15	14	20	19	26	258

## 麻 醉 科

### 《概 要》

#### ■ 組織・スタッフ

2021年度は12名のスタッフ構成

- 小野 まゆ（主任部長）：日本麻酔科学会指導医・専門医、  
日本ペインクリニック学会専門医、日本抗加齢学会専門医、  
日本緩和医療学会所属
- 森 梓（部長）：日本麻酔科学会指導医・専門医、日本ペインクリニック学会所属
- 植松 弘進（部長）：日本麻酔科学会専門医、日本ペインクリニック学会専門医
- 滝本 佳予（副部長）：日本麻酔科学会指導医・専門医、  
日本ペインクリニック学会専門医、日本区域麻酔学会認定医、  
日本緩和医療学会認定医
- 別府 曜子（副部長）：日本麻酔科学会専門医、日本ペインクリニック学会所属
- 永井 美和子（副部長）：日本麻酔科学会専門医
- 中田 由梨子（副部長）：日本麻酔科学会専門医
- 神崎 由莉（副部長）：日本麻酔科学会専門医、日本ペインクリニック学会専門医
- 神崎 亮（副部長）：日本麻酔科学会専門医
- 西村 祐希（医長）：日本麻酔科学会専門医
- 吉藤 正泰（医員）：日本麻酔科学会認定医、日本ペインクリニック学会所属
- 藤田 三千恵（医員）：日本麻酔科学会認定医、日本ペインクリニック学会所属

#### ■ 診療・業務概要

前診察を重視し、積極的に区域麻酔を取り入れ、より安全で質の高い周術期管理を目指しています。ペイン外来においても最先端の技術をもって、疼痛コントロールに努めています。

##### 【麻酔部門】

予定手術の全例で麻酔科医による術前外来を行い、リスク管理に努めることで、より安全・快適な麻酔管理を目指しています。また、ペインクリニック認定施設の特徴を活かして多様な区域麻酔法を併用したり、術後オピオイド PCA を積極的に行うことで、質の高い周術期疼痛コントロールに努めています。

##### 【ペインクリニック部門】

対象疾患：片頭痛、三叉神経痛、脊椎疾患に伴う上肢の痛みや腰痛・下肢痛（頰椎症性神経根症、頰椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症など）、関節痛（肩関節周囲炎、肩腱板断裂、変形性膝関節症、仙腸関節症など）、帯状疱疹後神経痛や脳卒中後の痛みなどの神経障害性疼痛、ASO や Burger 病などの血流障害の痛み、がん性疼痛など上記疾患を対象に、硬膜外ブロックをはじめ、腕神経叢ブロック、頰部神経根ブロック、星状神経節ブロック、肩・膝・股関節ブロック、三叉神経ブロック、神経根ブロック、椎間板ブロック、内臓神経ブロックなど、各種神経ブロックをX線透視下・超音波ガイド下で安全確実に行っていきます。また、高周波熱凝固やパルス高周波法、筋膜リリースなどの低侵襲痛み治療も行っていきます。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### ○麻酔部門

手術室での麻酔科管理症例は合計 2,187 件であった。

(全身麻酔 1,832 例、脊椎麻酔 326 例、緊急手術 160 例)

腹直筋鞘ブロック、腹横筋膜面ブロック、腰神経叢ブロック、腕神経叢ブロック、浅頸神経叢ブロック、傍脊椎腔ブロック、肋間神経ブロック、(持続) 大腿神経ブロック、坐骨神経ブロック、外側大腿皮神経ブロック、閉鎖神経ブロック、PENG ブロック、腸骨筋膜下ブロックなど合計 2,230 例の区域麻酔を施行した。

初期臨床研修医の麻酔科研修 7 名、池田市消防本部の依頼で救命救急士 2 名の挿管実習を受け入れた。

#### ○ペインクリニック部門

昨年の新患者数は 448 人、再診延患者数 6,989 人であった。

腕神経叢ブロック、頸部神経根ブロック、星状神経節ブロック、肩甲上神経ブロック、肩峰下滑液包内ブロック、三叉神経末梢枝ブロックなど超音波ガイド下の神経ブロック 2,438 例、神経根ブロック、椎間板ブロック、腰部交感神経節ブロック、内臓神経ブロックなどの透視下ブロック 381 例、その他、硬膜外ブロック、トリガーポイントブロックなど合計 3,774 例の神経ブロックを施行した。

### ■ 学術業績

#### □原 著

著 者	題 名	雑 誌 名、巻 号
Uematsu H et al.	A double-blind randomized placebo-controlled study of ultrasound-guided pulsed radiofrequency treatment of the saphenous nerve for refractory osteoarthritis-associated knee pain.	Pain physician 2021; 24: E761-9.
別府 曜子、滝本 佳予、藤田 三千恵、神崎 由莉、森 梓、小野 まゆ	脊髄梗塞後の両下肢灼熱痛に対し支持的精神療法及び多種薬剤併用が有効であった 1 症例	日本ペインクリニック学会誌 28 巻 11 号
滝本 佳予、森 梓	交通外傷後の若年者の慢性期頸椎椎間関節痛に対し超音波ガイド下の脊髄神経後枝内側枝パルス高周波療法が有効であった 1 例	日本ペインクリニック学会誌 2022/29 巻 3 号 36-37 頁

#### □著書・総説

著 者	題 名	雑 誌 名、巻 号
滝本 佳予	星状神経節ブロック どこで活かす？ どう活かす？	レベルアップ超音波ガイド下末梢神経ブロック 株式会社メディカル・サイエンス・インターナショナル 2021/5/28 185-192 頁

## □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
植松 弘進	Pulsed Radiofrequency Treatment -エビデンスと今後の展望	日本ペインクリニック学会第55回学術集会 現地開催(富山) 2021/7/23
別府 曜子、滝本 佳予、 神崎 由莉、森 梓、 藤田 三千恵、小野 まゆ	脊髄梗塞後の両下肢灼熱感を伴う痛みに対し多種薬剤併用が有効であった1症例	日本ペインクリニック学会第55回学術集会 Web 学会 2021/7/22-8/31
森 梓、藤田 三千恵、 神崎 由莉、別府 曜子、 滝本 佳予、小野 まゆ	リベド血管炎による難治性の下肢痛に対し膝窩アプローチ坐骨神経ブロックが奏功した2症例	日本ペインクリニック学会第55回学術集会 web 学会 2021/7/22-8/31
滝本 佳予、別府 曜子、 小野 まゆ	プレガバリンからガバペンチンへ変更することでせん妄改善効果がみられた緩和ケアチームでの5症例の検討	日本ペインクリニック学会第55回学術集会 現地開催(富山)/LIVE 配信/オンデマンド配信 2021/7/22-8/31
滝本 佳予、吉野 葵	当院緩和ケアチームに紹介された患者の転帰についての検討	第21回大阪病院学会 Web 開催 2021/11/7
滝本 佳予	超音波ガイド下ブロック 初級編 椎間関節ブロック、仙腸関節ブロック	ペインクリニック学会第2回関西支部集会 Web 配信 2021/11/27

## □研究会・講演会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
滝本 佳予	座長「地域でのがん緩和ケア～神戸市東部における在宅緩和ケアの実際と病診連携～」	第24回五月山緩和ケア研究会 市立池田病院/ZOOM ハイブリッド開催 2021/7/1
滝本 佳予	PNB のギモンにお答えします	PNB 登竜門 in 京都 online We 配信 2021/11/20
滝本 佳予	麻酔とペインの知識を緩和に活かす	第4回大分区域麻酔セミナー 大分市 2022/1/22
植松 弘進	本当に困った時のパルス高周波療法	超実践超音波ガイド下インターベンションセミナー LIVE 配信 2022/2/4

## ■ 研修・教育活動

指導者・講師	内容	実習名・日時
滝本 佳予	COVID-19 流行下における緩和ケア医療の現状	ムンディファーマ社内研修会 Web 配信 2021/8/25

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

雨河 茂樹（部長）：

日本口腔外科学会専門医、日本口腔科学会認定医、  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科口腔外科）  
日本口腔腫瘍学会所属、日本頭頸部癌学会所属、  
歯科医師臨床研修指導医

小川 英美（副部長）：

日本口腔外科学会専門医、日本口腔科学会認定医、  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科口腔外科）  
日本口腔ケア学会所属、日本癌学会所属

須澤 佳香（副部長）：

日本口腔外科学会所属、日本癌治療学会所属、日本口腔腫瘍学会所属、  
日本化学療法学会所属、日本口腔感染症学会所属、日本感染症学会所属、  
日本睡眠歯科学会所属、日本バイオマテリアル学会所属、  
歯科医師臨床研修指導医

窪田 星子（専攻医）：

日本口腔外科学会認定医、日本口腔科学会所属、日本口腔腫瘍学会所属

歯科技工士：島本政嗣（技師長）（日本口腔顎顔面技工学会 評議委員）

歯科衛生士：山田みつ美（主任）、銀羽かおり、林智代、松本郷美、善如寺里江

#### ■ 診療・業務概要

##### 【外来部門】

##### 1 はじめに

令和3年度の当科の外来部門は歯科医師常勤2名、常勤嘱託医2名に加えて厚生労働省の歯科医師卒後研修（単独）卒後研修医1名の5名体制で外来診療や口腔ケアセンターの業務に従事しています。

歯科技工士は1名で口腔がん切除後の顎補綴や、入院患者の義歯の作成・修理、気管内挿管時の歯の破折予防のための口腔内装置の作成などを担当しています。また歯科衛生士は6名体制（年度末で1名欠員）で、外来診療業務および口腔ケア業務にあたっています。

##### 2 診療内容

当科は口腔外科疾患全般を幅広く診療しており、今年度の初診患者数は3,723名でした。初診患者の居住地別分類は図1に示すように池田市、川西市がほぼ同数で75%を占めていました。紹介患者数は表1のとおりで、昨年度は2,288名、紹介率は61.5%でした。

尚、当科では令和2年度より病診連携を推進するため初診を紹介患者に限定しています。

### 3 疾患内容に関して

疾患内容および外来手術件数は表2の通りです。北摂、阪神北地区において、引き続き良好な病診連携体制が構築できているものと思われます。

#### 【入院部門】

##### 診療内容

入院手術件数は279件でした。疾患別の内訳は表3の通りですが、近年は歯および歯槽外科手術、舌癌などの口腔悪性腫瘍の手術が増加傾向にあります。

#### 《実績》

##### ■ 統計実績

図1 初診患者居住地別分類

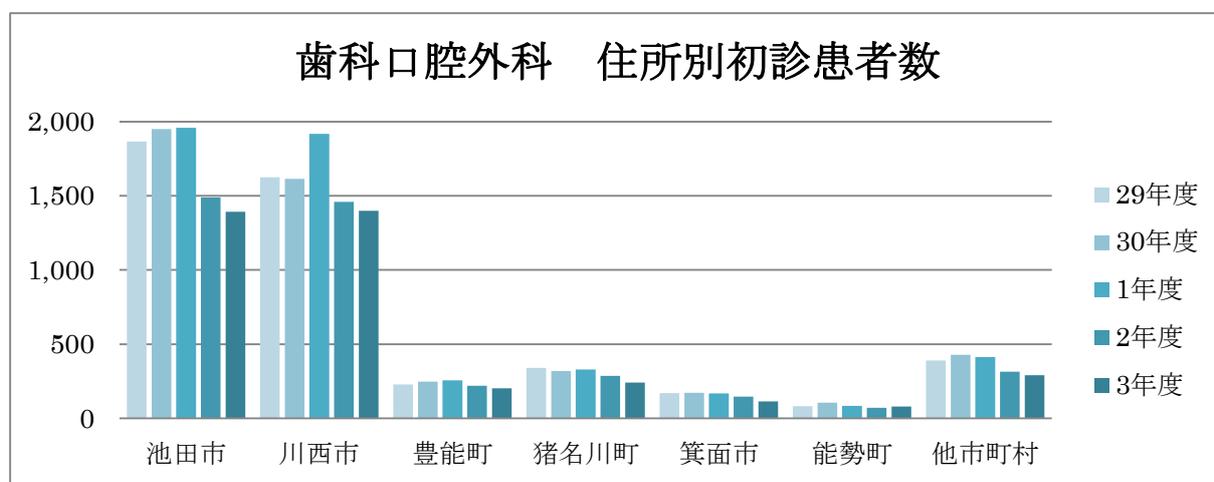


表1 初診患者紹介元分類

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
市内歯科医院から	1,019	997	1,043	777	719
市外歯科医院から	1,457	1,445	1,631	1,407	1,336
その他の医院、診療所から	266	363	402	248	233
小計	2,742	2,805	3,076	2,432	2,288
紹介率(%)	58.3	58.0	60.0	60.9	61.5

表 2 外来手術件数(単純抜歯は除く)

外来手術	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度
埋伏歯手術	1,032	1,140	977	1,040	997
難抜歯手術	529	553	550	452	447
歯根嚢胞摘出術	194	321	393	268	237
歯根端切除術	16	17	26	22	22
歯肉歯槽腫瘍手術	14	9	10	17	8
口腔内外消炎手術	77	81	74	58	38
舌腫瘍摘出術	16	17	27	21	14
頬粘膜腫瘍摘出術	5	6	11	6	6
顎骨腫瘍摘出術	37	50	50	37	18
口唇、舌小帯形成術	15	13	10	7	8
口唇腫瘍摘出術	29	17	33	38	17
腐骨除去術	47	42	38	27	34
ガマ腫切開術	6	1	2	4	1
唾石摘出術	5	4	7	3	0
歯槽骨骨折非観血的整復術	2	2	2	4	1
下顎骨骨折非観血的整復術	11	6	9	3	4
上顎骨骨折非観血的整復術	1	1	0	0	0
歯科インプラント摘出術	5	6	5	4	5
その他(開窓術など)	51	37	50	38	42
計	2,092	2,323	2,274	2,049	1,899

表3 入院手術件数 (従たる手術を含む)

入院手術	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
<b>歯・歯槽外科手術</b>					
智歯抜歯術	63	34	85	75	47
智歯以外の抜歯術	57	25	53	77	62
歯根端切除術	5	8	17	13	8
<b>口腔悪性腫瘍手術</b>					
舌癌	11	7	13	18	13
上顎歯肉癌	5	3	5	4	6
下顎歯肉癌	2	4	5	3	2
頸部郭清術	8	2	3	10	13
その他の悪性腫瘍手術	3	1	3	6	8
<b>再建外科手術</b>					
自家遊離複合組織移植術 (顕微鏡下血管柄付)	5	1	3	5	6
大型の有茎(筋)皮弁を用いた再建術	0	0	0	0	0
<b>良性腫瘍・嚢胞等の手術</b>					
顎骨腫瘍摘出術	51	67	64	77	63
軟組織腫瘍切除術	1	5	5	4	4
<b>消炎手術</b>					
膿瘍切開術	7	0	1	12	8
顎骨骨髓炎消炎手術	0	3	0	0	0
腐骨除去術	9	15	13	15	11
<b>唾液腺関連手術</b>					
唾石摘出術	0	5	2	1	0
顎下腺摘出術	0	0	0	3	2
<b>顎顔面外傷手術</b>					
下顎骨骨折手術(関節突起以外)	4	3	4	1	3
関節突起骨折手術	0	0	0	0	1
上顎骨・頬骨骨折手術	0	0	0	0	0
<b>その他の口腔外科手術</b>	19	22	36	18	22
計	250	205	312	342	279

## ■ 学術業績

### □ 著書・総説

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Imai T, Nishimoto A, Kubota S, Nakazawa M, Uzawa N.	Predictive scoring model for inferior alveolar nerve injury after lower third molar removal based on features of conebeam computed tomography image.	J Stomatol Oral Maxillofac Surg. 2021 Jun 23:S2468-7855(21)00133-6
雨河 茂樹	Dd 診断力ですと 「多発性のアフタ性口内炎」	デンタルダイヤモンド 2021;46(9):25-26

### □ 学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
小川 芙美、須澤 佳香、窪田 星子、大田 真子、雨河 茂樹	新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病院における歯科口腔外科の取り組み	第 52 回日本口腔外科学会近畿地方会 大阪市 Web ハイブリッド開催 2021/7/3
小川 芙美、須澤 佳香、窪田 星子、大田 真子、雨河 茂樹	当院における新型コロナウイルス感染症患者に対する口腔ケアについて	第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会 千葉市 Web ハイブリッド開催 2021/11/12-14
須澤 佳香、小川 芙美、窪田 星子、大田 真子、雨河 茂樹	下唇正中部に発生した筋線維腫の 1 例	第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会 千葉市 Web ハイブリッド開催 2021/11/12-14
窪田 星子、須澤 佳香、小川 芙美、雨河 茂樹	自閉スペクトラム症患者に生じた壊血病の 1 例	第 66 回日本口腔外科学会総会・学術大会 千葉市 Web ハイブリッド開催 2021/11/12-14
大田 真子、小川 芙美、須澤 佳香、窪田 星子、雨河 茂樹	DPP-4 阻害薬内服 2 型糖尿病患者に生じた水疱性類天疱瘡の 1 例	第 33 回日本口腔科学会近畿地方分会 Web 開催 2021/12/4
雨河 茂樹、小川 芙美、須澤 佳香、窪田 星子、大田 真子	Paclitaxel, Cetuximab を含む化学療法により重篤な間質性肺炎のを発症した 2 例	第 40 回日本口腔腫瘍学会 総会・学術大会 Web 開催 2022/2/17-18
小川 芙美、須澤 佳香、窪田 星子、大田 真子、雨河 茂樹	高齢者の下顎歯肉癌に対して TruMatch Reconstruction システムを用いて再建を行った 1 例	第 40 回日本口腔腫瘍学会 総会・学術大会 Web 開催 2022/2/17-18
須澤 佳香、小川 芙美、窪田 星子、大田 真子、雨河 茂樹	診断精査中に妊娠が発覚した AYA(Adolescent and Young Adult)世代舌癌患者の治療経験	第 40 回日本口腔腫瘍学会 総会・学術大会 Web 開催 2022/2/17-18

### □ 研究会・講演会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
雨河 茂樹	歯科小手術を安全に行なうために ～合併症と対策～	箕面市歯科医師会学術講演会 箕面市歯科医師会館 2021/7/1

## 病理診断科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

医師：大橋 寛嗣（部長）：日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医

技師：向井 英代技師長（細胞検査士）、河合 賢技師次長（細胞検査士）、

岩城 真理子技師（細胞検査士）、石田 圭子技師（細胞検査士）、大塚 真弓技師（細胞検査士）

#### ■ 診療・業務概要

組織診断—生検材料や手術材料を組織標本として作製し診断する。

術中迅速診断—手術中に摘出された臓器・組織を液体窒素で凍結して標本を作り、病変断端の診断や悪性腫瘍の転移の有無などの診断。（近隣施設より業務委託有り）

細胞診—尿、胸腹水など液状検体、喀痰、婦人科子宮スミア、乳腺や甲状腺などの穿刺細胞診の標本作製から診断。

病理解剖—病変の広がりや治療効果の有無など、担当医が疑問に思う事柄を形態学的に追及する。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

##### 1. 2021年度月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組織診外来	285	245	316	296	319	332	333	358	317	305	231	354	3,691
組織診入院	214	184	204	229	202	205	247	211	267	200	179	230	2,572
細胞診外来	457	390	522	467	443	563	571	560	516	445	442	601	5,977
細胞診入院	88	75	80	92	84	100	91	94	74	81	89	73	1,021
合計	1,044	894	1,122	1,084	1,048	1,200	1,242	1,223	1,174	1,031	941	1,258	13,261

##### 2. 病理診断年度別件数

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
組織診	5,119	5,042	5,506	6,028	6,485	5,751	6,263
細胞診	6,075	6,458	6,440	6,463	6,390	6,459	6,998
合計	11,194	11,500	11,946	12,491	12,875	12,210	13,261

##### 3. 他院術中迅速細胞診断件数 2021年4月～2022年3月 0件

#### 4. 2021 年度 剖検一覧

年齢	性別	出所	剖検施行日	臨床診断	剖検診断
77	M	呼吸器内科	2021 年 5 月	肺アスペルギルス症	器質化肺炎、侵襲性肺アスペルギルス症、 胸腔出血、胸水、サイトメガロウイルス肺炎、肺気腫
77	M	呼吸器内科	2022 年 3 月	肺扁平上皮癌、irAE	肺扁平上皮癌、胸腔線維性癒着、胸水、器質化肺炎、 サイトメガロウイルス、グラム陽性球菌、カンジダ感染、 誤嚥性肺炎、肝萎縮、腹水、陳旧性心筋梗塞

## 臨床検査科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

医師：森山 康弘主任部長、米沢 毅臨床検査医

技師：越知技師長以下 31 名 2021 年 4 月 1 日現在

(正規職員 19 名、再任用職員 1 名、月額職員 3 名、日額職員 3 名、時間給職員 5 名、技能員 1 名)

- ・正規職員 1 名は育児休暇中
- ・採血専従看護師 4 名、採血専従技師 3 名

外部委託検査業者常駐員 (午後 12:00～) 1 名

#### ●資格・認定取得 (複数取得者あり)

超音波検査士(血管領域)	3 名	認定血液検査技師	2 名
超音波検査士(循環器領域)	5 名	認定輸血検査技師	1 名
超音波検査士(消化器領域)	1 名	血液二級臨床検査士	2 名
超音波検査士(泌尿器領域)	1 名	緊急臨床検査士	2 名
超音波検査士(体表領域)	1 名	糖尿病療養指導士	3 名
超音波検査士(健診領域)	1 名	臨床工学技士	2 名
血管診療技師	3 名	二級甲類臨床病理技術士(循環生理学)	1 名
認定心電図技師	2 名	第二種 ME 技術認定士	2 名

#### ●所轄する委員会：臨床検査科運営委員会、輸血療法委員会

#### ■ 診療・業務概要

##### 【検体検査】

- 生化学・免疫：一般生化学、腫瘍マーカー、ホルモン、ウイルス抗体価、ウイルス抗原検査、他
- 血液：血算、血液像、骨髓像、止血、他
- 一般：検尿、便潜血、穿刺液、他
- 細菌：一般細菌、抗酸菌、各種迅速検査、PCR 検査、他
- 輸血：血液型、交差適合試験、不規則抗体、直接クームス、血液製剤管理、他
- 採血室業務

##### 【生理検査】

心電図、ホルター心電図、超音波(心臓・頸動脈・上肢・下肢血管・腎動脈・アキレス腱)、トレッドミル、脳波、呼吸機能、ABI/CAVI、神経伝導速度、ABR、ASSR、InBody 検査、健診人間ドック、他

<時間外緊急検査>生化学、免疫、血液、止血、一般、輸血、細菌(迅速)等の緊急対応項目

<外注委託検査>SRL(関西・八王子ラボ)、BML

<治験検査>・検体採取管の確認と検体の分離・保存・管理

- ・ HANZ の有効性及び安全性評価に関する探索的臨床試験

採血室の採血台と採血管準備装置を新たに6台導入し、レイアウトも患者様の導線を考慮して問題は残りつつも運用を開始した。それに伴い採血人員の増員をはかり混雑緩和に努めた。更に来年度は無人自動受付機、予約採血システムを新規に導入して効率的な採血室の運用を目指します。今年度で人間ドックが閉鎖となり、派遣していた人員を検体業務と兼任させ業務の効率化をはかる。来年度も臨床検査科として病院全体の運営を考え、柔軟に対応していきたい。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### <外来・入院別件数>

外 来	月	一般	血液	生化学	細菌	輸血	生理	合計
	4	27,726	32,843	104,842	1,516	1,009	1,506	169,442
	5	25,248	30,218	96,201	1,568	862	1,335	155,432
	6	29,792	35,426	113,482	1,925	1,239	1,617	183,481
	7	29,104	34,666	109,695	2,271	1,155	1,517	178,408
	8	29,695	33,659	115,121	1,908	1,206	1,435	183,024
	9	30,103	35,716	113,663	1,649	1,255	1,713	184,099
	10	29,700	36,106	115,023	1,809	1,464	1,727	185,829
	11	29,266	35,538	113,083	1,756	1,440	1,637	182,720
	12	30,403	36,319	116,782	1,894	1,437	1,613	188,448
	1	28,363	34,194	108,956	1,867	1,238	1,562	176,180
	2	25,780	30,812	98,353	1,413	1,046	1,562	158,966
	3	31,628	37,621	119,912	1,658	1,285	1,783	193,887
合 計	346,808	413,118	1,325,113	21,234	14,636	19,007	2,139,916	

入 院	月	一般	血液	生化学	細菌	輸血	生理	合計
	4	2,499	16,441	41,485	1,162	367	284	62,238
	5	2,784	14,967	37,826	1,048	362	237	57,224
	6	3,150	15,840	39,649	1,122	417	323	60,501
	7	3,498	17,190	43,582	1,395	329	270	66,264
	8	2,875	17,979	42,812	1,078	313	322	65,379
	9	2,845	17,384	42,499	1,048	357	300	64,433
	10	2,875	17,260	42,805	1,153	406	306	64,805
	11	3,235	16,652	41,611	1,057	384	278	63,217
	12	2,940	18,183	46,918	975	434	331	69,781
	1	2,475	16,507	41,793	1,315	360	306	62,756
	2	3,121	14,080	36,221	975	332	306	55,035
	3	2,897	14,759	37,229	1,277	315	252	56,729
合 計	35,194	197,242	494,430	13,605	4,376	3,515	748,362	
総合計	346,808	413,118	1,325,113	21,234	14,636	19,007	2,888,278	

<年度別件数>

	尿・糞便	血液	生化学	細菌	輸血	生理	合計
2017	404,842	597,804	1,755,374	38,352	15,653	23,603	2,835,628
2018	387,218	597,873	1,752,288	36,481	16,832	25,301	2,815,993
2019	381,492	612,231	1,812,836	38,080	17,966	23,672	2,886,277
2020	378,631	586,602	1,733,457	32,936	18,033	21,014	2,770,673
2021	346,808	413,118	1,325,113	21,234	14,636	19,007	2,139,916

<判断料・加算>

項目	算定料	件数	金額
時間外緊急院内検査加算	1,100	1,453	1,598,300
検体検査管理加算(Ⅰ)	400	58,576	23,430,400
検体検査管理加算(Ⅳ)	5,000	6,365	31,825,000
血液化学検査入院初回加算	200	5,446	1,089,200
外来迅速検体検査加算	100	58,771	5,877,100
骨髓像診断加算	2,400	361	866,400
輸血管理料Ⅰ	2,200	1,159	2,549,800
輸血適正使用加算Ⅰ	1,200	1,159	1,390,800
貯血式自己血輸血管理体制加算	500	78	39,000
嫌気培養加算	1,150	5,496	6,320,400
生化学的検査(Ⅰ)判断料	1,440	57,165	82,317,600
生化学的検査(Ⅱ)判断料	1,440	23,369	33,651,360
免疫学的検査判断料	1,440	52,913	76,194,720
血液学的検査判断料	1,250	56,854	71,067,500
尿・糞便等検査判断料	340	21,526	7,318,840
微生物学的検査判断料	1,500	12,132	18,198,000
呼吸機能検査判断料	1,400	2,803	3,924,200
脳波検査判断料	1,800	309	556,200
神経・筋検査判断料	1,800	672	1,209,600
合計			369,424,420

## 自主研究(消化器内科)

	名	件		
EBR/GZR	5名	6件	→	3本に分注し凍結保存
GLE/PIB	25名	57件	→	3本に分注し凍結保存
VEL/SOF	1名	1件	→	3本に分注し凍結保存
HCV コアジェ/(マヴイレット)	18名	18件	→	依頼書作成し検査提出

## 血清保存

血清保存1本		9名	9件	→	2本に分注し凍結保存
血清保存2本		38名	41件	→	4本に分注し凍結保存
血清未開栓保存1本		2名	2件	→	遠心後凍結保存

## 治験

治験外注		4名	60件
自主臨床	NY-ESO-1 保存用	6名	9件
自主臨床		57名	95件

## ■ 学術業績

### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
衣川 尚知	急性撓骨動脈閉塞の治療経過観察に超音波検査が有用であった1例	第46回日本超音波検査学会学術集会 オンデマンド 2021/5/8-6/13
中尾 かおり、大谷 美奈子、榎家 京子、 衣川 尚知、鈴木 聖人、山本 毅、 越知 博之、今井 康陽	『新型コロナウイルス感染症に対する生理検査室での取り組み』今ある設備を生かして感染対策はどこまでできるか？	第21回大阪病院学会 Web開催 2021/11/7
中村 克章、藤堂 奈穂、関口 桃子、 堀場 裕輝、越知 博之、今井 康陽	機器更新に伴うレイアウト変更による業務効率化	第21回大阪病院学会 Web開催 2021/11/7
越知 博之、古川 哲生、衣川 尚知、 山本 毅、山戸 昌樹、二宮 智紀、 永井 邦彦、今井 康陽	大動脈二尖弁を合併した成人型大動脈縮窄症	第21回大阪病院学会 Web開催 2021/11/7

### □研究会・講演会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
衣川 尚知	左室肥大の原因は？	The Echo WEB お月見フェス オンライン配信 2021/9/23
衣川 尚知	実践 頸動脈エコー	大阪臨床検査技師会血管エコー検査 オンライン講習会 Zoom 配信(大阪医療技術学園専門学校) 2021/11/14
衣川 尚知	その足の痛み、運動不足のせい？	令和3年度大放技・大臨技合同フォーラム オンデマンド配信(大阪府医師協同組合会館本館) 2022/2/5-19(2022/1/15 録画)

## ■ 研修・教育活動

### 【院内活動実績】

- 糖尿病教育入院<検査について>講義：毎週木曜日（15時～16時）
- ICT ラウンド：毎週水曜日（9時45分～11時30分）
- AST カンファレンス毎週火曜日、木曜日
- NST ラウンド：毎週木曜日（13時～14時）
- NST 専門療法士研修（外部実習生）講義：年2回（春、秋）
- 臨床検査技師学校学生臨地実習：2校
  - 森ノ宮医療大学：2名（10/1～11/30 9週間：41日間）
  - 神戸常盤大学：2名（1/11～3/7 8週間：38日間）
- 薬剤部実習生見学：年3回（4名、1時間）

### 【2020年度外部精度管理サーベイ評価】

- 日本臨床検査技師会（評価項目数:248） 99.6点
- 日本医師会（評価項目数:50） 99.7点
- 日本超音波検査学会超音波画像（心臓・血管）A評価

## 精神科

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

平成 27 年 4 月から院内標榜であるが精神科が設置された。  
令和 3 年度は常勤医師中島陽の 1 名体制で診療を行っている。

中島 陽：日本精神神経学会認定指導医・専門医・認知症診療医、精神保健指定医、  
認知症サポート医、公認心理師

#### ■ 診療・業務概要

外来診療は、月曜日の午後診察を担当している。外来診療は標榜していないこともあり、原則として入院中に精神科医師が対応した患者の退院後のフォローを行うものとし、外来での初診は対応していない。身体疾患のために当院精神科でなければ対応が困難な患者は継続通院としているが、それ以外の患者は地域への逆紹介を進めている。

入院診療は、当科による入院、すなわち精神疾患による入院は行わないが、身体疾患のために入院した患者の精神症状・精神疾患に対し、主科と連携して加療する。病状や緊急性により、精神科リエゾンチームや緩和ケアチームを介して対応する場合と、精神科医単独で介入する場合がある。

精神科リエゾンチームでは多職種での活動を通して精神的な問題の解決と精神疾患の理解や啓蒙に努めている。

緩和ケアチームでは精神科の専任として上記医師が関わっている。がん患者や慢性身体疾患患者のせん妄や抑うつに対して専門性を生かし相談者に対して助言や指導を行っている。また、精神症状がみられる患者に対しては適宜精神療法を行っている。

平成 29 年度から、池田市の認知症初期集中支援チームの活動では上記医師が認知症サポート医として認知症の診断、治療に関わっている。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

	R3 年度	R2 年度	R1 年度	H30 年度
外来患者数	320	379	425	457
入院精神療法（Ⅰ）	67	173	121	187
入院精神療法（Ⅱ）（6 か月以内）	301	741	736	733
救急搬送後 3 日以内に 入院精神療法を算定した件数	20	40	29	67

## ■ 学術業績

### □研究会・講演会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
中島 陽	介護予防健康セミナー	いけだ健康フェスタ 池田市商工会議所 2021/7/22
中島 陽	「認知症の医学的理解」 ～オレンジサポーター養成講座～	池田市事業 介護者向け講演会 池田市保健福祉総合センター 2021/10/8

## 救急総合診療部

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

日勤帯は専従医師 1 名、兼務ではあるが総合内科医 1 名、そして臨床研修医 2-3 名、看護師 5 名で診療に当たっています。夜間診療は各科の責任のもと、救急外来を中央部門として、内科系医師 1 名、外科系医師 1 名、循環器内科医師 1 名、産婦人科医師 1 名、初期研修医 1 名、看護師 2 名により診療が行われています。また、金曜日、日曜日（1、3、5 週）は小児科医師が豊能広域こどもセンターの輪番病院として当直をしています。

#### ■ 診療・業務概要

当院は 2 次救急指定病院で、主な診療科は内科、外科、小児科（平日昼間・夜間は輪番日）、産婦人科となっています。昼間は専従の医師 2 名を配置し、夜間は内科系、外科系、循環器内科、産婦人科当直医により診療が行われています。救急総合診療部では救急車の受け入れ、時間外の救急受診患者、通常の外來を受診され緊急性が高いとトリアージされた患者さまの初期診療を行っています。診療にあたっては、必要に応じて各専門科と連携し、引き続き専門的な診療・治療が必要と判断された場合は、各専門科の入院加療または外來通院へ繋げていきます。また、重症肺炎、重症感染症、全身状態が不良の方の緊急手術など集中治療を要する場合は適時高次医療機関への転送も行っています。

内科系は、緊急対応が必要と考えられる症状を有する患者さまの診療を優先的に行います。

外科系は、一般外傷（重症外傷は高次対応をお願いしています）の診療を行っています。

昨今 COVID-19 の流行に伴い、発熱や症状から疑いを常に意識したトリアージを行い、安全に初期診療を受けることができるよう感染対策を行っています。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

病院統計＜業務概要 - 患者状況＞を参照

#### ■ 研修・教育活動

令和 3 年度は、COVID-19 の影響を踏まえ、研修では人数に制限を設け、環境や感染に注意しながら DC や STEMI、挿管困難事例の勉強会を行いました。日々感染対策に必要な PPE の着脱の指導は実践の中で行い、安全に IC ルームの診療を行うことができるようにしています。また、多くの方が参加できることを目的に、各部署単位の勉強会として、ミニ ICLS、急変時の対応（ラピッドレスポンス）などを行っています。

初期研修医には勤務終了後には ICLS の教育を行ったり、毎週水曜日の朝に症例検討会が積極的に行われており好評です。

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

中央手術部 部長：井上 均（泌尿器科主任部長）

看護 師 長：竹原陽子

主任 看護 師：小屋幸子、高雲奈津美、上久保まゆ

手術看護認定看護師：脇本英昭

手術室を利用する各診療科医師、管理課、感染対策部、医療安全・質管理部、臨床工学技士など多職種をメンバーとする中央手術部運営会議を毎月実施している。

#### ■ 診療・業務概要

##### 1) 安全かつ効率的な手術室の運用

手術前日に、麻酔科医とコーディネーター看護師が、翌日の症例のリスクや準備物品、体位などの情報交換を行ない、万全の体制を整えて手術受け入れを行なっている。

WHO手術安全チェックリストを用いて、執刀医による患者氏名・予定術式・手術部位・予想出血量・予定手術時間などを宣言をし、手術チームメンバーで情報共有を図り安全な手術を提供している。発生したインシデントは、月例の中央手術部運営会議で内容を検討し再発予防に努めている。

効率的な手術室の運用のため、中央手術部運営会議で手術実績に基づき手術枠の変更、および特定の診療科に固定で割り振らず、希望した診療科が使用できる「オープン枠」を適宜設定している。

##### 2) 急性期医療への対応と人材育成

断らない救急及び手術につながる質の高い急性期医療の提供を目指し、二交替制で夜間は救急外来勤務とし、時間外緊急手術への迅速な対応を行なっている。267 件の緊急手術を実施した。

高度化、複雑化する急性期医療の変化に対応できるよう看護師の育成を、日本手術室学会の手術室ラダーに基づき、計画的に推進している。また教育体制の基盤整備のもと新卒看護師が5名配属され次世代の看護師育成を行なっている。

##### 3) 新型コロナウイルス感染症の手術対応の実際

術前からのスクリーニングに加え、手術室入室前には体温が 37 度以上の場合は対応を慎重に検討した。COVID-19 陽性者の手術受け入れは、作成した COVID-19 マニュアルに沿って対応している。手術室での感染のリスクを低減させるため、人工呼吸器に使用するフィルターの性能をレベルの高いものに変更し、さらに電気メス使用時の排煙を吸引できる電気メスや、口腔内手術時に発生するエアロゾルを吸引する装置を導入している。

また、COVID-19 病棟で挿管が必要となった際は麻酔科医と共に応援に出向き、手術室看護師が介助を行いった。手術室看護師の挿管介助スキルを活用し重症患者の迅速な治療開始に貢献できた。

## 《実績》

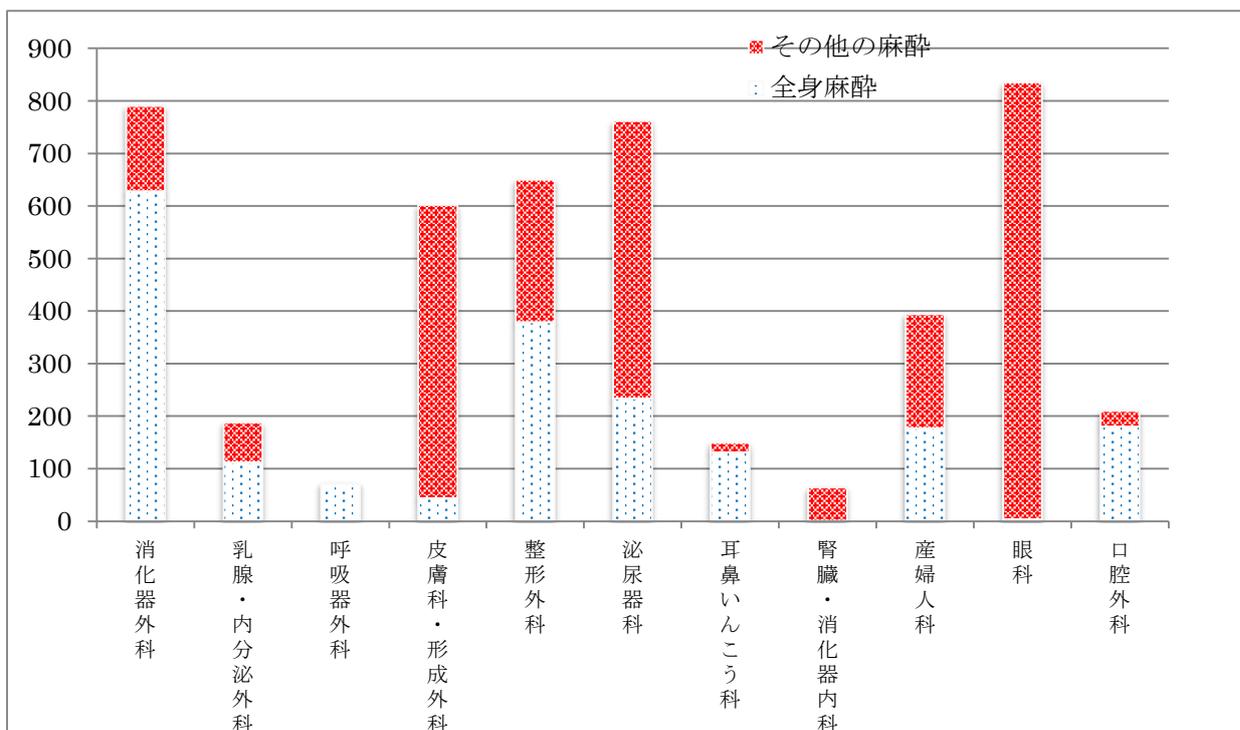
### ■ 統計実績

#### 手術件数と全身麻酔件数について

2021年度の手術件数は総数4,715件、全身麻酔の件数は1,960件であった。緊急手術は267件、臨時手術は812件と22.9%であった。新型コロナウイルス感染症の動向により、緊急性を要しない予定手術の制限があったが、緊急手術はお断りすることなく実施した。

#### 手術件数と全身麻酔件数について

診療科	2021年度(2021年4月～2022年3月)		
	合計	全身麻酔	その他の麻酔
消化器外科	790	628	162
乳腺・内分泌外科	188	112	76
呼吸器外科	71	70	1
皮膚科・形成外科	602	44	558
整形外科	650	379	271
泌尿器科	762	234	528
耳鼻いんこう科	149	131	18
腎臓・消化器内科	64	1	63
産婦人科	394	177	217
眼科	835	4	831
口腔外科	210	180	30
総計	4,715	1,960	2,755



## ■ 研修・教育活動

指 導 者 ・ 講 師	内 容	実 習 名 ・ 日 時
脇本 英昭	初期研修医における手術室研修	新規採用職員向け合同研修 2021/4/5
脇本 英昭	新人看護師研修「手術看護」	新人看護師 2021/7/9
脇本 英昭	「局所麻酔の看護」	日本手術看護学会 web セミナー 2021/7/25
脇本 英昭	自閉症患児が安心して手術を受けるための プレパレーションの工夫	全国自治体病院学会 2021/11/4～11/5

## 臨床研修部

### 医師(医科・歯科)臨床研修

#### I. 初期研修

#### 《概要》

##### ■ 組織・スタッフ

臨床研修部 部長 福田和人、岡田拓也 事務 山本朗央、上保 美由紀、西山サチコ

初期臨床研修医 研修医 1年目 8名(大阪大学コース2名)、研修医 2年目 7名

研修医 1年目 (R3) 今中友香、櫻井義正、高木宏太、谷口裕郁、中山俊雄、

西 健太郎、花房賢爾、山田雅彬

大阪大学医学部附属病院(協力型研修病院—大阪大学コース)

小泉 遥、八重敦博

大田真子(歯科臨床研修医)

研修医 2年目 (R3) 安里 美夕里、大川 芹、佐々木 美雪、東野克温、橋本拓人、

吉田侑佳、山路修平

<臨床研修管理委員会>

委員長：尾下正秀(病院長)

副委員長：福田和人(副院長)

プログラム責任者：岡田拓也(臨床研修部、内分泌・代謝内科部長)

副プログラム責任者：濱 直樹(消化器外科部長)

基本診療科代表者：

津川 真美子(内分泌・代謝内科)、森山康弘(血液内科)、橋本重樹(呼吸器内科)、

山本聡子(腎臓内科)、井倉 技(消化器内科)、永井邦彦(循環器内科)、那波一郎(神経内科)、上

岡孝人(総合内科)、尾崎由和(小児科)、大河内 敏行(整形外科)、井上 均(泌尿器科)、

竹原幹雄(産婦人科)、雨河茂樹(歯科・歯科口腔外科)、近藤 由佳理(皮膚科)、

中川あや(耳鼻いんこう科)、小野まゆ(麻酔科)、藤田典彦(放射線科)、

大橋寛嗣(病理診断科)、伊藤基敏(救急総合診療部)

事務局代表：斎藤芳朗 看護部代表：満田昌代 薬剤部代表：下村一徳

医療技術部代表：関 康 研修医 1年目代表：山田雅彬 研修医 2年目代表 安里 美夕里

協力型病院 実施責任者：澤 滋(医療法人北斗会さわ病院)、原 保夫(原クリニック)、

徳永正朝(公立種子島病院)、芥川 茂(あくたがわクリニック)、

松永 美佳子(千里ペインクリニック)、宇佐美 哲郎(能勢町国民健康保険診療所)

外部委員：青木和男(元池田市立秦野小学校校長)、芥川 茂(あくたがわクリニック)

##### ■ 診療・業務概要

1. 臨床研修管理委員会(年4回予定 6, 9, 12, 3月の第2木曜日+臨時で開催、歯科別途1回予定)今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため9月の臨床研修管理委員会は中止となり年3回の開催となった。

基本診療科の代表に加え、医師以外の指導者(看護師、薬剤師、医療技術部技師、事務)代表、研修医 1年目、2年目代表各1名が参加。指導医、研修医ごとの進捗状況を把握し、改善すべき

事項について話し合いを行った。

## 2. EPOC 2

多面的評価を行い研修の進捗状況をリアルタイムで把握した。

## 3. 内科カンファレンス (月 4～5回 毎週火曜日 16:00～17:00)

担当研修医が病棟・外来で経験した症例を上級医の指導の下プレゼンテーションを行い臨床経験を共有した。

## 4. 多職種のカンファレンスへの参加 (月 1～2回 不定期)

MRM (医療安全) NST (栄養管理) や ICT (感染制御)、ECC (倫理) 地域連携などの横断的なチーム医療に対する理解を深めるため多職種カンファレンスへの参加を促進した。

## 5. 臨床病理検討会 (CPC)

2021年度は2回開催。初期研修医が病理解剖に参加し、その症例の問題点を指導医とともに考察し、プレゼンテーションを行った。

## 6. 学会発表

初期研修医は1年間1演題の学会発表を必須とした。

## 《実績》

### 1)2021年度 主な年間活動等

4月1日◇	辞令交付式、オリエンテーション
4月2日～8日◇	新採用初期研修医・職員に対して多職種合同オリエンテーションを実施。 新型コロナウイルス感染防止を徹底し、感染管理、接遇マナー、BLS研修を行った。BLS研修は、研修医2年目もインストラクターとして参加をした。
4月5日	On job trainingを開始した。
4月後半	当直業務を開始。 ER型当直として内科系および外科系外来当直医師のサポートのもとに平日および休日の日当直業務を3～4回/月程度行った。
6月7日、9日、15日、16日、17日	学生・研修医向け病院説明会が新型コロナウイルスの影響で中止となる中、当院の見学を希望している学生に向けてオンライン病院説明会を行った。初期研修医、プログラム責任者による病院概要等の説明、質疑応答など、23名の学生が参加した。
6月23日	レジナビ Fair オンライン関西 Weekに参加
8月5日	「エンドオブライフ・ケア」地域の多職種と行う、本人の生き方を大切にした医療とケアについて 老人看護専門看護師、地域支援事業推進員 稲野聖子氏
7月30日、8月9日	初期臨床研修医採用試験「令和4年度採用マッチング試験」 医師、看護師、薬剤師の多職種で面接・評価を行った。34名の応募から8名を採択。
8月18日	歯科臨床研修医採用試験 3名の応募から1名を採択。
11月	CV穿刺シミュレーター研修、DC・挿管勉強会
1月	「インフォームドコンセント」を実施するにあたって 循環器内科 古川哲生先生
1月～2月	プログラム責任者と研修医の面談を実施し、進路相談などを行った。
1月25日	日本医療教育プログラム推進機構(JAMEP)主催基本的臨床能力評価試験を実施。臨床能力の向上を自己確認することが出来た。

2月	「あなたのここが素晴らしい」アンケート 研修医同士でお互いの良いところを認めあうことで、より一層チームワークを深め、研修への意欲を高めた。
2月19日	近畿厚生局病院説明会(グランキューブ大阪)に参加した。
3月5日	阪大内科系科合同説明会(大阪大学)に参加した。
3月16日～18日	新型コロナウイルスの影響で病院見学が中止となる中、病院見学を希望していた学生に向けてオンライン病院説明会を行った。27名の学生が参加した。
3月28日	指導医、上級医 看護師 薬剤師、臨床検査技師ら多職種の投票によりベスト研修医(1年目、2年目)を選出し、医局会で発表と表彰を行った。

#### ◇令和3年卒臨床研修医オリエンテーションについて (令和3年4月1日～8日)

4月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期臨床研修プログラムについて</li> <li>・研修理念について</li> <li>・死亡診断書、死体検案書など診断書の書き方</li> </ul>
4月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修概要</li> <li>・公立病院としての当院の取り組み</li> <li>・当院の新型コロナウイルス感染症に対する取り組み</li> <li>・病院長の挨拶</li> <li>・池田市について、市立池田病院の基本理念</li> <li>・社会人としてのマナー、福利厚生について</li> <li>・地方公務員とは</li> <li>・メンタルヘルスについて</li> <li>・薬剤部研修(臨床研修医対象)</li> <li>・EPOC2について(臨床研修医対象)</li> <li>・電子カルテ操作研修(臨床研修医対象)</li> </ul>
4月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修ローテーション開始</li> <li>・感染管理(講義、実習)</li> <li>・手術室見学(臨床研修医対象)</li> </ul>
4月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント研修</li> <li>・当院の新型コロナウイルス感染症に対する取り組み</li> <li>・カルテ記載について</li> <li>・医療保険制度、診療報酬制度について</li> <li>・接遇マナー研修</li> <li>・研修総括、その他(物品管理他)</li> </ul>
4月7日、8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BLS研修</li> </ul>

## 2) 令和3年度 臨床研修スケジュール

初期研修プログラム		※ (たすきがけは3/31まで)							
卒年	3	4/5-5/30	5/31-7/11	7/12-8/22	8/23-10/3	10/4-11/14	11/15-1/3	1/4-2/20	2/21-4/3
R3 今中 友香		救急	消/血	総内/神経	呼吸器	救急	内分泌・腎	循環器	麻酔科 検
R3 櫻井 義正		救急	呼吸器	循環器	救急	総内/神経	消/血	整形外科	内分泌・腎
R3 高木 宏太		循環器	総内/神経	救急	産婦人科	内分泌・腎	救急	消/血	呼吸器
R3 谷口 裕郁		救急	消/血	麻酔科 救急	循環器	救急	内分泌・腎	呼吸器	総内/神経
R3 中山 俊雄		消/血	救急	内分泌・腎	救急	循環器	検査 麻酔科	呼吸器	総内/神経
R3 西 健太郎		救急	内分泌・腎	呼吸器	総内/神経	消/血	救急	循環器	産婦人科 麻
R3 花房 賢爾		総内/神経	救急	消/血	救急	呼吸器	循環器	内分泌・腎	外科
R3 山田 雅彬		消/血	循環器	救急	内分泌・腎	産婦人科 総外	総内/神経	救急	呼吸器
R3 小泉 遥	たすきがけ	呼吸器	循環器	救急	総内/神経	内分泌・腎	総外 外科	救急	消/血
R3 八重 敦博	たすきがけ	内分泌・腎	救急	小児科	消/血	救急	呼吸器	総内/神経	循環器
R3 大田 真子		歯科研修							

	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
R2 安里 美夕里	耳	麻酔科	総外	精神科	能勢	皮膚科	産婦人科	緩和ケア	外科	整形外科	検査	小児科	総合外来
R2 大川 芹	呼吸器	総外	麻酔科	整形外科	精神科	外科	皮膚科 10/25-総外	種子島	総外	小児科	総外	緩和ケア	検査
R2 佐々木 美雪	循環器	総合外来	麻酔科	小児科	整形外科	精神科	能勢	外科				総合外来	
R2 東野 克温	内分泌・腎	小児科	総合外来	外科	検査	麻酔科	種子島	皮膚科	精神科	産婦人科	消内	緩和ケア	
R2 橋本 拓人	総内・神経	整形外科	産婦人科	麻酔科	外科系	総外	種子島	小児科	精神科	総合外来	形成外科	整形外科	
R2 吉田 侑佳	産婦人科	外科	精神科	内分泌・代謝内科	整形外科	総合外来	麻酔科	あくたがわ	小児科	皮膚科	総合外来		
R2 山路 修平	麻	総合外来	産婦人科	緩和ケア	泌尿器	種子島	精神科	皮膚科	整形外科	小児科	検査	外科	総合外来

## 3) 令和3年度研修終了後の臨床研修医の進路(令和2年度入職)

安里 美夕里 市立池田病院 (呼吸器内科)、大川 芹 市立池田病院 (消化器内科)、東野克温 市立池田病院 (消化器内科)、橋本拓人 市立池田病院 (整形内科)、佐々木 美雪 土庫病院 (総合内科)、吉田侑佳 市立豊中病院 (内分泌・代謝内科)、山路修平 東京北医療センター (総合内科)

## 4) 病院説明会

レジナビ Fair オンライン関西 Week 6月23日  
 近畿厚生局病院説明会 2月19日 グランキューブ大阪  
 大阪大学内科系科合同説明会 3月5日 大阪大学

## 5) JAMEP 基本的臨床能力評価試験 (令和4年1月25日実施)

令和2年度研修医 7名、令和3年度研修医 8名 + 大阪大学たすきがけ 2名

	受験病院数	順位	当院平均点	偏差値	全体平均点
1年次	419	78	46.30	53.68	43.77
2年次	418	48	49.43	56.48	44.73
総合	346	44	47.59	54.71	44.25

## 6) 学生実習

実習期間	大学	人数	実習診療科
4月5日～4月16日	大阪医科薬科大学	1	産婦人科
4月12日～4月30日	大阪大学	2	消化器内科
6月21日～7月2日	神戸大学	1	総合内科
10月4日～10月5日	大阪大学	1	小児科
10月6日～10月7日	大阪大学	1	小児科
10月18日～10月22日	大阪大学	2	消化器内科
10月18日～10月19日	大阪大学	1	小児科
10月20日～10月21日	大阪大学	1	小児科
10月19日	大阪大学	3	病理診断科
1月11日～1月28日	大阪大学	2	消化器内科

## 7) 学生見学（計延べ 71名 歯科含む）

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
大阪大学	14	京都府立医科大学	2	奈良県立医科大学	2
大阪医科薬科大学	9	神戸大学	3	和歌山県立医科大学	2
大阪市立大学	2	福井大学	4	愛知学院大学	1
大阪歯科大学	2	熊本大学	3	東海大学	2
兵庫医科大学	1	愛知医科大学	2	福岡大学	2
近畿大学	1	山梨大学	2	岡山大学	1
滋賀医科大学	4	鳥取大学	2	岐阜大学	1
九州大学	1	群馬大学	1	広島大学	1
香川大学	1	長崎大学	1	東京慈恵会医科大学	1
徳島大学	1	日本大学	1	浜松医科大学	1

## 8) 臨床病理検討会 CPC

4月20日 山路修平

「非小細胞肺癌に対して化学療法導入後20日で死亡した1例」

10月26日 小泉 遥

「COVID-19肺炎後に侵襲性肺アスペルギルス症を発症経過中に急性腎障害を合併した症例」

病理診断医、指導医のもと、剖検症例の臨床経過を詳細に検討して問題点を整理し、剖検結果に照らし合わせて総括し、疾病・病態について理解を含めた。発表をしていない研修医は書記を務めた。

## 9) 臨床研修医採用試験（マッチング試験）、歯科臨床研修医採用試験

令和4年度の臨床研修医に34名の応募があった。書類・面接による選考試験（2021年7月30日、8月9日）を行ない、研修医選考会を開いてマッチングでの順位を決定。以下の8名の研修医がマッチングした。松下武史（大阪医科薬科大学）、松下直樹（大阪大学）、李 佳禧（兵庫医科大学）、和泉原 朱（京都府立医科大学）、淡田公久（大阪大学）、

柴野 究（高知大学）、廣橋伸太（神戸大学）、下村美月（福岡大学）大学の C プログラムでは、井上真生（大阪大学）が1年間研修することとなった。

令和4年度の歯科臨床研修医は、3名の応募があり、書類・面接による選考試験（2021年8月18日）を行い、八島祐希（日本大学）が採用となった。

## 10) ベスト研修医

全医師と看護部・薬剤部・臨床検査部代表の投票により2名のベスト研修医を選出。2022年3月28日の医局会で発表し、表彰式を行った。

1年目ベスト研修医：今中友香、2年目ベスト研修医：吉田侑佳

## ■ 学術業績

### □ 学会・研究会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
吉田侑佳(令和2年度入職)	伝染性単核球症に無痛性甲状腺炎を合併し、甲状腺機能回復に4カ月を要した1例	第233回日本内科学会近畿地方会 WEB開催 2021/9/11
橋本拓人(令和2年度入職)	骨パジェット病に対する手術加療でデノスマブ投与加療の効能	第137回中部日本整形外科災害外科学会 WEB開催 2021/10/8-9
西健太郎(令和3年度入職)	ループ利尿薬投与により低Ca血症が顕在化したビタミンD欠乏による続発性副甲状腺機能亢進症の1例	第22回日本内分泌学会近畿支部学術集会 兵庫医科大学 2021/11/13
櫻井義正(令和3年度入職)	急激な経過を来したCOVID-19ワクチン接種後の血栓症の1例	第234回日本内科学会近畿地方会 WEB開催 2021/12/4
高木宏太(令和3年度入職)	完全房室ブロック加療の際に先端巨大症を指摘できた1例	第234回日本内科学会近畿地方会 WEB開催 2021/12/4
谷口裕郁(令和3年度入職)	限局期濾胞性リンパ腫(FL)に対する放射線療法後、2回のB症状とLDH上昇を契機に診断された血管内大細胞型B細胞リンパ腫(IVLBCL)の1例	第234回日本内科学会近畿地方会 WEB開催 2021/12/4
花房賢爾(令和3年度入職)	貧血を契機に診断されたA型胃炎の1例	第234回日本内科学会近畿地方会 WEB開催 2021/12/4
山田雅彬(令和3年度入職)	リウマチ性多発筋痛症(PMR)に対するグルコルチコイド(GC)治療の継続率と継続に関連する因子の検討	第234回日本内科学会近畿地方会 WEB開催 2021/12/4
山路修平(令和2年度入職)	早期診断によりレボチロキシン(FT4)静脈投与を行い救命しえた粘液水腫性昏睡の1例	第234回日本内科学会近畿地方会 WEB開催 2021/12/4
安里美夕里(令和2年度入職)	肺扁平上皮癌に対して化学療法中に急速に進行した大細胞神経内分布癌の1例	第98回日本呼吸器学会近畿地方会 WEB開催 2021/12/11
大川 芹(令和2年度入職)	術前診断が困難であった肝外発育型肝細胞癌の1例	日本消化器病学会第116回例会 大阪国際会議場 2022/2/5

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
今中友香(令和3年度入職)	アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法にて下垂体性副腎皮質機能低下症を来した肝細胞癌の1例	日本消化器病学会第116回例会 大阪国際会議場 2022/2/5
中山俊雄(令和3年度入職)	分枝型 IPMN を伴う膵に発症した膵原発悪性リンパ腫の1例	日本消化器病学会第116回例会 大阪国際会議場 2022/2/5
山田雅彬(令和3年度入職)	肝細胞癌と鑑別困難であった肝悪性リンパ腫の1例	日本消化器病学会第116回例会 大阪国際会議場 2022/2/5
花房賢爾(令和3年度入職)	貧血を契機に診断されたA型胃炎の1例	日本消化器病学会第116回例会 大阪国際会議場 2022/2/5
東野克温(令和2年度入職)	Sarcomatoid changes of pulmonary squamous cell carcinoma to spindle cell carcinoma	第19回日本臨床腫瘍学会学術集会 京都 2022/2/17-19

## 外来化学療法センター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

センター長：太田博文（消化器外科）

副センター長：森山康弘（血液内科）、安座間隆（乳腺・内分泌外科）

担当薬剤師：大河万頭、山口唯、森井悠介、近谷仁志、松井駿亮

担当看護師：西田智恵美、諸石亨子、井手美里、山本紅葉

#### ■ 診療・業務概要

大阪府のがん拠点病院として、がん患者に対する外来化学療法を推進していくため、安全で効果的な治療・ケア、及びがんつきあえる患者環境を支援する。

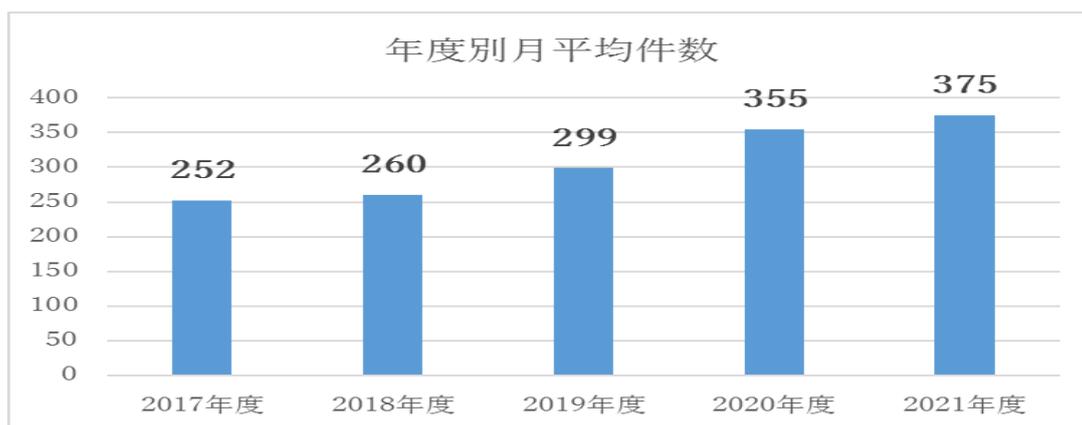
### 《実績》

現在、化学療法は、支持療法の進歩、分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬などの新規薬剤の開発・導入により、効果及び治療期間の延長にて外来治療の意義はさらに大きくなっている。外来化学療法センターは、2016年3月末に8床から11床へ3床増床、さらに2020年1月に3床増床し計14床での運用となった。しかし、化学療法件数は増加の一途をたどっており、外来化学療法センターのベッド不足のためやむを得ず入院で化学療法を実施する症例も散見されており、ベッド不足の問題や患者数増加に対応するスタッフの拡充は引き続き喫緊の検討課題となっている。

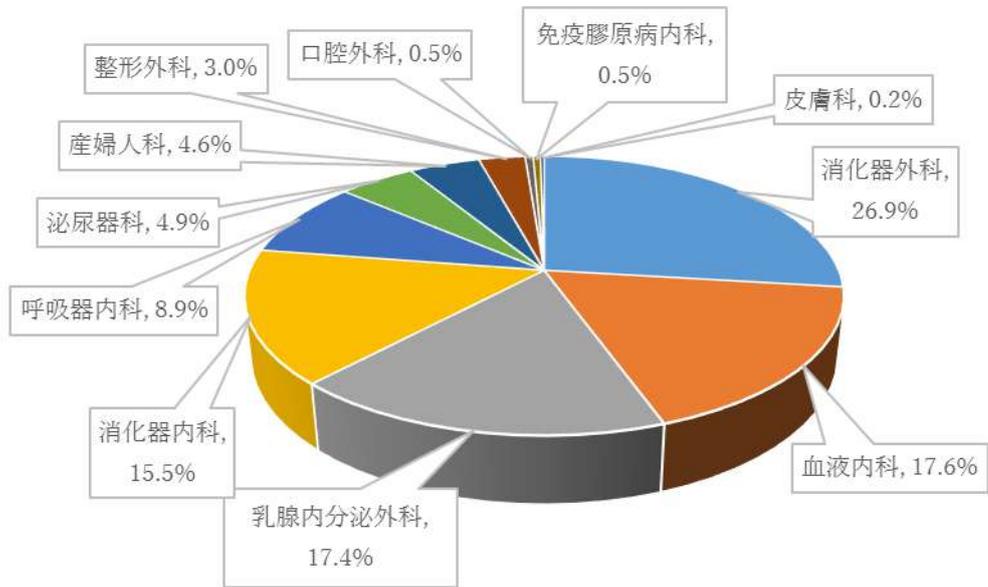
外来化学療法センターでは看護師配置の固定化、自然滴下制御式の薬剤注入コントローラー「フローサイン」使用に加え、毎朝看護師と薬剤師によるミニカンファを継続的に行っており、その日の患者やレジメンに関する情報を共有することで安全・安心な化学療法を実践している。抗がん剤の調製から投与まで閉鎖式システムを完備し、医療従事者への職業曝露防止対策を行う環境整備についても継続している。また、看護師によるCVポート及び静脈穿刺の継続、薬剤師による継続的薬剤管理指導を行っており、医師の負担軽減が図れている。

年々、がん患者の患者層は高齢化してきており、外来化学療法センターのスタッフは、多様化・複雑化する治療方法や副作用への対応だけでなく、多岐にわたるケアが必要となっている。今後は栄養士・MSWなどを含めた院内での多職種間の連携に加え、保険薬局薬剤師を含めた地域の多職種スタッフとの連携強化が必要と考える。

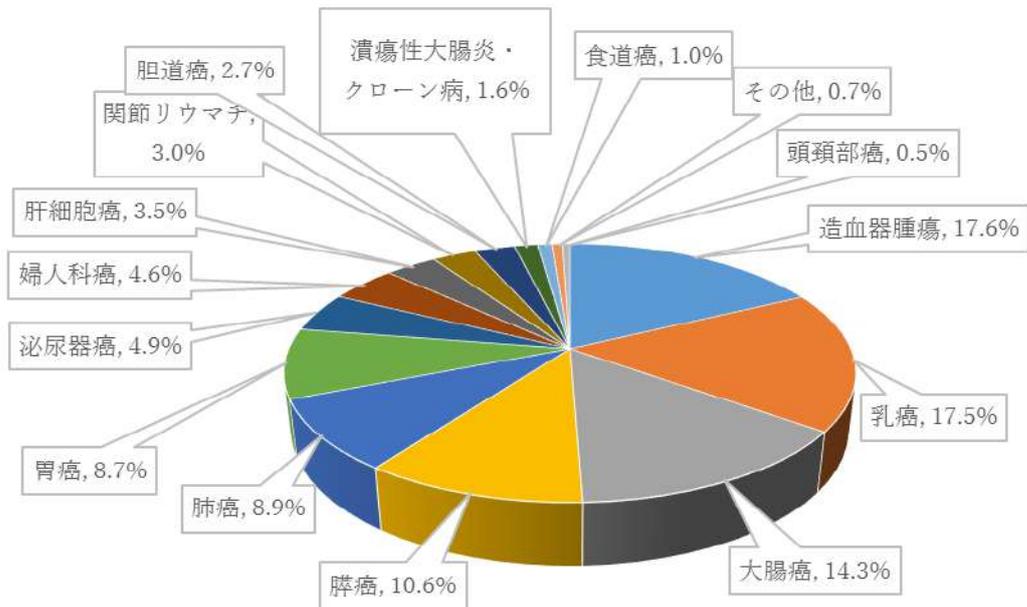
#### ■ 統計実績 【外来化学療法センター利用実績の推移】



【診療科別割合】 施行件数 : 4,502 件/年



【疾患別割合】 施行件数 : 4,502 件/年



【新規レジメン申請】

化学療法レジメン審査会開催件数 : 13 回 / 2021 年度

新規レジメン登録件数 : 計 32 件

血液内科レジメン : 10 件、消化器外科レジメン : 7 件、産婦人科レジメン : 4 件

消化器内科レジメン : 4 件、泌尿器科レジメン : 3 件、乳腺外科レジメン : 3 件、

口腔外科レジメン : 1 件

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

センター長：太田 博文（消化器外科主任部長）

看護師：栄口 秀子、吉野 葵、小林 身和子、音地 真理、東 かおり

社会福祉士：林 浩美、岸 茜

### ■ 相談業務概要

がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターでは、がん患者や家族、国民に対しての情報提供の担い手として、がん相談支援センターの業務の中で、拠点病院に関する情報提供を求められている。2008年の「がん診療拠点病院等の整備に関する指針」の中でがん相談支援センターが行うべき事項が明示されており、この指針はがん対策推進基本計画の改定に沿って更新されている。現在の指針は2018年7月に発出されたものである。現在の整備指針で示されているがん相談支援センターの役割は、予防・検診から、治療や療養全般に関わる相談、そしてゲノム医療や希少がん、AYA世代に特化した課題やがん生殖医療に関わる相談と多岐にわたり、地域情報の収集提供や患者会などへの支援など、地域ネットワークの構築や資源創出を含む広範な役割を担うことが求められている。

#### 1. がん相談支援センターの業務

がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針（平成30年7月）より抜粋

- (ア) がんの病態や標準的治療法等、がんの治療に関する一般的な情報の提供
- (イ) がんの予防やがん検診等に関する一般的な情報の提供
- (ウ) 自施設で対応可能ながん種や治療法等の診療機能及び、連携する地域の医療機関に関する情報の提供
- (エ) セカンドオピニオンの提示が可能な医師や医療機関の紹介
- (オ) がん患者の療養生活に関する相談
- (カ) 就労に関する相談（産業保健総合支援センターや職業安定所等との効果的な連携による提供が望ましい。）
- (キ) 地域の医療機関におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供
- (ク) アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談
- (ケ) HTLV-1 関連疾患である ATL に関する医療相談
- (コ) 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援
- (サ) 相談支援に携わる者に対する教育と支援サービス向上に向けた取組
- (シ) その他相談支援に関すること

以下に示す項目については自施設での提供が難しい場合には、適切な医療機関を紹介すること。

- (ス) がんゲノム医療に関する相談
- (セ) 希少がんに関する相談

- (ソ) AYA 世代にあるがん患者に対する治療療養や就学、就労支援に関する相談
- (タ) がん治療に伴う生殖機能の影響や、生殖機能の温存に関する相談
- (チ) その他自施設では対応が困難である相談支援に関する事

## 2. がん相談支援センターについて

2014 年より、患者相談窓口と連携しながら対応を行っている。メンバーは、がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師・がん性疼痛看護認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、社会福祉士で構成されており入院後もサポートできるよう努めている。

## 3. がん看護外来について

がん看護相談窓口に先駆けて、2013 年よりがん看護専門看護師による「がん看護外来」を開設し、病名や再発告知後の精神的支援や治療選択における意思決定などの支援を行っている。2021 年度は、がん看護専門看護師が中心となり業務遂行にあたった。

相談窓口と異なる点として、医療者ががん看護に専門看護師の介入が必要と感じられた際に、患者・家族へ導入について説明があり、同意が得られた場合に受診していただく流れである。

## 4. 都道府県がん診療連携拠点病院連結協議会 がん相談支援センター部会

部会では、拠点病院で実施されている情報提供および相談支援体制の機能強化と質的な向上を図ることを目的としている。

大阪府では、「相談支援センター部会」として平成 19 年 7 月 6 日に設置され、年に 2 回大阪国際がんセンターが事務局となり活動を行っている。

## 5. がん患者サロンについて

当院では「ひまわりサロン」の名称で、当センターとも連携を図っている。

## 《実績》

### ■ 統計実績

がん相談支援センター及び、がん看護外来の実績

- がん相談支援センター件数・・・88 件/年  
相談内容：がんの治療、症状・副作用、不安・精神的苦痛、セカンドオピニオンなど
- がん看護外来件数・・・120 件/年  
介入内容：診療の同席、病状説明内容の確認、治療の選択、生活・療養の相談、療養場所の選択、不安など

### ■ 研修・教育活動

- がん診療連携拠点病院の相談支援機能に関する指定要件により「国立がん研究センターがん対策情報センターによる研修会を修了した専従及び専任の相談支援に携わる者をそれぞれ 1 人以上配置すること」とあり、相談支援センターには、この要件を満たす看護師や社会福祉士等の資格を持つ複数人の相談支援を行うための人員配置が求められている。

<相談支援センター相談員研修・基礎研修 修了者 計5名>

◎相談支援センター相談員研修・基礎研修(1)～(2) 修了3名

◎相談支援センター相談員研修・基礎研修(1)～(3) 修了2名

- がんのゲノム医療の実用化に必要な医療従事者として、がんのゲノム医療に関する遺伝子関連検査、患者・家族への伝え方、多職種との連携、意思決定支援等について必要な知識・態度・技術の習得を目指している。

<がんゲノム医療コーディネーター研修会 修了者1名>

<第24回遺伝性腫瘍セミナー「遺伝性消化器がん（FAP、リンチ症候群を中心に）ロールプレイ研修 修了者1名>

## 内視鏡センター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

消化器内科医 15 名（専攻医 5 名含む）、呼吸器内科医 5 名（専攻医 2 名含む）、  
内視鏡センター看護師 23 名（内視鏡技師 7 名）

当院は、日本消化器内視鏡学会により指導施設として認定されている。

（日本消化器内視鏡学会 指導医 今井/中原 2 名

専門医 今井/中原/澤井/山口/氣賀澤 5 名）

日本呼吸器内視鏡学会により認定施設として認定されている。

（日本呼吸器内視鏡学会 指導医 橋本/田幡 2 名 専門医 橋本/田幡 2 名）

令和 3 年 4 月入職

消化器内科専攻医 杉尾 諒 (H29)・相馬 一超 (H29)

消化器内科専攻医 箕浦 悠太郎 (H30)

消化器内科専攻医 北中 崇雄 (H31)・石川 史彬 (H31)

令和 4 年 4 月退職

消化器内科専攻医 大阪労災病院へ異動 青地 一樹 (H28)

大阪大学へ異動 目連 愛美 (H28)

消化器内科専攻医 市立豊中病院へ出向 浜辺 友也 (H30)

#### ■ 診療・業務概要

- ▶安全で苦痛の少ない検査・治療の施行
- ▶検査待ちの少ない迅速な検査を行うため検査枠の拡充  
（上部下部内視鏡検査・処置枠の拡大、鎮静下内視鏡・経鼻内視鏡検査枠の拡大）
- ▶緊急検査への柔軟な対応
- ▶若手医師の育成

上記内容を目標とし、上部消化管・下部消化管・胆膵・呼吸器疾患を対象とした内視鏡を用いた検査・治療業務を行っている。

<令和 2 年度の新規業務～前年度実績を踏まえて>

- ・令和元年度より効率的な検査の進行を目指して、上部内視鏡の咽頭麻酔前処置をキシロカインビスカスを口に含む方法からキシロカインスプレーを噴霧する方法に変更した。  
（新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、飛沫対策の為に再度、キシロカインビスカスを口に含む方法に変更している）
- ・平成 27 年 9 月より従来施行していた胃の ESD に加えて食道・大腸の ESD を本格的に開始。  
平成 28 年度/29 年度/30 年度/令和元年度と ESD 件数は順調に増加している。
- ・胆膵内視鏡の充実を目指して、平成 30 年度より EUS/FNA の検査枠を週三回に増やし、検査・処置件数は増加している。併せて、ERCP の件数も増加している。

- ・内視鏡技師（看護師）の役割拡大として、平成 28 年度より試験運用していた EMR/クリッピング/点墨等の直接介助を平成 29 年度より開始。平成 30 年度より ESD の介助も開始して、医師の増員なく、内視鏡処置件数の増加を図れる様に努めている。
- ・上部内視鏡の前処置を検査室内から検査室外へ変更し、時間あたりの検査件数増加を試みている。（平成 29 年度より継続）
- ・鎮静内視鏡の希望者増加に対応できるよう、従来のベッドをリクライニングシートに変更するなどして、リカバリースペースの効率的な運用を開始している。（平成 29 年度より継続）
- ・cold polypectomy の導入により、出血 risk が少なく小 polyp 切除が可能となった事で、外来大腸 polyp 内視鏡的切除の件数が増加している。
- ・平成 29 年度より富士フィルムの内視鏡システム（経口・経鼻上部内視鏡）を導入。BLI・LCI 等の特殊光観察が可能となった。ESD・EMR 件数の増加を目指して、より早期の段階での食道癌・胃癌の発見に努めている。
- ・平成 30 年度より閉塞性大腸癌における bridge to surgery としてのステント留置術を複数例行っている。緊急人工肛門形成外科手術を回避して、より良好な栄養状態での安全な待機的手術が可能となった。
- ・平成 30 年 3 月にショートタイプ・ダブルバルーン内視鏡「EI-580BT」を導入した事で、従来のスコープでは困難であった術後再建腸管症例においても乳頭への到達および胆道処置が可能となった。  
2018 年；実績 4 症例（ERCP 4 例 小腸内視鏡 0 例）  
2019 年；実績 10 症例（ERCP 6 例 小腸内視鏡 4 例）  
2020 年；実績 8 症例（ERCP 3 例 小腸内視鏡 5 例）  
2021 年；実績 7 症例（ERCP 5 例 小腸内視鏡 2 例）（6 月まで）
- ・2020 年 1 月大腸ロングビデオスコープ 「PCF-H290ZL」 導入  
2020 年；実績 62 症例  
2021 年；実績 27 症例（6 月迄）
- ・2021 年 12 月 ERCP スコープ「TJF-290V」 導入  
2020 年；実績 47 症例  
2021 年；実績 28 症例（5 月迄）

#### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	GIF/CF/EMR EUS	GIF/CF /気管支鏡 カプセル内視鏡	GIF/CF EMR/EUS	PEG/ CF/EMR APC/EUS EIS/EVL	GIF/CF/EMR /気管支鏡
午後	GIF/CF/EMR ESD	ERCP/CF ESD	CF/EMR ESD	ERCP CF/EMR	GIF/CF/EMR

月曜日 18 時 消化器内科回診  
木曜日 8 時 消化器内科抄読会  
金曜日 17 時 内視鏡病理カンファレンス

## 《実績》

### ■ 統計実績

内視鏡検査件数まとめ (MM コーポレーション情報提供)

2021 年度件数

上部	観察	経口内視鏡	3,034
		経鼻内視鏡	328
	治療	ESD	53
		止血	62
		EMR・ポリペクトミー	15
		EIS	20
		EVL	13
		APC	10
		PEG 造設	21
		PEG 交換	39
		その他	35
超音波内視鏡	観察	超音波内視鏡	197
	治療	EUS-FNA	42
		EUS ガイド下ドレナージ	2
下部	観察	下部観察内視鏡	901
	治療	EMR・ポリペクトミー(入院)	224
		EMR・ポリペクトミー(外来)	831
		ESD	61
		止血	13
		APC	7
		下部バルーン拡張	3
		その他	23
バルーン内視鏡		上部ダブルバルーン	4
		下部ダブルバルーン	1
肝胆膵	観察・造影	ERCP	17
	治療	総胆管結石治療 EST	68
		EML	28
		ERBD	123
		ENBD	2
		ERPD	5
		EPLBD	1
		ERCP(ダブルバルーン)	7
		内視鏡的胆道拡張術	1
その他	カプセル	カプセル内視鏡	14

気管支鏡	観察	気管支鏡検査(観察)	5
	治療	気管支鏡検査(生検)	19
		生検+気管支肺胞洗浄	14
		気管支肺胞洗浄	1
		局所麻酔下胸腔鏡検査	13
		EBUS-GS	92
		EBUS-TBNA	7
総計			6,316

## ■ 学術業績

### □ 原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Minoru Kato, Yoshito Hayashi, Tsutomu Nishida, Masahide Oshita, Fumihiko Nakanishi, Shinjiro Yamaguchi, Shinji Kitamura, Akihiro Nishihara, Tomofumi Akasaka, Hideharu Ogiyama, Masanori Nakahara, Takuya Yamada, Osamu Kishida, Masashi Yamamoto, Akinori Shimayoshi, Yoshiki Tsuji, Motohiko Kato, Shinichiro Shinzaki, Hideki Iijima, Tetsuo Takehara	Helicobacter pylori eradication prevents secondary gastric cancer in patients with mild-to-moderate atrophic gastritis	J Gastroenterol Hepatol. 2021 Aug;36(8):2083-2090
Takahiro Amano, Shinichiro Shinzaki, Akiko Asakura, Taku Tashiro, Mizuki Tani, Yuriko Otake, Takeo Yoshihara, Shuko Iwatani, Takuya Yamada, Yoko Sakakibara, Naoto Osugi, Syuji Ishii, Satoshi Egawa, Manabu Araki, Yuki Arimoto, Masanori Nakahara, Yoko Murayama, Ichizo Kobayashi, Kazuo Kinoshita, Hiroyuki Ogawa, Satoshi Hiyama, Narihiro Shibukawa, Masato Komori, Yorihide Okuda, Takashi Kizu, Syunsuke Yoshii, Yoshiki Tsuji, Yoshito Hayashi, Takahiro Inoue, Hideki Iijima, Tetsuo Takehara	Elderly onset age is associated with low efficacy of first anti-tumor necrosis factor treatment in patients with inflammatory bowel disease	Sci Rep. 2022 Mar 29;12(1):5324
Minoru Kato, Yoshito Hayashi, Hiromu Fukuda, Shinjiro Yamaguchi, Takuya Inoue, Hideharu Ogiyama, Shinji Kitamura, Masato Komori, Katsumi Yamamoto, Masashi Yamamoto, Kengo Nagai, Masanori Nakahara, Satoshi Egawa, Takuya Yamada, Akira Sasakawa, Takashi Kizu, Osamu Nishiyama, Satoki shchijo, Syunsuke Yoshii, Yoshiki Tujii, Shinichiro Shinzaki, Hideki Iijima, Tetsuo Takehara	Geriatric nutritional risk index as a prognostic indicator in elderly patients with early colorectal cancer undergoing endoscopic submucosal dissection	Dig Endosc. 2022 Mar ;34(3):569-578

### □ 学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
氣賀澤 齊史、山口 典高、 中原 征則、今井 康陽	パネルディスカッション1 「胆膵疾患に対する内視鏡診断・治療の工夫」 No-suction 法によるEUS-FNB についての検討	第106回日本消化器内視鏡学会 近畿支部例会 リーガロイヤルホテル大阪 2021/7/10

山口 典高、中原 征則、鬘 瑛、 氣賀澤 齊史、今井 康陽	シンポジウム 1 「上部消化管 ESD/EMR における残された課題と乗り越える工夫」当院における表在型十二指腸非乳頭部上皮性腫瘍に対する underwaterEMR の治療成績	第 106 回日本消化器内視鏡学会 近畿支部例会 リーガロイヤルホテル大阪 2021/7/10
中原 征則、山口 典高、 氣賀澤 齊史、島越 洋美、今井 康陽	パネルディスカッション 2 「高齢者内視鏡治療の現況と課題」高齢者閉塞性大腸癌に対する術前大腸金属ステント留置術の有用性と安全性	第 106 回日本消化器内視鏡学会 近畿支部例会 リーガロイヤルホテル大阪 2021/7/10

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

センター長：岡田 拓也（内分泌・代謝内科部長）  
医師：津川 真美子、橋本 重樹、井上 佳菜、山本 聡子 西村 賢二  
看護師：河野 恵美、安部 圭子、三井 八千代、根来 絢子  
管理栄養士：今仲 直美  
薬剤師：畑原 照子  
臨床検査技師：上月 咲穂  
理学療法士：横山 遙香  
歯科衛生士：銀羽 かおり  
医療管理課：高見 雅子

### ■ 診療・業務概要

#### 1 糖尿病患者指導

多職種からみて、療養生活の改善が必要だと考える患者への指導をおこなっている。療養生活の改善とは「良好な血糖コントロールや合併症進行予防、QOL の向上」であり、患者が長く療養生活を行える支援をいう。療養指導の内容は、インスリン自己注射指導、自己血糖測定指導、フットケア指導、個人栄養指導などをおこなっている。

近年では療養支援だけにとどまらず、独居の高齢患者の自己療養が困難症例に対し、支援体制の整備が必要となっている。今後は外来であっても、患者をとりまく支援者と協力しながら環境調整・療養継続できるよう支援していきたい。

#### 糖尿病患者の主な指導内容

- \* インスリン自己注射指導
- \* 自己血糖測定指導
- \* フットケア指導
- \* 栄養指導
- \* 運動療法指導
- \* 透析予防指導
- \* 生活指導

#### 2 慢性腎臓病看護外来

主な原因疾患として糖尿病が多いが、それ以外の原因疾患の患者も対象である。腎機能の低下をきたし、日常生活に支障を来している患者や、そのリスクが高い患者を対象に、2021年1月から慢性腎臓病看護外来・腹膜透析看護外来を開設した。

腎機能低下が著しく、透析が目前になってきた患者へは、腎代替療法の選択支援もおこなっている。血液透析・腹膜透析・腎移植の説明を行いながら、患者が意思決定できるよう支援する。

### 慢性腎臓病患者への主な指導内容

- \* 透析予防指導
- \* 慢性腎臓病看護指導
- \* 腹膜透析看護指導
- \* 腎代替療法の選択支援

### 3 禁煙外来

禁煙外来は2006年から開始しており、2021年度は15件。

## 《実績》

### ■ 統計実績

全病棟を対象に1回/週の回診をセンター所属各専門スタッフにて行い、糖尿病の療養指導についての検討をセンター所属全職種で行っている。(約50回/年)

2021. 4. 1～2022. 3. 31

自己注射指導	
月27回以下	1,232件/年
月28回以上	4,410件/年
インスリンポンプ	65件/年
栄養指導	
集団	36件/年
個人	25件/年
看護指導	2,601件/年
透析予防指導	243件/年
フットケア	48件/年
糖尿病教育パス入院	168件/年
禁煙指導	15件
慢性腎臓病看護外来	1件/年
腹膜透析看護外来	0件/年

### ■ 研修・教育活動

#### ◆ 糖尿病専門医

医師：3名

#### ◆ 腎臓専門医

医師：2名

#### ◆ 糖尿病療養指導士認定者12名

看護師：4名

管理栄養士：2名

薬剤師：3名

検査技師：2名

理学療法士：1名

## 人工透析センター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

1998年9月14日から運用開始となった人工透析センター（2004年10月に「人工透析室」から名称変更）は24年目を迎えた。

山本 聡子：腎臓内科部長 兼 人工透析センター長  
総合内科専門医、日本腎臓学会指導医、日本透析医学会専門医

西村 賢二：腎臓内科医長  
日本腎臓学会専門医、日本透析医学会指導医

藁田 明希：腎臓内科医員  
日本内科学会会員、日本透析医学会会員、日本腎臓学会会員、緩和ケア講習医

大河原 桃子：腎臓内科後期研修医（2022年3月末退職）

梶原 信幸：腎臓内科主任部長（2022年5月末退職）

杉山 隆志：臨床工学技士次長・看護師・第二種ME技術実力検定

穴井 恵理：臨床工学技士主任・臨床検査技師・透析療法認定士・第二種ME技術実力検定  
透析液安全管理者認定

芝 隆史：臨床工学技士（2021年8月末退職）

飯田 悠貴：臨床工学技士（2021年9月入職/12月15日退職）

#### ■ 診療・業務概要

人工透析センターの運用については、年4回の人工透析センター運営委員会を開いて検討した。2020年度までと同様に「1. 急性腎不全に対する血液浄化法」、「2. 保存期慢性腎不全患者の慢性維持透析への導入」、「3. 慢性維持透析患者の手術や特殊検査・治療入院」「4. 血液透析以外の血液浄化療法」を施行している。時間外の血液浄化療法に対応するために、腎臓内科医師が交代で「透析オンコール」を行っている。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

保存期慢性腎不全からの導入50例と慢性維持透析患者52例の計102例は死亡した5例を除いて他の透析施設に転院または外来通院となった。

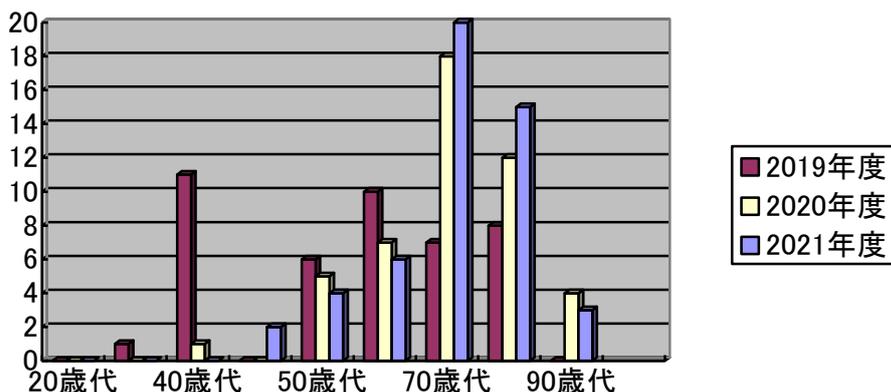
保存期慢性腎不全からの導入50例の詳細として、男性34例、女性16例であり、年齢別では、90歳代3例、80歳代15例、70歳代20例、60歳代6例、50歳代4例、40歳代2例であった。原疾患では糖尿病性腎症19例、IgA腎症2例、腎硬化症1例、両腎摘出1例、多発性骨髄腫2例、原因不明が25例であった。

慢性維持透析患者の入院52例の入院科の内訳は、消化器内科21例、消化器外科2例、血液内科2例、循環器内科7例、腎臓内科6例、整形外科3例、泌尿器科2例、皮膚科5例、内分泌代謝内科1

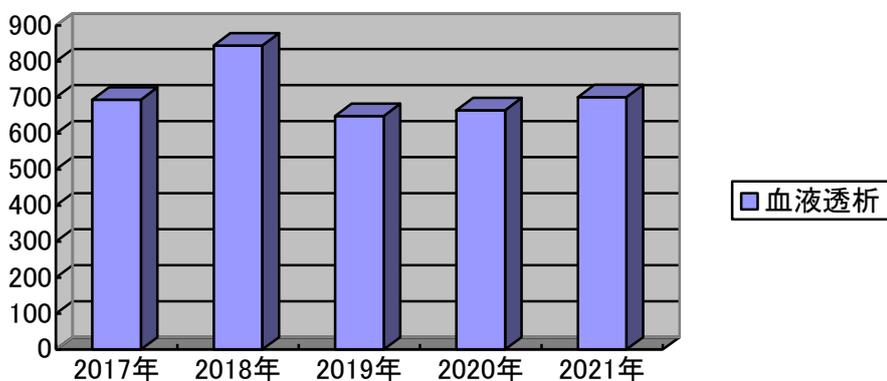
例、耳鼻科1例、眼科1例、口腔外科1例である。

血液透析療法以外の血液浄化法としては血漿交換療法2例、腹水濃縮再静注1例、血液吸着3例、持続的血液濾過透析2例、血漿吸着2例、白血球除去療法2例を実施し、急性腎不全と慢性腎不全急性増悪に対する緊急透析は11例であった。

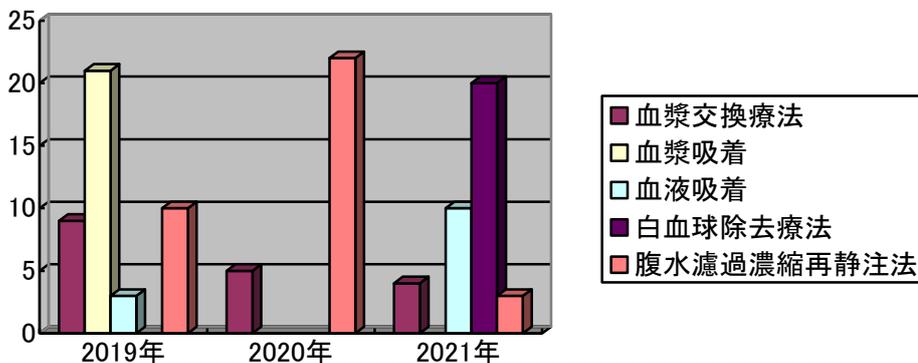
2019年度から2021年度の保存期慢性腎不全からの導入の年齢は以下の通りである。



2017年度から2021年度の血液透析の実施件数は以下の通りである。



2019年度から2021年度の血液透析以外の浄化療法の実施件数は以下の通りである。



## 口腔ケアセンター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

歯科医師：雨河 茂樹、小川 芙美、須澤 佳香、窪田 星子

歯科衛生士：山田 みつ美（在宅療養指導・口腔機能管理、  
摂食嚥下リハビリテーション認定）、

銀羽 かおり（在宅療養指導・口腔機能管理、

摂食嚥下リハビリテーション認定）、

林 智代、松本 郷美、善如寺 里江

#### ■ 診療・業務概要

口腔ケアセンターでは、主に入院患者に対して周術期等口腔機能管理（手術、化学療法、放射線治療）や病棟での往診口腔ケアを行っています。センター内には可動式ユニットを設置しており、ベッド上での歯科治療にも対応しています。また、今年度は新型コロナウイルス感染症患者に対する往診口腔ケアや歯科診療を行いました。

周術期等口腔機能管理については地域歯科医院との連携システムを立ち上げ、地域医療との連携も行っています。

主な業務

- ・周術期等口腔機能管理（手術、化学療法、放射線治療）
- ・ADLが低下した患者、病棟での口腔ケアが困難な患者に対する専門的口腔ケア
- ・摂食機能障害のある患者に対する口腔機能評価

### 《実績》

#### ■ 統計実績

周術期等口腔機能管理（手術、化学療法、放射線治療）対象患者数は増加しました。

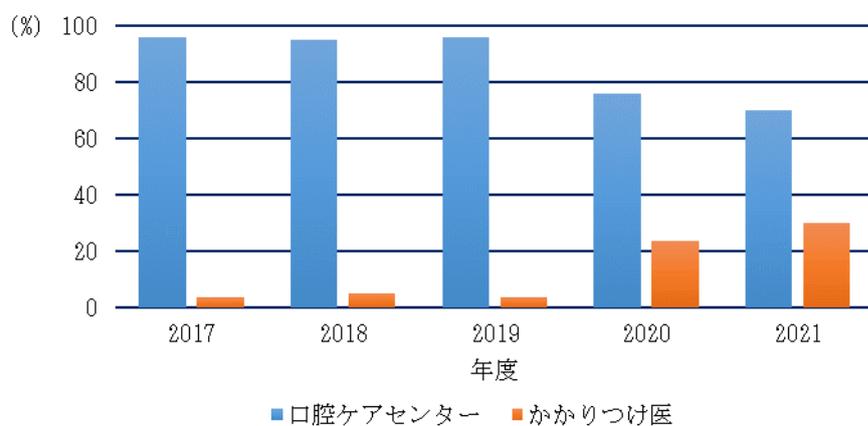
地域歯科医院での周術期等口腔機能管理実施割合が増加傾向にあり、地域医療連携が推進されているものと思われました。

往診口腔ケア患者数は、新型コロナウイルス感染症による入院制限もあり、やや減少しました。

（表1） 周術期等口腔機能管理 初診患者数

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
手術	1,198	1,256	1,459	1,305	1,348
化学療法・放射線治療	53	153	184	225	244

(グラフ1) 周術期等口腔機能管理における口腔ケアセンターと地域歯科医院の割合



(表2) 往診口腔ケアの月別患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
往診口腔ケア	104	70	78	96	98	59	77	75	105	83	65	78	988

## 超音波診断・治療センター

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

診療放射線技師 8 名

関 康センター長、一樋政宏主任、上月喜予玲技師、比嘉裕次技師、  
澤 和孝技師、村上裕紀技師、瀬川奈央技師、平野佳代技師、

(超音波検査士取得者：消化器領域 5 名、表在領域 1 名、検診領域 1 名)

消化器内科医師

福田和人副院長、井倉技主任部長、澤井良之部長、小来田幸世副部長、臨床研修医  
検査補助婦 5 名

#### ■ 診療・業務概要

肝臓を中心とした上腹部実質臓器をはじめ、胃・大腸・虫垂などの消化管、sonazoidによる造影超音波検査、VTQによる肝臓の線維化測定、頸部（甲状腺・耳下腺・上皮小体）の超音波検査を主に行っています。

各診療科からの依頼件数の増加と当日飛び入り検査の受け入れにも対応しながら、日々の検査を施行しています。また、消化器内科医師による臨床研修医への指導も行っています。

乳腺エコー担当技師（瀬川奈央技師、平野佳代技師）による頸部超音波検査も継続しています。また、月・火曜日の乳腺外来での乳腺エコーの混雑時には、当センターの検査室1の装置を外来診察室に持ち込んで乳腺エコーに使用し、患者様の待ち時間軽減にも努めております。

今年度では新型コロナウイルスの影響で一昨年度と比べて、腹部 97%、造影 85%、VTQ88%とまだ減少したままであるが、甲状腺は 111%と一昨年度の件数を上回りました。

## 《実績》

### ■ 統計実績

<腹部エコー件数>

	令和3年度		
	腹部	造影	合計
4月	759	21	780
5月	635	15	650
6月	796	20	816
7月	744	11	755
8月	713	13	726
9月	803	14	817
10月	823	15	838
11月	755	13	768
12月	790	16	806
1月	703	14	717
2月	684	10	694
3月	826	15	841
合計	9,031	177	9,208

<VTQ件数>

	令和3年度
4月	11
5月	12
6月	15
7月	13
8月	9
9月	15
10月	22
11月	10
12月	10
1月	13
2月	5
3月	22
合計	157

<甲状腺件数>

	令和3年度
4月	80
5月	71
6月	87
7月	86
8月	87
9月	101
10月	103
11月	92
12月	86
1月	78
2月	77
3月	113
合計	1,061

### ■ 学術業績

#### □学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
関 康	第I部 教育講演 「主な肝腫瘍の超音波画像所見 ～ガイドラインを中心に～」	日本超音波検査学会 第35回関西地 方会学術集会 Web (ライブ+オンデマンド配信) 2021/9/26
関 康	シンポジウム 1 「学び極める腹部消化器超音波」	日本超音波医学会 第48回関西地 方会学術集会 ホテルグランビア京都 2021/10/16
関 康	「超音波スクリーニング検査のポイント」 ～見えにくい時の私のテクニック～ 胆・膵領域	日本消化器がん検診学会 近畿支部 超音波研修会 Web (ライブ+オンデマンド配信) 2021/11/13
関 康、上月 喜予玲、比嘉 裕次、 一樋 政宏、藤田 典彦、福田 和人、 今井 康陽、森本 修邦、太田 博文、 柴田 邦隆	膵 IPMN follow の US にて発見した早期胃 癌の1例	第21回大阪病院学会 Web (ライブ+オンデマンド配信) 2021/11/17
関 康、上月 喜予玲、比嘉 裕次、 一樋 政宏、藤田 典彦、福田 和人、 今井 康陽、森本 修邦、太田 博文、 柴田 邦隆	造影 US にて嚢胞部分を伴う膵内副脾と診 断できた膵尾部腫瘍の2例	第21回大阪病院学会 Web (ライブ+オンデマンド配信) 2021/11/17

## □研究会・講演会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
関 康、澤 和孝、上月 喜子玲、 比嘉 裕次、一樋 政宏、 氣賀澤 齊史、中原 征則、 大橋 寛嗣、今井 康陽	一般演題 興味ある症例 膝病変	第28回阪神エコーミーティング Web（ライブ） 2021/12/4

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

医師 津川 真美子 院長補佐、健診センター長 (平成28年4月に就任)  
 橋本 俊朗 嘱託 (平成26年4月より)

看護師 小谷 朱根  
 看護補助 岡本 美智子

技師 山本 毅、井上 幸子、中尾 かおり、清水 麻紀

事務 花本 明子、澤吉 利恵、坂本 広美

### ■ 診療・業務概要

◎月曜日から金曜日までを各業務に特化して運営

基本コース (各5~6名) 火曜日、金曜日  
 脳ドックコース 月曜日、火曜日、金曜日  
 レディースコース 火曜日、金曜日  
 肺ドックコース 月曜日 (H29年1月より開始)  
 歯科ドックコース 金曜日  
 委託検診 水曜午後に市内の会社よりレディースドックを受託  
 健康診断 水曜日、木曜日  
 原子爆弾被爆者健康診断 (定期検診、がん検診) 水曜日、木曜日  
 被爆二世健康診断 水曜日、木曜日  
 入職時ワクチン

## 《実績》

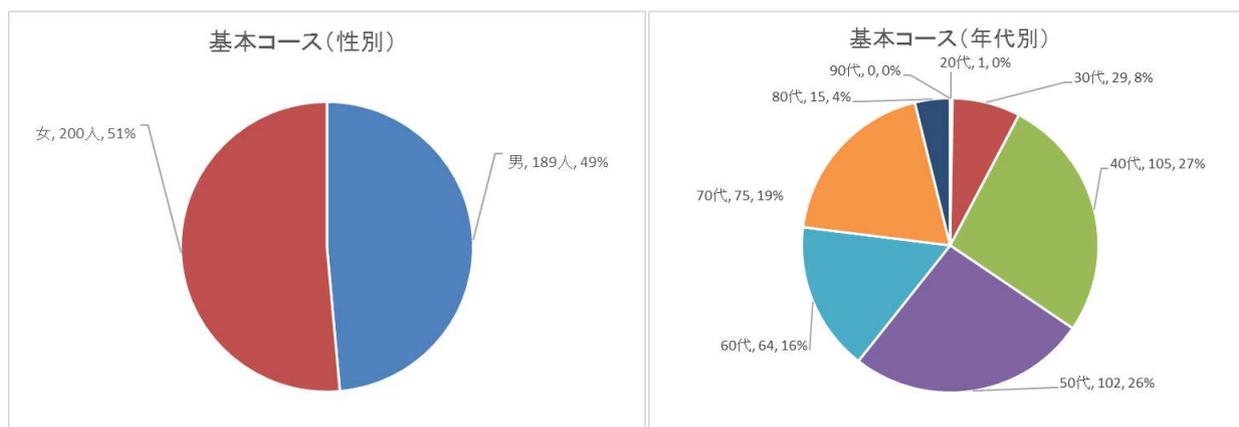
### ■ 統計実績

	基本コース			脳ドック			レディース	歯科ドック			肺ドック		
	男	女	計	男	女	計	女	男	女	計	男	女	計
4月	14	13	27	7	6	13	19	0	0	0	0	0	0
5月	8	7	15	2	4	6	5	0	0	0	1	0	1
6月	16	13	29	6	6	12	15	0	1	1	0	0	0
7月	9	17	26	3	5	8	10	0	1	1	0	0	0
8月	20	13	33	3	3	6	9	0	1	1	0	0	0
9月	23	14	37	4	6	10	4	0	1	1	1	0	1
10月	24	17	41	9	6	15	18	0	1	1	0	0	0
11月	16	25	41	7	6	13	13	0	0	0	2	1	3
12月	22	22	44	6	4	10	17	0	0	0	1	0	1
1月	20	19	39	6	4	10	11	0	0	0	0	1	1
2月	10	24	34	7	3	10	12	0	0	0	0	0	0
3月	7	16	23	1	5	6	16	0	0	0	0	0	0
合計	189	200	389	61	58	119	149	0	5	5	5	2	7

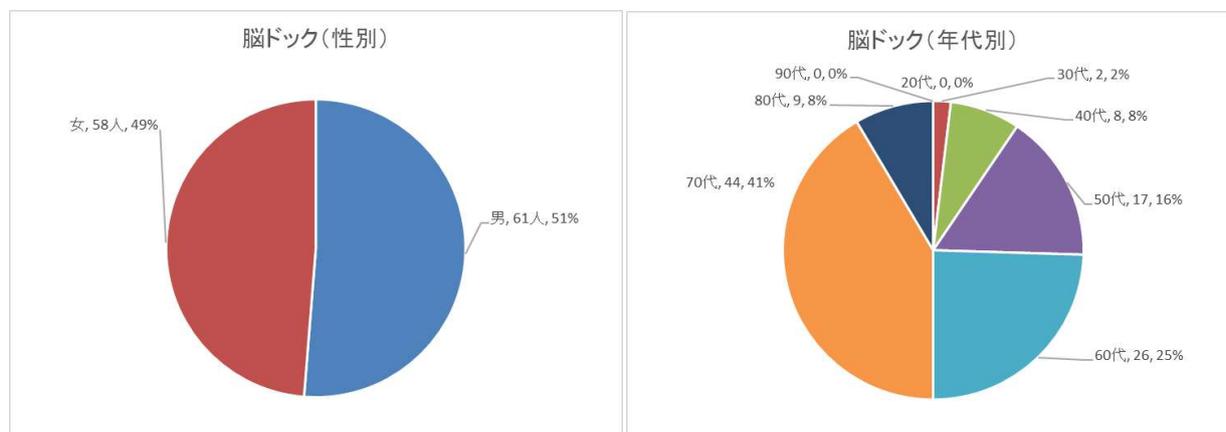
### オプション件数

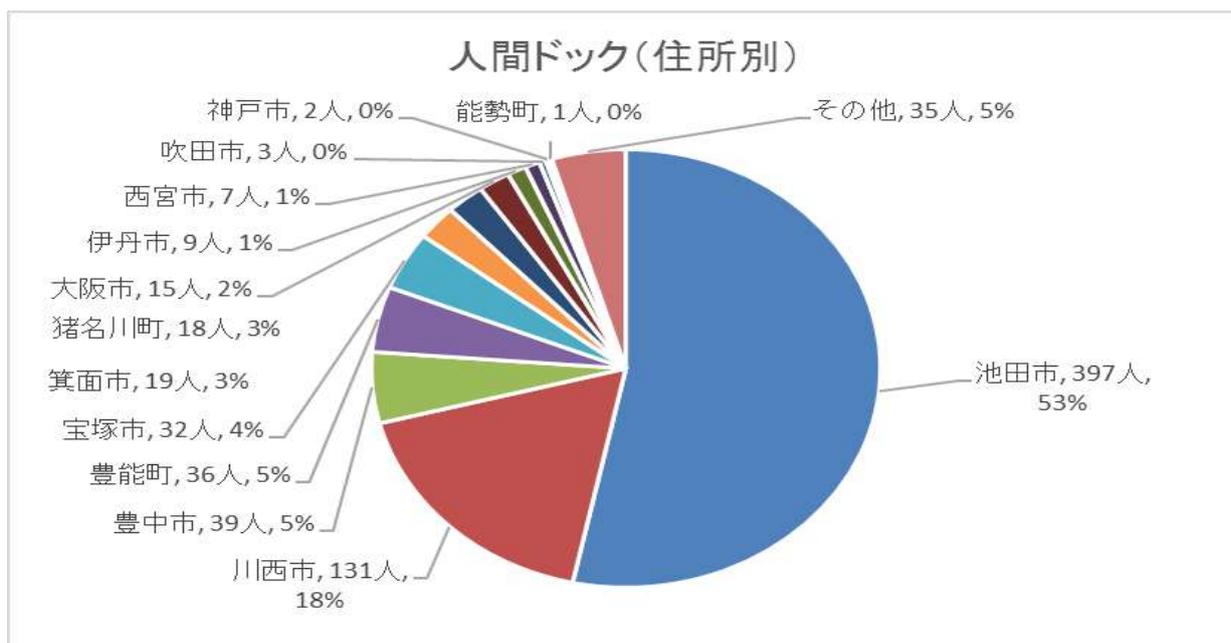
上部消化管内視鏡	293	経膈エコー	3
ヘリコバクターピロリ検査	57	ヒトパピローマウイルス	2
乳房健診	27	骨密度	21
マンモグラフィー	50	動脈硬化度	129
乳腺エコー	33	甲状腺機能	17
簡易脳MR	95	ABC検診	11
頸動脈エコー	96	内臓脂肪	7
胸部CT	31	婦人科腫瘍マーカー	11
喀痰細胞診	13	前立腺腫瘍マーカー	94
婦人科検診	29	肺腫瘍マーカー	39
子宮頸部細胞診	50	PET-CT	8
オプション総合計		1,116	

### 基本コース分析



### 脳ドック分析





健康診断件数とワクチン件数（インフルエンザ含まず）

	一般	市職員	病院職員	被爆者健診	骨密度	合計	ワクチン
4月	7	1	4	0	0	12	47
5月	6	0	6	0	0	12	8
6月	4	0	12	0	0	16	31
7月	6	0	10	0	0	16	22
8月	2	0	6	0	0	8	45
9月	5	1	5	0	0	11	35
10月	8	0	3	0	0	11	3
11月	7	0	2	0	0	9	7
12月	6	0	2	15	0	23	11
1月	14	3	23	0	0	40	9
2月	21	0	33	0	0	54	19
3月	20	1	33	0	0	54	5
計	106	6	139	15	0	266	242

#### ■ その他

脳ドックを池田市ふるさと納税返礼品として登録→3件の申し込み有り  
 脳ドックのPR動画を作成しYouTubeに投稿（病院HPから視聴可）

## 薬 剤 部

### 《概 要》

#### ■ 組織・スタッフ

下村 一徳 (薬剤部長) :

日本医療薬学会 指導薬剤師、認定薬剤師

日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師、大阪府病院薬剤師会理事

瀬名波 宏昌 (副薬剤部長) :

日本医療薬学会 指導薬剤師、認定薬剤師、薬物療法指導薬剤師

日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師

村山 洋子 (薬剤次長) :

緩和医療薬学会 麻薬教育認定薬剤師

日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

中西 晶子 (主任薬剤師) :

日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師

岩本 千晶 (主任薬剤師) :

日本医療薬学会 認定薬剤師

日本静脈経腸栄養学会 NST専門療法士

大河 万顕 (主任薬剤師) :

日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師

日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師

三代地 みゆき : 日本医療薬学会 認定薬剤師、日本静脈経腸栄養学会 NST専門療法士

竹島 暁子 : 日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師

日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士

日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

小畑 紋葉 : 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師

日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士

林 麻衣 : 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師

山口 唯 : 日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

日本薬剤師研修センター 漢方薬・生薬認定薬剤師

森田 望 : 日本静脈経腸栄養学会 NST専門療法士

日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

太田 麻衣子 : 日本病院薬剤師会所属

新居 万莉 : 日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

森井 悠介 : 日本医療薬学会 がん専門薬剤師

日本医療情報学会 医療情報技師

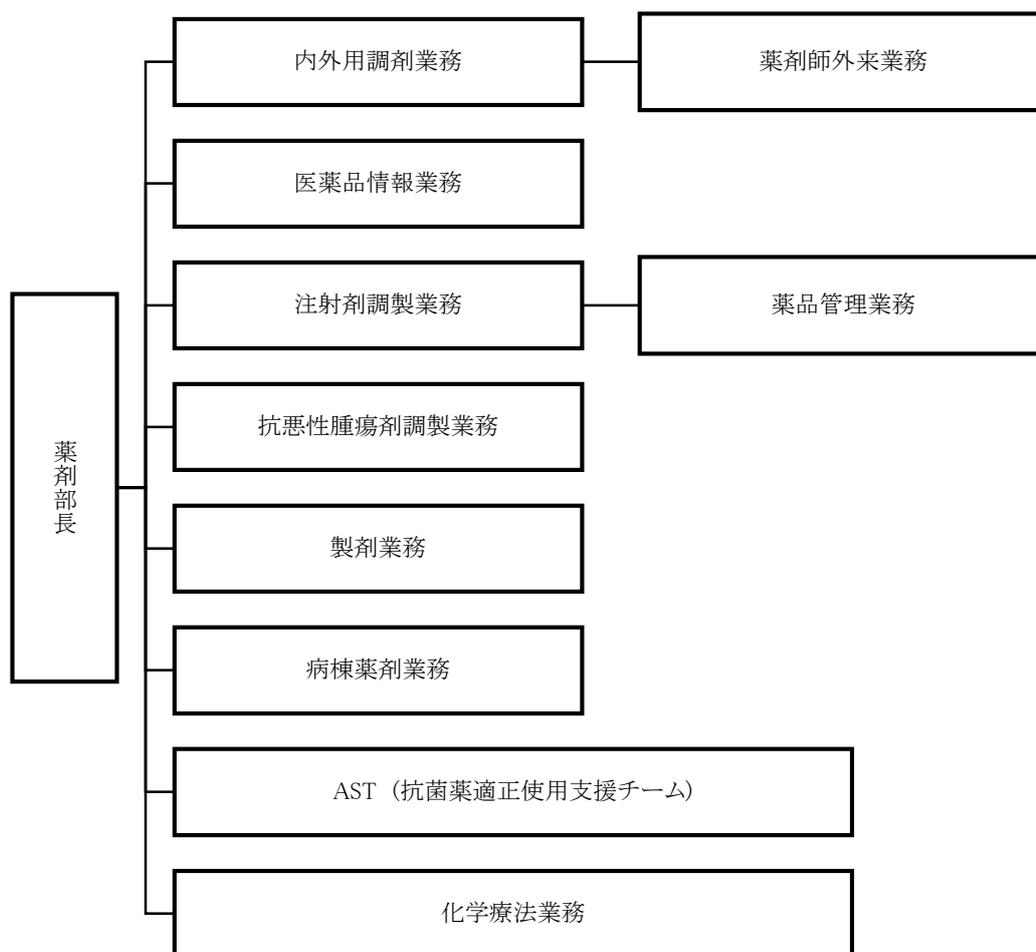
日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

佐藤 真弓 : 日本病院薬剤師会所属

岩下 多恵 : 日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師

畑原 照子：日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師  
 高橋 勝史：日本病院薬剤師会所属  
 岡本 京子：日本病院薬剤師会所属  
 和田 日香里：日本病院薬剤師会所属  
 近谷 仁志：全日本病院協会 AMAT 隊員  
 松井 駿亮：日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師  
                   日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師、研修認定薬剤師  
 坂根 利奈：日本病院薬剤師会所属

■ 診療・業務概要



各病棟に病棟担当薬剤師を専任で7名、サポートとして兼任で5名配置している。薬剤部本体業務として、内外用調剤、注射剤調剤・調製、抗悪性腫瘍剤調剤・調製、医薬品情報、薬品在庫管理、製剤を9名で実施している。化学療法部門に2名配置し、抗悪性腫瘍剤の外来患者説明、化学療法レジメンを作成しており、また抗菌薬適正使用支援チームに1名配属し、広域抗菌薬のモニタリングおよび長期間使用患者への診療支援等を実施している。チーム医療にも各々参加しておりAST、ICT、NST、褥瘡、緩和ケア、リエゾン等の回診に同行し、糖尿病教室、肝臓病教室でもスタッフが講義、参加している。

- ・内外用調剤業務：担当 瀬名波副薬剤部長兼任、中西主任兼務  
入院、外来の内外用調剤、適正使用と院外処方箋の疑義照会、入院持参薬の識別を担当。
- ・薬剤師外来業務：担当 中西主任兼務  
入院前に服用薬を確認し、手術前に中止する薬剤の選択、中止の指示を担当。
- ・医薬品情報業務：担当 中西主任  
医薬品情報を管理し、院内 Web への薬品情報の配信、日々の医師、薬剤師、院内スタッフからの問い合わせの回答・対応、薬事委員会資料の作成、システム薬品マスターなどを担当。
- ・注射剤調剤・調製業務：担当 瀬名波副薬剤部長兼任  
入院、外来の注射薬を調剤・調製する部門。附随して適正使用、配合変化・点滴時間等より質的向上も目指している。
- ・薬品管理業務：担当 中西主任兼務  
年間約 20 億円を超える薬剤を購入する部門であり、日々の発注、納品から数量・期限の在庫管理や棚卸、薬価改定時の在庫圧縮などを担当。実務は薬剤師以外のスタッフが担当し、方針決定や確認業務などは薬剤師が実施している。
- ・抗悪性腫瘍剤調剤・調製業務：担当 瀬名波副薬剤部長兼任  
数多くのレジメンを取り扱い、抗悪性腫瘍剤を取り扱うので、専門的適正使用・安全性と共に取扱者の危険性（暴露の問題など）を熟知して取り組んでいる。
- ・製剤業務（薬品試験部門を兼ねる）：担当 松井  
医薬品や試薬から個々の患者のニーズに対応するため院内で新たに薬品調製する部門。製造物責任法の関係で、必要な製剤以外は少なくする方針。
- ・病棟薬剤業務：担当 村山薬剤次長、岩本主任  
病棟全般の薬剤業務を担当する部門。病棟では医療安全・質的向上、医薬品適正使用、チーム医療への貢献など薬剤師の活動が一層求められていると考えている。
- ・AST(抗菌薬適正使用支援チーム)：担当 小畑  
治療効果向上、副作用防止、耐性菌出現のリスク軽減を目的として抗菌薬の適正使用を支援するチーム。医師、薬剤師、看護師、検査技師で活動している。
- ・化学療法業務：担当 大河主任  
患者への化学療法レジメン説明、抗悪性腫瘍剤投与患者の副作用確認、抗悪性腫瘍剤のレジメン作成などを担当。年々登録レジメン数が増加している。

## 《実績》

### ■ 統計実績(2021.4~2022.3)

#### 1 処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来院外処方箋	6,183	5,449	6,439	6,229	6,039	6,132	6,261	6,163	6,565	5,957	5,485	6,788
外来院内処方箋	572	516	567	642	597	592	521	590	593	609	688	622
入院処方箋	4,861	4,530	4,790	5,055	5,378	4,899	4,624	4,667	5,519	4,721	4,396	4,809

#### 2 注射処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来注射処方箋	1,011	1,007	1,127	1,237	1,230	1,233	1,279	1,222	1,388	1,085	896	1,021
入院注射処方箋	3,800	3,716	3,638	4,020	4,002	3,705	3,760	3,621	4,059	3,728	3,300	3,302
外来化学療法注射箋	349	324	371	384	392	415	398	435	407	414	405	456
入院化学療法注射箋	257	183	238	165	246	271	305	277	276	271	227	280

#### 3 薬剤管理指導件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
薬剤管理指導	1,116	924	1,203	1,092	1,229	1,185	1,166	1,276	1,246	1,078	972	1,155
退院時 薬剤管理指導	335	235	340	316	319	319	339	338	423	244	234	242

#### 4 年間薬品購入金額上位 10 銘柄 (2021 年度)

順位	薬品名	金額
1	キイトルーダ点滴静注 (100mg)	¥129,535,032
2	テセントリク点滴静注(1200mg)	¥122,086,278
3	レブラミド cap (5mg)	¥106,199,990
4	アバスチン点滴静注 (400mg)	¥94,481,202
5	ボマリスト Cap (3mg)	¥82,920,048
6	オブジーボ点滴静注 (240mg)	¥71,769,888
7	マヴィレット配合錠	¥58,334,182
8	サイラムザ点滴静注液 (500mg)	¥51,416,484
9	パージェタ点滴静注 (420mg)	¥45,484,340
10	ビダーザ注射用 (100mg)	¥43,458,324

5 院内製剤製剤量及び件数

[ ]は種類

月	内用剤		外用剤				注射剤	特殊製剤
	散剤(kg)	液剤(L)	液剤(L)	軟膏剤(kg)	坐薬(個)	点眼・点鼻・点耳剤(本)	注射剤(本)	特殊製剤
4		0.5 [1]	1.03 [3]	8.5 [2]				
5			1.43 [3]	2.55 [3]		140 [2]		
6			0.63 [2]	0.55 [2]				
7	0.01 「1」		3.35 [3]	3.5 [2]	100 [1]	40 [1]		
8			8.63 [3]	0.5 [1]		40 [1]		
9			21.6 [3]	8.5 [2]		60 [2]		
10			0.94 [2]			40 [1]		
11			8.63 [5]	4.5 [3]		40 [1]		
12			0.6 [1]	3.5 [2]	100 [1]			2 [1]
1			8.43 [2]	2.5 [2]	200 [1]	40 [1]		
2			0.8 [2]	2.5 [2]		40 [1]		
3		0.5 [1]	0.9 [1]	3.1 [2]	100 [1]	40 [1]		
合計	0.01 [1]	1.0 [1]	56.97 [10]	40.2 [5]	500 [1]	480 [2]		2 [1]

6 薬剤師外来件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
術前薬剤師外来	247	189	241	224	231	235	257	250	265	229	191	230
化学療法薬剤師外来 (請求件数)	17	10	35	26	40	28	47	33	42	32	55	47

7 化学療法件数

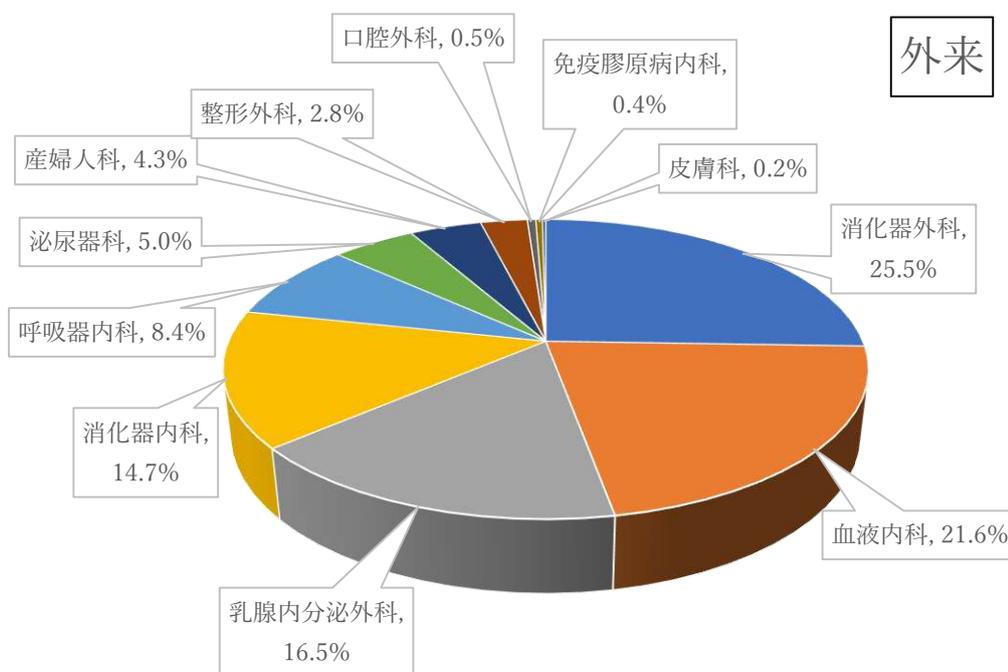
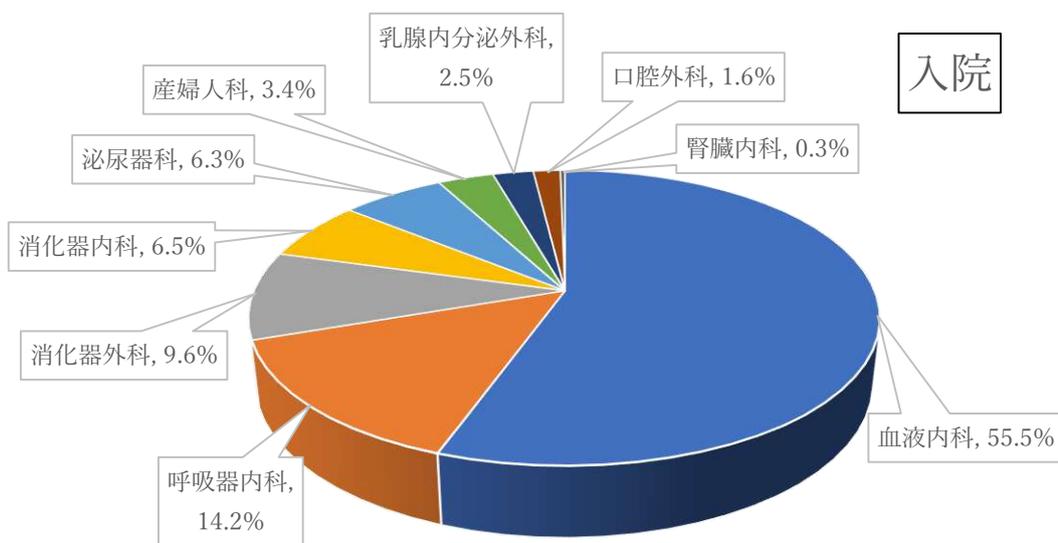
① 入院：年間総数 2,790 件、月平均 232.5 件（前年度：234.4 件）

血液内科、呼吸器内科、消化器外科の順に多い。

② 外来：年間総数 4,750 件、月平均 395.8 件（前年度：377.6 件）

(外来皮下注・膀注・動注を含む)

消化器外科、血液内科、乳腺内分泌外科の順に多い。



## 8 薬剤部見学

訪問施設・団体名	人数	日時
大阪大谷大学 薬学部(早期体験学習)	3名	2021年7月14日

### ■ 学術業績

#### □原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Morii Y, Tsubaki M, Takeda T, Otubo R, Seki S, Yamatomo Y, Imano M, Satou T, Shimomura K, Nishida S.	Perifosine enhances the potential antitumor effect of 5-fluorouracil and oxaliplatin in colon cancer cells harboring the PIK3CA mutation. European Journal of Pharmacology.	European Journal of Pharmacology. 2021 May 5;898:173957
Morii Y, Fujimoto S, Nakahara R, Okawa K, Senaha H, Fujiwara K, Tsubaki M, Matzno S, Takegami M, Shimomura K, Nishida S.	Effect of Proton Pump Inhibitors on the Development of hypomagnesemia Induced by Panitumumab.	Die Pharmazie. 2022 Feb 1;77(2):81-84.

#### □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
森井 悠介、椿 正寛、武田 朋也、松田 拓弥、山本 裕太、岸本 佳奈、西田 升三	Akt 阻害剤は PIK3CA 変異大腸癌においてオキサリプラチン及び5-フルオロウラシルの感受性を増大させる	第25回がん分子標的治療学会 WEB学会 2021/5/26
森井 悠介、田井 浩子、松井 駿亮、山口 唯、近谷 仁志、大河 万頭、阪口 紀子、入潮 佳子、西田 升三、下村 一徳	「化学療法に伴うHBVの再活性化対策」は薬剤師の介入でここまでできる	第31回医療薬学会年会 WEB学会 2021/10/9-10
和田 日香里、瀬名波 宏昌、中西 晶子、小田 倫子、下村 一徳	市立池田病院における新型コロナウイルス感染症流行下での電話再診の状況と薬剤部の関わり	第21回大阪病院学会 WEB学会 2021/11/7
松井 駿亮、森井 悠介、山口 唯、近谷 仁志、大河 万頭、瀬名波 宏昌、下村 一徳	連携充実加算算定に向けての取り組み ～お薬手帳活用による薬薬連携～	第21回大阪病院学会 WEB学会 2021/11/7

#### □研究会・講演会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
大河 万頭	当院での大腸癌化学療法レジメンと支持療法	池田市薬薬連携フォーラム WEB研修会 2021/5/30
森井 悠介	膵癌化学療法における薬剤師の関わり	第18回北摂化学療法セミナー WEB研修会 2021/12/3

#### □研修・教育実績

指 導 者・講 師	内 容	実習名、会場、日時
下村 一徳	病院薬剤師実務 注射剤調剤・調製、抗がん剤投与患者への患者指導、チーム医療	実務実習事前学習 大阪大学薬学部 2021/10/21

**■ 学生実習指導**

学 校 名	人 数	内 容
京都薬科大学	1名	実務実習(11週)
神戸薬科大学	2名	実務実習(11週)
大阪大谷大学	1名	実務実習(11週)
武庫川女子大学	4名	実務実習(11週)

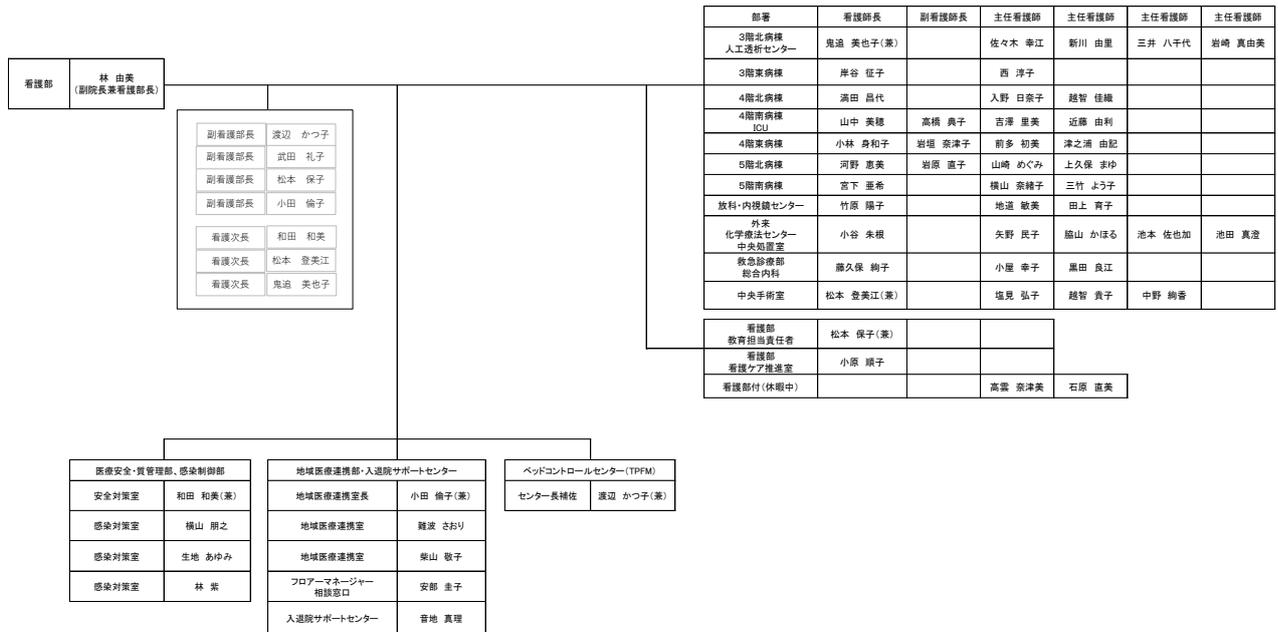
# 看護部

## 《概要》

### ■ 組織・スタッフ

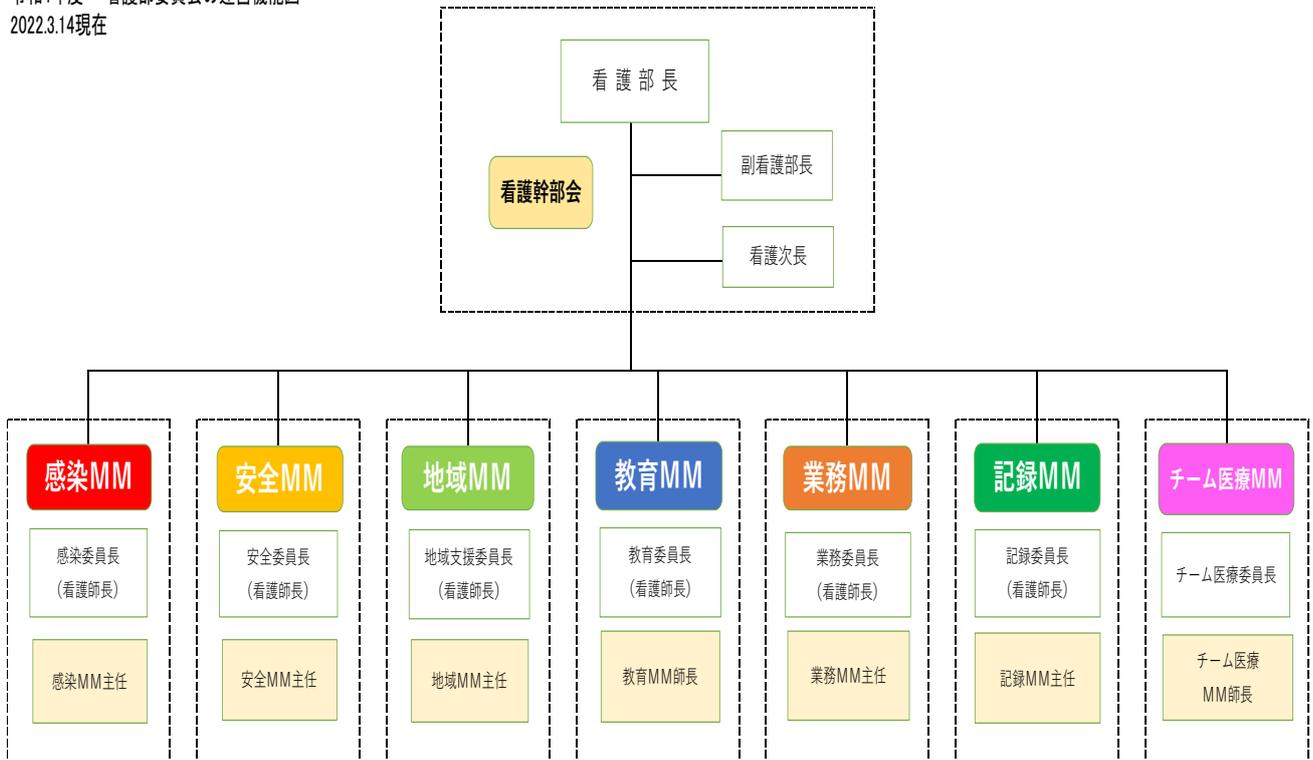
#### 令和4年度看護部組織図

2022.4.1現在



#### 令和4年度 看護部委員会の運営機能図

2022.3.14現在



## ■ 業務概要

2021年6～9月、主任以上を対象に、病院看護管理者のマネジメントラダーを日々の管理業務を遂行する中で取得できるような管理研修を実施した。師長は自部署に師長代理を立て、他部署の師長代理と共に一日の管理業務を実践した。研修期間の3ヶ月間で、各師長は1～3回実践することができた。自己の管理観で他部署を見ることにより、感じたことや気づいたことを師長代理と語ることができ後輩育成への動機付けとなった。主任・副師長は、1～6回代理業務を実践することができた。他部署の師長との調整で研修日が一致した主任達は、新たな問題解決方法について共に振り返る良い機会が得られた。マネジメントラダーは、主任はレベルⅠ、副師長・師長はレベルⅡを目指しており、3月末の認定審査では、レベルⅠ21名、レベルⅡ8名、レベルⅢ1名が取得できた。

## 《実績》

### ■ 学業実績

#### □ 著書・総説

著者	題名	雑誌名、巻号
稲野 聖子	認知症のあるがん患者の意思決定支援	書籍 「パーソンセンタードケアにもとづく急性期病院の看護」2021年6月刊行
稲野 聖子	連載1回～4回「高齢者の医学知識」	雑誌 訪問介護サービス 2021年の春号～冬号
稲野 聖子	新型コロナウイルス感染症患者に必要な医療・ケア	雑誌 看護 2021年7月
稲野 聖子	「アドバンス・ケア・プランニング」	雑誌 訪問介護サービス 2021年冬号

#### □ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
稲野 聖子	医療・介護職向け認知症に関する相談窓口の活動～老人看護専門看護師への直通ホットラインの開設～	第22回認知症ケア学会 WEB配信 2021/6/5-9/5
岩田 有加	乳癌の手術を受ける患者のコーピング行動について～術前訪問での関わりから患者の心理を考える～	第59回全国自治体病院学会 奈良県コンベンションセンター、なら100年会館 2021/11/4-5
脇本 英昭	自閉症患児が安心して手術を受けるためのプレバレーションの工夫	第59回全国自治体病院学会 奈良県コンベンションセンター、なら100年会館 2021/11/4-5
鈴木 愛菜	COVID-19の感染隔離が必要な認知症患者への関わり～馴染みの環境を調整しその人らしさを支える～	第21回大阪病院学会 Web開催(ライブ+オンデマンド配信) ライブ 2021/11/7 オンデマンド 2021/11/24-12/14
川染 睦美	COVID-19感染症の高齢患者への退院支援	第21回大阪病院学会 Web開催(ライブ+オンデマンド配信) ライブ 2021/11/7 オンデマンド 2021/11/24-12/14
鬼迫 美也子	コロナ陽性患者の中等症病床を有する自治体病院の現状報告 Vol.2～府内重症病床の逼迫状態に病棟看護管理者として実践したこと～	第21回大阪病院学会 Web開催(ライブ+オンデマンド配信) ライブ 2021/11/7 オンデマンド 2021/11/24-12/14

発表者	演題名	学会名、会場、日時
渡辺 かつ子	コロナ陽性患者の中等症病床を有する自治体病院の実態報告 Vol.1～府内重症病床の逼迫状態に看護管理者として実践したこと～	第21回大阪病院学会 Web開催(ライブ+オンデマンド配信) ライブ 2021/11/7 オンデマンド 2021/11/24-12/14
吉野 葵、滝本 佳子	「骨転移に対する疼痛緩和照射を受ける患者への緩和ケアチーム介入の現状と課題」	第21回大阪病院学会 グランキューブ大阪 紙上発表 2021/11/7
滝本 佳子、吉野 葵	「当院緩和ケアチームに紹介された患者の転機についての検討」	第21回大阪病院学会 グランキューブ大阪 オンライン発表 2021/11/7
稲野 聖子	コロナの認知症対策の視点	第32回日本老年医学会近畿地方会 メルパルク京都 2021/11/20
稲野 聖子	高齢者のコロナの症状を調査して	第3回日本在宅医療連合学会大会 WEB配信 2021/11/27-28
前田 香菜子	誤嚥性肺炎を繰り返す施設入所患者の退院支援～食事支援情報の病院・施設共有のあり方～	第9回大阪府看護学会 Web開催 2021/12/10-2022/1/10
重田 杏菜	糖尿病を併せ持つ認知症患者への関わり～退院後もインスリン療法を継続するための在宅チームとの連携を図って～	第9回大阪府看護学会 Web開催 2021/12/10-2022/1/10
生地 あゆみ	両側慢性扁桃炎術後に発熱を認め COVID-19 の診断と対応が遅れた1例	第34回日本外科感染症学会学術集会 北九州国際会議場 2021/12/17-18
吉野 葵、滝本 佳子	「がん治療中に新型コロナウイルス感染症に罹患した患者への介入ー緩和ケアチームが関わり入院中に看取りを迎えた2事例の報告ー」	第36回日本がん看護学会学術集会 パシフィック横浜 オンライン発表 2022/2/19-20

## ■ 研修・教育活動

### □ 院外講師

指導者	内容	依頼元、場所、日時
林 紫	看護学部専門教育科目「総合看護学実習」におけるゲストスピーカーとしての講義	千里金蘭大学 市立池田病院 2021/6/21-7/16のうち90分
横山 朋之	看護学部専門教育科目「総合看護学実習」におけるゲストスピーカーとしての講義	千里金蘭大学 市立池田病院 2021/6/21-7/16の内90分
稲野 聖子	2021年度研修 高齢者の特性を踏まえたエンド・オブ・ライフ・ケア	大阪府看護協会 オンライン講義 2021/7/1
根来 絢子	糖尿病ステップアップセミナー2021	大日本住友製薬株式会社 神戸臨床研究情報センター 2021/7/4
根来 絢子	糖尿病性腎症重症化予防プログラム 保健指導者研修会～糖尿病性腎症患者の包括的アセスメントに基づいた患者教育～	阪急阪神ホールディングス株式会社 オンライン講義 2021/8/23
音地 真理	看護学部専門科目「成人看護学実習Ⅱ(慢性期看護)」におけるゲストスピーカーとしての講義	千里金蘭大学 オンライン講義 2021/8/23-30の90分

指 導 者	内 容	依頼元、場所、日時
難波 さおり	看護学部専門教育科目「成人看護学実習Ⅱ(慢性期看護)」におけるゲストスピーカーとしての講義	千里金蘭大学 市立池田病院 2021/9/1、3
小田 倫子	看護学部専門教育科目「成人看護学実習Ⅱ(慢性期看護)」におけるゲストスピーカーとしての講義	千里金蘭大学 市立池田病院 2021/9/1、3
稲野聖子	第16回北摂糖尿病臨床勉強会	ノバルティスファーマ株式会社 千里朝日阪急ビル 2021/9/4
根来 絢子	第16回北摂糖尿病臨床勉強会	ノバルティスファーマ株式会社 千里朝日ビル 2021/9/4
稲野 聖子	認知症ケア方法論	兵庫医療大学 オンライン講義 2021/9/28
稲野 聖子	コロナ禍の老人看護について	YMCA 訪問看護ステーション・ピース オンライン研修 2021/10/2
吉野 葵	がん教育	池田市教育長 池田市立渋谷中学校 2021/11/10
根来 絢子	第10回兵庫県糖尿病教育看護研修会 ディスカッションコメントーター	テルモ株式会社 BB プラザ 2021/11/27
林 紫	医療現場での標準予防策 患者と学生本人と共に守る方法	宝塚医療大学 2021/12/9
稲野 聖子	在宅療養高齢者の意思決定支援とグリーフケア	広島県看護協会 オンライン講義 2022/1/19
稲野 聖子	動画講義「入院中の認知症患者への対応とケアの基本と多職種連携」	大阪府福祉部高齢介護室 ギフトッドスタイル(大阪市西区) 2022/1/21
根来 絢子	タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 皮下グルコース検査	日本臨床衛生検査技師会 神戸常盤大学 2022/3/13

## □院内講師

指 導 者	研 修 テーマ	対 象 ・ 月 日
横山 朋之 生地 あゆみ 林 紫	感染管理	新人看護師 40名 4/5 9:00～10:40(講義) 4/5 13:30～16:20(実習)
岩垣 奈津子 黒田 良江 田上 育子 横山 奈緒子	感染シミュレーション研修	新人看護師 40名(2回に分けて実施) 4/5 13:30～16:20(80分×2)
和田 和美	リスクマネジメント	新人看護師 40名 4/6 9:10～9:40
難波 さおり 越智 貴子	BLS研修	新人看護師 20名 4/7 9:30～11:30

指 導 者	研 修 テーマ	対 象 ・ 月 日
難波 さおり 越智 貴子	BLS研修	新人看護師 20 名 4/8 9:30～11:30
前多 初美 吉澤 里美	複数患者の受け持ち	新人看護師 40 名 (2 回に分かれて実施) 4/8 10:00～11:00 14:30～15:30
脇本 英昭	手術看護	新人看護師 39 名 7/9 15:00～15:30
難波 さおり	救急看護	新人看護師 39 名 7/9 15:30～16:00
根来 絢子	糖尿病回診に参加しよう！！	ラダーレベルⅠ取得予定者 7/13、7/27 糖尿病回診時間
満田 昌代	ケースカンファレンスにおけるファシリテーション	ラダーレベルⅢ取得予定者 7/14-10/6 毎週水曜日 13:50～14:40
田上 育子 前多 初美	輸血について	新人看護師 38 名 7/29 16:00～16:30
根来 絢子	カーボカウントをしてみよう！！web セミナー	ラダーレベルⅢ取得予定者 カーボカウントの経験がある者 9/4 13:00～16:10
上久保 まゆ 丸尾 沙織	急変時の対応～シミュレーション研修～	新人看護師 38 名 9/22 14:30～15:00、9/24 15:10～15:40
高橋 典子	患者・家族の代弁ができますか？	ラダーレベルⅢ取得予定者 9/22、12/3 17:00～18:00(両日共)
佐々木 幸江 池本 沙也加	メンバーシップ	新人看護師 35 名 10/21-22 14:30～15:30(両日共)
林 紫	夜勤リーダーは知っておこう！感染拡大予防策	ラダーレベルⅢ取得予定者 10/26、11/2 17:00～17:30(両日共)
越智 貴子	患者や家族の意向や思いが反映された看取りの場を提供できていますか？	ラダーレベルⅢ取得予定者 11/5 17:00～18:00
生地 あゆみ	学ぼう！感染経路別予防策	ラダーレベルⅡ取得予定者 11/5、11/11 17:00～17:30(両日共)
吉澤 里美 板垣 弘美	KYT	新人看護師 35 名 11/18-19 14:30～15:30(両日共)
根来 絢子	血糖測定を行う意味を理解した上で実践しよう！	ラダーレベルⅡ取得予定者 11/19 17:00～17:45
上久保 まゆ 丸尾 沙織	災害時の対応	新人看護師 35 名 12/22-23 14:30～15:30
山田 みつ美 (歯科衛生士)	口腔ケアのポイント ※動画講習	ラダーレベルⅡ取得予定者 12/28-1/20
岩崎 真由美 板垣 弘美	倫理研修	新人看護師 35 名 2/17-18 14:30～15:30(両日共)
満田 昌代 松本 保子	エルダー研修	新人看護師 35 名 3/31 15:30～16:00

## ■ 学生実習指導

指 導 者	受 け 入 れ 校	実習名、期間、日数、延べ人数
3階北病棟	淀川区医師会看護専門学校(オンライン) 北斗会看護専門学校(オンライン+臨地)	母性看護学 2021 6/7-6/11 4日間 6名 母性看護学 2021 6/14-6/18 4日間 6名 母性看護学 2021 6/21-6/29 6日間 4名
4階東病棟 小児科外来	大和大学(オンライン) 藍野大学短期大学(オンライン)	小児看護学 2021 6/22-24 3日間 15名 小児看護学 2021 6/22-25 4日間 4名
5階南病棟	大阪医療看護専門学校	成人看護(終末期)2021 6/21-6/25 5日間 6名 成人看護(終末期)2021 6/28-7/2 5日間 6名
林 由美 横山 朋之 和田 和美 榮口 秀子 4階北病棟 5階北病棟	千里金蘭大学	総合看護学 2021 6/22-7/15 12日間 16名 総合看護学 2021 6/22-7/15 12日間 16名
4階南病棟	大阪医専	老人看護Ⅱ 2021 6/28-7/8 8日間 5名
4階東病棟	大阪医療看護専門学校	小児看護学 2021 7/12-7/19 6日間 5名 小児看護学 2021 7/20-7/29 6日間 5名
3階北病棟	大阪医療看護専門学校	母性看護学 2021 7/12-7/21 8日間 6名 母性看護学 2021 7/26-7/30 4日間 6名 母性看護学 2021 10/11-10/14 4日間 6名 母性看護学 2021 10/18-10/21 4日間 6名 母性看護学 2021 11/1-11/5 4日間 6名 母性看護学 2021 12/6-12/9 4日間 5名
5階北病棟 4階北病棟	大阪医専	成人看護学Ⅰ 2021 7/26-7/29 4日間 5名 成人看護学Ⅱ 2021 7/26-7/29 4日間 5名
田上 育子 山崎 めぐみ 岩崎 真由美 音地 真理	千里金蘭大学(オンライン実習)	成人看護学Ⅱ(慢性期) 2021 8/23 1日間 98名  成人看護学Ⅱ(慢性期) 2021 8/30 1日間 98名
4階東病棟	大和大学(オンライン)	小児看護学 2021 9/7-9/9 3日間 5名 小児看護学 2021 9/21-9/24 3日間 9名
3階北病棟	千里金蘭大学	助産学発展 2021 10/4-10/15 7日間 2名
4階北病棟	大阪医療看護専門学校	成人(急性期)2021 10/4-10/8 5日間 6名 成人(急性期)2021 10/11-10/15 5日間 5名
5階北病棟	大阪医専	成人(急性期)2021 10/4-10/21 12日間 5名
4階南病棟 4階東病棟	藍野大学	成人(慢性期)2021 10/4-10/12 6日間 5名 成人(慢性期)2021 10/18-10/26 6日間 5名
5階南病棟	大阪医療看護専門学校	成人(終末期)2021 10/18-10/22 5日間 4名
4階南病棟	大和大学	成人(老年期)2021 10/18-10/27 7日間 5名
3階北病棟	藍野短期大学	母性看護学 2021 10/25-10/29 5日間 5名
5階南病棟 4階南病棟	大和大学	成人(慢性期)2021 11/2-11/18 10日間 5名 成人(慢性期)2021 11/30-12/16 10日間 5名
4階南病棟	四条畷学園大学	成人(慢性期)2021 11/4-11/17 9日間 4名
3階北病棟	藍野大学	母性看護学 2021 11/9-11/18 8日間 5名 母性看護学 2021 11/24-12/2 7日間 5名
5階北病棟 4階北病棟	大阪医療看護専門学校	統合実習 2021 11/9-11/18 8日間 5名 統合実習 2021 11/9-11/18 8日間 5名

指 導 者	受 け 入 れ 校	実習名、期間、日数、延べ人数
4階東病棟	大阪青山大学	小児看護学 2021 11/15-11/18 4日間 4名 小児看護学 2021 11/22-11/25 3日間 5名 小児看護学 2021 11/29-12/2 4日間 4名 小児看護学 2021 12/6-12/9 4日間 4名 小児看護学 2021 12/20-12/23 4日間 3名
5階南病棟	大阪医療看護専門学校	成人(老年期)2021 11/22-12/9 12日間 5名
4階北病棟	四条啜学園大学	成人(急性期)2021 12/1-12/15 10日間 5名
3階北病棟	大阪青山大学	母性看護学 2021 12/14-12/22 5日間 5名
4階北病棟 4階東病棟 4階南病棟 5階南病棟	大阪医専	成人(老年期) 2022 2/28-3/11 成人(老年期) 2022 2/28-3/11 成人(老年期) 2022 2/28-3/11 成人(老年期) 2022 2/28-3/11
3階北病棟	藍野大学	基礎看護学 I 2022 2/28-3/4

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ 2021年3月末日現在

管理栄養士 正規職員3名 会計年度月額職員3名  
(認定・資格)

栄養サポートチーム専門療法士5名

臨床栄養代謝専門療法士(がん専門療法士)1名

臨床栄養代謝専門療法士(摂食嚥下専門療法士)1名

病態栄養専門管理栄養士2名

糖尿病療養指導士2名

在宅栄養ケア管理栄養士登録者(初期研修修了)5名

特定保健指導実践者育成研修修了5名

肝炎医療コーディネーター4名

所属するチームは、栄養サポートチーム、褥瘡対策チーム、

生活習慣病・糖尿病センターチーム、緩和ケアチーム、高齢者サポートチーム

調理業務は委託(エームサービス株式会社)

#### ■ 業務概要

##### ①食事管理について

日本人の食事摂取基準(2020年版)の改訂および日本食品標準成分表2020年版(八訂)への改訂によるシステム更新を行った。日本食品標準成分表においては、「炭水化物の細分化とエネルギーの算定方法の変更」が反映されたことにより、多くの食品のカロリーが下がる結果となった。このことにより、栄養基準値を充足させるための献立変更が大きな課題となり2022年度へ持ち越し課題となっている。

食事管理業務としては、エームサービス(株)の提案もあり、2022年からはイベント食を月2回以上実施することとし、例年の17回に、1月の七草粥、2月のバレンタインデー、3月のお花見シーズンの3回を加えた20回のイベント食を提供した。

##### ②チーム活動について

◇栄養サポートチーム(NST)：NST事務局として、引き続き回診予定表の作成、回診患者の情報の収集を行った。医師・看護師・薬剤師・管理栄養士の専任を置き、週に2回、水曜日および木曜日の回診を実施。回診後、NST事務局が栄養治療実施計画兼栄養治療実施書を作成し、患者に配布・説明をし、NST加算算定を行った。

◇褥瘡対策チーム：毎週水曜日に回診し、褥瘡ハイリスク加算算定者の確認および栄養状態の共有を行いNSTとの連携を図った。

◇糖尿病チーム：毎週火曜日に回診し、指示カロリーの確認、栄養状況および治療方針の共有を行った。

また、チームで分担しての教育入院患者への糖尿病教室は継続して実施できたが、外来患者対象の生活ニーズ（身体に良いと言われている食品について、お正月料理について等）に合わせた教室については、年度初めに COVID-19 の影響で 1 回中止となった。

◇高齢者サポートチーム：毎週金曜日に回診し、栄養補助食品の提案や現在の食事摂取カロリーの計算などを担当し NST との連携強化、情報共有を行った。

◇緩和ケアチーム：毎週水曜日にカンファレンスをし、情報共有を行った。担当管理栄養士は患者の食事摂取が少しでも改善できるように、ベッドサイド訪問をし、嗜好も考慮した食事変更、ふくまる食（カレー、お好み焼、ざるそば等）、麺類食、フルーツ食、ゼリーやヨーグルトを付加する等の調整を行った。また、引き続き、お誕生日にはケーキの提供も行った。緩和チーム介入患者の個別栄養食事管理料の算定は昨年度の 1.6 倍となった。

◇ICU：毎朝のカンファレンスに参加し、重症患者の特定集中治療入室後、早期から経腸栄養等の必要な栄養管理に携わり、早期栄養介入管理加算を算定した。

### ③個別栄養食事指導

「入院は病棟担当制で指導実施」

3 北病棟：糖尿病患者の入院時、退院時に指導。

年度末からは CKD 教育入院も開始され、入院時と退院時指導を行った。

3 東病棟：COVID-19 患者の中で糖尿病等慢性疾患のある患者へスカイプを用いての指導。

4 東病棟：血液内科の食欲不振、低栄養患者の食事相談および指導。

4 南病棟：心疾患患者の入院時、退院時に実施。

5 北病棟：胃切術後患者の食事開始時、退院時に実施。大腸、脾、肝、胆のう切除患者の食事開始時に実施。

5 南病棟：肝臓パス、胃・腸の内視鏡的切除術、胆のう・胆管炎患者に実施。

また、4 東病棟、5 北病棟のカンファレンスに参加し、患者の情報共有を行った。

「外来」

小児科のアレルギー負荷試験入院予定患者、泌尿器科の前立腺癌の放射線治療前患者、生活習慣病・糖尿病センターで妊娠糖尿病やかかりつけ医からの紹介患者の指導を実施。

「糖尿病透析予防指導」

医師、看護師・管理栄養士のチームによる糖尿病透析予防指導は 5 回シリーズで実施。

2020 年度は、入院、外来栄養食事指導件数は、COVID-19 の影響により、やや減少したが、2021 年度は、以前の件数近くまで回復できた。

### ④その他

◇以前から入院医療機関と在宅担当医療機関等切れ目のない栄養連携を図る観点から、退院後も栄養管理に留意が必要な患者について、「栄養管理情報提供書」を作成し、入院中の栄養管理等に関する情報を提供しているが、地域活動管理栄養士から手元に届いていないとの意見があったため、栄養管理をお願いする医師宛に記載するように変更した。

（算定要件を満たす患者は栄養情報提供加算を算定）

◇池田市民対象に特定保健指導を健診センターにて食事・運動・生活習慣等健康保持のために動機づけ指導を行った。また、6ヶ月後には、目標が達成できたかどうかの確認を、通信機器を用いて実施した。

◇院外での活動としては、大阪府池田保健所管内集団給食研究会役員（副会長）、池田市地域支援事業在宅医療・介護連携事業の入退院支援検討会委員を担当。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### 1 個別栄養食事指導料算定件数

種 類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病	83	65	91	67	73	73	75	72	69	55	72	79	874
潰瘍・胃切	18	17	17	19	12	18	7	15	13	17	17	16	186
膵臓(胆石)・肝炎	7	9	9	14	10	15	15	12	15	12	9	10	137
胆のう摘出術	17	5	9	9	7	14	12	8	17	10	12	8	128
腎臓	18	11	14	13	20	21	18	20	21	20	16	37	229
心臓・高血圧	10	14	18	7	11	13	18	12	19	19	11	6	158
食物アレルギー	3	0	0	2	5	0	2	1	0	0	1	2	16
炎症性腸疾患・腸切	12	16	16	16	11	9	16	13	17	11	18	15	170
がんの栄養管理	29	21	17	32	44	41	34	60	41	42	24	31	416
その他	5	1	6	6	4	7	9	3	7	10	6	8	72
計	202	159	197	185	197	211	206	216	219	196	186	212	2,386

#### 2 糖尿病透析予防管理指導料算定件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	17	23	20	28	20	25	21	17	17	17	15	246

#### 3 個別栄養食事管理(緩和ケア)加算算定件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
21	16	33	14	4	33	30	35	24	18	30	11	269

#### 4 栄養情報提供加算算定件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
19	12	19	10	7	6	12	11	13	5	6	5	125

#### 5 早期栄養介入管理加算算定件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
18	23	35	44	16	27	22	21	24	16	22	25	293

## 6 集団栄養食事指導料算定件数

糖 尿 病 教 室	延 181 人
母 親 教 室	COVID-19 のため中止中

## 7 特定保健指導件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	2	5	0	0	1	2	2	2	3	0	2	21

## 8 食数構成比

常食(軟菜含む)	84,203 食	34.5%
特別食加算	137,231 食	56.2%
特別食非加算	22,822 食	9.3%
合 計	244,256 食	100.0%

## 9 調乳数 13,950 本

### ■ 研修・教育活動

#### □研究会・講演会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
北野 千穂	「カーボカウントの実践」	第7回池田糖尿病療養指導 Web セミナー 市立池田病院・Zoom オンライン 2021/9/4
田中 芳子	糖尿病透析予防外来の実際 「管理栄養士の立場から」	これからの糖尿病診療連携を考える会 池田商工会議所・Zoom 配信 2021/11/17
今西 成雄	「病院管理栄養士の立場から～嚙下編～」	地域ケア連絡会 市立池田病院・Zoom 配信 2022/3/11

#### □資格取得

病態栄養専門管理栄養士認定

- ・長谷良太
- ・田中芳子

#### □教育活動 管理栄養士の実習生受け入れ

- 京都華頂大学 (5月2週間コース1名: COVID-19の影響で中止)
- 武庫川女子大学 (5月2週間コース2名: COVID-19の影響で中止)
- 京都華頂大学 (6月2週間コース2名: COVID-19の影響で中止)
- 武庫川女子大学 (7月2週間コース2名)
- 梅花女子大学 (8月2週間コース4名: COVID-19の影響で中止)
- 梅花女子大学 (9月2週間コース4名: COVID-19の影響で中止)
- 武庫川女子大学 (10月2週間コース2名)
- 梅花女子大学 (12月2週間コース4名)
- 大手前大学 (1月2週間コース2名)
- 大阪青山大学 (2月2週間コース2名: COVID-19の影響で中止)



## 《実績》

### ■ 統計実績

#### 1 医療機器保守管理業務

- (1) 医療機器点検・修理件数 約 15,000 件
- (2) 時間内医療機器関連呼び出し対応（電話対応含む） 約 5,800 件
- (3) 時間外医療機器関連呼び出し対応（電話対応含む） 約 850 件

#### 2 臨床技術提供業務

- (1) 冠動脈造影検査 137 件
- (2) 経皮的冠動脈インターベンション 76 件
- (3) 恒久的ペースメーカ植え込み（電池交換含む） 38 件
- (4) 体外式ペースメーカ挿入 7 件
- (5) カテーテルアブレーション 41 件
- (6) 手術立会い 約 85 件
- (7) その他、医療機器操作関連対応 約 1,000 件

医療機器管理室開設以来、臨床工学技士（看護師）1名での運用であるが、各種保守点検機器の導入や保守点検プログラムの工夫により、効率的な運用が実施できている。今後も保守が簡素化された最新医療機器への更新と、各種保守点検機器の増設を優先的に行い、既存の人員で更なる効率的な運用を目指す。

医療機器管理業務においては、厚生労働省や日本医療機能評価機構などで推進されている、医療機器の標準化及び完全中央管理化を早期に実現させ、診療科や部門の枠を越えた総合的な医療機器管理体制の構築を目指す。

臨床技術提供においては、人工呼吸器や補助循環装置など生命維持管理装置の操作が中心であるが、時間外緊急心カテの積極的受け入れに対応するため、緊急症例発生時には直ちに対応できるよう体制を整備する。

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

部長：福田和人（副院長兼任）

スタッフ：入潮佳子（薬剤師）、服部美千代（看護師）、服部美紗冬（事務）

#### ■ 診療・業務概要

##### 1 治験（治験コーディネーター業務）

昨年より継続して腎臓内科（RTA-402）、整形外科（HANZ）の治験を実施した。泌尿器科に尿路上皮癌の治験に参加する患者のリクルートを実施する試験の依頼があり、11月に当院IRBにて承認された。

COVID-19感染による非常事態宣言下でも、被験者来院は問題なく実施し、依頼者の直接閲覧も継続に支障がないように最低限で実施した。

##### 2 臨床研究（データマネージャー業務、臨床研究コーディネーター業務）

医師主導臨床研究の6科55試験を支援した。

消化器外科・呼吸器内科・消化器内科の研究では、血液検体・組織検体・画像提出を各部門の協力を得てスムーズに対応した。

##### 3 製造販売後調査（データマネージャー業務）

新規12調査の契約を締結した。調査票記載支援を実施し調査の円滑な実施に協力した。

調査全般を製薬会社がCROに委託し、営業（MR）任せの製造販売後調査から変革しつつある。1臨床試験としての煩雑な手続きが要求される調査も増加してきており、実施において調査本来の目的（薬剤の再審査のための情報収集）を把握し実施していくことが必要である。

##### 4 事務局業務

昨年同様に、上記3件（治験、臨床研究、製造販売後調査）の申請、契約、実施管理、入金に係る事務局業務全般を行った。

GCP省令に則った治験事務局業務に加えて、臨床研究事務局との事務対応（特に特定臨床研究の書類対応）、製造販売後調査における製薬会社、CROとの事務対応も増加した。

委員会事務局としては治験審査委員会（毎月第1月曜開催）9回（うち非常事態宣言下における会議開催制限による書類審査4回）、倫理委員会（奇数月第4木曜日開催）3回を開催した。

特定臨床研究は、新規2件が病院長承認となった。また倫理指針の改訂により、審査を中央一括審査で行う研究の申請が2件あった。中央一括審査に付議するため必要な施設状況の提示と当院での実施可能性のチェックを臨床研究管理部が関連部門と行うこととし、問題がある場合は倫理委員会の意見を聞くこととした。本年度は実施可能性に問題のある研究はなかった。

中央一括審査承認後は院長承認書類を発行し、院内の臨床研究として登録した。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### 【実施治験】

	実施科	治験薬名 (相)
継続(2件)	腎臓・内代	RTA-402(Ⅲ)
	整形外科	HANZ(探索的試験)
新規(1件)	泌尿器科	BLC0002

#### 【支援臨床研究 (55 試験)】★特定臨床研究

診療科	試験名	依頼者
呼吸器内科(13)	LC-SCRUM-Liquid	国立がん研究センター東病院
	LC-SCRUM-Asia	国立がん研究センター東病院
	COVID-19 抗 Virus 薬投与患者の背景因子と治療効果の観察研究	藤田医科大学医学部 微生物学講座・感染症科
	COVID-19 Registry	国立国際医療研究センター
	ABPM 全国調査	東海大学医学部内科学系呼吸器内科学
	LC-SCRUM liquid の多施設共同解析研究	大阪国際がんセンター
	WJOG8415L	WJOG
	★WJOG9416L	WJOG
	★WJOG10317L	WJOG
	WJOG11518L	西日本がん研究機構
	EGFR-TKI 治療前 T790M 検出の意義	WJOG
	ABCP Study	関西医科大学附属病院
	LC-SCRUM-TRY	国立がん研究センター東病院
循環器内科(1)	PURSUIT-HFpEF	大阪大学循環器内科
消化器外科(34)	NY-ESO-1 抗体価	大阪大学消化器外科
	胃切除症例におけるピロリ菌感染率及び自然除菌率の前向き研究	大阪大学消化器外科
	進行胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術における安全性の検討	大阪大学消化器外科
	Nivolumab 阪大免染	大阪大学消化器外科
	ステロイド試験観察	大阪大学消化器外科
	ラコール観察研究	大阪大学消化器外科
	食道残胃吻合法とダブルトラクト法のランダム化比較試験	大阪国際がんセンター
	腹膜再発診断に対する審査腹腔鏡検査の安全性観察研究	関西労災病院
	LANDMARC Study	横浜市立大学 外科治療学
	VTE Study	兵庫医科大学病院下部消化管外科
★ACHIEVE Trial	財団法人がん集学的治療研究財団	

診療科	試験名	依頼者
	★JFMC46-1201	がん集学的治療研究財団
	diverting loop ileostomy	大阪大学消化器外科
	★JACCRO CC-13	日本がん臨床試験推進機構
	JACCRO CC-13AR	日本がん臨床試験推進機構
	★JACCRO CC-16/CC-16AR	日本がん臨床試験推進機構
	★EssentiAL	札幌医科大学 消化器・総合 乳腺・内分泌外科
	Pmab 皮膚毒性追跡研究	大阪大学消化器外科
	XELOX-Adj	大阪大学消化器外科
	★TAS+BV Switch Maintenance Study	大阪大学消化器外科
	OSNA	大阪大学消化器外科
	GALAXY trial	九州大学大学院 消化器・総合外科
	VEGA trial	札幌医科大学 消化器・総合 乳腺・内分泌外科
	JACCRO CC-17	JACCRO(日本がん臨床試験推進機構)
	JACCRO CC-18	聖マリアンナ医科大学
	大腸癌肝転移を対象とした前向きレジストリ研究	大阪大学消化器外科
	VIOLA Study 化学療法・経口 Xa 因子阻害薬併用の安全性	兵庫医科大学病院下部消化管外科
	★OGSG1402	OGSG
	★RINDBeRG	OGSG
	JACCRO GC-08	JACCRO(日本がん臨床試験推進機構)
	★OGSG1902	OGSG(大阪消化管がん化学療法研究会)
GC08-AR	JACCRO(日本がん臨床試験推進機構)	
★ACCORD 試験	大阪府立急性期医療センター	
ヘルニアコホート	国立病院機構	
消化器内科(4)	SVR 後 HCC EOB	山梨大学放射線科
	C 型 IFNfree 治療	大阪大学消化器内科
	肝細胞癌に対する薬物療法施行症例多施設共同前向き観察研究	大阪大学消化器内科
	HCV 抗ウイルス療法予後	大阪大学消化器内科
内分泌代謝(1)	SPIKE study 継続研究 EXTENSION study	大阪大学内分泌代謝内科/順天堂大学
泌尿器科(2)	★カボザンチニブ単剤療法探索的試験	京都府立医大
	Menz Study	大阪大学泌尿器科

【製造販売後調査 報酬確定調査】

	製造販売後調査		副作用報告 報告数
	調査数	(提出冊数)	
整形外科	3	( 44 )	
消化器内科	6	( 36 )	
血液内科	8	( 30 )	2
乳腺内分泌外科	1	( 4 )	1
腎臓内科	1	( 8 )	1
呼吸器内科	3	( 15 )	
消化器外科	1	( 1 )	3
神経内科	2	( 3 )	
内分泌・代謝内科	1	( 5 )	
麻酔科	1	( 3 )	1
計	27	( 149 )	8

【治験審査委員会・倫理委員会審査件数および外部審査新規件数】

委員会	治験審査委員会		倫理委員会			CRB 新規	中央一括新規
	治験	製販後調査	臨床研究				
対象	本審査	本審査	本審査新規	迅速新規	迅速変更	病院長承認	病院長承認
4月	休会			2	1		
5月	4	2	休会	1	3		
6月	2			4	1		
7月	3	2	1		5	2	
8月	休会				1		
9月	4	1	1		2		
10月	2						2
11月	1	3	休会	5	2		
12月	2	1		1	4		
1月	休会		2	1	3		
2月	2	3			2		
3月	3		休会				
計	23	12	4	14	24	2	2

## 地域医療連携部

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

##### 1 組織

前方支援・後方支援・予約相談・返書管理・かかりつけ医紹介窓口

##### 2 スタッフ

部長（総長） 今井 康陽

室長（副看護部長） 小田 倫子

看護師 3名

社会福祉士 3名

事務員 8名

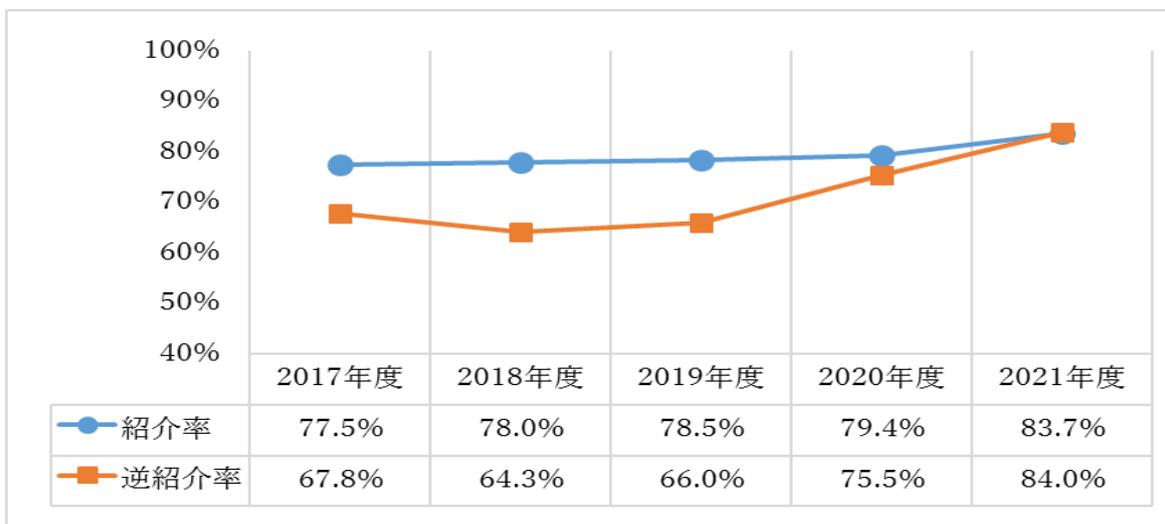
#### ■ 地域医療支援病院としての業務概要

- (1) 地域医療連携に関すること
- (2) 患者の入退院・救急に関すること
- (3) 施設共同利用に関すること
- (4) 医療相談に関すること
- (5) 諸記録の閲覧窓口に関すること
- (6) 地域医療研修に関すること
- (7) 地域の広報に関すること
- (8) 地域の医療専門職の生涯教育に関すること
- (9) 地域住民に対する医療、保健衛生の普及に関すること

### 《実績》

#### ■ 統計実績

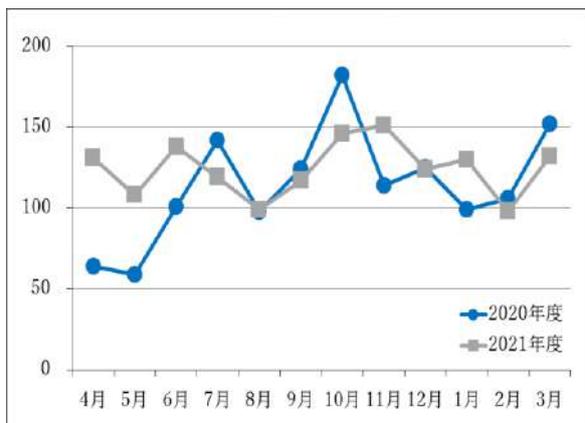
##### 1 年度別推移 紹介率 逆紹介率



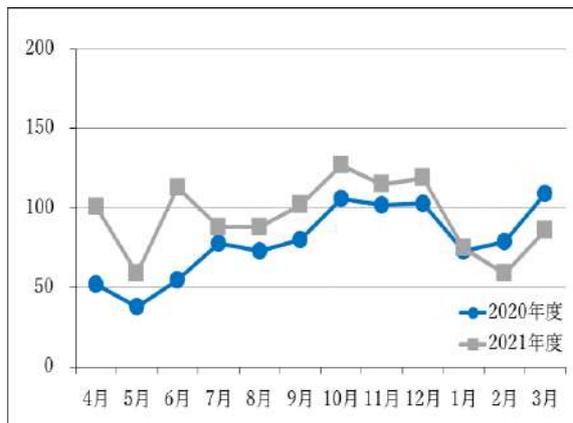
地域医療連携登録医 医科 319名 歯科 150名 計 469名

## 2 検査予約件数

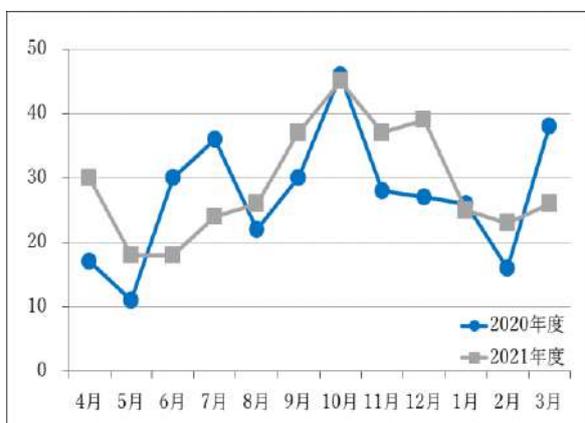
### MRI 件数



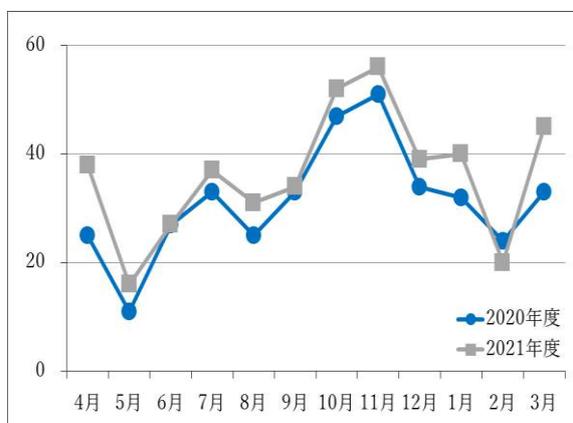
### CT件数



### 腹部・甲状腺エコー一件数



### 内視鏡件数



## 3 研修実績

### 研修会・講演会

開催日	研修会・講演会名	テ ー マ
11月17日	これからの糖尿病診療連携を考える会	地域連携で目指すシームレスな慢性腎臓病治療 糖尿病透析予防外来の実際
12月9日	地域で考えるがん診療セミナー ～大腸癌手術における静脈血栓症～	当院の大腸癌周術期におけるDVTの実態について 腹腔鏡下大腸癌手術の現状と展望～手術侵襲と抗血栓治療を含めて～
2月24日	池田市病診連携WEB講演会 ～脳と腸を考える～	慢性便秘症の診断と治療 便秘を含めた脳卒中後合併について

### 地域ケア連携会

開催日	担 当 部 門	テ ー マ
4月9日	市立池田病院 地域医療連携室	情報交換および今年度の地域ケア連携会について
5月14日	市立池田病院 地域医療連携室	入院時カンファレンスについて
6月11日	市立池田病院 入退院サポートセンター	入退院サポートセンターでのかわりについて
7月9日	ケアマネジャー	令和3年度介護報酬改定の主な事項について

開催日	担当部門	テーマ
8月13日	訪問看護ステーション	コロナ禍での連携 訪問看護の視点から
9月9日	調剤薬局 薬剤師	新型コロナ感染症拡大防止のための電話等による服薬指導
10月8日	市立池田病院 緩和ケアチーム	コロナ禍における終末期がん患者さまの「生きる」を支える
11月12日	訪問看護ステーション	訪問看護ステーションにおける災害対策
12月10日	地域包括支援センター	地域包括支援センター業務から見える高齢者の課題について
1月14日	市立池田病院 病棟看護師	意思決定を支えるとは 1) 化学療法の継続を望み自宅退院とはった事例を通して 2) 胃瘻増設から CV ポートに変更となった事例を通して
2月18日	市立池田病院 地域医療連携室	市立池田病院 地域医療連携室 MSW 奮闘記 2021
3月11日	栄養ケアステーション 管理栄養士 市立池田病院 管理栄養士	栄養士の活動～地域 病院それぞれの立場から～

#### 4 市民公開講座 ※オンラインによる配信

開催月	担当部門	テーマ
4月	内分泌代謝内科	生涯元気で過ごすために ～レッツセルフチェック～
5月	循環器内科	心不全について ～その症状年齢のせいにはしていませんか～
6月	救急総合診療部	眠れない時に考えるお薬以外の方法
7月	泌尿器科	過活動膀胱について ～過活動膀胱≠頻尿・夜間頻尿
8月	神経内科	認知症のおはなし
9月	歯科口腔外科	外科的治療における口腔ケアの重要性
10月	放射線治療科	検査・診断だけじゃない 当院でできる放射線治療
11月	眼科	白内障の診断と治療
12月	消化器内科	アルコールと肝臓 ～お酒と上手につき合うために～
1月	麻酔科	ペイン外来 ～膝痛の最新治療～
2月	皮膚科	帯状疱疹について ～聞いてよかったその基本対策～
3月	整形外科	人工膝関節ってどんな手術？

#### ■ その他の活動実績

- ・大阪府がん診療連携協議会・各部会
- ・豊能がん医療ネットワーク協議会・各部会
- ・豊能圏域大腿部頸部骨折地域連携会議
- ・豊能圏域脳卒中地域連携クリティカルパス会議
- ・豊能糖尿病地域連携クリティカルパス検討会
- ・池田保健所連携会議
- ・川西・猪名川病院連携会議
- ・病-病連携会議 他

## 感 染 制 御 部

### 《概 要》

#### ■ 組織・スタッフ

##### \*ICT（感染制御チーム）

医師：橋本重樹（ICD）

医師：尾崎由和

薬剤師：瀬名波宏昌（感染制御認定薬剤師）

薬剤師：小畑紋菓（抗菌化学療法認定薬剤師）

臨床検査技師：兒谷香里

臨床検査技師：今村友美

看護師（専従）：横山朋之（感染管理認定看護師）

看護師（専従）：林紫（感染管理認定看護師）

看護師（専従）：生地あゆみ（感染管理認定看護師）

##### \*AST（抗菌薬適正使用支援チーム）

医師：橋本重樹（ICD）

医師：若林元（ICD）

医師：村上愼一郎

医師：中尾真一郎

薬剤師：瀬名波宏昌（感染制御認定薬剤師）

薬剤師（専従）：小畑紋菓（抗菌化学療法認定薬剤師）

臨床検査技師：兒谷香里

臨床検査技師：今村友美

看護師：林紫（感染管理認定看護師）

看護師：生地あゆみ（感染管理認定看護師）

##### \*感染リンクスタッフ

医師：尾崎由和、橋本重樹、若林元、永井邦彦、柴田大、宗方幸二、上岡孝人、村上愼一、  
中尾真一郎

看護師：栄口秀子、横山朋之（感染管理認定看護師）、林紫（感染管理認定看護師）、  
生地あゆみ（感染管理認定看護師）、矢野民子、近藤由利、高雲奈津美、柴山敬子、  
越智佳織、黒田良江、岩垣奈津子、横山奈緒子、越智貴子、田上育子

薬剤師：新居万莉、高橋勝史

放射線技師：平野佳代、飯村航汰

リハビリテーション医師：面田真也、横山由梨子

歯科技工士：嶋本政嗣

臨床検査技師：衣川尚加、中村克章

管理栄養士：長谷良太

臨床工学技士：穴井恵里

眼科技師：宮崎伸子

医療秘書：河野悦子

## ■ 業務概要

### 1) ICT

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師の4職種でチーム構成され、感染管理認定看護師が専従となり、感染防止対策加算1、感染防止対策加算地域連携加算を算定している。毎週水曜日にICT環境ラウンドを実施している。また、厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業の検査部門、手術部位感染（SSI）部門に参加をしている。院内の全職員対象の全体研修を年2回実施し、院内感染対策に取り組んでいる。

### 2) AST

チームメンバーは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師で構成され、薬剤師1名が専従として抗菌薬適正使用支援加算を算定している。AST対象患者は、広域抗菌薬使用患者、抗MRSA薬使用患者、血培陽性患者、抗菌薬長期使用患者（8日以上）とし、毎日専従薬剤師がリストアップし、確認している。その中から見直し・介入が必要な患者を抽出し、週2回チームカンファレンスを行っている。院内での感染症・抗菌薬に関わる相談は随時行い、感染症診療をサポートしている。また、AST主催の院内勉強会を2回開催し、抗菌薬適正使用を推進している。

## 《実績》

### 1. 地域連携

- 1) 感染防止対策加算2施設と合同カンファレンスを年4回実施
- 2) 院内にて全職員対象全体研修を年2回実施
- 3) 厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業（JANIS）に検査部門・手術部位感染（SSI）部門に参加
- 4) 感染防止対策加算1施設病院のICNによるCOVID-19対策の病院ラウンドを実施  
3/24 大阪刀根山医療センター訪問 3/28 箕面市立病院訪問 3/29 市立豊中病院訪問

### 2. 感染防止対策加算1

#### 1) 感染防止対策加算1-2連携

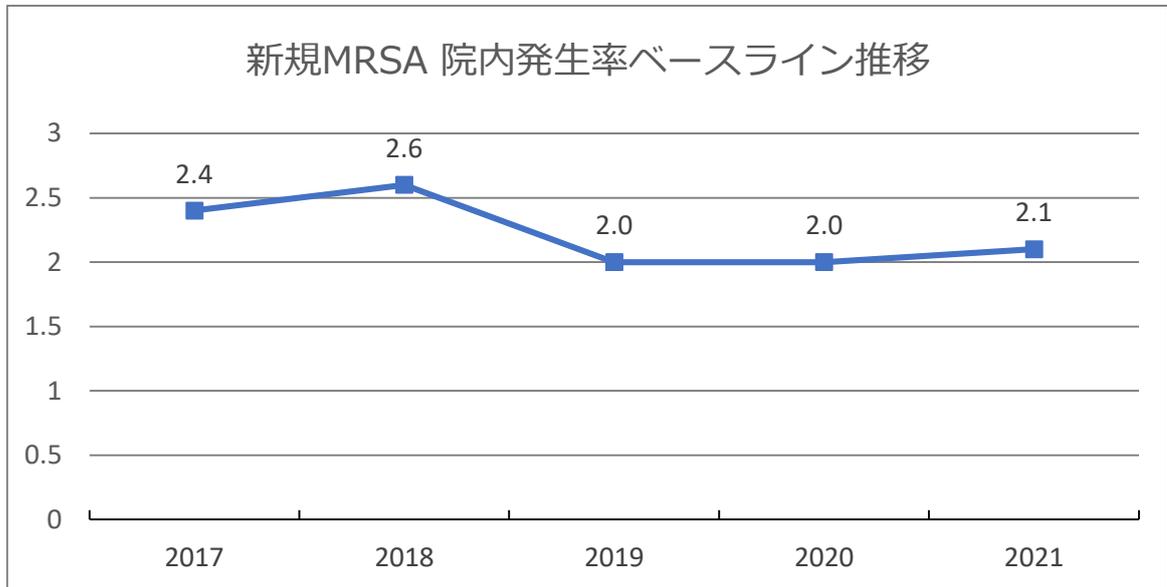
	開催日	開催場所	参加施設	内容
感染防止対策加算1	9/13	市立池田病院	池田回生病院 市立池田病院	耐性菌の報告 特定抗菌薬使用状況 COVID-19 関連
	11/8	市立池田病院	池田回生病院 市立池田病院	耐性菌の報告 特定抗菌薬使用状況 COVID-19 対策
	1/17	市立池田病院	池田回生病院 市立池田病院	耐性菌の報告 特定抗菌薬使用状況 COVID-19 情報共有
	3/13	市立池田病院	池田回生病院 市立池田病院	耐性菌の報告 特定抗菌薬使用状況 COVID-19 情報共有

2) 全職員対象全体研修

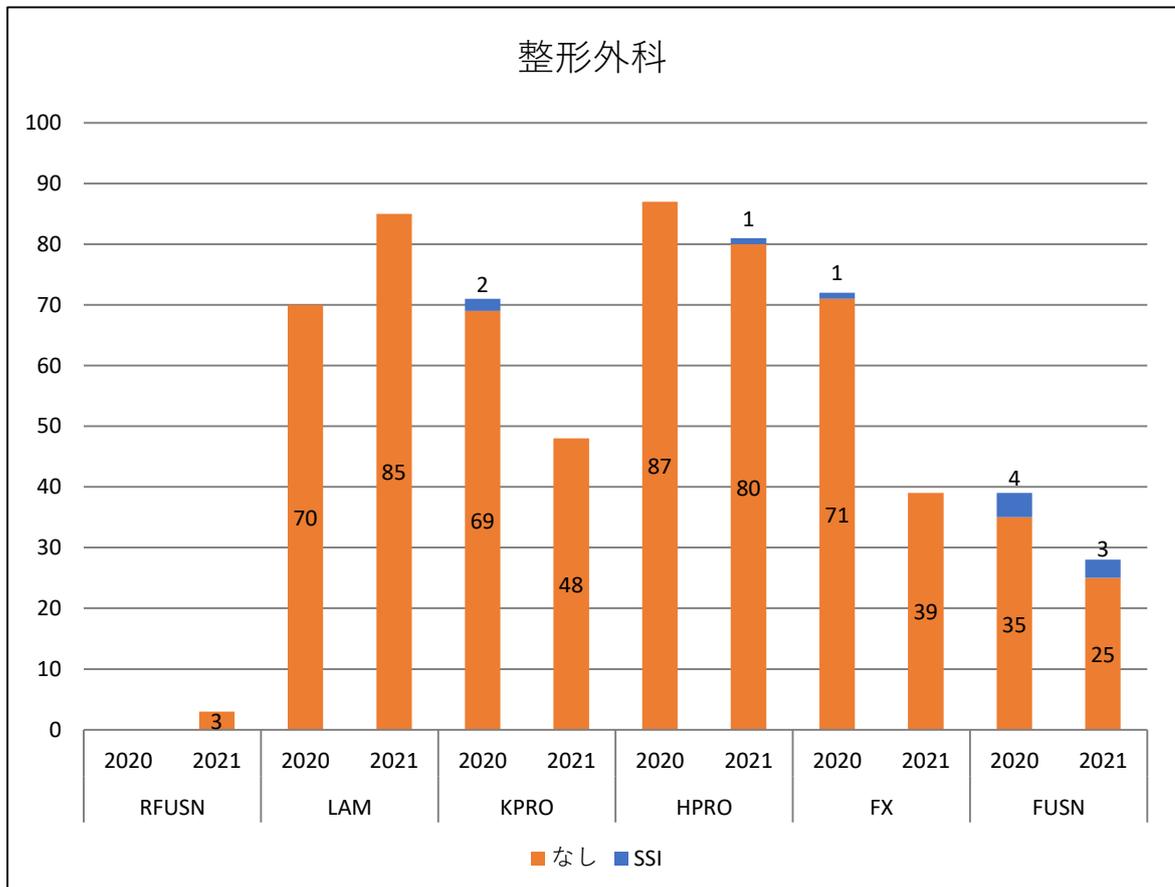
第1回全体研修	新型コロナウイルス感染症	2022年1月27日～2月15日(動画視聴)
第2回全体研修		2022年3月23日～3月31日(動画視聴)

3. サーベイランス

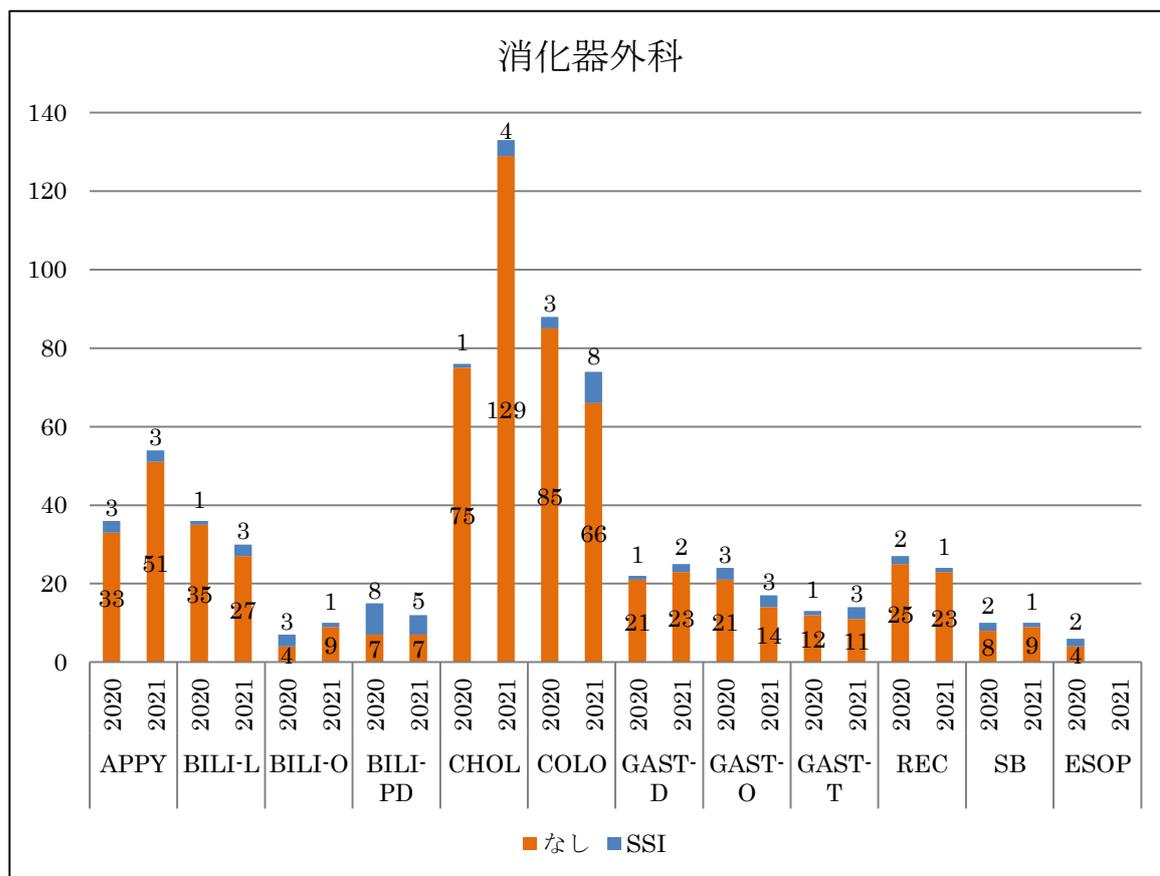
1) 新規 MRSA 院内発生率



2) 整形外科 SSI 発生数の比較



### 3) 消化器外科 SSI 発生数の比較



### 5. 届出感染症

	届出数	感染症
2 類感染症	798 件	COVID-19 783 件、結核 15 件
5 類感染症	5 件	梅毒 2 件、劇症型溶血性連鎖球菌感染症 1 件 百日咳 1 件、肺炎球菌 1 件

### 6. 感染管理教育

医療関連感染対策の充実に向けた取り組み

■ ICT 環境ラウンド実施回数と結果のフィードバック回数：48 回/年

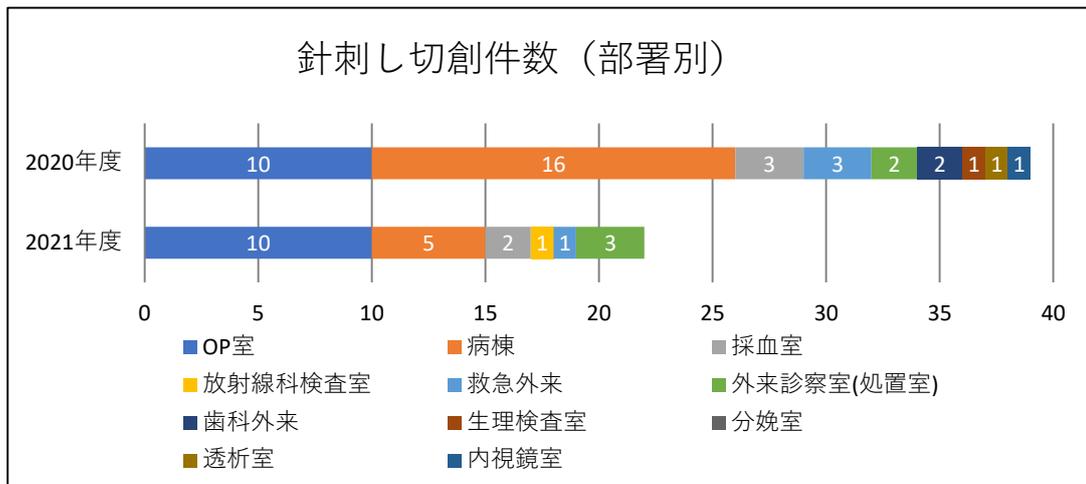
■ 職員対象研修実績

研修対象	実施回数
新規採用職員研修(研修医師、看護師、コメディカル)	1
職員対象研修	24
中途採用者職員研修	5

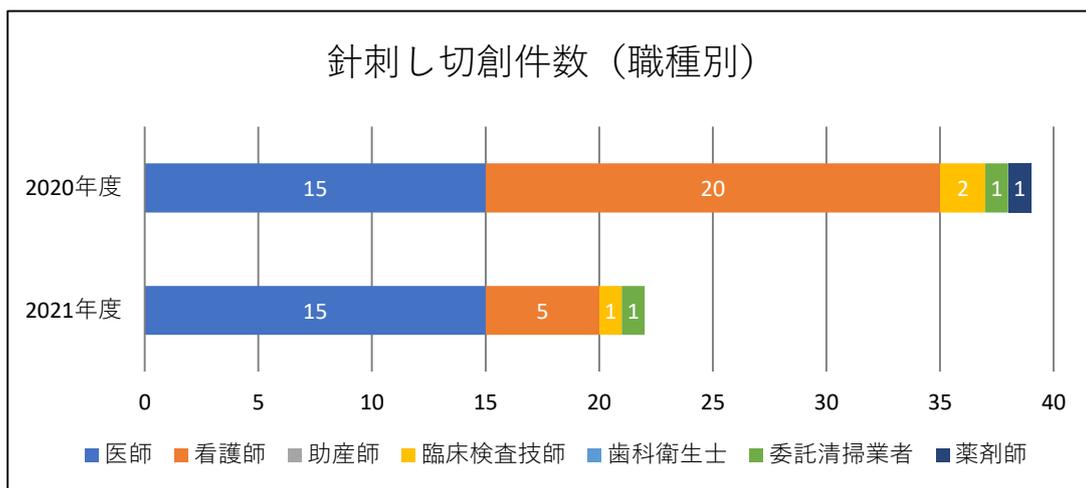
7. 職業感染管理

1) 針刺し切創・粘膜皮膚曝露発生数：22 件

■職種別針刺し切創発生数（前年度との比較）

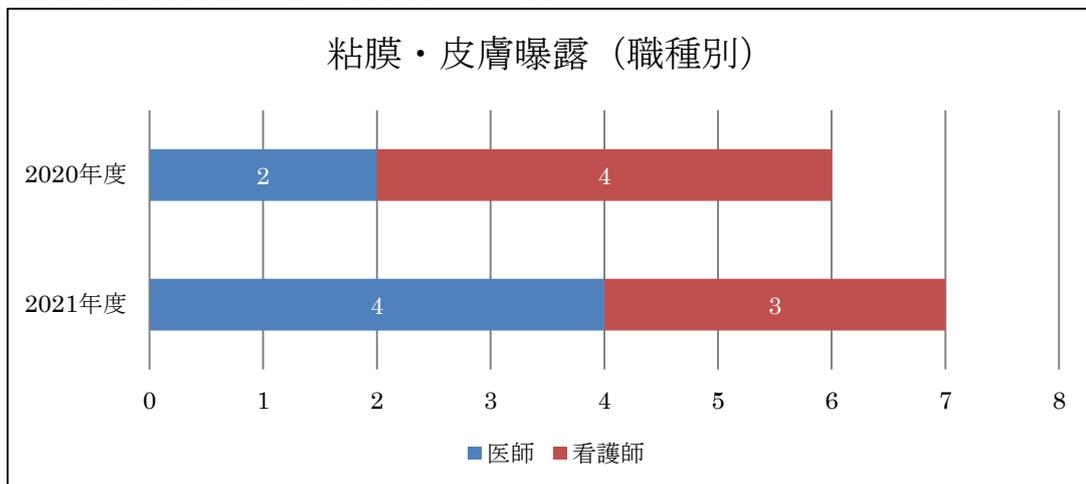


■部署別針刺し切創発生数（前年度との比較）

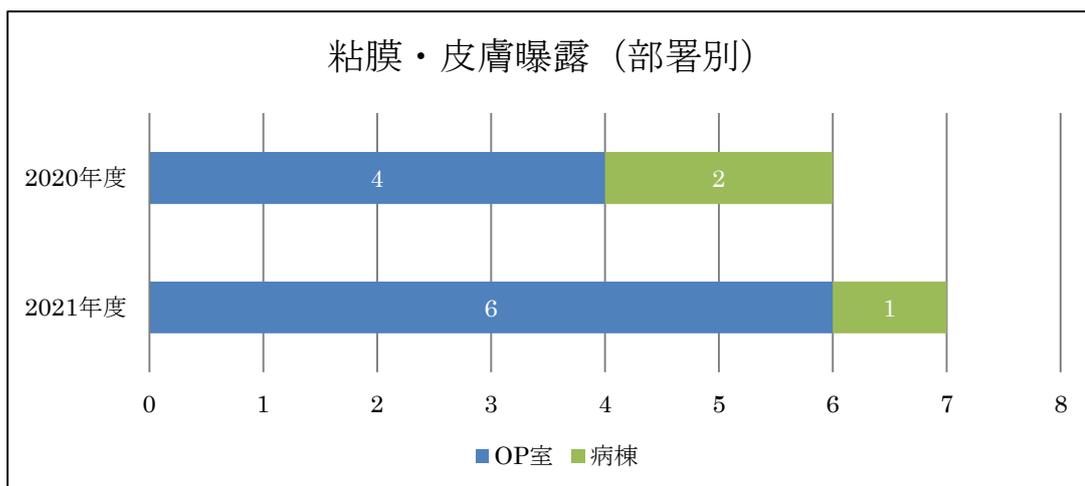


2) 粘膜皮膚曝露発生数：7 件

■職種別粘膜皮膚曝露発生数（前年度との比較）



■部署別粘膜皮膚曝露発生数（前年度との比較）

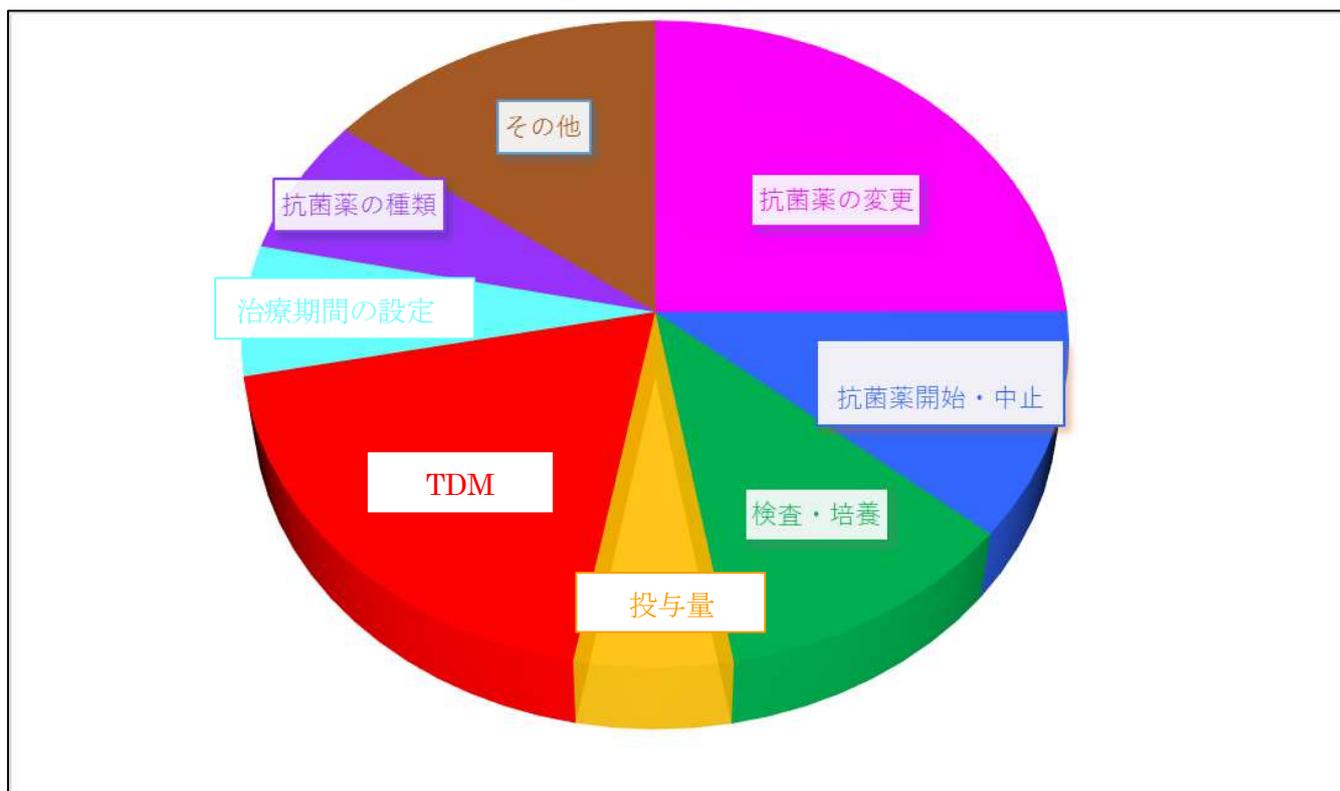


8. 抗菌薬適正使用支援

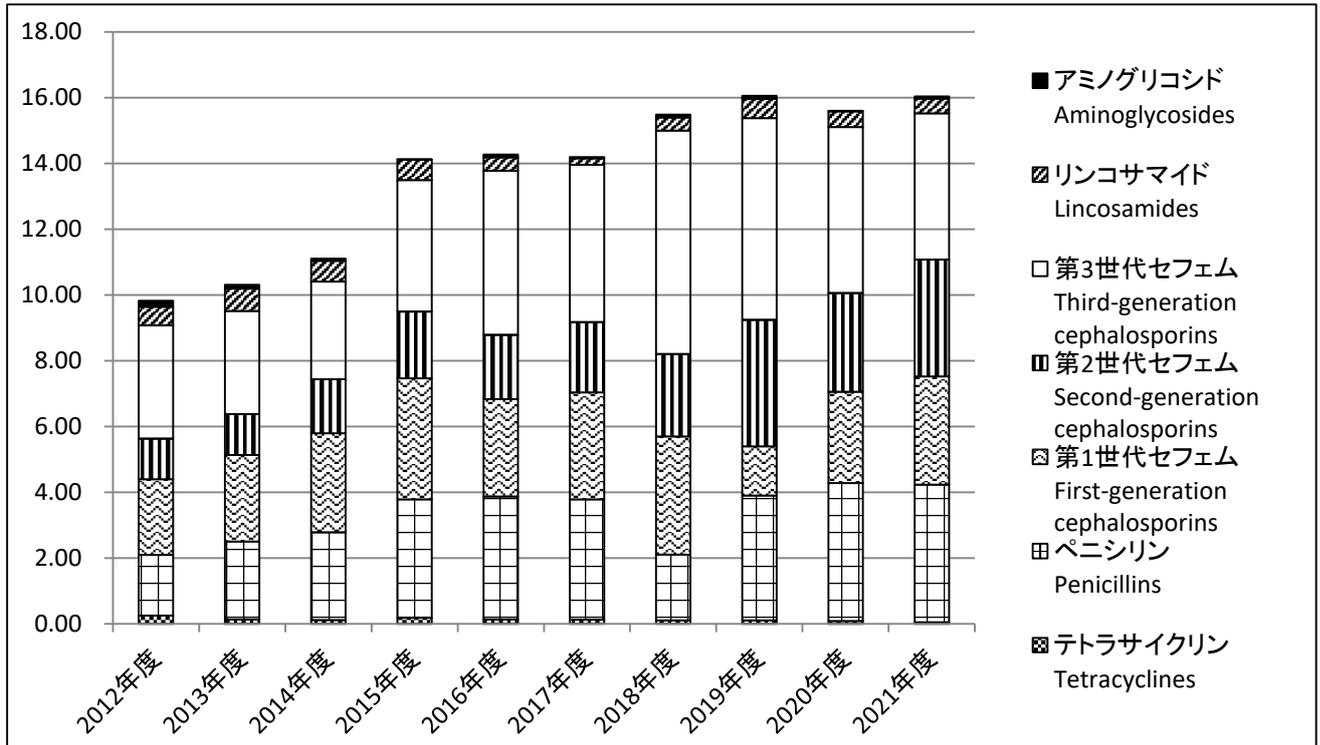
1) 特定抗菌薬使用患者・血液培養陽性患者に対する早期介入

■延べ介入患者数：5,897名（うちチームによる確認件数：365件）

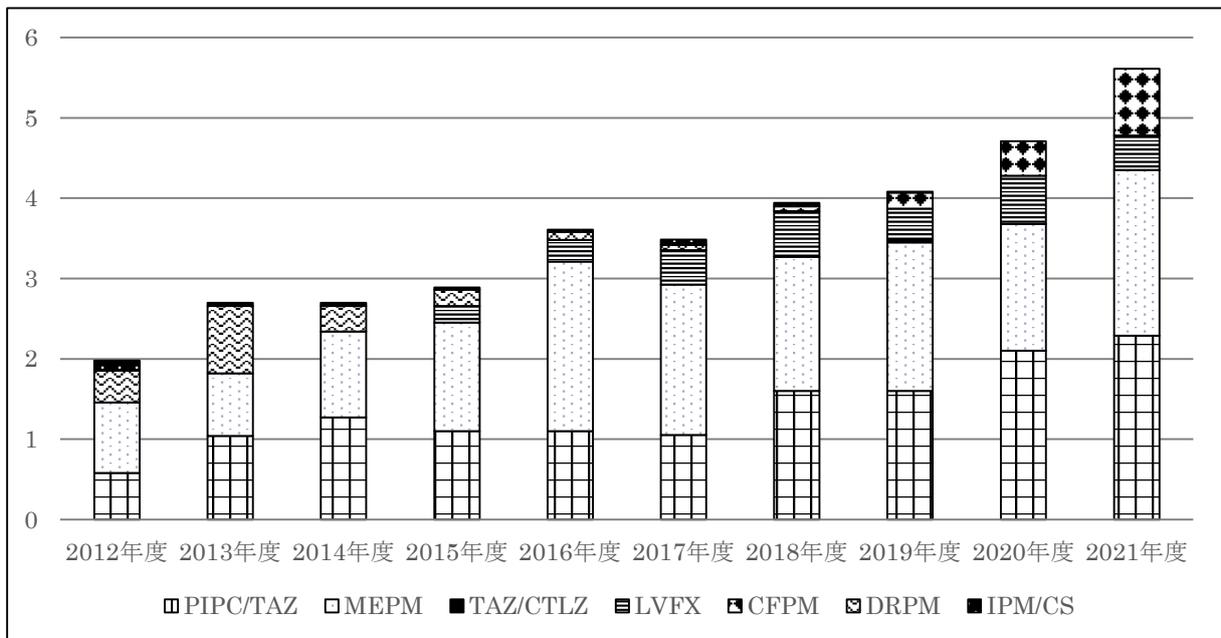
■治療に対する提案数：363件、相談件数：282件（下記グラフ：提案・相談内容の内訳）



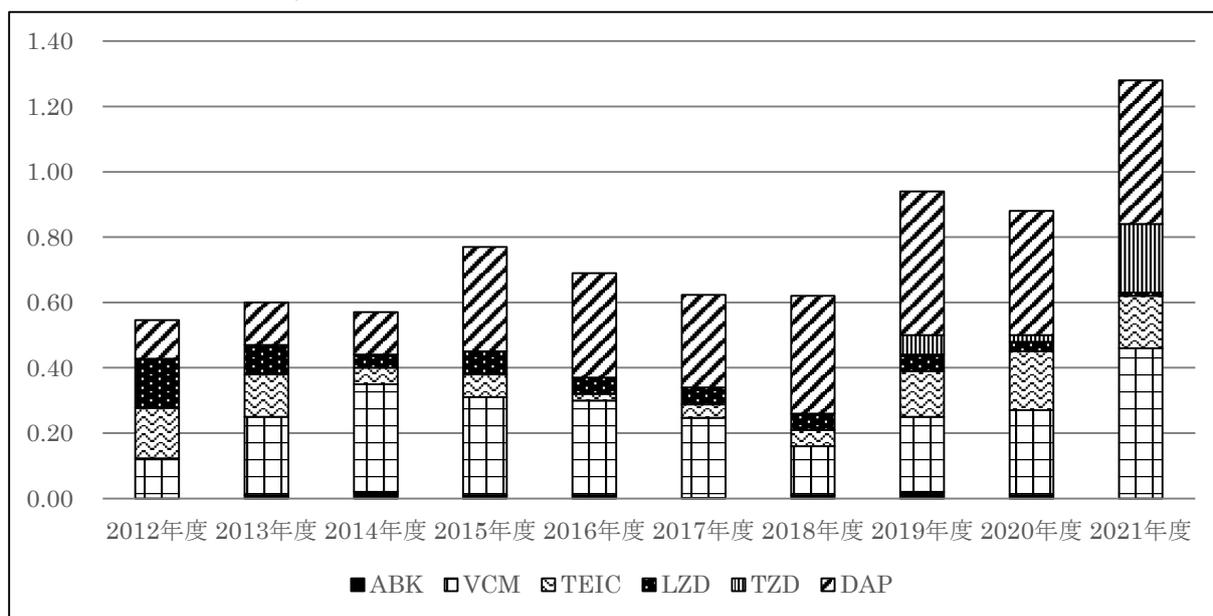
2) 一般抗菌薬使用量推移  
(DDDs/100bed-days)



3) 広域抗菌薬使用量推移  
(DDDs/100bed-days)



4) 抗MRSA薬使用量推移  
(DDDs/100bed-days)



## 医療安全・質管理部

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

##### 1 組織

部内に安全対策室がある

##### 2 スタッフ

部長（副院長兼務）	大河内 敏行
副部長兼安全対策室長	和田 和美
安全対策室	下村 一徳
	松田 和穂

#### ■ 業務概要

##### 1 安全対策室の業務概要

- 1) インシデントレポートの分析・集計
- 2) 安全対策室カンファレンスを週1回程度で開催し、インシデント事例を検討
- 3) 患者相談窓口における患者対応
- 4) 第三者機関へのインシデント・アクシデント事例報告
- 5) 医療事故発生時の初期対応と事例検討
- 6) MRM委員会の円滑な運営と決定内容の推進
- 7) 医療安全マニュアルの作成と遵守の推進
- 8) 医療安全活動の推進・指導
- 9) 医療安全に関する相談・教育
- 10) 地域への医療安全情報の発信・啓発

### 《実績》

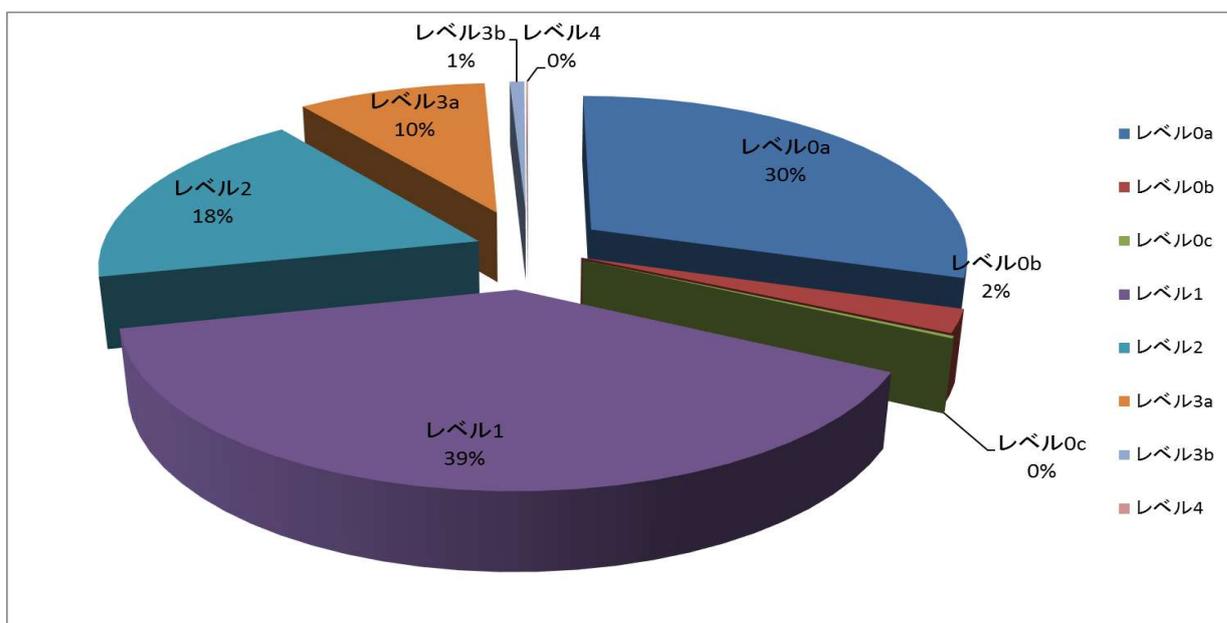
#### ■ 統計実績

##### 1. 2021年度インシデント報告件数（報告者の職種別件数）

報告者の職種	件数	%
医師	49	1.9
薬剤師	132	5.1
看護師	2,228	85.5
地域連携室	20	0.8
放射線技師	13	0.5
臨床検査技師	52	2.0
リハビリ(PT・OT・STなど)	29	1.1
栄養管理科技師・病理診断技師・眼科技師	25	0.9

医療管理課・受付職員	18	0.7
診療録管理室・医師クレーク	38	1.4
その他	3	0.1
合計	2,607	100

## 2. 2021 年度インシデント報告レベル別割合



## 2. 改善実績一覧

年	月	関連部署	問題状況の概要	改善内容	関連委員会など
令和3	7	病院全体	輸液ポンプ・シリンジポンプチェックリスト	インシデント報告よりチェックリストの項目見直し	MRM 推進チーム会 看護部委員会
	8	病院全体	画像診断報告書確認不足防止策	画像所見の見落とし防止を念頭に異常所見などの運用を改善 医局会、Web をどうして説明を実施	放射線利用者会 MRM 委員会 医局会
	10	病院全体	ABC コールの老朽化	ABC コールのテストの実施により、備品の破損や老朽化あり、院内ABC コールのすべて更新	MRM 推進チーム会 病院管理課

## ■ 研修・教育活動

指導者・講師	内 容	研修名・日時
和田 和美	リスクマネジメント	新採用研修 講堂 2021/4/6
和田 和美	医療安全 ～医療安全を考えてみよう～	千里金蘭大学 統合実習 2021/6～7月 4回

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

<スタッフ>

専任職員1名、委託職員6名の構成で、サポートデスク窓口は365日体制としている。

経営企画室長 山本 朗央

情報システム担当 梶本 幸彦、上田 淳（委託）

情報システムサポートデスク 安達 元 他4名（委託） ※ 365日交替制

<組織>（令和4年3月31日時点）

主に情報システム運用管理委員会が継続的な改善活動を担う。

総合情報システム統括委員会：システム全般に関する基本的事項を協議し決定する。

情報システム運用管理委員会：システム運用管理に伴う事項を協議し決定する。

#### ■ 診療・業務概要

- (1) 情報システムに係わる院内の総合的企画及び調整
  - ・ 情報システムの導入・更新計画の立案及び調整
  - ・ 情報システムの運用に係わる改善計画の立案及び調整
  - ・ 情報システムの予算の管理
- (2) 情報システムの調達に係わる業務
  - ・ 情報システムの仕様策定に係わる業務
  - ・ 情報システムの発注に係わる業務
- (3) 情報システムの導入・更新に係わる管理業務
  - ・ 情報システム導入・更新時の進捗管理
  - ・ 情報システム導入・更新時のベンダー及び部門間の調整
  - ・ 情報システムの構成情報の管理
- (4) 情報システムに係わる院内の総合的運用管理
  - ・ 問合せ、要望、障害等への対応を担うサポートデスク業務
  - ・ マニュアル作成、操作研修等を担うユーザーサポート業務
  - ・ 情報システム委員会の開催
- (5) 情報システムのオペレーション業務（保守・維持管理）
  - ・ 情報システムの安定稼働に係わる業務
  - ・ 情報システムのアクセス管理
  - ・ 情報セキュリティ管理
- (6) 情報システムのデータ二次利用の推進
  - ・ データ統計・分析の支援
  - ・ 簡易システムの作成

## 《実績》

### ■ 業務実績

#### (1) 病棟 Wi-Fi 環境の構築

新型コロナウイルス感染対策のために面会禁止・面会制限が続く中、オンライン面会で気持ちが救われるという患者は多い。また、ろう者にとっての遠隔手話通訳や、外国人にとっての翻訳・通訳サービスなど、病棟における様々なコミュニケーション手段を支えるインフラとして、Wi-Fi 環境の重要性が高まっている。当院では、こうした需要に対応するため、病室も含めた病棟全体の Wi-Fi 環境を構築した。昨年度に導入した外来・管理棟の Wi-Fi 環境と合わせて、院内のほぼ全域で Wi-Fi の利用が可能となった。

#### (2) 電子カルテのバージョンアップ

電子カルテについて、V 8 から V 9 へのバージョンアップを実施した。適用項目については、富士通 HOPE/EGMAIN-GX 2019 年 6 月 Pack、同 11 月 Pack、2020 年 6 月 Pack、V 9 からなる全 225 項目を適用した。

#### (3) Web 会議システム有償ライセンスの導入

新型コロナウイルスの感染防止対策として、学会、セミナー、勉強会などで Web 会議システムを利用したオンラインでの開催が増えている。同様の理由から、他施設との会議や業者との面談などについてもオンラインツールの活用が進んでいる。このようなオンラインコミュニケーションの推進により、当院がホストとして Web 会議を開催するケースも増えていることから、Web 会議システムの有償ライセンスを導入し、Web 会議におけるホストの役割を十分に果たせる環境を整えることとなった。

#### (4) オンライン資格確認システムの導入

国が進める事業であり、保険確認窓口において、患者さんの直近の資格情報等（加入している医療保険や自己負担限度額等）が確認できるようになることで、期限切れの保険証による受診で発生する過誤請求や手入力による手間等による事務コストの削減が期待されている。

#### (5) RPA (Robotic Process Automation) の導入

働き方改革に向けた業務効率化のため、RPA を導入した。これまでは困難であった電子カルテ等の特殊なアプリケーションの操作や複数のアプリケーションに跨る操作が、RPA により自動化することができる。これにより、ヒトによる判断を必要としない作業であれば、対象業務を自動化することが可能であり、事務業務の生産性向上に資することが期待される。

#### (6) その他

栄養管理システムのバージョンアップを実施した。また、情報システムの安定稼働のため、①医用画像管理システムのディスク容量の拡張、②再来受付機の更新、③医用画像用 CD パブリッシャーの更新等を実施した。

#### ◇委員会開催状況

情報システム運用管理委員会 7 回開催。※5 回は緊急事態宣言等により中止。

#### ◇情報セキュリティ研修

ビデオ視聴形式により 1 回開催。※ビデオ形式：新型コロナ感染防止のため。

## 診療情報管理部 - 診療情報管理・診療支援

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

診療情報管理士	: 9名
医師事務作業補助	: がん登録1名 文書作成補助3名 データベース登録2名（うち派遣1名） 診療支援34名（うち派遣11名）
スキャナセンター	: 2名（委託）
委員会等事務局	: 診療情報管理委員会 診療支援委員会 クリニカルパス委員会 クリニカルパス・DPCプロジェクト 広報委員会

#### ■ 診療・業務概要

主な業務内容は次のとおり

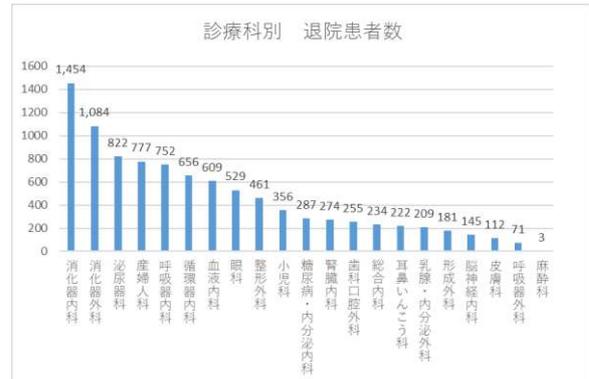
- 1 DPC 管理
  - (1) DPC 請求に関する業務
  - (2) DPC 分析に関する業務
  - (3) DPC 基礎調査に関する業務全般
- 2 診療情報管理
  - (1) 診療録管理に関する業務
  - (2) 退院サマリに関する業務
  - (3) カルテ監査に関する業務
  - (4) 診療情報統計に関する業務
  - (5) クリニカルパスに関する業務
  - (6) 診療情報抽出・集計・分析に関する業務
  - (7) QI(Quality Indicator)に関する業務
  - (8) 重症度、医療・看護必要度に関する業務
  - (9) 内科専門医制度 J-OSLER に関する業務
  - (10) 紹介状に関する業務
- 3 診療報酬算定向上に関する業務
- 4 経営分析に関する業務
- 5 広報に関する業務
- 6 医師事務作業補助者の業務管理と研修計画・実行
- 7 スキャナセンター運営管理に関する業務
- 8 医師事務作業補助業務
  - (1) 院内がん登録

- (2) 診断書・証明書作成補助
- (3) 診療支援（電子カルテオーダ代行入力、病棟業務等）
- (4) 臨床データ登録（NCD、手術台帳等）

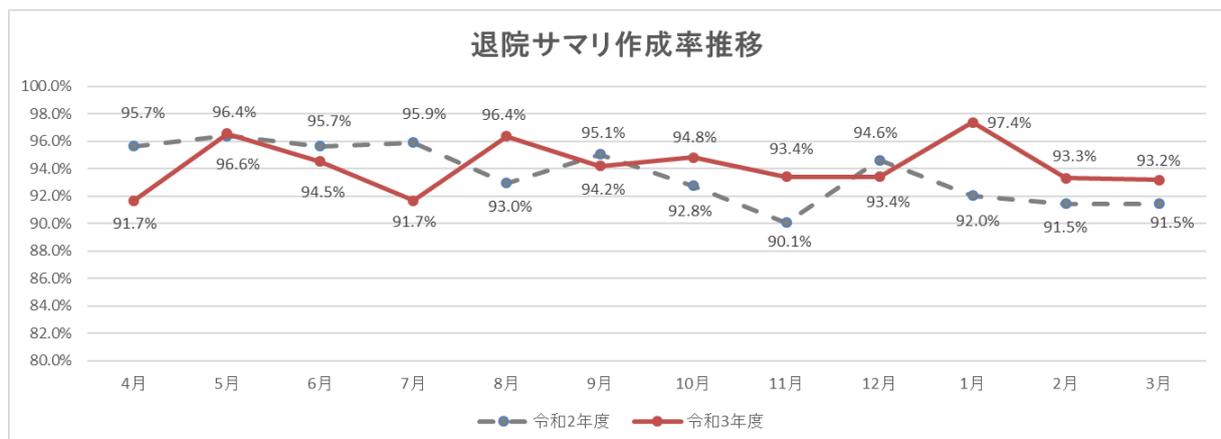
## 《実績》

### ■ 統計実績

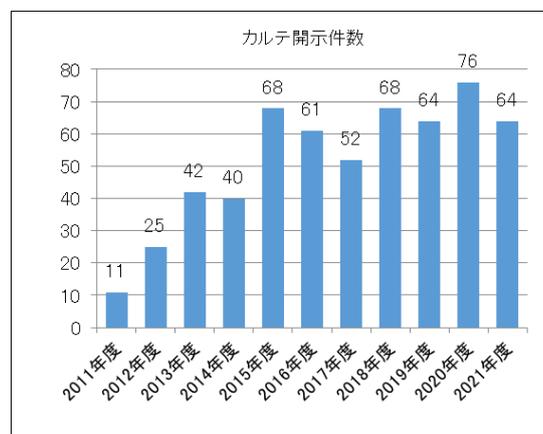
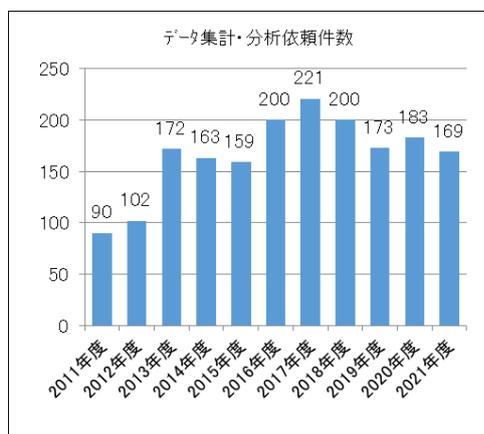
#### (1) 退院患者数



#### (2) 2週間以内退院サマリ作成率



#### (3) 診療情報提供件数



#### (4)DPC 集計

##### ①MDC2 別 退院患者数

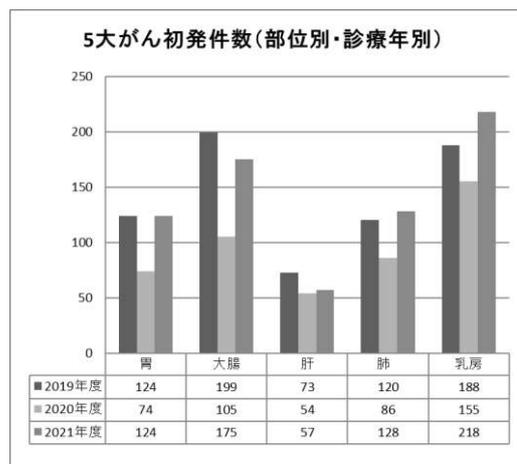
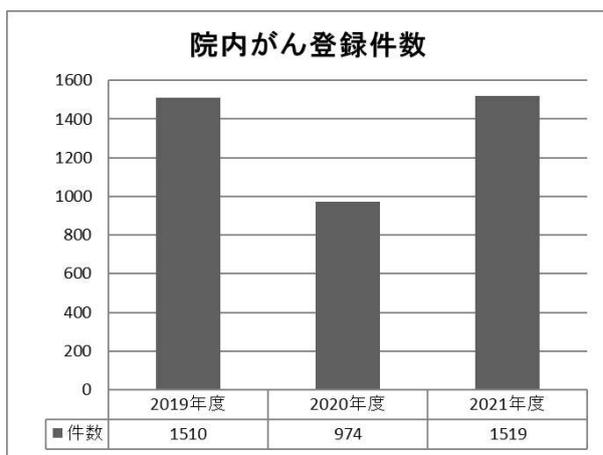
MDC2	MDC2名	退院患者数
01	神経系疾患	148
02	眼科系疾患	569
03	耳鼻咽喉科系疾患	212
04	呼吸器系疾患	943
05	循環器系疾患	578
06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	2,323
07	筋骨格系疾患	330
08	皮膚・皮下組織の疾患	176
09	乳房の疾患	204
10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	274
11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	1,063
12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	569
13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	619
14	新生児疾患、先天性奇形	48
15	小児疾患	15
16	外傷・熱傷・中毒	245
17	精神疾患	11
18	その他	513

##### ②MDC6 別 退院患者数(TOP10)

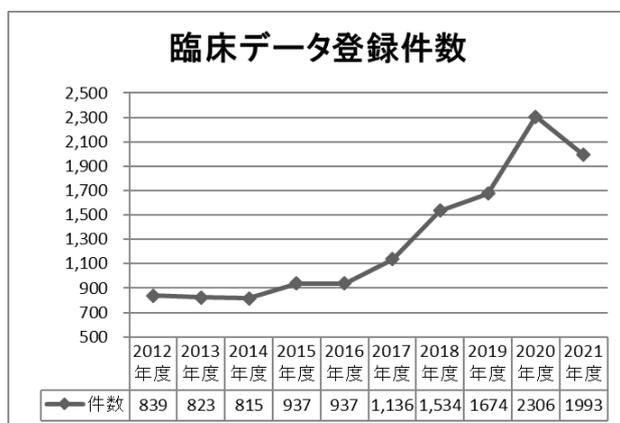
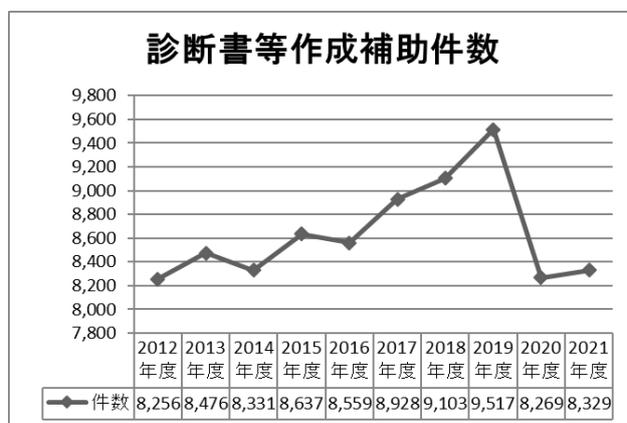
順位	MDC6	MDC6名	手術の有無	退院患者数	
1	20110	白内障、水晶体の疾患	あり	451	454
			なし	3	
2	40040	肺の悪性腫瘍	あり	58	425
			なし	367	
3	180030	その他の感染症(真菌を除く)	あり	4	404
			なし	400	
4	130030	非ホジキンリンパ腫	あり	30	270
			なし	240	
5	60035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	あり	143	242
			なし	99	
6	60050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)	あり	174	224
			なし	50	
7	110080	前立腺の悪性腫瘍	あり	31	215
			なし	184	
8	50130	心不全	あり	36	215
			なし	179	
9	60020	胃の悪性腫瘍	あり	123	188
			なし	65	
10	90010	乳房の悪性腫瘍	あり	149	187
			なし	38	

## (5) 医師事務作業補助者業務

### ① 院内がん登録



### ② 診断書等作成補助、臨床データ登録



## ■ 学術業績

### □ 学会発表

発表者	演題名	学会名、会場、日時
熱田 麻衣、嶋吉 敦子、今井 康陽	医師事務作業補助者業務の効率化を目指した取り組み	第21回大阪病院学会 Web開催(ライブ+オンデマンド配信) ライブ 2021/11/7 オンデマンド 2021/11/24-12/14

## ■ 研修・教育活動

指導者	内容	受入れ校・実習期間
熱田 麻衣、高橋 美幸	診療情報管理業務 医師事務作業補助業務 医事業務等	大阪医療秘書福祉専門学校 2021/11/15-12/3(3週間) 2名

## 栄養サポートチーム (NST)

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

委員長	安座間 隆 (JSPEN 認定医)
副委員長	村上慎一郎、今西成雄 (NST 事務局)
委員	
医師	和田範子、小川英美、清水裕平、三砂雅裕、影山美沙紀、青木 大、三橋靖大、末崎慎也、住谷 仁
看護師	小谷朱根、西田智恵美、横山朋之 (医療安全)、小田倫子
薬剤師	岩本千晶、三代地みゆき、森田 望
臨床検査技師	井上幸子
理学療法士	佐々木大地
言語聴覚士	立石 圭、片尾奈緒子
歯科衛生士	銀羽かおり
管理栄養士	田中芳子 (NST 事務局)

\*NST 専任資格者 (4 職種) : 医師 6 名、看護師 1 名、薬剤師 3 名、管理栄養士 2 名

NST 専門療法士 : 5 名

オブザーバー

医師	津川真美子、上岡孝人
看護師	小原順子、安部圭子、佐伯部紀子、稲野聖子
薬剤師	名徳倫明 (外部委員)
臨床検査技師	金澤佳代
言語聴覚士	安藤敏夫
管理栄養士	今仲直美、長谷良太、高雲隆史、北野千穂

#### ■ 業務概要

年度目標「低栄養のことを一生懸命やる」(患者の QOL の維持と向上を目指す)

##### 1) NST 加算

昨年度より引き続き、患者に配付する栄養治療実施計画書兼栄養治療実施報告書に必須検査項目 (5 項目 : アルブミン、リンパ球数、ヘモグロビン、中性脂肪、トランスサイレチン) に漏れのないよう啓蒙が必要と考えられ、検査オーダーに項目漏れがある場合は、昨年同様に NST で検査項目追加する方法をとらせていただき、対象患者の患者掲示板にその旨を記載させていただいた。

NST 加算件数としては、昨年度 841 件より増加し 2021 年度は 852 件であった。

また、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士の NST 専任資格者が同時に回診していないと NST 加算算定はできないため、NST 専任資格者の特に看護師確保についても努力した一年であった。まだ十分とはいえない人数のため継続課題である。

##### 2) NST ラウンド (回診)

COVID-19 の影響がある中で、医師間で調整をしていただき、止めることなく回診ができた。また、褥瘡対策チームや OST と連携できたことや年間を通してアセスメントをし

っかりしていただいたおかげもあり、件数も昨年度 846 件より増加し 2021 年度は 930 件であった。必須 4 職種が揃って回診できていない日は加算対象外のため、加算件数は回診件数より少なく、算定件数の増加へ繋げることを来年度の課題とする。

NST 加算の条件上、1 日のラウンド（回診）患者数を 15 名以内にするために、病棟に協力をいただき調整しながら曜日配分させていただいた。

（2021 年度末現在）：水曜日 11 時～（4 東・3 東・3 北・4 北）

木曜日 13 時～（5 北・5 南・4 南・ICU）

回診時の資料として、従来は栄養剤 kcal・輸液 kcal・食事 kcal の記載であったが、今年度よりリハビリ状況の記載も追加した。摂取エネルギーと消費エネルギーを考慮し栄養管理を実施できるようになり、患者の ADL 経過の比較も行えるようになった。

### 3) 摂食機能療法

例年に続き、医療事務（ソラスト）に毎月の件数を提示していただき、会議で算定漏れの検討を行った。しかし、COVID-19 の影響が大きく入院患者数が減少したこともあり、結果的に昨年度 5,111 件より大幅に減少し 2021 年度は 3,676 件となった。

委員の声掛けにより、対象外患者を算定しないようにしながら対象患者の算定漏れを減少できると考察できるので、通年、正しい算定が継続できるよう努めたいと考える。

### 4) 栄養アセスメントについて

アセスメントツールである MNA<sup>®</sup>-SF の記載・再評価の漏れをなくすため、その旨の掲示板への記載や、回診時に MNA<sup>®</sup>-SF の記載が必要な患者を申し伝えた。栄養アセスメントは栄養管理を行う上で重要であるため、今後も啓蒙が必要であると考え、記載・再評価漏れがなくなるよう来年度も継続して行うこととした。

### 5) NST 勉強会

COVID-19 の影響もあり会議・研修が開催できない時期があったため、NST 稼働施設認定に必要な年 12 回には到達できなかった。

### 6) NST ニュース

各科担当制で 6 回発行した。（栄養管理科 2 部、臨床検査科 1 部、薬剤部 1 部、看護部 1 部、リハビリテーション科 1 部）

「経腸栄養ポンプについて」「GFO のリニューアル」「プレアルブミン（トランスサイレチン）について」「エネフリード」「栄養に関する ACP フローチャートについて」「摂食場面での観察ポイント」

### 7) NST 専門療法士受験に必須の臨地修練研修の受け入れ

例年、ホームページ上で外部実習募集を行い、9 月から 11 月の 10 週間、外部実習生を受け入れてきたが、昨年同様 COVID-19 もあり外部実習生の募集は見送った。

（参考）実習カリキュラムは 1 単位 4 時間で合計 40 時間とし、NST 回診に参加後、各科のスタッフが 2～3 時間の講義、実習を行ない、症例レポート発表及びカンファレンスを実施。（実習費：30,000 円/人）

内部実習については、委員会活動を通して適宜実施（外部実習と同レベルになるようカリキュラム調整）

8) NST 専任資格取得

2021 年度 NST 医師教育セミナー修了 末崎慎也医師

2021 年度 NST 医師教育セミナー修了 住谷仁医師

2021 年度臨地実習研修（市立池田病院内部研修）修了 西田智恵美看護師

2021 年度臨地実習研修（市立池田病院内部研修）修了 小畑紋葉薬剤師

2021 年度臨地実習研修（市立池田病院内部研修）修了 岡本京子薬剤師

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### □ NST ラウンド回数・延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ラウンド回	8	7	9	8	8	8	8	7	8	8	7	10	96
延べ人数	95	61	76	88	65	78	80	74	84	84	64	81	930

#### □ NST 加算算定件数 [250 点] (NST 加算 200 点 + 歯科医師連携加算 50 点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	95	61	75	82	62	71	74	70	80	71	54	58	852

#### □ 摂食機能療法算定件数 [185 点]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	315	308	266	376	428	298	261	312	378	305	176	253	3,676

### ■ 研修・教育活動

担当者	演題名	会場・日時
今西 成雄(栄養管理科)	NST の基礎知識、NST 専門療法士について	セミナー3 2021/4/9

## 褥瘡対策チーム

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

役割		所属	氏名
委員長	専任 医師	医局 皮膚科主任部長	近藤 由佳理
委員	専任 医師	医局 皮膚科医師	東 典子
委員	専任 医師	医局 皮膚科医師	吉村 亜紀
委員	専任 医師	医局 皮膚科医師	田邊 稔明 *11月まで
委員	専任 看護師	看護部代表リーダー(4北病棟)	佐伯部 紀子
委員	専任 看護師	看護部代表(中央手術室)	脇本 英昭
委員	専任 看護師	看護部 3北病棟代表	川染 睦美 *12月まで
委員	専任 看護師	看護部 3東→3北病棟代表	デレールバ 幸子
委員	専任 看護師	看護部 3東病棟代表	山口 祐季 *2月から
委員	専任 看護師	看護部 4北病棟代表	宮原 育大
委員	専任 看護師	看護部 4南病棟代表	澤井 紗代
委員	専任 看護師	看護部 4東病棟代表	竹田 みずほ
委員	専任 看護師	看護部 5南→3北病棟代表	石本 琴絵 *12月から3北へ
委員	専任 看護師	看護部 5南病棟代表	福西 加奈 *12月から1月まで
委員	専任 看護師	看護部 5南病棟代表	中山 佳子 *2月から
委員	専任 看護師	看護部 5北病棟代表	山内 和代
副委員長	褥瘡管理者	看護部	小原 順子
委員	理学療法士	リハビリテーション科	佐々木 大地 *PT
委員	作業療法士	リハビリテーション科	奈良垣 大智 *OT
委員	薬剤師	薬剤部	山口 唯
委員	薬剤師	薬剤部	竹島 暁子
委員	管理栄養士	栄養管理科	今西 成雄
委員	管理栄養士	栄養管理科	田中 芳子
委員	医事担当	医療管理課代表	松田 和穂
委員	医療クラーク	ソラスト代表	伊達 昭江
委員	電算担当	ソラスト	山田 敏之
委員	電算担当	ソラスト	村松 靖介

#### ■ 業務概要

褥瘡対策チームは、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、事務職、といった多職種により構成される医療チームである。褥瘡専任医師と褥瘡専任看護師からなる褥瘡対策チームが、褥瘡管理者（皮膚・排泄ケア特定認定看護師）やコメディカル、病棟スタッフと多職種でカンファレンスを行ない治療やケアについて検討している。

活動内容は、褥瘡リスク要因あるいは褥瘡ハイリスク項目のある患者に対し褥瘡予防対策を行

ない、褥瘡保有者に対しては、治療やケアに関する相談と指導を実施している。さらに、褥瘡発生率と有症率の算出や褥瘡対策マニュアルの見直し、褥瘡対策に関する研修や事例検討、診療報酬上必須の褥瘡全体研修の開催等を行なっている。2021年度は、新型コロナウイルス防止対策による会議や集合研修の制限があったため、メール機能やEラーニング、DVDを使用して会議や研修を実施した。

体圧分散マットレスは、超高齢社会となり褥瘡リスクやハイリスク患者の増加により使用頻度が増加しているため必要枚数の整備は重要である。今後も病院の備品として整備して頂けるようチームで提言し取り組んでいきたい。

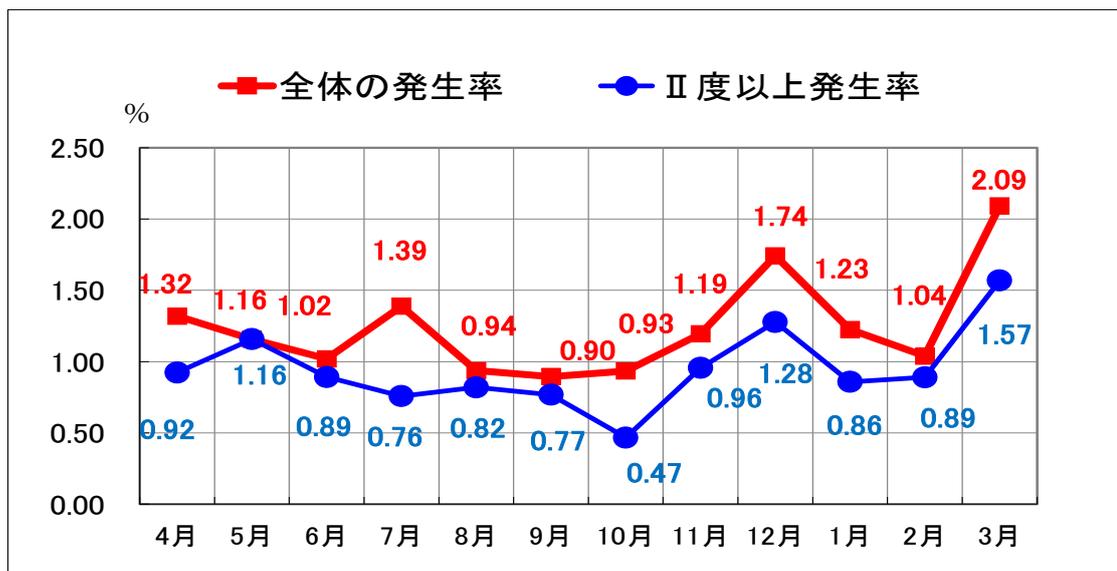
## 《実績》

### ■ チーム活動の実績

#### 1) 年間褥瘡発生率の実績

令和3年度の褥瘡発生率は、前年度比0.01%減の1.25%で、年間目標である褥瘡発生率1.2%以下を達成できなかった（図1参照）

<図1> 年間の褥瘡発生率の推移

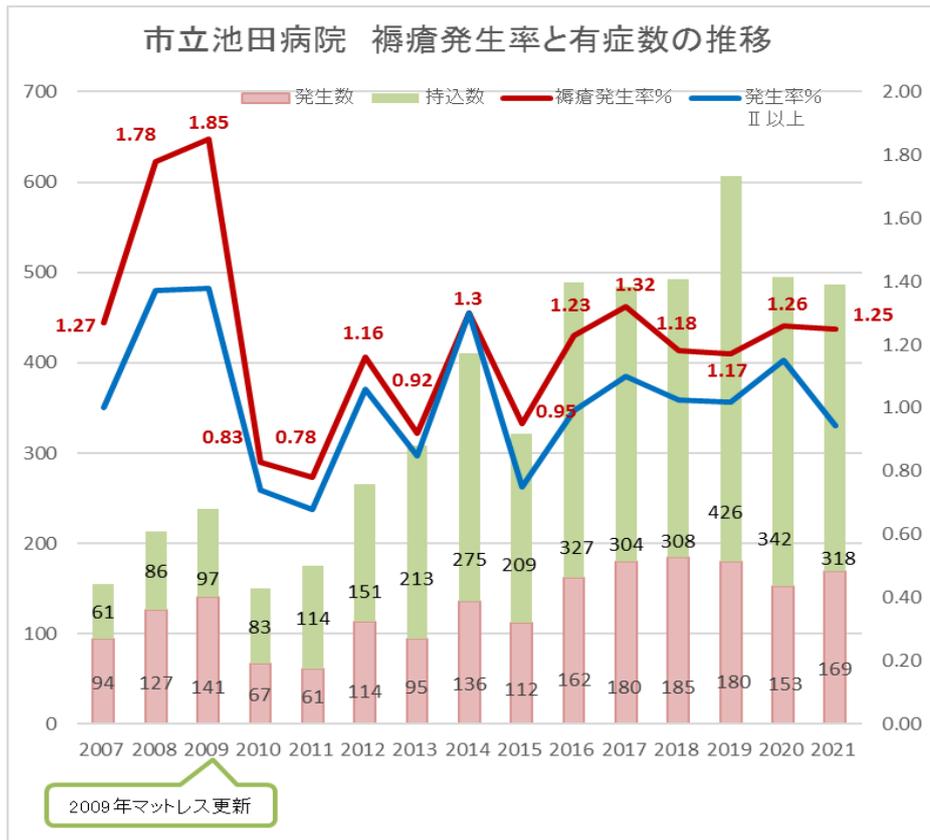


令和3年度褥瘡有症率は、前年度比0.18%増の7.99%であった。

持込み褥瘡患者の増加に伴い褥瘡有症率が上昇しており、業務の繁雑化の要因となっている。

(図2、3参照)

<図2> 年度別褥瘡発生率（全体・ステージⅡ以上）と褥瘡数（発生・持込み）の推移

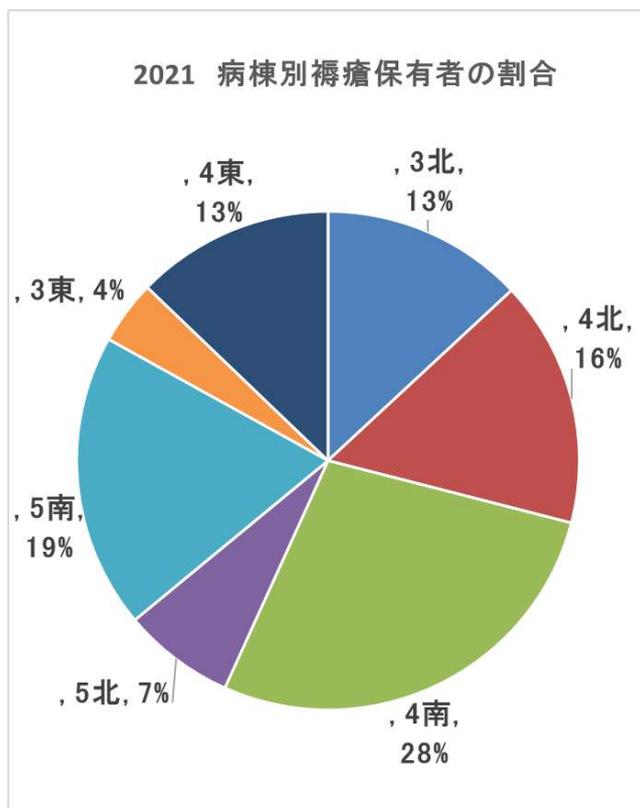


<図3> 年間の褥瘡発生率と病棟別褥瘡保有数の推移



病棟別褥瘡保有者の割合では、4南病棟が28%と一番多く、次に5南病棟、4北病棟の順に褥瘡保有者が多かった。

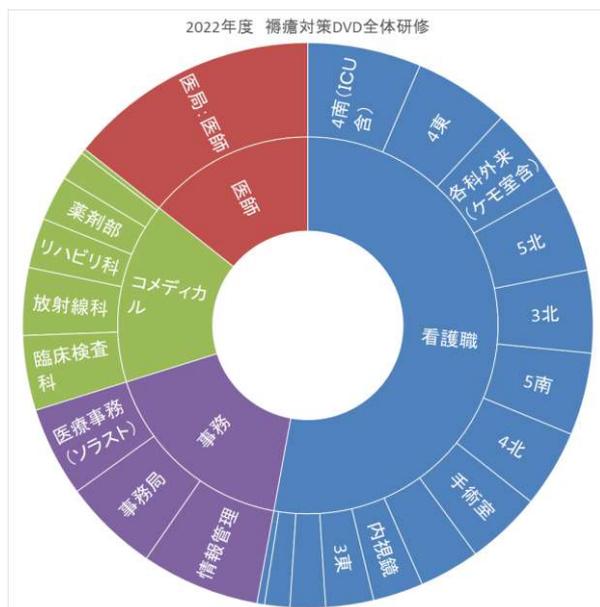
<図4> 病棟別褥瘡保有者の割合



## 2) 教育活動の実績

昨年に引き続き新型コロナウイルス対策により全職員対象の褥瘡対策全体研修は、集合研修からDVD研修へ変更した。受講者数は、700人だった。

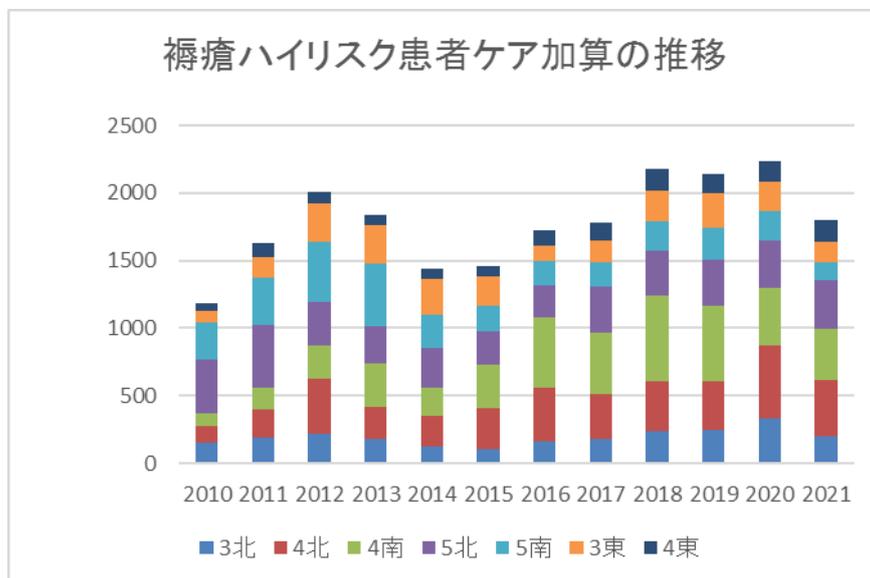
<図5> 褥瘡DVD全体研修の受講者の割合



### 3) 医療経済の実績

今年度の褥瘡ハイリスク患者ケア加算は、前年度比 439 件減の 1796 件 2,235 件で入院患者実数に対し褥瘡ハイリスク患者ケア加算対象の患者は、約 19%であった。

＜図 6＞ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算件数の推移



### ■ 研修・教育活動

指導者・講師	内 容	研修名・日時
ナーシングスキルeラーニング	褥瘡の基本的・標準的なアセスメントとケア実践	看護師ラダー研修Ⅰ・Ⅱ 2021/6/15-7/31 2021/9/1-12/31
薬剤部:竹島 暁子 看護部:和佐田 真歩 栄養課:田中 芳子 リハビリテーション科:奈良垣 大智 ナーシングスキルeラーニング	個別的な褥瘡のアセスメントとケア実践	看護師ラダー研修Ⅲ 2021/6/28-10/30
リハビリテーション科 佐々木 大地 奈良垣 大智	1. 踵の褥瘡の観察ポイントとポジショニング 2. 背部や仙骨部の褥瘡～スモールチェンジ～ 3. 坐骨部の褥瘡～作業療法の視点から～	褥瘡対策DVD全体研修 2021/11/29-2022/2/28

## 呼吸療法サポートチーム (RST)

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

委員長	橋本 重樹
副委員長	高橋 典子
運営委員	
看護師	越智 貴子、衣笠 愛子、山中 美穂 (オブザーバー)
理学療法士	川南 香代子、丹羽 徹、渡辺 彩
歯科衛生士	山田 みつ美
臨床工学技士	杉山 隆志

#### ■ 業務概要

市立池田病院「呼吸療法サポートチーム」(以下 RST という)として患者の呼吸問題に関して検討、改善をはかり医療の質及び患者の QOL や医療安全の向上を図ることを目的として平成 22 年度に発足した。

活動と役割は

- ① 人工呼吸器装着患者の安全管理、合併症予防、人工呼吸器離脱計画、呼吸リハビリテーションなどを行う。
- ② 呼吸器疾患患者に関する問題の抽出及び情報収集・提案。
- ③ RST の啓蒙活動。
- ④ 院内研修会の開催。
- ⑤ 呼吸機器に関する安全管理。

前年度に引き続き、継続したチーム回診と院内研修会を開催することを中心に活動を行った。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

##### □ 1年間の実績

ラウンド期間	2021年4月6日～2022年3月29日
総ラウンド日数	50日(1回/週:火曜日)
患者数	70名
一人あたりのラウンド回数	1～13回 (全ラウンド143回・うちRST医事算定件数119件)
気管挿管患者	27名
NPPV患者	30名
気管切開	3名
人工呼吸器離脱に至った患者	37名(挿管15名 NPPV20名 気切2名)

VAP 発生数	5名
再挿管事例	1名

## ■ 研修・教育活動

### □院内勉強会

担 当 者	演 題 名	会場・日時
集中ケア認定看護師 高橋 典子、衣笠 愛子	RASS、BPS、閉鎖式吸引、VAP 予防	3階東病棟 2021/4/16 2021/4/21
歯科衛生士 山田 みつ美	口腔ケアのポイント	動画聴講 2021/12/27～2022/1/20
リハビリテーション科 渡辺 彩、丹羽 徹	体位ドレナージ	講堂 2022/1/7

## 緩和ケアチーム

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

尾下 正秀（消化器内科）、福田 和人（消化器内科）、太田 博文（消化器外科）  
滝本 佳子、小野 まゆ（麻酔科）、中島 陽（精神科）、藤田 三千恵（麻酔科）  
中西 晶子、村山 洋子、大河 万頭（薬剤師）、渡辺 千尋（理学療法士）、  
浅野 雅也（作業療法士）今仲 直美、高雲 隆史（管理栄養士）小林 身和子、  
音地 真理、東 かおり、吉野 葵（看護師）岸 茜（MSW）、小林 優子（臨床心理士）

#### ■ 診療・業務概要

緩和ケアチームは、麻酔科医、内科医、精神科医、外科医、薬剤師、理学療法士、作業療法士、看護師、臨床心理士、MSW、管理栄養士で構成されている。緩和ケアチーム診療加算を算定し毎日の回診を実施している。回診は主にコアメンバー（麻酔科医、精神科医、薬剤師、看護師）で行い、組織全体による定期カンファレンスを週1回（水曜日）行っている。コンサルテーションシステムにより、随時チーム内のメンバーが対応できる体制をとっている。個別栄養食事管理加算を算定し、管理栄養士による栄養食事管理も行っている。また、緩和ケアチームが介入している患者を対象に緩和ケア食として”ふくまる食”の提供を行っている。

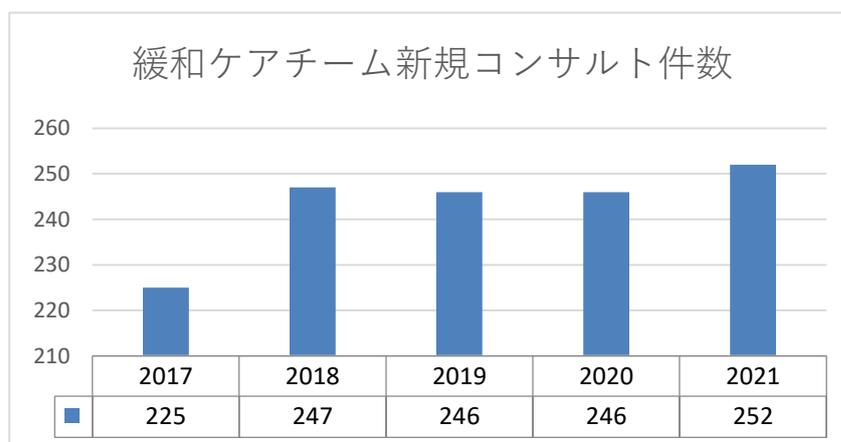
例年、地域連携の一環として開催していた五月山緩和ケア研究会は、今年度 covid-19 対策も含めオンラインと現地とのハイブリッド開催とした。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

##### 1. 緩和ケアチーム活動状況

- ① コンサルト新規件数・・・252件（前年度 246件）



- ② 入院がん患者の緩和ケアサービス利用率・・・8.5%

- ③ 依頼時期（がん患者のみ）・・・診断から初期治療前 2.4%、がん治療中 61.0%、  
がん治療終了後 36.6%

④ 依頼時の依頼内容（がん患者のみ）

疼痛	76.8%
疼痛以外の身体症状	27.6%
精神症状	30.9%
家族ケア	4.9%
倫理的問題	2.8%
地域との連携・退院支援	2.8%
その他	1.6%

⑤ 依頼時のPS値（がん患者のみ）

PS=0	2.4%
PS=1	16.3%
PS=2	24.8%
PS=3	28.0%
PS=4	28.5%

⑥ 転帰（がん患者のみ）

介入終了(生存)	2.8%
緩和ケア病棟転院	15.9%
その他の転院	1.6%
退院(死亡退院、転院は含まない)	61.0%
死亡退院	18.3%
介入継続中(3月31日時点)	0.4%

⑦ 依頼の割合・・・がん 97.6%、非がん 2.4%

- 緩和ケアチームでは毎朝9時からショートカンファレンスを行い、きめ細やかな対応ができるよう努めた。また、定期カンファレンスでは主科の医師に参加を呼びかけ、患者を中心とした治療の方向性や今後の療養について共通理解ができるよう努めた。
- 緩和ケア研修として院内医療職向けの研修を1回/年行った。
- 緩和ケア委員会では、毎月各部署から持ち寄った事例で看護の振り返りを通し、がん看護の質の向上と知識や情報の共有を行った。

■ 学術業績

□ 原 著

著 者	題 名	雑誌名、巻号
Kayo Takimoto, Mayu Ono	Efficacy of Erector Spinae Plane Block for Back Pain Referred from Visceral Pain in the Palliative Care Setting	Pain Medicine Case Reports2020; 4(2):65-9.

## □著書・総説

著 者	題 名	雑誌名、巻号
吉野 葵	特集 終末期の痛みへのケア実践事例集 がん患者編 一般病棟	日総研 エンド・オブ・ライフケア 2021 1・2月号

## □学会発表

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
滝本 佳予、吉野 葵	緩和ケア病床のない一般病院での苦痛緩和のための鎮静の現状と今後の展望	緩和・支持・心のケア 合同学術大会 2020 2020/8/9-10
吉野 葵、滝本 佳代、 江田 香代子、木下 亨、立川 琴羽	症状緩和を目的とした放射線療法を受ける患者への緩和ケアチームの現状と今後の展望	第 35 回日本がん看護学会学術集会 2021/2-4

## ■ 研修・教育活動

### □講演会

発 表 者	演 題 名	学会名、会場、日時
滝本 佳予	緩和医療分野での末梢神経ブロック	九州超音波麻酔アカデミー第 1 回ウ ェビナーfrom 大分九州超音波麻酔ア カデミー第 1 回ウェビナーfrom 大分 2020/9/26
滝本 佳予	診断から看取りまで、地域における急性期病院に 求められる緩和ケア	第 14 回和歌山県がんの痛みを考え る会 (zoom webinar による LIVE 配信) 2021/3/11

### □研修会

市立池田病院 緩和ケア研修会 PEACE 2020 in IKEDA

【日時】2021 年 7 月 1 日 (木) 日 (木) 18 時 20 分～19 時 45 分

【場所】東館 2 階 講堂+zoom ハイブリッド開催

【参加者】110 名

【内容】「地域でのがん緩和ケア～神戸市東部における在宅緩和ケアの実際と病診連携～」

演者 ホームホスピス関本クリニック 関本 剛 先生

## 高齢者サポートチーム (OST: old person support team)

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

神経内科	那波 一郎 (認知症専門医)
総合内科	三砂 雅裕 (認知症サポート医)
循環器内科	古川 哲生 (認知症サポート医)
呼吸器内科	清水 裕平 (認知症サポート医)
看護師長	河野 恵美
老人看護専門看護師	稲野 聖子 (認知症地域支援推進員)
社会福祉士	塚本 夏希 (認知症地域支援推進員)、岸 茜
管理栄養士	今西 成雄
作業療法士	柳沢 崇 (認知症地域支援推進員)
	上村 彩寧 (認知症地域支援推進員)

2022年9月現在

#### ■ 業務概要

1. せん妄ハイリスク患者ケア加算  
入院時に、せん妄リスクの確認と対策のチェックリストを作成する。
2. 認知症ケア加算 I  
日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さがみられ、介護を必要とする患者への対応について、週に1回以上のチーム回診で、多職種に助言する。
3. 臨床倫理のカンファレンスの支援

### 《実績》

#### ■ 統計実績

1. せん妄ハイリスク患者ケア加算



合計 5,148,000

## 2. 認知症ケア加算 I



合計 7,516,300

### ■ 業務実績

#### 1. 院内での取り組み

##### ①せん妄予防対策

チームの専任看護師が毎日病棟回診をして、70歳以上のせん妄ハイリスク患者の確認と多職種連携の調整をした。1年間のせん妄ハイリスク患者は、延べ人数で5,148人だった。

##### ②多職種回診

チームメンバーが認知症やせん妄症状が出ている患者のことで、病棟看護師等へ助言するために、週に1回の回診をした。1年間で、認知症やせん妄症状が出ている患者に対応した数は、延べ人数で4,096人だった（入院後2週間以内の患者）。

##### ③研修

病棟看護師等へ「認知症の医療・介護連携」「認知症とせん妄の症状に対応するときの注意点」のテーマで2回オンライン研修をした。ZOOMのレコーディング分析では、受講回数380回の記録があった。

#### 2. 認知症の地域連携

当院が受託している池田市認知症施策事業で、2021年度には、当院の勤務医9名が認知症サポート医の研修を受講し、認知症初期集中支援チームとの連携に貢献、またケアマネジャー等にオンライン勉強会で講義した。チームの認知症専門医とサポート医は、認知症初期集中支援チーム等からの相談に応じ、外来で認知症患者の診療をした。

## 精神科リエゾンチーム

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

委員長	中島 陽 (精神保健指定医・精神科専門医)
看護師	川添 律子 (認知症看護認定看護師)
薬剤師	太田 麻衣子

#### ■ 診療・業務概要

##### ★目的

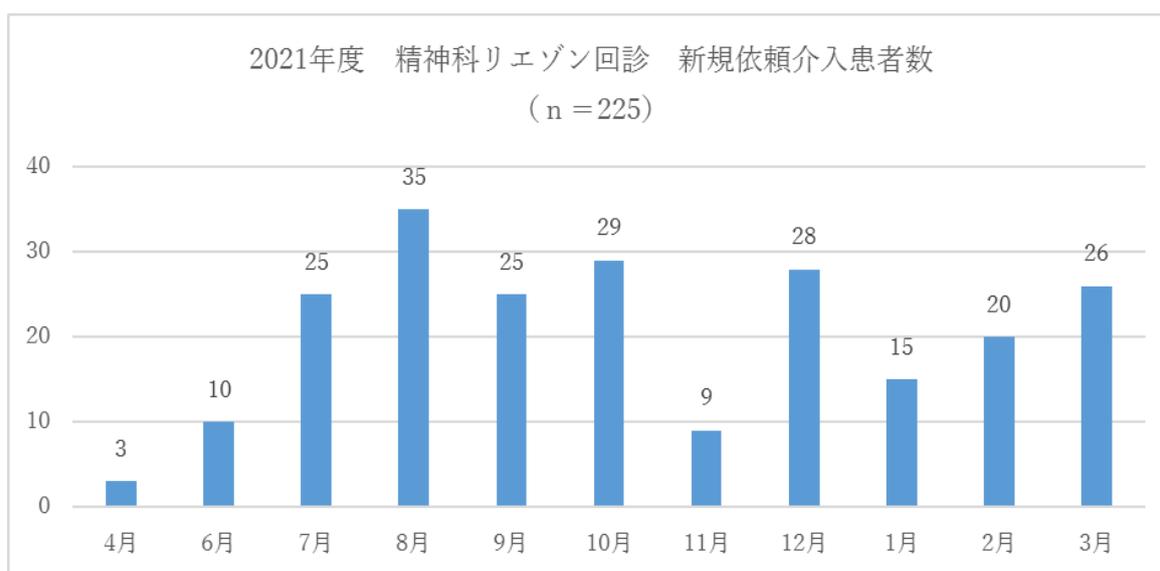
身体疾患診療の中で問題となる、さまざまな精神症状・精神疾患に対して、医師・看護師・薬剤師からなるチームにより、主治医・病棟スタッフと連携して対処するため、平成27年度5月より発足した。

##### ★リエゾン回診

- ・週1回の定期回診と個別の臨時診察、助言を行う。
- ・不眠、せん妄、不安、抑うつ症状などの様々な精神症状に対応する。
- ・救急搬送された高齢者・認知症合併者、ICU入室者、ベンゾジアゼピン系薬使用者、向精神薬多剤大量使用者などをあらかじめ拾い出し、早期に対応する。
- ・精神症状には、薬剤により誘発ないし悪化するものがあり、薬剤調整により症状の改善をはかる。
- ・以上の対応を、主治医と病棟スタッフと連携して行う。

### 《実績》

#### ■ 統計実績



## ライフサポートチーム

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

委員長	◎伊藤 基敏
副委員長	高橋 典子
医師	上岡 孝人、村上 慎一郎
看護師	越智 貴子、衣笠 愛子、山中 美穂（オブザーバー）
理学療法士	浅野 雅也、田中 大貴
放射線科	村上 裕紀
臨床検査科	大谷 美奈子
薬剤部	森井 悠介
ソラスト	益田 陽子

#### ■ 業務概要

- 1) 市立池田病院ライフサポートチームとして、院内のスタッフが統一した技術・知識を身につけることによって、急変時に対応できるチーム医療を行うことができる。
- 2) CPR の事例を検証することにより、医学的客観性あるフィードバックができ、蘇生の質が向上することを目的とする。
- 3) 役割として
  - ・院内教育として ICLS コース開催、BLS 研修、ラピットレスポンスシステム（RRS）の実施とリーダーの育成
  - ・CPR 事例の検証を行い、情報を共有し、担当委員が部署へ建設的フィードバックを行う
  - ・ライフサポートチームの啓発活動
  - ・救急カートの整備（監査と物品定数見直し）
  - ・自部署の大規模災害机上訓練計画に参加し、シミュレーション実施に関わる

### 《実績》

#### ■ 統計実績

救急カート監査	2回(8月・2月)
CPR 発生件数 / 事例検討件数	11件 / 2件 (4階東病棟・リハビリテーション科)
除細動・挿管勉強会	1回(11月)
COVID 下 CPR 時のプロトコル作成、および動画 DVD の作成	
ラピットレスポンス(RRS) 発動件数	1件

## ■ 研修活動

開催日	講師	研修内容	対象者
11月12日	村上、高橋、越智、衣笠	除細動・挿管、ガムエラスティックブジー	医師・看護師・薬剤師・放射線技師 計28名
10月29日	村上、高橋、越智	CPR事例振り返り検証	リハビリテーション科
11月24日	村上、高橋、越智	CPR事例振り返り検証	4階東病棟看護師

## 患者サポートチーム

### 《概要》

#### ■ 組織・スタッフ

相談員：看護師 榮口 秀子（相談窓口）

安部 圭子（相談窓口）

大江 つよみ（相談窓口）

事務職員 松田 和穂、祝田 繁樹（医療管理課渉外）

フロアマネージャー担当（ソラスト）

#### ■ 業務概要

病院1階ロビーで患者様、ご家族様、地域の皆様が、安心して当院を受診いただくために、気軽に相談を受けられる窓口としての体制を整え、各診療科の医師、看護師や多部門の職員と連携をとりながら対応をしています。

#### 相談内容：

- ・受診相談 … 病状について、どの診療科を受けたらよいのかわからないなど。
- ・受療相談 … 今、受診するつもりは無いが、病気について気になること。
- ・看護相談 … 入院、通院患者様やご家族様の様々な不安、疑問、お悩みなど。
- ・がん相談 … 患者様、ご家族様の病気や治療に伴うお悩みなど。
- ・お薬相談 … お薬に関すること。
- ・栄養相談 … 食事・栄養に関すること。
- ・医療福祉相談 … 介護保険、社会福祉制度、自宅での療養上の不安など。
- ・医療費用相談 … 入院、通院での経済的問題や各種保険について。
- ・苦情相談 … 病院の様々な苦情、ご意見など。
- ・受診支援 … 車椅子の患者様の受診にかかわる介助など。

### 《実績》

#### ■ 統計実績

#### 令和3年度 相談件数

#### □ 月別相談内容別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診	82	107	103	77	127	180	126	147	126	288	281	196	1,840
受療	251	352	421	404	450	352	385	361	385	429	350	341	4,481
医療福祉	5	4	2	3	4	5	0	1	3	3	3	5	38
医療費用	5	0	0	0	1	2	3	2	5	5	2	7	32
苦情	16	21	13	15	10	5	7	14	13	7	7	9	137
看護・がん	3	3	5	5	1	1	13	9	17	7	6	13	83
その他	128	87	96	65	105	73	57	50	80	56	41	208	1,046
合計件数	490	574	640	569	698	618	591	584	629	795	690	779	7,657

### 《概要》

#### ■ スタッフ

臨床心理士（非常勤）

小林 優子・小野 潤子・栗山 七重（2022年4月～）・羽下 飛鳥（～2022年3月）

#### 臨床心理室について

市立池田病院では、小児科の児童心理として約 25 年にわたり心理療法が行われていた。平成 16 年 7 月には、病院の増築に伴い臨床心理室を整備し、カウンセリング室、プレイルームの 2 室が新たに設けられた。小児科以外からの心理療法へのニーズに応えられるよう、臨床心理室を病院の中央部門として独立させ、臨床心理士による心理療法を行っている。

対象は、全科からの依頼に応じて、子どもから大人までとなっており、心身症、神経症、うつ症状、発達障害などの内容を扱っている。特に、子どもへの心理的ケアについては、平成 18 年度から、心理士を増員し、母子へのカウンセリングを行っている（現在は、心理士 3 名）。親へのカウンセリングでは、子どもに対する接し方を共に考えたり、さらには、親自身の悩みなども扱っている。子どもに対しては、プレイセラピーやカウンセリングを行う。このように、親子を双方から支えることで、その親子にとって、よりよい方向に向かうようなサポートができると考えている。

また、入院患者に対しての心のケアも行っている。総合病院に属する心理室という特色から、守秘義務に配慮しつつ、医師・コメディカルスタッフとの連携を密に行い、総合的なサポートが可能な体制を目指している。

心理療法の内容は、カウンセリング、子どもへのプレイセラピー、芸術療法、箱庭療法、ソーシャルスキル・トレーニングなど多岐にわたり、その他、子どもの発達相談にも応じている。心理・発達検査では、描画などの投影法や質問紙法、発達検査などのテストバッテリーを組み、患者の心の状態や発達面、それぞれが抱えるテーマを見立てている。その上で、それぞれが自己の可能性を生かし、自己実現を図れるよう、共に考え、サポートしている。また、平成 28 年度からは、神経心理学検査を実施しており、神経内科と連携し、認知症患者や高次脳機能障害の患者に対し、神経心理学的評価を行っている。

また、平成 20 年 4 月より、病院職員に対する心理相談を設け、精神的な支援が必要と思われる職員の相談を受け、助言や他機関への紹介などを行っている。また、平成 23 年 4 月から 6 年間にわたり、院内掲示版において、『臨床心理室だより』を掲示し、臨床心理学の理論から映画にまつわる心理的なテーマなど様々な話題を提供して、院内スタッフがより身近に臨床心理の理論に接してもらえるよう努めた。

今後も上記内容に加え、地域における関係機関との連携をより強化し、当病院における臨床心理の充実を考えている。

## 《実績》

### ■ 統計実績

#### 2021年度 実績数(延べ件数)

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
心理面接・経過フォロー等	18	21	25	17	21	16	
心理検査・知能検査	8	12	14	10	11	12	
神 経 心 理 学 検 査	8	5	10	8	10	9	
合 計	34	38	49	35	42	37	
種 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
心理面接・経過フォロー等	28	18	14	22	18	14	232
心理検査・知能検査	13	12	10	12	8	7	129
神 経 心 理 学 検 査	6	8	9	7	8	9	97
合 計	47	38	33	41	34	30	458

### ■ 研修・教育活動

指導者・講師	内 容	実習名・日時
羽下 飛鳥	「メンタルヘルスについて」	2021年度 新規採用職員向け合同研修 2021/4/2

### 《臨床心理室の利用方法のご案内》

一般患者さんのカウンセリング、心理療法、各種検査については、院内各診療科から依頼を受けて予約制で行っています（予約管理は小児科で行っています）。院外からは直接お受けしていませんので、各診療科を通して予約ください。

詳細ならびに職員の心理相談に関しては、臨床心理室の院内メールにて、お問い合わせください。

# 病 院 だ よ り

- 第39号 2021年4月発行
- 第40号 2021年7月発行
- 第41号 2021年10月発行
- 第42号 2022年1月発行



# 市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第39号

2021年4月発行

## 病院長就任のご挨拶



病院長 尾下 正秀

令和3年4月1日に柴田邦隆先生の後任として病院長に就任いたしました 尾下 正秀（おした まさひで）です。よろしくお願いいたします。

私は、大阪大学を卒業後、これまで大阪大学医学部附属病院、国立大阪南病院（現・大阪南医療センター）、大阪警察病院で勤務してまいりました。前任地である大阪警察病院で、医師生活の3分の2である24年間、主に消化器内科医として過ごしてきました。

皆様におかれましては、昨年来、持続する、終息の見えない新型コロナウイルス感染の広がりによって、暮らしは大きく変容し、緊急事態宣言など緊張感の高い生活をしいられる中、医療現場には多くの温かいお言葉をいただいていることに深謝いたします。

当院においても、新型コロナウイルスに翻弄され、病棟の一部閉鎖・救急受け入れの制限などの対応を取らねばならないこと、ご迷惑とご心配をおかけしております。

当院は、上記基本理念のもと、『私たちは、安全で安心な地域社会の実現にむけて、公立病院としての役割と責務を果たすとともに、創意と思いやりのある医療を実践し、地域住民および地域医療機関に信頼される病院であり続けることを目指しています。』とし、7つの基本方針（①地域社会に応える計画的な病院事業の推進、②誠実で思いやりのある患者さまの立場にたった医療の実践、③地域の医療水準の向上をめざし、広域的な医療連携・保健連携の推進、④地域の急性期病院として、安全で質の高い医療の提供、⑤全ての職種が互いに信頼し協働した、チーム医療および組織横断的活動の推進、⑥働きがいのある病院づくりに努め、地域医療を支える優れた医療人の育成、⑦意識変革をもって病院事業を遂行し、安定した経営基盤の確立）に従って行動しています。

池田の医療を支える地域医療支援病院として、より一層、皆様方から愛される北摂地域のリーディングホスピタルを目指して、微力ではありますが、頑張りますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

### 患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

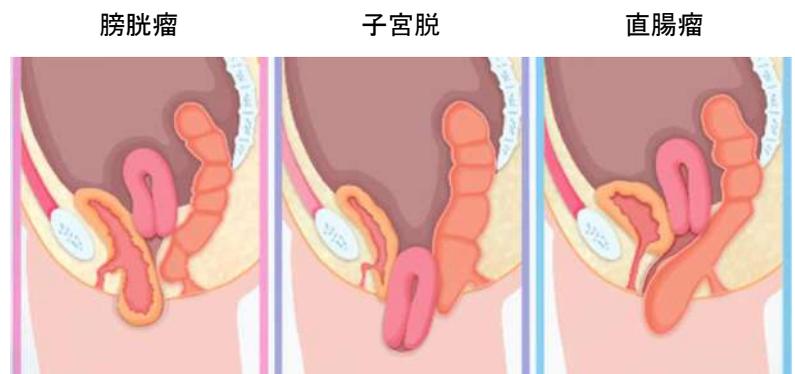
# 骨盤臓器脱の治療について

骨盤臓器脱は女性の生涯罹患率が10%を超えるとも言われており、珍しい疾患ではありません。女性の骨盤内には、膀胱、子宮、腸管などの臓器が収まっています。それらを支える支持組織である骨盤底筋群が出産や加齢により弛緩もしくは脆弱化し、膣口から外側に下がってくることで生じます。

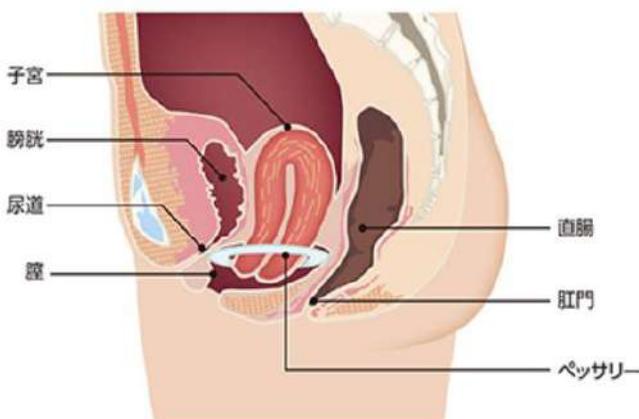
治療方針としては、骨盤体操やペッサリーリングなどによる保存的治療と手術療法の二つに大別されます。手術療法については、骨盤臓器脱の程度や合併症の有無により総合的に判断し、術式を決定しています。

骨盤臓器脱には、右図のように、膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤などが挙げられます。膣壁の前側には膀胱、背側には直腸があり、子宮が下降することで膀胱瘤や直腸瘤を伴うことがあります。

骨盤臓器脱の主な症状としては、膣内脱出感、膣内異物感、それによる歩行困難、また擦過による性器出血が挙げられます。膀胱瘤を伴えば、排尿障害や過活動膀胱症状などが、直腸瘤を伴えば、排便障害などが、それぞれ生じます。



## 保存的療法



ペッサリーリングを膣内に入れ、骨盤支持組織を支えて子宮の下降を止める方法です。最も侵襲の少ない治療法ですが、膣内の洗浄やペッサリーリングの交換による通院が必要となります。

また、ペッサリーリングが合わず脱落などで使用できない症例や、性器出血、感染、排尿障害、膣びらんの形成などにより長期に継続できない症例もあります。

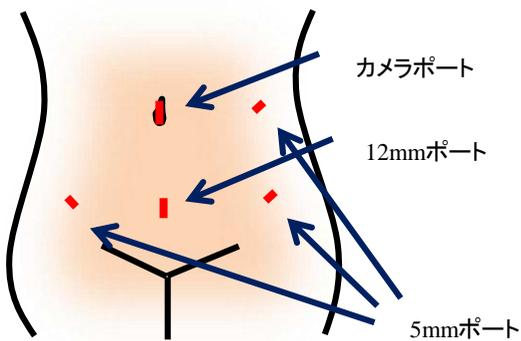
# 手術療法



手術療法として、経膣的メッシュ手術であるtension-free vaginal mesh (TVM) 手術は再発も少なく良好な成績が得られています。しかし、TVM手術はメッシュトラブル（細菌感染による術後合併症の増加）に対して、米国のFDA（Food and Drug Administration）から警告が出ています。

一方、腹腔鏡下仙骨膣固定術（Laparoscopic Sacrocolpopexy; LSC）が保険適用となり、様々な骨盤臓器脱に対して適応があります。また、前述の経膣手術に比べ、腹腔鏡下で手術を施行するため、感染などのメッシュトラブルが少ないと言われています。さらに、性的活動を有する若年者にも適しています。

## 当院での腹腔鏡下仙骨膣固定術について



仙骨岬角部位を露出させ、靭帯に対してタッカーによるメッシュ先端の固定を行っています。



腹腔鏡下で子宮底部の切除を行い、膀胱壁と膣壁の剥離を十分に施行した後に、メッシュで膣から仙骨にかけて固定を行っています。メッシュ部位はすべて、腹膜を縫合し、腹腔内に露出しないようにして、手術を終了しております。



当院は地域医療の拠点病院として近隣の病院や診療所との連携を進めております。初診の患者さまは、一度かかりつけ医にご相談ください。

# 新任医師のご紹介



まつもと まさゆき  
松本 昌泰 神経内科

患者さまやご家族から「あなたに会えて良かった」と言われる医療人であるべく、努めています。座右の銘は「至誠通天」、好きな言葉は「人は人に生かされ、人は人のために生きる」です。徳島県の出身で、大阪大学を昭和51年に卒業し、阪大病院、米国メイヨークリニック、広島大学（教授）、星ヶ丘医療センター（院長）、堺市立総合医療センター（顧問）での勤務を経て4月1日より当院の顧問として採用されました。何卒宜しく願い致します。



やまもと さとこ  
山本 聡子 腎臓内科

9年ぶりに、こちらで勤務させていただくことになり、とても嬉しく思っております。あらゆる腎疾患に対して丁寧な治療を心がけて参りますので、どうぞ宜しく願います。



にしむら ゆうき  
西村 祐希 麻酔科

夫の留学に伴いアメリカに行っていました。が昨年夏に帰国しました。再び市立池田病院で働けることを嬉しく思っております。よろしく願います。



やまもと てつや  
山本 哲也 泌尿器科

誠実な医療でみなさまのお役に立てよう頑張ります。



いしかわ なぎさ  
石川 渚 産婦人科

患者さまに寄り添った医療を心がけて頑張っています。よろしく願います。



すえかた ゆう  
末方 由 耳鼻  
いんこう科

初めまして。耳鼻いんこう科で4月より働かせて頂くことになりました。末方 由です。趣味は、海外ドラマと映画鑑賞です。どうぞ宜しく願致します。



おおかわら ももこ  
大河原 桃子 腎臓内科

患者さまに寄り添った医療を目指し、対話を重視した治療を心がけています。4月より宜しく願致します。



おかもと しゅう  
岡本 崇佑 泌尿器科

患者さまに信頼していただける医師を目指して頑張ります。



いしかわ ふみあき  
石川 史彬 消化器内科

お世話になります。石川史彬と申します。患者さまの視点に立って医療を提供できるように頑張ります。よろしく願致します。



ゆかわ まさお  
湯川 真生 乳腺・内分泌外科

新しい環境には、20年ぶりで不安ですが楽しみでもあります。早くなじめるよう頑張ります。



むかい ゆかり  
向井 ゆかり 産婦人科

前任のペリタス病院では、体外受精を含む不妊治療を中心に産科治療、婦人科治療に従事して参りました。市立池田病院でも、微力ながら地域医療に貢献できますよう頑張りたいと思います。宜しく願致します。



まつうら ゆうすけ  
松浦 雄祐 消化器外科

安心感、満足感を与えられる医療を提供できるように精進してまいります。よろしく願います。



さとう ひろみち  
佐藤 広陸 消化器外科

消化器外科後期レジデント4年目の佐藤広陸です。市立池田病院の外科を盛り上げられるように尽力致します。



くぼた せいこ  
窪田 星子 歯科・歯科口  
腔外科

みなさまのお役に立てよう頑張ります。よろしく願います。



あおき だい  
青木 大 総合内科

当院で3年間研修し、福知山で勤務しておりましたが、この度、再びお世話になることとなりました。患者さんの言葉に耳を傾け、本当に困っていることを解決できるような医療を提供できるようがんばります。よろしく願ひ申し上げます。



まつのかねえ  
松野 香葉絵 内分泌・  
代謝内科

患者さんのために日々努力します。よろしく願致します。



すぎやま ゆうや  
杉山 優弥 形成外科

はじめまして。兵庫医科大学から来た杉山です。形成外科2年目は市民病院ならではの症例を勉強したいと思っております。頑張りますので仲良くして下さい。宜しく願致します。



さかもと さえか  
坂本 紗英花 内分泌・  
代謝内科

初期研修医から専攻医になり、より一層勉強に励み知識と技術を身につけたいと考えています。至らない点多々あると思いますが、ご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しく願致します。



たかち こう  
高地 耕 消化器外科

個々の患者さまに合わせた治療を行っていきます。



なかお たけし  
中尾 武史 眼科

4月より眼科部長として勤務させて頂いております中尾武史です。眼科の中でも専門分野は白内障・角膜疾患ですが、その他の幅広い眼科疾患にも対応致します。安心できる医療を提供するように頑張ります。宜しく願致します。



にしむら けんじ  
西村 賢二 腎臓内科

腎臓内科、透析医療を中心に治療に従事しております。地域の皆さまのお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしく願致します。



なかむら まさと  
中村 正人 整形外科

数々の市立病院や大学病院での経験を生かして当院の治療に貢献したいと思ひます。当科では一番の若手となりますが、精一杯勉強していきます。何卒宜しく願致します。



たなべ としあき  
田邊 稔明 皮膚科

個々の患者さまに合わせた治療を行っていきます。



すぎお りょう  
杉尾 諒 消化器内科

2017年度から2019年度まで市立池田病院で、2020年度は市立豊中病院で勤務しておりました。4月よりこちらに戻って診療させて頂きます。宜しく願致します。



souma かずまさ  
相馬 一超 消化器内科

一生懸命頑張りますので、よろしく願致します。



みのうら ゆうたろう  
箕浦 悠太郎 消化器内科

お酒、音楽、ファッション、テニス、漫画等が好きです。時節柄、まだ難しいかも知れませんが、皆さんと趣味の話共有できれば嬉しいです。仕事は精一杯頑張ります。宜しく願致します。



ふくだ にじえ  
福田 虹恵 消化器外科

色々ご迷惑をお掛けすることがありますが、着実に一歩ずつ成長できたかと思っておりますので、あたたかく見守っていただければと思います。どうぞ宜しく願致します。

## お問合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想などをお寄せください。

〒563-8510

大阪府池田市城南3丁目1番18号

Tel 072-751-2881 (代表)

Fax 072-754-6374

URL <https://www.hosp.ikeda.osaka.jp>

231 編集・発行：市立池田病院 広報委員会





# 市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第40号

2021年7月発行

## スマホで診察の呼び出し状況が確認できます

当院では、令和3年6月14日より患者さまご自身の携帯電話やスマートフォン等で診察の進行状況が確認できる「診察状況Web確認サービス」を導入しています。

外来受診の際に診療科受付でお渡しする案内カードにサービスを利用するためのQRコードが印刷されています。このQRコードを携帯電話等で読み取ることでサービスをご利用いただけます。



### ご確認いただける内容

- ①受診予定の診療科
- ②担当医師
- ③進行状況
- ④お呼び出し状況・案内コメント

複数の診療科を受診される場合も、受診されるすべての診療科のお呼び出し状況が確認できます。

※眼科、歯科・歯科口腔外科については、現在、対象外となっております。

また電子メールによる通知機能もご利用いただけます。「メールでお知らせ」メニューから登録いただくことで、診察の順番が近づくとお知らせメールが届きます。

なお、本サービスのご利用にはインターネットへの接続が必要となります。当院では、Free Wi-Fiも設置しておりますので、合わせてご利用いただけます。

詳細については当院ホームページ及び院内掲示をご覧ください。

### ① メールでお知らせ を選択します。



右上の「メールでお知らせ」をクリック  
メールアプリが立ち上がります。

※ 迷惑メール設定をしている場合、  
本アドレスの解除が必要です。  
xxxxx@licarenote.jp

### ② そのまま空メールを送信してください。

### Wi-Fi提供エリア

- 外来
  - ・ 総合受付
  - ・ 診療科待合 他
- 病棟
  - ・ 各階デイルーム
  - ・ 産科エリア
- その他
  - ・ 健診センター 他



### 患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

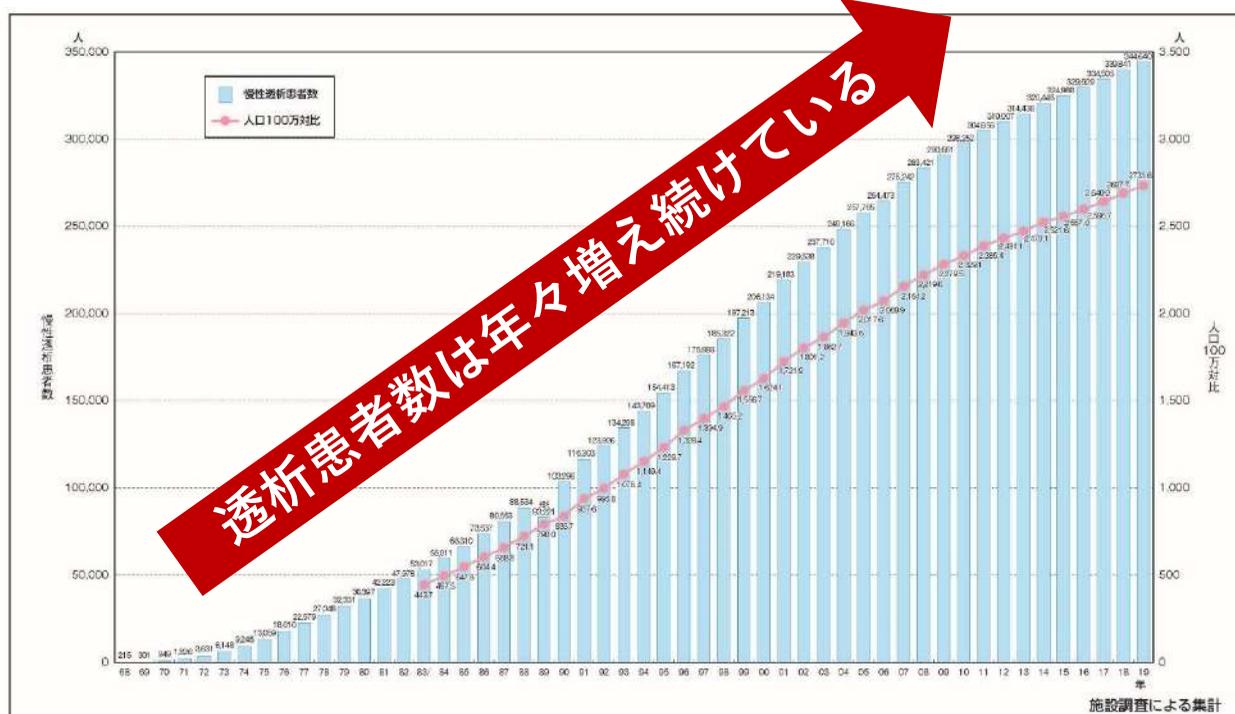
# 日本人の12.9%が慢性腎臓病(透析予備軍)です

「わが国の慢性透析療法の現況」によると、2019年の透析導入患者数は40,885人で、平均年齢は70.42歳と初めて70歳を越え、原疾患は糖尿病と腎硬化症で6割近くを占めていました。

厚生労働省は2028年までに年間新規透析導入患者数を35,000人以下に減少させることを目標に掲げています。

そこで、当院腎臓内科は新規透析導入患者数の減少を目標として、特に生活習慣病に起因する慢性腎臓病(CKD)の進行抑制に積極的に取り組んでいきます。

## 慢性透析患者数の推移



【一般社団法人日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況 (2019年12月31日現在)」】

透析予備軍である**慢性腎臓病の患者さまは人口の12.9%**とされています。

また、新しく透析を開始する方の半数以上が**糖尿病や高血圧症が原因**であり、身近な病気から**知らないうちに腎不全が進行**していきます。

一方で、早期に診断して食事療法や生活指導、薬によって**血圧や血糖、脂質などの治療を適切に続けることで、腎不全の進行をゆっくり**にすることができます。

**早期発見のために年に1度は健康診断を！**

# 慢性腎臓病の治療のながれ

## 生活習慣病の予防

健診

早期発見

かかりつけ医

血圧・血糖・脂質などの治療  
生活指導

腎臓専門  
医療機関

腎臓病の原因や合併症の検査  
腎臓病教育や指導  
透析や腎移植に関する説明と準備

当院では、**かかりつけ医での治療を中心**としながら、慢性腎臓病の進展を少しでも抑制できるように各専門職種と協力して治療に取り組んでいます。

**慢性腎臓病の教育入院プログラム**を開始するため、現在、準備を進めているところです。  
**早期のうちに**、医師をはじめとした**腎臓病治療に関わるあらゆる医療職種と連携し合い**、少しでも**腎臓病への理解を深め**ていただき、よりよい治療に繋げていきたいと考えています。



当院は地域医療の拠点病院として近隣の病院や診療所との連携を進めております。初診の患者さまは、一度かかりつけ医にご相談ください。

# 「市民公開講座」毎月1日に動画配信中

今年度から「市民公開講座」を動画配信しています。  
パソコンやスマートフォンなどから、いつでもご覧になれます。ぜひご視聴ください。

4月	<u>生涯元気で過ごすために～レッツセルフチェック～</u> 内分泌・代謝内科主任部長 兼 健診センター長 医師 津川真美子	専用QRコード 
5月	<u>心不全について～その症状年齢のせいにはしていませんか～</u> 循環器内科 医師 古川哲生	専用QRコード 
6月	<u>眠れない時に考えるお薬以外の方法</u> 救急総合診療部 医師 中尾真一郎	専用QRコード 
7月	<u>過活動膀胱について</u> 泌尿器科主任部長 医師 井上均	専用QRコード 
8月	<u>認知症のおはなし</u> 神経内科主任部長 医師 那波一郎	8月1日 配信予定



## ＜動画の視聴方法＞

- ① 各月の専用QRコードからアクセスすると、直接動画を見ることができます。
- ② インターネットで検索

市立池田病院 市民公開講座



## 感染対策を実施中

当院では、新型コロナウイルス感染症対策として下記のとおり実施しています。

- 職員に対して、サージカルマスクの着用、手指衛生を適切に実施するよう指示しています。
- 職員に対して、毎日の検温等の健康管理を適切に実施するよう指示しています。
- 職員が身体の不調を訴えた場合は自宅待機されるなど、適切な対応をとっています。
- 発熱患者への対応として、事前に電話での受診相談を行い、実際に診察する場合には、時間的または空間的に動線を分けるなどの対策を講じています。
- 受付における感染予防策（職員、来院者双方の適切なマスク着用など）を講じています。
- 共用部分、共用物等の消毒、換気等を適時、適切に実施しています。
- マスク等を廃棄する際は適切な方法で実施しています。



手洗い



マスク着用



室内の換気



検温管理

## お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、  
病院だより等のご意見・ご感想などをお寄せください。

〒563-8510

大阪府池田市城南3丁目1番18号

Tel 072-751-2881（代表）

Fax 072-754-6374

URL <https://www.hosp.ikeda.osaka.jp>

235 編集・発行：市立池田病院 広報委員会





# 市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第41号

2021年10月発行



なかお たけし

眼科部長 中尾 武史

2021年4月より大阪大学医学部附属病院から市立池田病院の眼科へ部長として赴任してまいりました中尾武史と申します。

地域の先生方と協力しながら患者さまの目の健康を保つよう診療を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 幅広い眼科疾患に対応いたします

当院の眼科では年間700人以上の新規紹介をいただいております、下記のような幅広い眼科疾患に対応しております。

- ・ 白内障
- ・ 角膜・結膜などの眼表面疾患
- ・ 緑内障
- ・ 黄斑変性、網膜血管閉塞症、黄斑浮腫などの網膜疾患
- ・ ぶどう膜炎や強膜炎などの眼炎症疾患
- ・ 視神経疾患、眼球運動の異常や視野障害
- ・ 小児の屈折異常、斜視、弱視
- ・ 高血圧、糖尿病など全身疾患に関連する目の疾患および眼外傷

眼感染症、原田病、甲状腺眼症、視神経炎など点滴治療が必要となるような疾患については、入院治療を行います。眼球打撲など眼周囲の画像診断が必要となる場合は、可能な限り当日に検査を行います。

また、眼瞼や眼周囲の手術を必要とする疾患については、当院の形成外科へ院内紹介させていただきます。

視能訓練士を中心にロービジョンケアにも注力しております。

白内障とは、眼球の中でレンズとして機能している「水晶体」が濁ってくる病気です。白髪や肌のしわと同じく正常な加齢変化で、通常は50代から始まります。

ある程度以上濁ると見えにくくなるため、手術が必要です。白内障の目薬は進行を遅らせる目的で使用しますが、改善させることはできません。手術では、水晶体を取り除いた後、眼内レンズを挿入します。眼内レンズにより、遠視・近視・乱視を矯正することが可能です。



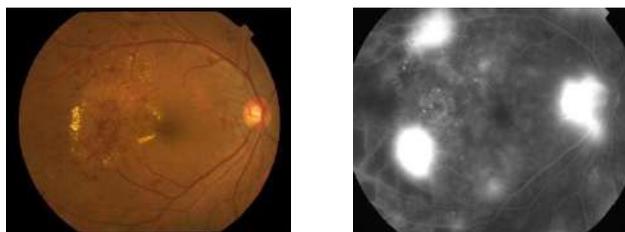
白内障による水晶体の混濁

### 患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

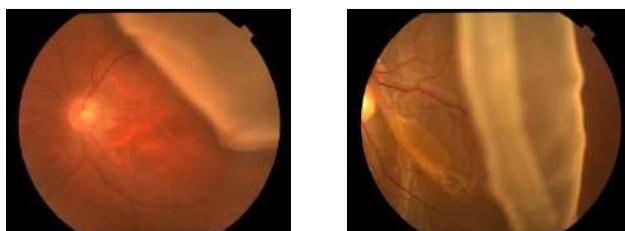
糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症などの網膜疾患、眼炎症疾患に対しては、必要があれば蛍光眼底造影検査を行い、ステロイド薬の局所注射や抗VEGF薬の硝子体注射、網膜光凝固術など適切な治療を行います。

網膜光凝固術は、パターンスキャンレーザーの導入によって従来よりも痛みが少なく低侵襲・短時間で行えるようになり、患者さまの負担が軽減されました。



糖尿病網膜症の蛍光眼底造影検査

硝子体手術は、広角観察システムを用いたコンステレーション®ビジョンシステムを使用し、網膜剥離、糖尿病網膜症、黄斑疾患などに対応しています。



裂孔原性網膜剥離

## 入院による手術治療を行います

当院の眼科では、年間900件程度の手術を行っております。そのうちの多くを占める白内障の手術は、1泊2日を基本に実施しています。

### 【令和2年度実績】

- ・水晶体再建術 852件  
（うち、多焦点眼内レンズ15件、眼内レンズ強膜内固定6件）
- ・硝子体手術 75件
- ・その他外眼部手術等 18件

### 【白内障手術】

白内障手術は、通常10分程度で済み、痛みはありません。2ミリの傷口から濁った水晶体を取り除き、眼内レンズを挿入しています。

眼内レンズには数十年の歴史があり、安全性は十分に確立されています。最近では乱視を補正する効果や遠近両用の効果を持つプレミアム眼内レンズも登場しています。

当院では高精度の検査機器や経験豊富なスタッフとともに、一人一人の患者さまに最適なレンズを選択すべく努力を重ねています。



当院は地域医療の拠点病院として近隣の病院や診療所との連携を進めております。初診の患者さまは、一度かかりつけ医にご相談ください。

# 白内障手術の流れと看護について

眼科で入院される患者さまは5階南病棟もしくは3階北病棟での療養になります。白内障手術は、日帰り、1泊2日、2泊3日のいずれかになります。今回は、手術前から退院までの流れをご紹介します。

## 手術前

患者さま用の予定表を使って手術予定の説明を行います。手術2時間前より30分毎に瞳孔を開く点眼薬をさします。午前中に手術の場合、安静解除後に昼食となります。手術着に着替え、手術直前に麻酔の点眼薬をさし、車いすで手術室へ行きます。

予定表

手術当日		退院(術後1日目)	
時間	10時30分～12時30分 手術室にて手術を行います。	13時～15時 手術室にて安静に過ごします。	16時～18時 手術室にて安静に過ごします。
医師	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
看護師	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
薬剤師	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
理学療法士	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
作業療法士	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
言語聴覚士	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
検査技師	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
放射線技師	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
看護助手	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
病室	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
食事	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
入浴	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
排泄	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。
その他	手術室にて手術を行います。	手術室にて安静に過ごします。	手術室にて安静に過ごします。



## 手術直後

手術室から車いすで点滴をしながら病室に戻ります。手術後1時間は安静です。点滴は安静解除後に終了します。眼を保護するガーゼカッペは翌朝、看護師が確認するまで外さないでください。手術後は洗顔・洗髪・シャワー浴はできません。

## 手術翌日（退院日）

看護師が朝にガーゼカッペを外し、顔を拭きます。その後、目薬（3種類）をさしてください。目薬をさしたら、カッペ（プラスチック製の眼帯）をつけて、8時30分より眼科外来で診察し、問題がなければ退院となります。※カッペは次回の外来受診日まで就寝時装着してください。日中は外しても問題はありません。

カッペ



## 目薬の上手なさし方

- ①手をせっけんと流水でよく洗って、したまぶたを下にひく。
- ②容器の先端がまぶたの縁やまつげに触れないように点眼し、あふれた点眼液は清潔なティッシュペーパーなどで拭き取ってください。
- ③点眼後は静かにまぶたを閉じ、しばらくまばたきをしないで目をつむっておきます。

※目薬は1日4回必ずさしましょう。



# 「市民公開講座」毎月1日に動画配信中

今年度から「市民公開講座」を動画配信しています。  
パソコンやスマートフォンなどから、いつでもご覧になれます。ぜひご視聴ください。



## <動画の視聴方法>

- ① 各月の専用QRコードからアクセスすると、直接動画を見ることができます。
- ② インターネットで検索

市立池田病院 市民公開講座



動画の配信期間は、配信開始から1年の予定です。

10月	<b>検査・診断だけじゃない 当院でできる放射線治療</b> 放射線治療科医長 医師 立川琴羽	専用QRコード 
11月	<b>白内障の診断と治療</b> 眼科部長 医師 中尾武史	11月1日 配信予定
12月	<b>アルコールと肝臓</b> 消化器内科 副院長 福田和人	12月1日 配信予定

## ～過去の動画～

<b>生涯元気で過ごすために～レッツセルフチェック～</b> 内分泌・代謝内科主任部長 兼 健診センター長 医師 津川真美子
<b>心不全について～その症状年齢のせいにはしていませんか～</b> 循環器内科 医師 古川哲生
<b>眠れない時に考えるお薬以外の方法</b> 救急総合診療部 医師 中尾真一郎
<b>過活動膀胱について</b> 泌尿器科主任部長 医師 井上均
<b>認知症のおはなし</b> 神経内科主任部長 医師 那波一郎
<b>外科的治療における口腔ケアの重要性</b> 歯科・歯科口腔外科部長 医師 雨河茂樹

## Instagramのご案内

妊婦さんとそのご家族の方々へ情報を発信するとともに当院における出産の魅力を幅広く知っていただくためにInstagramプロアカウントを開設しています。

Instagramをお使いの方は、ぜひフォローや「いいね！」をお願いします。

アカウント：ikeda\_city\_hospital



## お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想などをお寄せください。

〒563-8510  
大阪府池田市城南3丁目1番18号  
Tel 072-751-2881 (代表)  
Fax 072-754-6374  
URL <https://www.hosp.ikeda.osaka.jp>

239 編集・発行：市立池田病院 広報委員会





# 市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第42号

2022年1月発行

**特集：手術支援ロボット「ダビンチサージカルシステム」を導入。  
前立腺がんのロボット支援手術をご紹介します。**



病院長 尾下 正秀

あけまして  
おめでとうございます



昨年も、新型コロナウイルス（COVID-19）に翻弄された1年でした。

当院においては、1～2月には院内でのクラスター発生で、また、4～5月にはピークであったアルファ株による第4波で8～9月にはピークであったデルタ株による第5波で、人工呼吸器を使用する重症患者への対応を含めたCOVID-19患者の診療のために、救急搬送や入院の一時的な受入制限を行わざるをえない状況になり、皆さまにご迷惑・ご心配をおかけしました。また、現在もご協力いただいております面会の制限、外来での体温チェック、症状（発熱、咳など）確認など、いろいろとご負担いただいていること、ご容赦いただければ幸いです。

繰り返された「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の発令による自粛要請、ストレスの多い状況の中で、①「三密」（密集、密接、密閉）の回避、②手洗い、③咳エチケットなど新しい生活様式が定着してきました。海外での増加傾向に反比例するかのような昨年10月以降の我が国における感染者数の減少はなぜなのかよくわかりませんが、その一因はワクチン接種の推進やこれら新しい生活様式の定着による効果ではないかと思われまます。

新たな変異株であるオミクロン株が出現し、年末から感染者数が増加傾向にあるなど、第6波が近づいているようですが、ワクチン接種の効果やウイルスに対する中和抗体療法、経口の抗ウイルス薬の登場など、COVID-19に対する医療の発展に期待したいものです。

当院の今年の大きな話題の一つは、手術支援ロボット「ダビンチX」の導入です。昨年末に機器の搬入を終え、まずは、泌尿器科で前立腺の手術からスタートするため準備を進めております。

COVID-19の終息がまだ見えない状況ですが、「創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして」という当院の基本理念のもと、できるかぎり、皆さまの期待に応える医療を提供できるよう、職員一同取り組んでまいります。今年もどうぞよろしく願いいたします。

## 患者さまの権利

- ・ 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・ 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・ 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・ 自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・ 十分な説明を受ける権利があります。
- ・ 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

# ロボット支援手術とは

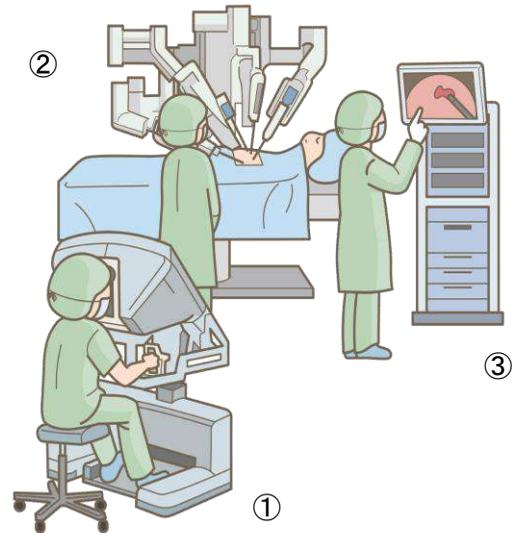
手術支援ロボットを使用した腹腔鏡下手術のことで、当院では「ダビンチサージカルシステム」を使用します。

## 【ダビンチサージカルシステムの構成】

- ①術者が座って操作する操作部  
(サージョンコンソール)
- ②上記①と連動して手術操作を行うアームが装着されている  
ロボット部  
(ペイシェントカート)
- ③光学系を統合するモニター部  
(ビジョンカート)

術者は①の操作部で3Dモニターを見ながら遠隔操作で装置を動かします。医師の操作は②のロボットと連動し、医師は患者さまに触れることなく手術が行われます。

また、サポート医師や看護師は、③のモニターを見ながら術者のサポートを行います。



## 前立腺がん ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術

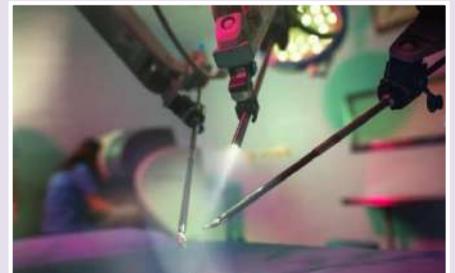
前立腺は骨盤内の最も深い位置に存在します。そのため、腹腔鏡下手術では開腹手術に比べてより良好な視野でのきめ細かな手術が可能でした。

ダビンチサージカルシステムは、低侵襲性という従来の腹腔鏡下手術の利点を保持した上で、以下のような利点が追加されます。

### 身体への負担が少ない

小さな皮膚切開での手術で、キズの大きさは腹部に鉗子を挿入するための8-12mm程度です。

また、一般的な従来の腹腔鏡下手術に比べ、手術時間は短縮され、3時間程度となります。



### 三次元の拡大視野

高画質な3D画像やズーム機能により従来の手術では見えにくかった細かい血管や神経、組織の膜構造が確認できます。



### 安定した緻密な操作

ロボットアームの様々な形状の鉗子は、人間の手と同等以上の可動域があり、手ぶれ補正機能があるため、細かな作業がより正確に行えます。



# 手術の対象となる方

- ・ 転移のない 限局期 (T2以下N0M0) の比較的早期に発見された前立腺がんの患者さまが主体です。
- ・ 年齢は 75歳以下を目安 としますが、高齢の方で 期待余命が10年以上見込まれる 場合は手術の対象になりうると考えます。

ロボット支援腹腔鏡下手術では、頭低位(頭を25-30度下げた姿勢)と呼ばれる特別な体位で手術を行います。未治療の脳動脈瘤や緑内障をお持ちの方につきましては、患者さまと相談し対応を決めていきます。患者さまを頭低位にして手術を行うため、眼圧の高い方は適応にならない場合があります、手術前に当院眼科を受診していただきます。

また、骨盤内手術の既往のある方、血液凝固異常など出血傾向の強い患者さまも適応外となる場合があります。

手術前に全身状態を十分に精査して手術適応を決めていくため、患者さまが希望されても手術適応にならない場合もありますのでご了承ください。

## 前立腺がん診断の流れ

### 一般検査

- ・ PSA検査 (血液検査) ・ 直腸診
- ・ MRI検査

### 確定診断

- ・ 経直腸的超音波 (エコー) ガイド下前立腺生検

### 病期診断

- ・ CT
- ・ 骨シンチグラフィー



当院は地域医療の拠点病院として近隣の病院や診療所との連携を進めております。初診の患者さまは、一度かかりつけ医にご相談ください。

# 無料Wi-Fiが外来・病棟でご利用いただけます

市立池田病院では、来院される皆さまの利便性の向上及びサービスの充実を図るために、公衆無線Wi-Fiによるインターネット接続サービスを提供しています。無線Wi-Fiに対応した端末（スマートフォン、タブレット、パソコン等）をお持ちの方はどなたでも、無料でインターネット接続サービスをご利用いただけます。

ご利用にあたっては、当院ホームページまたは院内ポスターにて「市立池田病院公衆無線Wi-Fi利用規約」をご確認ください。なお、接続に必要なSSID及びパスワードは院内に掲示しています。

令和3年11月より院内無料Wi-Fiの利用エリアを拡大し、外来診療エリアのほかに病棟・病室でもご利用いただけるようになりました。

現在、コロナ禍における感染防止対策として面会禁止となっておりますが、Wi-Fiを活用したご家族やご友人の方々とのコミュニケーションなど、様々な用途にご活用いただけます。

# LINE公式アカウントお友達登録をお願いします

このたび、市立池田病院は「LINE公式アカウント」を開設しました。

LINEという身近なコミュニケーションツールを通じて、情報を登録者の皆さまに発信していき、当院を幅広く知っていただければと思います。

## 【主な発信内容】

- ・ 市民公開講座動画
- ・ 求人募集
- ・ 広報誌の発行
- ・ 各種イベント情報
- ・ 休診情報

スマートフォンなどで簡単に登録できますので、ぜひこの機会にお友達登録をお願いいたします。

## お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想などをお寄せください。

〒563-8510

大阪府池田市城南3丁目1番18号

Tel 072-751-2881 (代表)

Fax 072-754-6374

URL <https://www.hosp.ikeda.osaka.jp>

243 編集・発行：市立池田病院 広報委員会



## 編集後記

市立池田病院の令和3年度病院年報（第29号）が刊行となりました。

新型コロナウイルス感染症が拡大と縮小を繰り返す中での社会生活もすでに2年以上が経過しました。4回目のワクチン接種が始まり、経口の抗ウイルス剤の使用もできるようになり、また、ウイルスの変異による重症化率の低下で、当初の感染に対する不安感・危機感がやや薄まりつつある中、感染者・濃厚接触者への対応も微妙に変化してきております。

当院は、新型コロナウイルス感染に対応する公立病院としての役割を引き続き果たしていきたいと思っております。

年報作成に携わっていただいた皆様に深謝いたしますとともに、「ウイズコロナ下における診療データ」として、本年報を多くの皆様にご覧いただきますことを期待いたします。今後ともよろしく願いいたします。

広報委員長 尾下 正秀

病院年報 第29号 (令和3年)

令和4年10月発行

発行 市立池田病院  
編集 市立池田病院広報委員会  
池田市城南3丁目1番18号  
電話 072-751-2881  
FAX 072-754-6374  
E-Mail : info@hosp.iked.osaka.jp